

子どもの生活時間 調査研究報告書

1996年9月

財団法人 連合総合生活開発研究所

はじめに

連合総合生活開発研究所（連合総研）は、'95年1月に「教育改革研究委員会」を発足させた（主査 市川昭午・国立財務センター教授）。この研究委員会は、経済・社会の激しい変化に対応して、21世紀の日本の教育はどのようにあるべきかを検討し、必要な改革提言を行うものである。

従来教育界にあっては、ともすれば自らの主観的教育観に基づいて現実を解釈し、現実を自らの理論に強引に適合させる例も少なくなかった。当研究委員会は、この悪例を排し、まず、現実の子ども達の生活実態を明らかにし、現実の生活のなかで現代の子どもたちが、どのような進路や未来の生活を志向しているかなどについて実状を掌握することが重要だと考えた。そのため教育改革研究委員会に矢野眞和・東京工大教授を責任者とする調査作業部会を設けて、青年の職業キャリア調査と、子どもの生活時間調査の二つの調査に取り組んだ。本報告は、「小・中学生の生活に関するアンケート」調査の報告である。後述するように子ども調査と同時に母親へのアンケートも実施して、重厚な実態調査とする事が出来た。

調査結果については教育改革研究委員会の報告、「生涯仕事・学習社会の実現をめざして」（10月刊行）の関係各章で活用したところであるが、子どもの生活実態を知る上で独立の調査資料としてご活用いただき、明日の教育に何らかの示唆を提供できれば幸いである。

最後に、本調査の実施に際して、多大なご協力をお願いした連合各組織・各地方総研の担当者・各単組の担当者の方々、ならびに回答をいただいた児童・生徒の皆さんとご両親の皆様にご心からお礼を申し上げます。

尚、調査の設計・分析については労働調査協議会に担当いただいたことを記して謝意を述べたい。

1996年8月15日

財団法人 連合総合生活開発研究所

所長 栗林 世

子どもの生活時間調査班スタッフ

連 合 総 研 主幹研究員 小 林 良 暢

” 主任研究員 小 橋 今

” 研 究 員 中 島 敬 方

” 研 究 員 谷 津 正 信

労働調査協議会 主任研究員 滝 口 哲 史

” 研 究 員 山 口 珠 保

目 次

まとめ	8
1. 宵っぱりの朝ねぼう	8
2. テレビに支配される生活と少ない外遊び	8
3. スケジュールに追われる生活	9
4. 生活の軸になっている受験	9
5. 少ない親子の対話	10
6. 健康状態は赤信号	10
7. ゆとりある生活への転換を	11
序章	12
1. 調査の概要	12
(1) 調査の目的	12
(2) 調査対象者	12
(3) 調査時期	12
(4) 調査票の配布と回収状況	12
(5) 調査の委託	12
2. 調査回答者の属性	13
(1) 子どもの学年・性別	13
(2) 居住地	14
(3) 子どもの学校と片道の通学時間	15
(4) 学童保育の利用	17
(5) 子どもの家族	17
(6) 子ども部屋や専用テレビの有無	19
(7) 両親の職業について	21
(8) アンケート記入者	27
第1章 子どもの生活時間の全体像	28
1. 生活時間調査の調査方法と集計方法	28
(1) 調査方法	28
(2) 集計方法	30
2. 小学生の生活時間	31
(1) 土曜日の場合	31

(2) 日曜日の場合	39
(3) 平日の場合	43
3. 中学2年生の生活時間	49
(1) 土曜日の場合	49
(2) 日曜日の場合	54
(3) 平日の場合	55
4. 中学3年生の生活時間	61
(1) 土曜日の場合	61
(2) 日曜日の場合	65
(3) 平日の場合	68
第2章 遊びについて	72
1. 遊びの種類	72
(1) 学年別にみた特徴	72
(2) 遊びの種類のカロス分析	76
2. 遊び場所	77
(1) 学年別にみた特徴	77
(2) 遊び場所のカロス分析	79
3. 遊び時間	79
(1) 学年別にみた特徴	80
(2) 遊び時間のカロス分析	87
第3章 人間関係について	92
1. 友達関係	92
(1) 一緒に遊ぶ友達の人数	92
(2) 一緒に遊ぶ友達の学年	93
(3) 一緒に遊ぶ友達の性別	94
(4) ひとりで遊ぶことの多い子どもの遊びの種類	95
2. 学校の先生との関係	96
3. 親子関係	96
(1) 両親から言われること	96
(2) 両親は宿題などを教えてくれるかどうかについて	98
(3) 母親の子どもに対する態度	100
(4) 両親は自分の気持ちを理解してくれているかどうかについて	102
(5) 悩みの相談相手	105

(6) 食事の相手・話の相手	107
第4章 基本的な生活習慣	111
1. ふだんの日、家でしていること	111
(1) 学年別にみた特徴	111
(2) ふだんの日、家でしていることのクロス分析	112
2. 家の仕事	113
(1) 学年別にみた特徴	113
(2) 家事や手伝いで子どもにやらせていること	115
3. 家事手伝い時間	116
(1) 学年別にみた特徴	116
(2) 実際に家の手伝いをした子どもの比率とその平均時間	117
(3) 家の手伝いをしなかった子どもの生活時間	119
第5章 勉強や塾、おけいごとについて	120
1. おけいごとや塾、サークル活動について	120
(1) 学年別にみた特徴	121
(2) おけいごとや塾、サークル活動についてのクロス分析	123
2. 1週間のスケジュール	126
(1) 実際にスポーツクラブに通っている子どものスケジュール	126
(2) 実際におけいごとに通っている子どものスケジュール	127
(3) 実際に学校の部活動に参加している子どものスケジュール	128
(4) 実際に塾に通っている子どものスケジュール	128
(5) 実際の1週間のスケジュールの合計時間	130
3. 学校の勉強について	130
(1) 学校の勉強の面白さ	130
(2) 学校の授業のスピード	131
(3) 母親の評価による子どもの学校での成績	132
(4) 宿題の量	134
4. 塾について	135
(1) 学習塾に通ったり、家庭教師につく理由	135
(2) 塾の勉強の面白さ	138
5. 計画的な勉強	139
(1) 学年別にみられる特徴	140
(2) 計画的な勉強についてのクロス分析	140

6. 勉強観	141
(1) 子どもの考え方	142
(2) 母親の考え方	144
7. 親の教育観	146
(1) 学習塾について	146
(2) 学校教育などについて	147
8. 希望する進路	148
(1) 母親が子どもに希望する進路	148
(2) 子ども自身が希望する進路	150
9. 親の学歴別・居住地別にみた親の考え方	152
10. 勉強時間と塾の時間	157
(1) 学年別にみた特徴	157
(2) 勉強時間のクロス分析	162
第6章 将来の生き方について	168
1. 学年別にみた特徴	168
(1) [毎日をのんびりと平和にいきたい] かどうかについて	168
(2) [新しいことや難しいことにチャレンジしたい] かどうかについて	169
(3) [社会や人々のために役立つことをしたい] かどうかについて	170
(4) [仕事ひとすじにうちこみたい] かどうかについて	170
(5) [お金持ちになって豊かな生活をおくりたい] かどうかについて	171
(6) [高い地位につきたい] かどうかについて	172
2. 将来の生き方についてのクロス分析	173
(1) 進路希望別にみた将来の生き方	173
(2) 将来の生き方についての類型	174
第7章 健康状態について	176
1. 学年別にみられる特徴	176
(1) 小学生の場合	176
(2) 中学2年生の場合	177
(3) 中学3年生の場合	178
2. 自分の気持ちをわかってくれるかどうか別にみた健康状態	178

第8章 学校5日制について	180
1. 学校5日制導入後の生活の変化	180
(1) 小学生の場合	181
(2) 中学生の場合	182
2. 土曜日が休みになることについて	182
(1) 子どもの希望	183
(2) 両親の希望	184
補論 PTA活動について	188
1. PTA役員の経験の有無	188
2. PTA行事への参加程度	189
3. PTA活動の現状評価	190
(1) 学校と保護者との相互の話し合いの機会について	190
(2) PTAの活動のあり方について	191
(3) PTAの活動時間の設定について	192
4. PTA活動の必要性の有無とその理由	192
(1) PTA活動の必要性の有無	192
(2) PTA活動が必要ではない理由	193
5. PTA活動や運営で重要なこと	194
資料1 小学生・中学生の生活に関するアンケート〈子ども用〉	196
資料2 子どもの生活に関するアンケート〈お子さんのお母さん用〉	202
資料3 1日の生活時間・集計結果(小分類・平均値)	211

ま と め

この調査は子どもの生活時間だけでなく、子どもと母親の意識も調査したものであり、内容は多岐にわたっている。詳しくは、本文を参照いただくこととして、ここでは結果の概要とそこから得られる知見を提示したい。

1. 宵っぱりの朝ねぼう

まず、子どもたちの睡眠時間に注目しよう。ここでみられるのは、休日の起床時刻が平日に比べてかなり遅いことである。平日は、小学生でも中学生でも7時前に起床しているのに対し、土曜になると小学生では7時31分、中学2年生では7時52分、中学3年生では8時07分と、とくに学年が上がるほど遅くなっていて、中学3年生の遅い子では10時となっている。このためもあって、朝食と昼食を兼ねる子どもが少なくなく、中学生では3割台が土曜、日曜には1日2食の食事となっている。

起床時刻が遅いのは、1つは、就寝時刻が遅いためである。土曜でみると、平均で小学生22時22分、中学2年生23時03分、中学3年生23時38分となっており、中学生の遅い子では1時となっている。平日でも4～20分早い程度であり、就寝時刻は常時遅い。これは、以下でみるように、テレビを遅くまでみていること、塾に加えて、家での勉強時間もかなり長いことが影響している。

したがって、平日は、起床時刻が早い割に就寝時刻が遅いため、睡眠時間が短くなってしまい、それを土曜日に補うという1週間の生活パターンになっていることがわかる。このように、子どもの生活も大人のように1週間、疲労を蓄積させていく不健康な状態にある。ちなみに、平均睡眠時間を示すと、小学生では、平日が8時間41分であるのに対し、土曜日の夜から日曜日の朝にかけては9時間14分、中学3年生では平日が7時間34分、土曜日の夜から日曜日の朝が8時間46分となっている。

2. テレビに支配される生活と少ない外遊び

生活時間で目立つのは、テレビの視聴時間が長いことである。休日には、小学生でも朝起きてから夜寝るまでの間、ほとんどの時間帯で1割以上の子どもがテレビをみており、土曜の夜9時台には5割に達する。平日も帰宅後から視聴が継続している。また、夕食もテレビをみながらとる世帯が5割近くに達しているし、男の子ではテレビゲームの時間も加わる。こうして、土曜日では、小学生、中学生とも平均で4時間程度はテレビ画面と向き合っていることになる。テレビの視聴時間は、家にいる時間の長さと同様であり、家にいるとテレビをみてしまう、という状況を示している。

遊び時間では、男の子でテレビゲームの時間が長いことも注目される。始めたら長時間になると思われる、遊んだ子どもの平均時間は、小学生の男の子の場合、土曜日では1時間52分である。また、女の子ではおしゃべりのウェイトも大きい。平均時間は中学生の場合、土曜日で20分程度であるが、中

学2年生では「よくやる遊び」の1位、3年生では4位となっている。友達の存在の大きさを示すものでもある。また、中学生の遊びでは、「音楽をきく」ことが、男女とも3～4位に上げられていることも目立っている。

これらはいずれも室内遊びであり、外遊びの時間が少ないという結果となっている。外遊びの多い小学生の男の子でも土曜日の遊び時間全体の20.6%、女の子では12.3%を占めるに過ぎない。これは、遊びが小さい集団、同学年の集団になることをも意味しており、小学生でも「異年齢と遊ぶ子ども」は25.4%、「大勢で遊ぶ子ども」は34.6%と少数である。遊びを通しての社会体験や人間関係づくりが十分に行なわれない状況を示している。

3. スケジュールに追われる生活

子どもたちの1週間はスケジュールでいっぱい埋まっている。「通っている塾、習い事」をみると、小学生の男の子では、スポーツクラブに通っている子どもが6割強、女の子では、「ピアノなど」が6割弱、習字が4割強となっている。中学2年生では男女とも学校の運動部に大半の子どもが参加しており、3年生では6割弱が塾に通っている。これらのスケジュールで中学2年生では1週間に12時間3分を費やしており、とくにクラブ活動の時間的ウェイトが大きいことを示している。小学生や中学3年生では1週間に6時間弱であるが、いずれにせよ毎日の生活はスケジュールに追われており、これが睡眠時間にも影響している状況である。

4. 生活の軸になっている受験

中学3年生になると生活は受験を軸に組み立てられている。平日の勉強時間は学校で過ごす7時間31分とは別に、家で1時間36分、塾で43分で計2時間19分となっている。しかも95.2%とほとんどの子どもが勉強をしており、長い子どもでは4時間15分に及んでいる。これは、塾に通って、帰ってからまた勉強するという子どもが少なくないからである。中学2年生では1時間35分、小学生では1時間22分と中学3年生よりは短いものかなりの時間を費やしている。

受験については、母親は「受験勉強は本当の勉強ではない」と7割弱が回答している一方で、「大学に入れないといい就職は困難」と半数近くの人が考えており、ホンネとタテマエの間で、親も悩んでいる様子が示されている。中学3年生の子どもをもつ母親についてみると、とくに男の子の母親は、大学進学への期待が大きく7割近くに達する（女の子の場合は5割弱）。子どもの方は、「受験勉強は本当の勉強ではない」は中学3年生でも4割程度で、受験勉強を肯定しているし、「大学に入れないといい就職は困難」と半数近くの子どもが考えている。一方で、将来の生き方に関して「毎日のんびり平和に生きたい」と中学生の8割近くが望んでいる。このように子どもの方も、受験体制に組込まれる中で、好むと好まざるに関わらず、それに順応せざるを得ない様子が示されている。

また、中学生では、学校の勉強が「おもしろい」子どもは4割程度であるのに対し、塾の勉強が「お

もしろい」子どもは6割程度おり、単純に比較できないにせよ、塾の方が比率は高い。一方で、中学3年生では学校の授業が「早い」と3割弱の子どもが受け止めている。このように、学校教育のあり方も考えさせられる結果となっている。

5. 少ない親子の対話

勉強やテレビには多くの時間を費やしている子どもだが、家事への参加は極めて少ない。平日では、小学生で6分、中学生で3分とほとんどない。これは、家庭内での子どもへの役割期待が勉強に限られていることを示しており、それだけ子どもを追込んでいることにもなると思われる。

また、親子の会話が少ないことも示されている。夕食を親子そろって食べているかをみると、日曜は6割台がそろって食べているが、土曜では5割程度、平日では3割程度にとどまり、父親が欠けているケースが多数を占める。また、中学3年生では、塾の時間の影響もあって平日「一人で食べる」子どもが2割近くあり、少なくない。また、親と会話の時間を持った子どもは日曜日でも小学生で3割弱、中学生では2割弱と少ない。これらの結果には、母親との会話も少ないが、とりわけ家庭で父親のかげが薄いことが示されている。

そして、子どもの気持ちがわからないとする親が少なくない。「わかっている」との回答は、小学生の母親でも6割弱、中学3年生では4割弱となる。子どもの方は「母親がわかってくれる」が小学生で7割弱、中学3年生で5割強と親よりは比率が高いものの、「両親ともわかってくれない」と回答する子どもが中学3年生では4割になっている。こうした中で、気持ちの支えとしてすでにみたように、友達がいるかいないかは大きな意味を持つてくることがわかる。

6. 健康状態は赤信号

健康状態の設問では、子どもに疲労とストレスの症状が広くみられることが示されている。「暴れ回りたい」、「朝、食欲がない」、「疲れやすい」、「大声をだしたい」、「夜眠れない」、「すぐ不安になる」、「お腹が痛い」、「なんでもないのにイライラする」は小学生の男の子でもいずれも3割程度かそれ以上の比率となっている。女の子はそれを上回っている。そして、中学2年生、3年生となるにつれて、さらに比率は高まる。

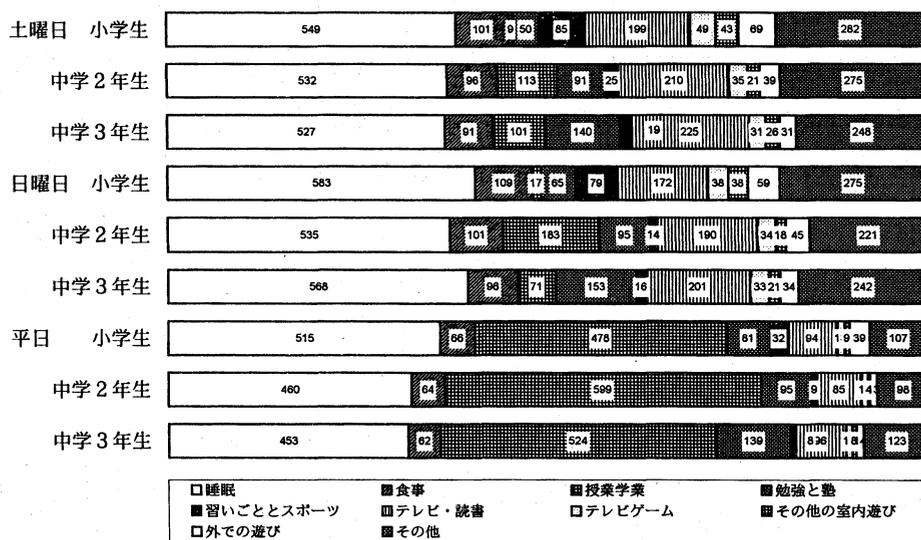
これらの原因が、すでにみたように、短い睡眠、不規則な食事、スケジュールに追われる生活、そして、少ない外遊び、長いテレビ、テレビゲームの時間、家族との会話の不足、受験の重圧などであることは、明らかであると思われる。たとえば、親が子どものことをわかってくれているかどうかと健康状態とに相関があることが調査結果にも示されている。

7. ゆとりある生活への転換を

子どもたちはゆとりある生活を求めていることは、すでに述べたとおりであり、学校5日制に対する質問でも「土曜日は毎週休みがいい」とする子どもが6割と多数である。これに対して、親の方は消極的であり、母親で2割台、父親で3割台に過ぎない。ここには、子どもが家にいると、親の負担が大きい、勉強が心配だなどといった親の不安が反映されていると思われる。

こうして、学校5日制も単に導入すればいいという問題ではなく、それを通じて、子どもの生活自体を受験を軸にして勉強に追われる生活から、家庭でも地域でも子どもにとってゆとりある居場所が確保された生活へと転換していくことが求められているのであり、社会全体のシステムをつくりかえていく問題であることを示している。子どもたちの問題状況がかなり切実である今日、困難は大きくても、こうした転換を目指して早急に取り組む必要があることもこの調査結果から読み取ることができる。

曜日別にみた主な行動に費やす時間（平均値・分）



曜日別にみた主な行動に費やす時間（平均値）

	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・学業・分	授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分	計	
土曜日	小学生計	549	55	101	...	9	22	46	33	17	40	10	23	62	199	49	43	62	69	47	411
	中学2年生計	532	55	96	8	105	18	55	35	16	69	22	12	13	210	35	21	65	39	31	194
	中学3年生計	527	62	91	8	93	14	35	46	20	104	36	9	10	225	31	26	36	31	35	145
日曜日	小学生計	583	53	109	1	16	21	44	34	19	59	6	10	69	172	38	38	58	59	46	411
	中学2年生計	535	56	101	...	183	12	47	34	17	87	8	7	7	190	34	18	31	45	24	194
	中学3年生計	568	54	96	1	70	17	35	37	18	118	35	6	10	201	33	21	48	34	33	145
平日	小学生計	515	43	66	399	79	6	19	9	10	67	14	15	17	94	13	9	3	39	17	411
	中学2年生計	460	43	64	431	168	3	15	12	9	69	26	4	5	85	11	4	3	13	13	194
	中学3年生計	453	47	62	451	73	3	16	21	7	96	43	3	5	96	11	8	3	14	26	145

序 章

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、連合総研の教育改革研究委員会において、小学生、中学生の学校・地域・家庭における生活時間、生活パターンの実態と子どもとお母さんの教育に関する意識をつかみ、21世紀に向けて開かれた生涯学習社会を展開する上での課題を明らかにするために行なっている。同時に、よりゆとりある子育て環境の実現に向けての政策を検討するための基礎資料を得ることを目的としている。

(2) 調査対象者

この調査は、①子どもの生活時間調査、②子どものアンケート調査、③子どもの母親のアンケート調査の3つからなっている。全て自記入式アンケートであるが、①と②は小学5～6年生、中学2～3年生が対象者で、その子どもの母親が③の対象者である。

(3) 調査時期

1995年9月に実施した。

ただし、①の子どもの生活時間調査は学校が休みの土曜日（9月9日）、翌日の日曜日（9月10日）、及び平日（9月13日水曜日）の3日間を調査日として設定した。開校記念日等で13日が休みの場合は、11日（月曜日）か12日（火曜日）に振替えて実施してもらった。

(4) 調査票の配布と回収状況

調査票の配布と回収は、地方連合・地方総研を通じて行った。調査地域は北海道、東京、長野、静岡、富山、大阪、宮崎の7都道府県で、対象者は連合組合員及びその家族である。

調査票を小学5～6年生の親子と中学2～3年生の親子にそれぞれ800件ずつ配布したところ、有効回収枚数は小学生親子422件、中学生親子358件で、有効回収率は順に52.8%、44.8%である。

(5) 調査の委託

この調査の実施は、連合総研の教育改革研究委員会の作業委員会が担当し、労働調査協議会（略

称 労調協)に委託した。労働調査協議会は、作業委員会との協議の下に、調査票の設計、集計、分析報告書の作成作業を行った。

2. 調査回答者の属性

ここでは、本調査の回答者の属性についてみてみよう。

(1) 子どもの学年・性別

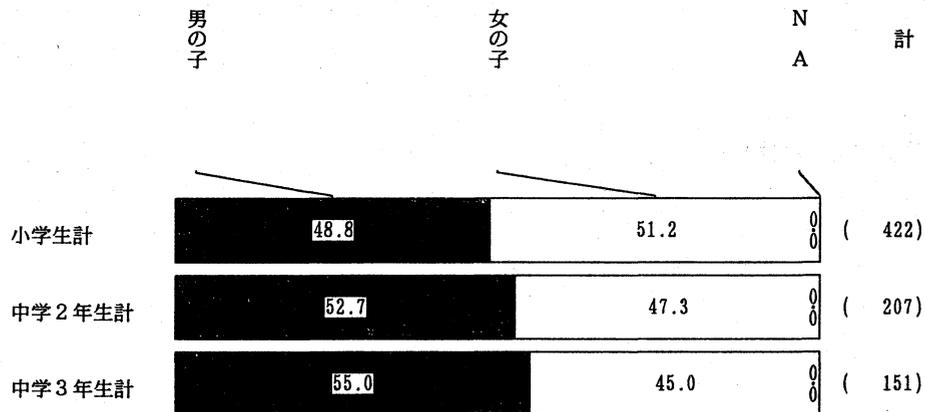
まず、子どもの学年を第1表よりみると、小学生は422人で、うち小学5年生は52.8% (223人)、小学6年生は47.2% (199人)である。一方、中学生は358人で、中学2年生が57.8% (207人)、中学3年生が42.2% (151人)である。小学生、中学生ともに学年の低い方の比率がやや多い構成となっている。

性別は「男の子」と「女の子」が半々であるが、中学3年生では「男の子」が55.0%で、「女の子」(45.0%)を10ポイント上回っている(第1図)。

第1表 学 年

		小学 5 年 生	小学 6 年 生	中 学 2 年 生	中 学 3 年 生	N A	計
小学生計		223 52.8	199 47.2	422 100.0
性別	男の子	110 53.4	96 46.6	206 100.0
	女の子	113 52.3	103 47.7	216 100.0
中学生計		207 57.8	151 42.2	...	358 100.0
性別	男の子	109 56.8	83 43.2	...	192 100.0
	女の子	98 59.0	68 41.0	...	166 100.0

第1図 性



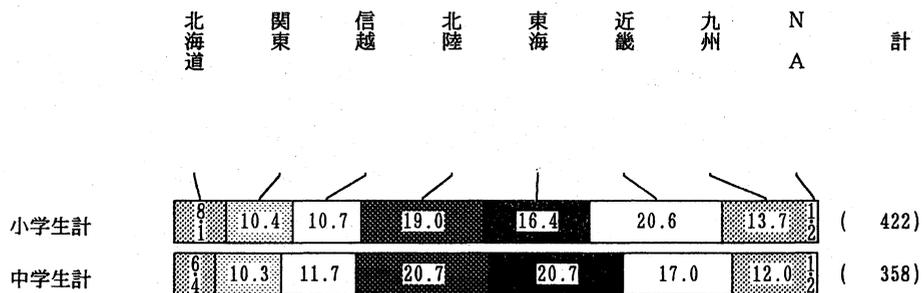
(2) 居住地

次に、居住地をみてみよう。

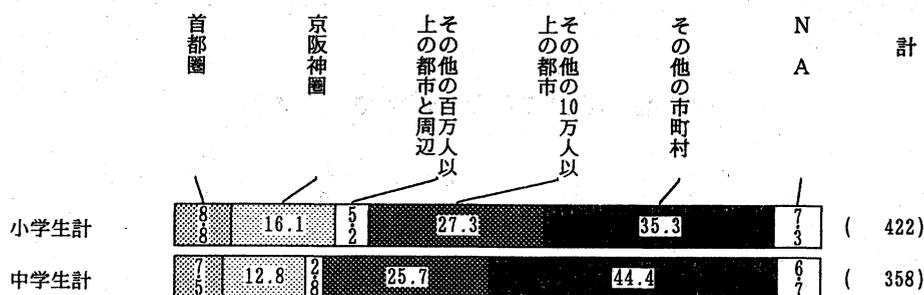
まず、地方区分でみると、「北陸」「東海」「近畿」がそれぞれ2割前後、「九州」「関東」及び「信越」がそれぞれ1割強、「北海道」はやや少なく1割弱である。なお、この構成は学年を通して共通している（第2図）。

次に、第3図より地域区分で居住地をみると、「首都圏」が1割弱、「京阪神圏」が1割台と、大都市圏の占める比率が少ない構成となっている。その他の地域をみると、「100万人以上の都市と周辺」は3～5%とわずかであるが、「10万人以上の都市」は26～27%で、「その他の市町村」は35～44%ともっとも多い。ちなみに、学年が高いほど「その他の市町村」の比率が高まっており、中学3年生では半数を占めている（図表省略）。

第2図 居住地 A 地方



第3図 居住地 B 地域



(3) 子どもの学校と片道の通学時間

子どもが通学している学校は、小学生、中学生ともにほとんどが「公立」であり、〈私立〉（小学校2.8%、中学校5.2%、以下同様）や「国立」（1.4%、0.6%）はわずかである。〈私立〉について性別にみると、中学生では女の子が7.8%とやや多めである（第2表）。

第2表 子どもの学校

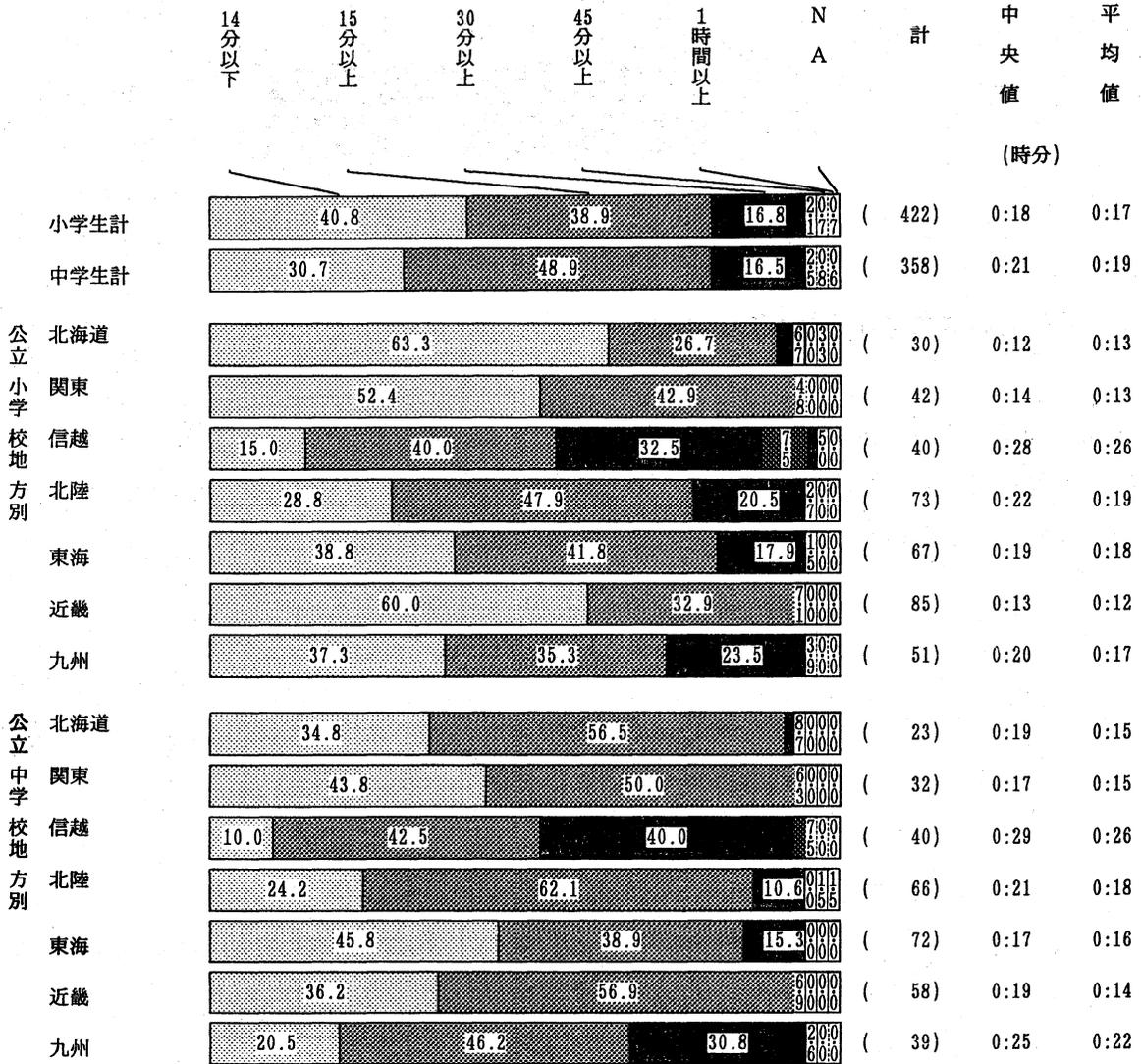
	公立小学校	私立小学校	国立小学校	公立中学校	中高一貫教育の私立中学校—大学なし	大学付属の私立中学校	5—6以外の私立中学校	国立の中学校	N A	計
小学生計	92.4	2.8	1.4	3.3	422
男の子	91.3	2.4	1.9	4.3	206
女の子	93.5	3.2	0.9	2.4	216
中学生計	92.5	0.8	0.8	3.6	0.6	1.7	358
男の子	94.8	0.5	...	2.6	0.5	1.5	192
女の子	89.8	1.2	1.8	4.8	0.6	1.8	166

第4図より通学時間をみると、「公立」の学校に通う子どもが多かったため、8割が〈30分未満〉に分布し、うち「15分以上30分未満」は中学生の比率が10ポイント多くなっている。平均値では小学生が17分、中学生が19分である。ちなみに、私立や国立に通学している子どもは小学生で21分、中学生で33分とそれぞれ公立（17分、18分）に比べ長い（第3表）。

ちなみに、公立小学校について地方別に前掲第4図より平均値でみると、公立小学校では信越地方が26分ととくに長く、北陸（19分）や東海（18分）、九州（17分）もやや長めである。逆に、近畿や北

海道、関東では10分あまりと他に比べると短い。公立中学校でも信越地方が長く26分となっている。また、九州も22分と長い。逆に、近畿や北海道や関東、東海では14～16分と短い。

第4図 学校までの片道時間（地方別）



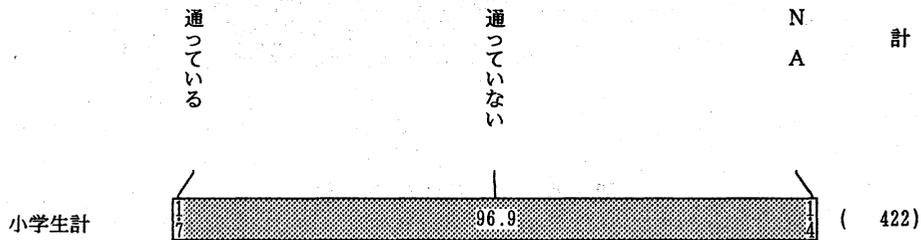
第3表 学校までの片道時間（子どもの学校別）

	件数	間・校・時 までの 片道時
公立小学校	394	0:17
私立・国立小学校	18	0:21
公立中学校	337	0:18
私立・国立中学校	21	0:33

(4) 学童保育の利用

放課後、学童保育を利用している小学生の比率は、1.7%とごくわずかである（第5図）。

第5図 放課後、学童保育に通っているかどうか



(5) 子どもの家族

ここでは、家族についてみていこう。

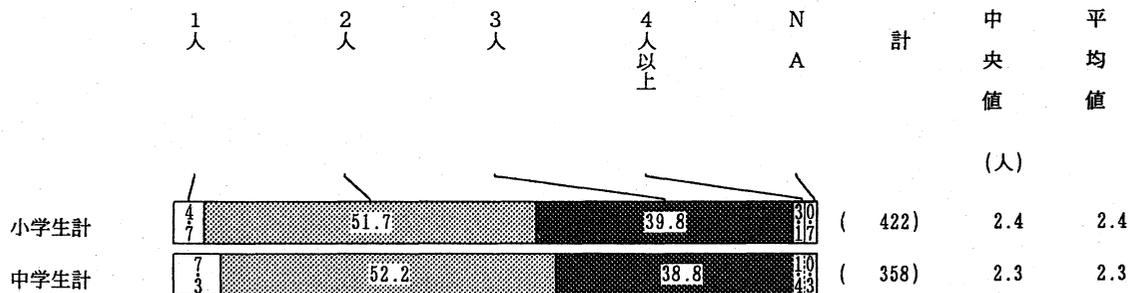
① 家族構成

まず、第6図より兄弟の数をみると、「2人」がもっとも多く、52%と半数を超えている。ついで、「3人」が4割と多く、「ひとりっ子」や「4人以上」は少ない。ちなみに、平均値では小学生が2.4人、中学生が2.3人となる。

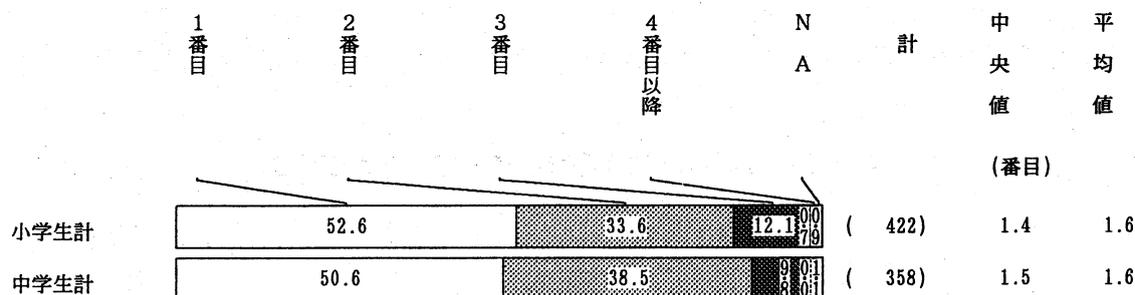
調査回答者の子どもの半数は「長子」で、およそ3人に1人以上が「第2子」である（第7図）。

第8図から父親の年齢をみると、小学生では7割強が30代後半から40代前半に分布し、平均年齢は41.2歳である。中学生では、40代に全体の8割弱が分布し、平均値は中学2年生で43.5歳、中学3年生で44.2歳である。

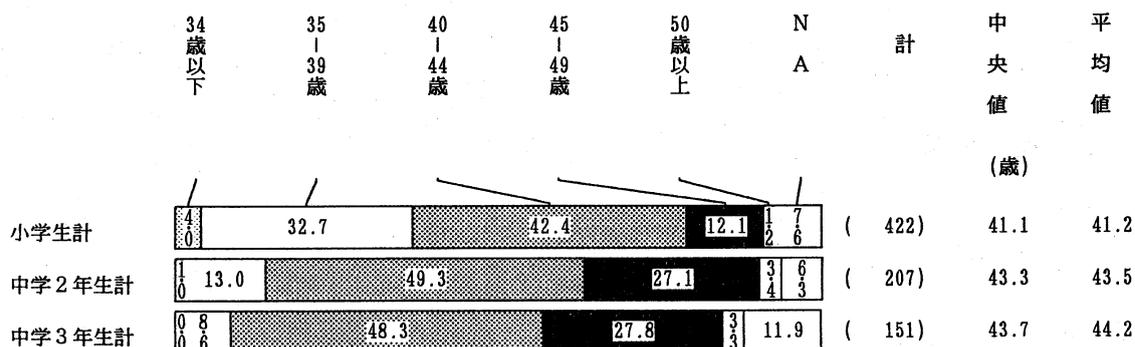
第6図 子どもの数



第7図 調査対象の子どもは何番目ですか



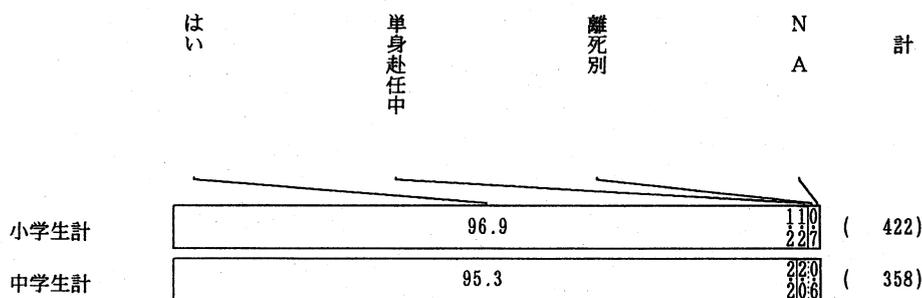
第8図 お父さんの年齢



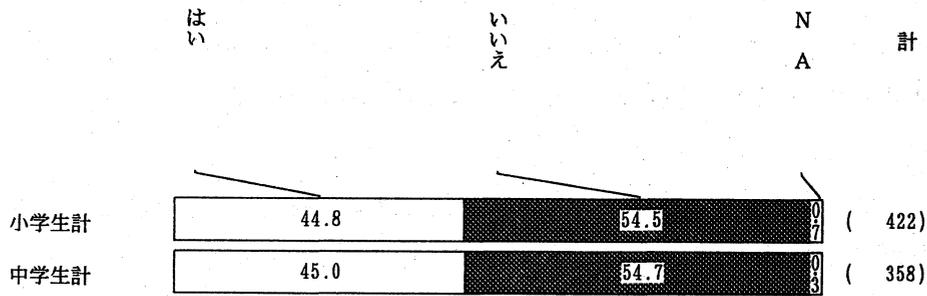
父親が「単身赴任中」の家族は小学生では1.2%、中学生では2.2%とわずかである。また、「離死別」も数パーセントであるので、調査回答者の子どものほとんどは父親と同居していることになる(第9図)。

ちなみに、祖父母と同居している三世代家族は4割強みられる(第10図)。連合が1994年8～9月に実施した『生活アンケート調査』によると、既婚者で子どものいる世帯のうち27.9%が三世代家族である。この結果と比較すると、本調査の調査回答者は三世代家族が多い構成といえる。

第9図 配偶者との同居の有無



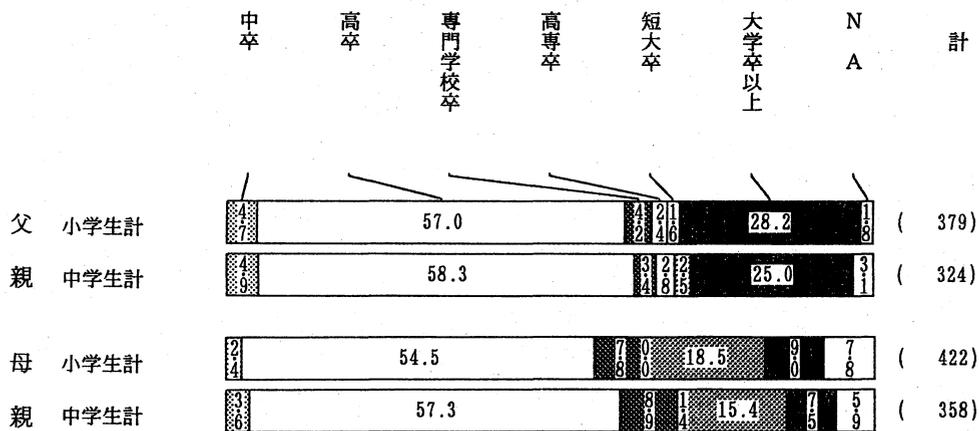
第10図 親との同居の有無



② 両親の学歴

第11図から両親の学歴をみていこう。まず、父親についてみると、「高卒」が6割弱でもっとも多く、「大学卒以上」も2割強から3割弱みられる。その他の学歴はそれぞれ数パーセントである。他方、母親の学歴は高卒が5割台と過半数を占める。その他についてみると、父親の学歴に比べ、「短大卒」が2割弱と多く、「大学卒以上」が1割弱と少ない。また、「専門学校卒」も1割弱とやや多めである。

第11図 両親の最終学歴



(6) 子ども部屋や専用テレビの有無

ここでは、子ども部屋や子ども専用テレビの所有状況、親のテレビの視聴時間についてみていくことにする。

① 子ども部屋や専用テレビの有無

子ども部屋の有無をみると、小学生では「ある」(44.1%)と「きょうだいと一緒に部屋がある」(42.7%)に二分されており、「特別にはない」が12.6%にとどまっている。中学生になると、個人専用の部屋の所有率は上昇し、中学2年生では68.1%、中学3年生では80.1%となっている(第12図)。

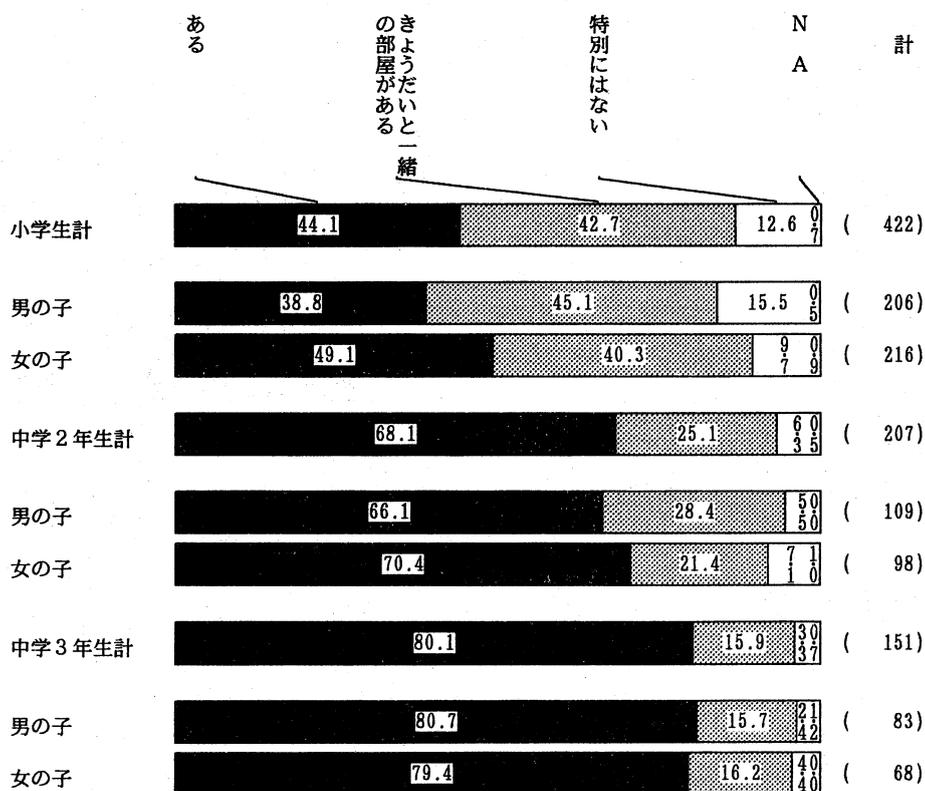
では、子ども専用のテレビはあるのだろうか。第13図よりみると、小学生では「ある」が8.8%を占め、これに「きょうだいで見るとのテレビがある」の23.9%を加えると、3人に1人は子ども用のテレビを所有していることになる。中学2年生になると所有率は36.2%となり、中学3年生では25.8%と中学2年生を下回っている。

性別にみると、中学生では男の子の所有率が女の子に比べ高く、とくに中学2年生の男の子では46.8%にまで及び、うち個人専用テレビが「ある」子どもは4人に1人の割合で見られる。なお、小学生ではこのような性による違いは生じてはいない。

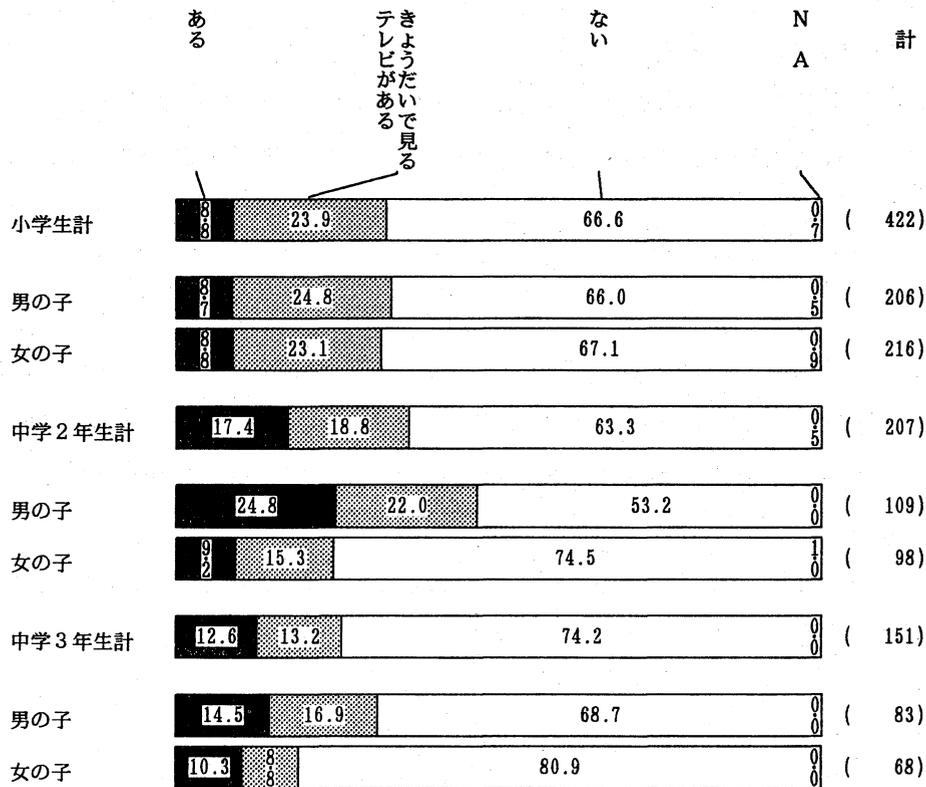
② 親のテレビの視聴時間

ちなみに、母親のテレビの視聴時間(1日あたり)を第14図よりみると、9割が<4時間未満>に分布しており、平均時間は約2時間あまりとなっている。

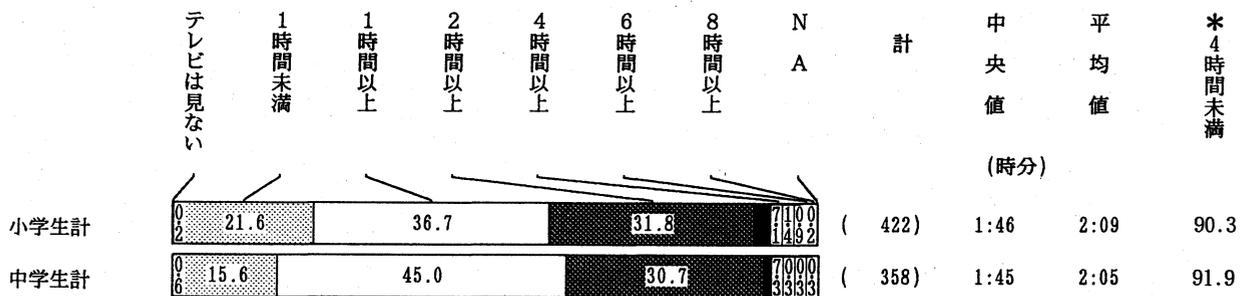
第12図 子ども専用の部屋の有無



第13図 子ども専用のテレビの有無



第14図 母親のテレビの視聴時間（子どもの学年別）



(7) 両親の職業について

ここでは、両親の職業を中心にまとめておく（第15図 第4表～第6表）。

① 母親の就労状況

まず、母親の就労状況をみていこう。小学生の母親では、「正規従業員である」は39.6%、「パー

ト就労をしている」は28.4%である。これらに「内職をしている」(7.3%)や「家業をしている」(1.9%)を加えると、〈母親就労〉は77.2%で、およそ4人に3人強が就労をしていることになる。他方、「専業主婦である」は22.3%である。

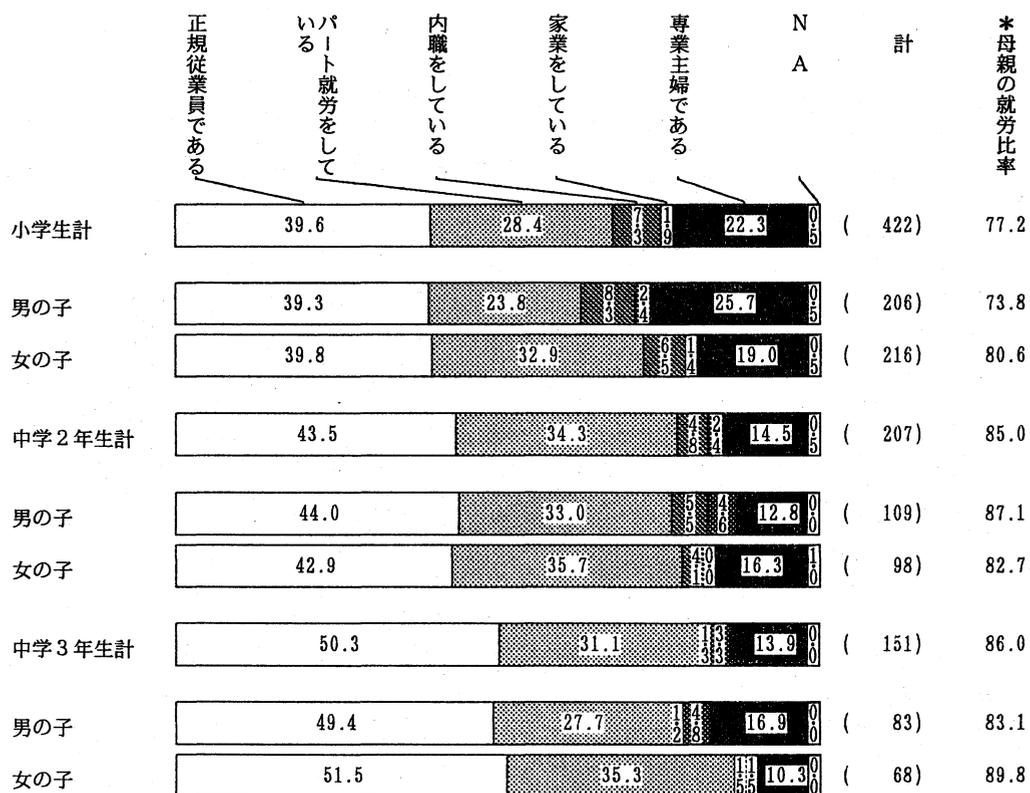
〈母親就労〉の比率は子どもの成長とともに変化している。小学生の母親では77.2%あるものが、子どもが中学生になると85~86%へと比率が高まり、その分「専業主婦」の比率が2割強から1割強へと減少している。

② 業 種

父親の業種は、「民間・製造業」が4割強、「民間・非製造業」が2割、「公務・公営」が3割である。〈民間〉：〈公務〉はおよそ66%：32%の比率である。連合組織局の95年8月調べによると組織構成は民間が76.2%、公務公営が23.8%である。この結果と比べると今回調査では〈公務〉がやや多くなっている。

フルタイムで働いている母親について業種をみると、「公務・公営」の比率は父親の場合よりもさらに多くなり、小学生の母親では42.1%、中学生の母親では36.3%を占める。

第15図 母親の就労状況



第4表 親の属性(子どもの学年別、性別)

	業種・父親		業種・母親		従業員数・父親					従業員数・母親																		
	民間・製造業	公務・公営	民間・製造業	公務・公営	9人以下	10人以上	30人以上	50人以上	100人以上	N	9人以下	10人以上	30人以上	50人以上	100人以上	N												
小学生計	45.6	20.6	31.9	1.8	37.8	18.9	42.1	1.2	7.2	9.2	17.9	13.5	6.4	15.5	27.9	2.4	3,312	5,445	25.8	7.5	26.9	8.6	6.5	12.9	11.8	...	794	3,079
男の子	50.3	20.2	26.8	2.7	36.3	20.0	42.5	1.3	7.0	11.6	20.9	14.0	5.4	10.9	28.7	1.6	2,388	5,137	24.4	4.4	35.6	8.9	11.1	2.2	13.3	...	715	2,707
女の子	41.3	20.9	36.7	1.0	39.3	17.9	41.7	1.2	7.4	6.6	14.8	13.1	7.4	20.5	27.0	3.3	4,777	5,777	27.1	10.4	18.8	8.3	2.1	22.9	10.4	...	766	3,427
中学生計	42.9	22.2	30.9	4.0	43.8	18.8	36.3	1.3	12.3	6.2	15.2	11.4	7.1	17.5	26.5	3.8	3,866	5,469	21.0	10.0	19.0	11.0	8.0	17.0	13.0	1.0	981	3,630
男の子	41.8	20.0	35.3	2.9	41.7	17.9	39.3	1.2	12.4	7.6	18.1	9.5	4.8	21.0	22.9	3.8	3,200	5,144	22.0	10.0	16.0	8.0	12.0	20.0	12.0	...	1,500	3,775
女の子	44.2	24.7	26.0	5.2	46.1	19.7	32.9	1.3	12.3	4.7	12.3	13.2	9.4	14.2	30.2	3.8	4,200	5,790	20.0	10.0	22.0	14.0	4.0	14.0	14.0	2.0	904	3,482
小学5年生計	45.4	18.4	34.2	2.0	35.3	20.0	43.5	1.2	7.2	8.0	24.0	14.4	7.2	12.8	24.8	1.6	2,388	4,889	25.5	2.1	27.7	10.6	6.4	12.8	14.9	...	865	3,484
男の子	50.5	20.0	25.3	4.2	36.6	19.5	41.5	2.4	7.5	9.0	23.9	14.9	7.5	10.4	26.9	...	2,300	4,915	13.0	4.3	34.8	17.4	8.7	4.3	17.4	...	956	3,437
女の子	40.6	16.8	42.6	...	34.1	20.5	45.5	...	6.9	6.9	24.1	13.8	6.9	15.5	22.4	3.4	2,500	4,858	37.5	...	20.8	4.2	4.2	20.8	12.5	...	720	3,529
小学6年生計	45.9	23.0	29.5	1.6	40.5	17.7	40.5	1.3	7.1	10.3	11.9	12.7	5.6	18.3	31.0	3.2	5,217	6,006	26.1	13.0	26.1	6.5	6.5	13.0	8.7	...	591	2,665
男の子	50.0	20.5	28.4	1.1	35.9	20.5	43.6	...	6.5	14.5	17.7	12.9	3.2	11.3	30.6	3.2	2,500	5,385	36.4	4.5	36.4	...	13.6	...	9.1	...	475	1,945
女の子	42.1	25.3	30.5	2.1	45.0	15.0	37.5	2.5	7.8	6.3	6.3	12.5	7.8	25.0	31.3	3.1	6,562	6,607	16.7	20.8	16.7	12.5	...	25.0	8.3	...	825	3,325
中学2年生計	43.9	27.0	25.9	3.2	46.0	19.5	32.2	2.3	13.4	6.7	14.2	11.9	6.0	13.4	30.6	3.7	3,625	5,632	12.3	5.3	19.3	17.5	10.5	17.5	15.8	1.8	2,400	4,278
男の子	40.2	23.7	33.0	3.1	40.0	15.6	42.2	2.2	14.5	9.7	16.1	9.7	3.2	16.1	29.0	1.6	2,833	5,379	8.0	4.0	16.0	12.0	16.0	24.0	20.0	...	4,250	5,296
女の子	47.8	30.4	18.5	3.3	52.4	23.8	21.4	2.4	12.5	4.2	12.5	13.9	8.3	11.1	31.9	5.6	4,000	5,858	15.6	6.3	21.9	21.9	6.3	12.5	12.5	3.1	1,428	3,458
中学3年生計	41.5	15.6	37.8	5.2	41.1	17.8	41.1	...	10.4	5.2	16.9	10.4	9.1	24.7	19.5	3.9	4,142	5,184	32.6	16.3	18.6	2.3	4.7	16.3	9.3	...	343	2,786
男の子	43.8	15.1	38.4	2.7	43.6	20.5	35.9	...	9.3	4.7	20.9	9.3	7.0	27.9	14.0	7.0	3,666	4,786	36.0	16.0	16.0	4.0	8.0	16.0	4.0	...	275	2,254
女の子	38.7	16.1	37.1	8.1	38.2	14.7	47.1	...	11.8	5.9	11.8	11.8	11.8	20.6	26.5	...	4,500	5,663	27.8	16.7	22.2	16.7	16.7	...	475	3,525

第5表 親の属性(子どもの学年別、性別)

	年齢 父親の 平均年齢 値(歳)	職種・職業・父親		職種・職業・母親		組合役員か否か・父親		組合役員か否か・母親		勤務形態・父親		勤務形態・母親	
		職生 専門職・技術職	専務職 営業・保安職 サービス・販売 職・士	運輸・通信職 N A	職生 専門職・技術職	専務職 営業・保安職 サービス・販売 職・士	運輸・通信職 N A	あ組 ある組合役員 専従で	あ組 ある組合役員 専従で	あ組 ある組合役員 専従で	あ組 ある組合役員 専従で	常日勤である N A	常日勤である N A
小学生計	41.2	26.6 20.8 32.2 6.9 10.8 2.6	29.3 33.5 32.3 2.4 0.6 1.8	29.3 33.5 32.3 2.4 0.6 1.8	29.3 33.5 32.3 2.4 0.6 1.8	15.8 31.4 50.9 1.8	2.4 15.2 81.1 1.2	86.8 11.1 2.1	2.4 15.2 81.1 1.2	86.8 11.1 2.1	94.6 4.2 1.2	94.6 4.2 1.2	94.6 4.2 1.2
男の子	41.3	25.1 18.0 36.6 8.2 9.8 2.2	28.8 33.8 31.3 5.0 ... 1.3	28.8 33.8 31.3 5.0 ... 1.3	28.8 33.8 31.3 5.0 ... 1.3	17.5 31.1 49.2 2.2	3.8 13.8 82.5 ...	90.7 7.7 1.6	3.8 13.8 82.5 ...	90.7 7.7 1.6	92.6 6.2 1.2	92.6 6.2 1.2	92.6 6.2 1.2
女の子	41.2	28.1 23.5 28.1 5.6 11.7 3.1	29.8 33.3 33.3 ... 1.2 2.4	29.8 33.3 33.3 ... 1.2 2.4	29.8 33.3 33.3 ... 1.2 2.4	14.3 31.6 52.6 1.5	1.2 16.7 79.8 2.4	83.2 14.3 2.6	1.2 16.7 79.8 2.4	83.2 14.3 2.6	96.5 2.3 1.2	96.5 2.3 1.2	96.5 2.3 1.2
中学生計	43.8	29.3 25.0 27.2 5.2 9.3 4.0	25.6 26.9 38.8 4.4 1.9 2.5	25.6 26.9 38.8 4.4 1.9 2.5	25.6 26.9 38.8 4.4 1.9 2.5	14.8 28.7 50.6 5.9	1.9 8.8 85.6 3.8	84.6 11.7 3.7	1.9 8.8 85.6 3.8	84.6 11.7 3.7	93.4 4.8 1.8	93.4 4.8 1.8	93.4 4.8 1.8
男の子	43.7	29.4 26.5 27.6 2.9 10.0 3.5	23.8 29.8 35.7 4.8 2.4 3.6	23.8 29.8 35.7 4.8 2.4 3.6	23.8 29.8 35.7 4.8 2.4 3.6	14.1 32.9 47.1 5.9	2.4 7.1 86.9 3.6	85.9 11.2 2.9	2.4 7.1 86.9 3.6	85.9 11.2 2.9	88.8 9.0 2.2	88.8 9.0 2.2	88.8 9.0 2.2
女の子	43.9	29.2 23.4 26.6 7.8 8.4 4.5	27.6 23.7 42.1 3.9 1.3 1.3	27.6 23.7 42.1 3.9 1.3 1.3	27.6 23.7 42.1 3.9 1.3 1.3	15.6 24.0 54.5 5.8	1.3 10.5 84.2 3.9	83.1 12.3 4.5	1.3 10.5 84.2 3.9	83.1 12.3 4.5	98.7 ... 1.3	98.7 ... 1.3	98.7 ... 1.3
小学5年生計	40.8	24.0 21.4 32.7 6.1 12.2 3.6	25.9 32.9 37.6 1.2 ... 2.4	25.9 32.9 37.6 1.2 ... 2.4	25.9 32.9 37.6 1.2 ... 2.4	19.9 28.1 50.5 1.5	3.5 12.9 83.5 ...	89.3 9.2 1.5	3.5 12.9 83.5 ...	89.3 9.2 1.5	94.2 5.8 ...	94.2 5.8 ...	94.2 5.8 ...
男の子	41.2	22.1 17.9 36.8 9.5 10.5 3.2	29.3 34.1 31.7 2.4 ... 2.4	29.3 34.1 31.7 2.4 ... 2.4	29.3 34.1 31.7 2.4 ... 2.4	26.3 26.3 45.3 2.1	4.9 14.6 80.5 ...	96.8 2.1 1.1	4.9 14.6 80.5 ...	96.8 2.1 1.1	92.9 7.1 ...	92.9 7.1 ...	92.9 7.1 ...
女の子	40.3	25.7 24.8 28.7 3.0 13.9 4.0	22.7 31.8 43.2 ... 2.3	22.7 31.8 43.2 ... 2.3	22.7 31.8 43.2 ... 2.3	13.9 29.7 55.4 1.0	2.3 11.4 86.4 ...	82.2 15.8 2.0	2.3 11.4 86.4 ...	82.2 15.8 2.0	95.5 4.5 ...	95.5 4.5 ...	95.5 4.5 ...
小学6年生計	41.7	29.5 20.2 31.7 7.7 9.3 1.6	32.9 34.2 26.6 3.8 1.3 1.3	32.9 34.2 26.6 3.8 1.3 1.3	32.9 34.2 26.6 3.8 1.3 1.3	11.5 35.0 51.4 2.2	1.3 17.7 78.5 2.5	84.2 13.1 2.7	1.3 17.7 78.5 2.5	84.2 13.1 2.7	95.1 2.5 2.5	95.1 2.5 2.5	95.1 2.5 2.5
男の子	41.4	28.4 18.2 36.4 6.8 9.1 1.1	28.2 33.3 30.8 7.7	28.2 33.3 30.8 7.7	28.2 33.3 30.8 7.7	8.0 36.4 53.4 2.3	2.6 12.8 84.6 ...	84.1 13.6 2.3	2.6 12.8 84.6 ...	84.1 13.6 2.3	92.3 5.1 2.6	92.3 5.1 2.6	92.3 5.1 2.6
女の子	42.1	30.5 22.1 27.4 8.4 9.5 2.1	37.5 35.0 22.5 ... 2.5 2.5	37.5 35.0 22.5 ... 2.5 2.5	37.5 35.0 22.5 ... 2.5 2.5	14.7 33.7 49.5 2.1	... 22.5 72.5 5.0	84.2 12.6 3.2	... 22.5 72.5 5.0	84.2 12.6 3.2	97.6 ... 2.4	97.6 ... 2.4	97.6 ... 2.4
中学2年生計	43.5	31.2 24.9 25.9 5.8 8.5 3.7	26.4 28.7 33.3 4.6 3.4 3.4	26.4 28.7 33.3 4.6 3.4 3.4	26.4 28.7 33.3 4.6 3.4 3.4	15.3 29.6 49.7 5.3	2.3 8.0 85.1 4.6	86.2 10.6 3.2	2.3 8.0 85.1 4.6	86.2 10.6 3.2	88.9 8.9 2.2	88.9 8.9 2.2	88.9 8.9 2.2
男の子	43.5	30.9 27.8 23.7 4.1 9.3 4.1	24.4 37.8 26.7 2.2 4.4 4.4	24.4 37.8 26.7 2.2 4.4 4.4	24.4 37.8 26.7 2.2 4.4 4.4	14.4 35.1 43.3 7.2	4.4 8.9 82.2 4.4	89.7 7.2 3.1	4.4 8.9 82.2 4.4	89.7 7.2 3.1	81.3 16.7 2.1	81.3 16.7 2.1	81.3 16.7 2.1
女の子	43.6	31.5 21.7 28.3 7.6 7.6 3.3	28.6 19.0 40.5 7.1 2.4 2.4	28.6 19.0 40.5 7.1 2.4 2.4	28.6 19.0 40.5 7.1 2.4 2.4	16.3 23.9 56.5 3.3	... 7.1 88.1 4.8	82.6 14.1 3.3	... 7.1 88.1 4.8	82.6 14.1 3.3	97.6 ... 2.4	97.6 ... 2.4	97.6 ... 2.4
中学3年生計	44.2	26.7 25.2 28.9 4.4 10.4 4.4	24.7 24.7 45.2 4.1 ... 1.4	24.7 24.7 45.2 4.1 ... 1.4	24.7 24.7 45.2 4.1 ... 1.4	14.1 27.4 51.9 6.7	1.4 9.6 86.3 2.7	82.2 13.3 4.4	1.4 9.6 86.3 2.7	82.2 13.3 4.4	98.7 ... 1.3	98.7 ... 1.3	98.7 ... 1.3
男の子	44.1	27.4 24.7 32.9 1.4 11.0 2.7	23.1 20.5 46.2 7.7 ... 2.6	23.1 20.5 46.2 7.7 ... 2.6	23.1 20.5 46.2 7.7 ... 2.6	13.7 30.1 52.1 4.1	... 5.1 92.3 2.6	80.8 16.4 2.7	... 5.1 92.3 2.6	80.8 16.4 2.7	97.6 ... 2.4	97.6 ... 2.4	97.6 ... 2.4
女の子	44.3	25.8 25.8 24.2 8.1 9.7 6.5	26.5 29.4 44.1	26.5 29.4 44.1	26.5 29.4 44.1	14.5 24.2 51.6 9.7	2.9 14.7 79.4 2.9	83.9 9.7 6.5	2.9 14.7 79.4 2.9	83.9 9.7 6.5	100.0	100.0	100.0

第6表 親の属性（子どもの学年別、性別）

	日曜日の出勤状況・父親					日曜日の出勤状況・母親					第2、4土曜日の出勤・父親					第2、4土曜日の出勤・母親					父親の宿泊出張			記入者		父親サンプル計	母親サンプル計
	ある	基本的には休みである	休みであるが休日	必ずしも休みではない	休みではない	N	A	ある	基本的には休みである	休みであるが休日	必ずしも休みではない	休みではない	N	A	ある	基本的には休みである	休みであるが休日	必ずしも休みではない	休みではない	N	A	ある	ほとんどない	父親の調査対象のお子さ	母親の調査対象のお子さ		
小学生計	74.7	11.9	9.5	1.3	2.6	87.2	7.3	4.3	...	1.2	61.2	13.7	16.4	6.1	2.6	65.9	9.8	17.7	5.5	1.2	26.1	71.8	2.1	92.2	7.1	379	164
男子	83.1	7.1	6.6	1.1	2.2	85.0	7.5	6.3	...	1.3	64.5	10.9	17.5	4.4	2.7	63.8	10.0	20.0	5.0	1.3	26.8	71.6	1.6	90.8	8.3	183	80
女子	66.8	16.3	12.2	1.5	3.1	89.3	7.1	2.4	...	1.2	58.2	16.3	15.3	7.7	2.6	67.9	9.5	15.5	6.0	1.2	25.5	71.9	2.6	93.5	6.0	196	84
中学生計	78.1	8.3	9.0	1.5	3.1	88.1	5.0	3.8	1.9	1.3	62.7	12.7	15.7	5.9	3.1	63.8	9.4	20.6	5.0	1.3	24.4	73.1	2.5	92.2	7.3	324	160
男子	78.8	8.8	7.6	2.4	2.4	81.0	7.1	7.1	3.6	1.2	65.9	12.4	11.8	7.6	2.4	56.0	10.7	27.4	4.8	1.2	22.9	75.3	1.8	92.2	7.8	170	84
女子	77.3	7.8	10.4	0.6	3.9	96.1	2.6	1.3	59.1	13.0	20.1	3.9	3.9	72.4	7.9	13.2	5.3	1.3	26.0	70.8	3.2	92.2	6.6	154	76
小学5年生計	73.5	14.3	8.7	1.5	2.0	84.7	11.8	3.5	60.7	16.3	16.3	5.1	1.5	70.6	8.2	14.1	7.1	...	29.6	68.9	1.5	94.6	4.9	196	85
男子	85.3	8.4	4.2	1.1	1.1	82.9	12.2	4.9	67.4	11.6	15.8	4.2	1.1	73.2	7.3	14.6	4.9	...	33.7	65.3	1.1	92.7	6.4	95	41
女子	62.4	19.8	12.9	2.0	3.0	86.4	11.4	2.3	54.5	20.8	16.8	5.9	2.0	68.2	9.1	13.6	9.1	...	25.7	72.3	2.0	96.5	3.5	101	44
小学6年生計	76.0	9.3	10.4	1.1	3.3	89.9	2.5	5.1	...	2.5	61.7	10.9	16.4	7.1	3.8	60.8	11.4	21.5	3.8	2.5	22.4	74.9	2.7	89.4	9.5	183	79
男子	80.7	5.7	9.1	1.1	3.4	87.2	2.6	7.7	...	2.6	61.4	10.2	19.3	4.5	4.5	53.8	12.8	25.6	5.1	2.6	19.3	78.4	2.3	88.5	10.4	88	39
女子	71.6	12.6	11.6	1.1	3.2	92.5	2.5	2.5	...	2.5	62.1	11.6	13.7	9.5	3.2	67.5	10.0	17.5	2.5	2.5	25.3	71.6	3.2	90.3	8.7	95	40
中学2年生計	75.7	10.6	10.1	1.1	2.6	85.1	6.9	5.7	...	2.3	60.8	14.3	16.9	5.3	2.6	58.6	11.5	25.3	2.3	2.3	22.8	76.2	1.1	92.3	6.8	189	87
男子	77.3	11.3	7.2	2.1	2.1	75.6	11.1	11.1	...	2.2	66.0	14.4	11.3	6.2	2.1	51.1	13.3	33.3	...	2.2	22.7	77.3	...	92.7	7.3	97	45
女子	73.9	9.8	13.0	...	3.3	95.2	2.4	2.4	55.4	14.1	22.8	4.3	3.3	66.7	9.5	16.7	4.8	2.4	22.8	75.0	2.2	91.8	6.1	92	42
中学3年生計	81.5	5.2	7.4	2.2	3.7	91.8	2.7	1.4	4.1	...	65.2	10.4	14.1	6.7	3.7	69.9	6.8	15.1	8.2	...	26.7	68.9	4.4	92.1	7.9	135	73
男子	80.8	5.5	8.2	2.7	2.7	87.2	2.6	2.6	7.7	...	65.8	9.6	12.3	9.6	2.7	61.5	7.7	20.5	10.3	...	23.3	72.6	4.1	91.6	8.4	73	39
女子	82.3	4.8	6.5	1.6	4.8	97.1	2.9	64.5	11.3	16.1	3.2	4.8	79.4	5.9	8.8	5.9	...	30.6	64.5	4.8	92.6	7.4	62	34

(注) 表中の母親サンプル計とはフルタイムで働いている母親計のことである

③ 企業規模

父親の勤務先の企業規模は従業員数が〈5,000人以上〉のところに4割強が分布しており、規模の大きいところが多い。他方、フルタイムで働いている母親の場合は〈5,000人以上〉は25～30%とやや少なく、逆に〈1,000人未満〉に5～6割が分布している。

④ 職種・職業

父親の職種・職業は「生産・技能・現業職」と「事務職」が3割前後とやや多く、「専門職・技術職」は2割強である。これに対し、「営業・販売・サービス・保安職」や「運輸・通信職」は1割前後である。

母親ではフルタイムで働いている人に限ると、「専門職・技術職」（3割前後）と「事務職」（3割台）が父親に比べやや多い。

⑤ 勤務形態と土日の出勤状況

勤務形態は、父親、母親とも常日勤が大半となっているが、父親の場合は「交替制勤務」が1割みられる。

次に、日曜日の出勤状況を見てみよう。父親では、「基本的に休みである」は7割台であり、日曜日の〈出勤あり〉（「休みであるが休日出勤がある」1割前後＋「必ずしも休みではない」1割＋「休みでない」数パーセント）と回答した父親は2割前後いる。他方、フルタイムで働いている母親では、大半が「基本的に休みである」（9割弱）。

では、子どもの学校が休みになる第2、第4土曜日はどうだろうか。「基本的には休みである」の比率は日曜日の場合よりも減少し、両親ともにおよそ3人に1人が〈出勤あり〉と回答している。

⑥ 父親の出張状況

宿泊を伴う出張が月1日以上「ある」父親は全体の2割台を占めており、その出張先で宿泊する日数は月平均で小、中学生の父親ともに2.9日（平均値）となっている（第7表）。

第7表 月平均でみた父親の宿泊出張日数（子どもの学年別）

	件数	日月平均の宿泊出張日数
小学生計	96	2.9
中学生計	68	2.9

⑦ 労働組合役員かどうか

労働組合の役員かどうかについて、父親では〈組合役員〉が4割台で、うち「専従役員」は1割強となっている。他方、母親では、父親と比べると〈組合役員〉は1割台と少なく、「専従役員」もわずかである。

(8) アンケート記入者

なお、“お母さん用のアンケート調査”を実際に記入した人をみると、ほとんどが「調査回答者の子どもの母親」(小学生92.2%、中学2年生92.3%、中学3年生92.1%)であり、「子どもの父親」は1割未満にとどまった。

第1章 子どもの生活時間の全体像

本調査では、調査日を学校5日制が実施される第2土曜日と、その翌日の日曜日、3日後の水曜日の3日間に設定し、子どもの生活時間を調べている（以下、土曜日、日曜日、平日と表記）。本章では、子どもの生活時間について全体像を押さえることを試みるが、まず始めに、生活時間調査の調査方法と集計方法についてまとめておこう。

1. 生活時間調査の調査方法と集計方法

(1) 調査方法

本調査では、第1-1表で示すように、1日の行動を53に分類し、それに対応するシールを53種類用意した。ただし、記入済みの記録用紙を確認する際、いずれのシールも貼られていない時間帯には新たに「行動不明」シールを貼ったので、実際には54種類の行動に区分されることになる。なお、本調査ではこの54種類の行動を小分類とし、さらにそれを19種類の行動にまとめた（中分類）。

第1-1表 主な行動の生活時間区分・中分類と小分類

<中分類>	<小分類>
1. 睡眠	睡眠
2. 身の回りの用事	身じたく（洗面・着がえ・トイレ等）、フロに入る、自分の身のまわりのこと、医者・病院（移動時間含む） とこや・美容師（移動時間含む）
3. 食事	食事と身じたく、テレビをみながら家で食事、家で食事 外で食事、おやつ
4. 授業	授業（休憩・給食・ホームルーム・そうじ）
5. 授業以外の学業	移動（登校）、クラブ活動（練習を含む）、学校行事、 移動（下校）
6. 家事手伝い	家での手伝い、おつかい（移動時間を含む）
7. 移動	移動（家からでかける）、移動（家に帰る）、 移動（その他）
8. 休養	なにもしていないでんびりしている、病気で休んでいる
9. 会話	話をする、電話する
10. 勉強	勉強（予習・復習を含む）、ながら勉強（テレビ・ラジ オ・CD）、学校の用意（時間割をそろえるなど）
11. 塾	家庭教師、塾
12. 習いごと	習いごとの練習、習いごと（発表会を含む）
13. スポーツ	トレーニング・運動（部活は除く）、散歩・犬の散歩、 スポーツチーム（野球など）
14. テレビ（含むラジオ・読書）	テレビ・ビデオラジオ・CD・カセット 本や新聞・マンガを読む
15. テレビゲーム	テレビゲーム
16. その他の室内遊び	その他のへや遊びや趣味
17. レジャー外出	カラオケボックス、買物・ショッピング、映画・コンサ ート・試合を見る、日帰りレジャー、宿泊旅行
18. 外での遊び	外での遊びや趣味、ゲームセンター・コンビニなど、 学校で遊ぶ
19. その他	子ども会、学童保育、この調査の記入、その他、不明

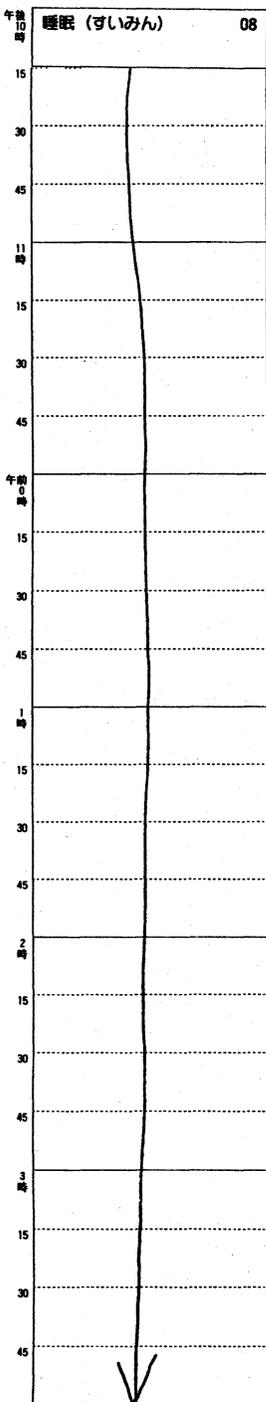
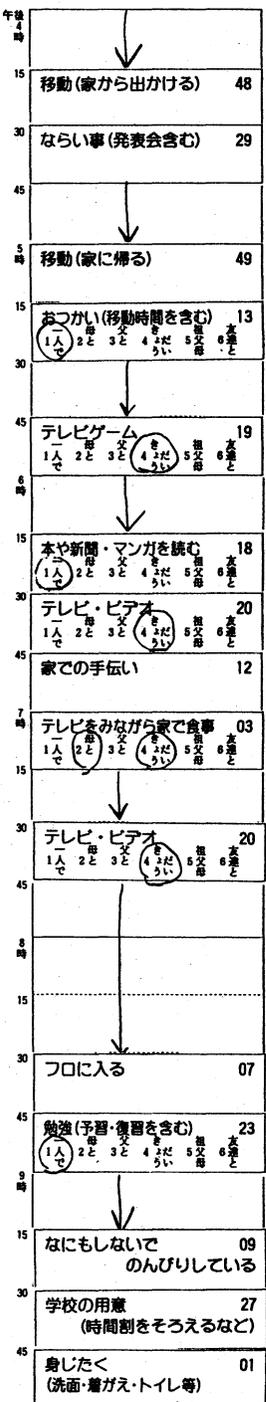
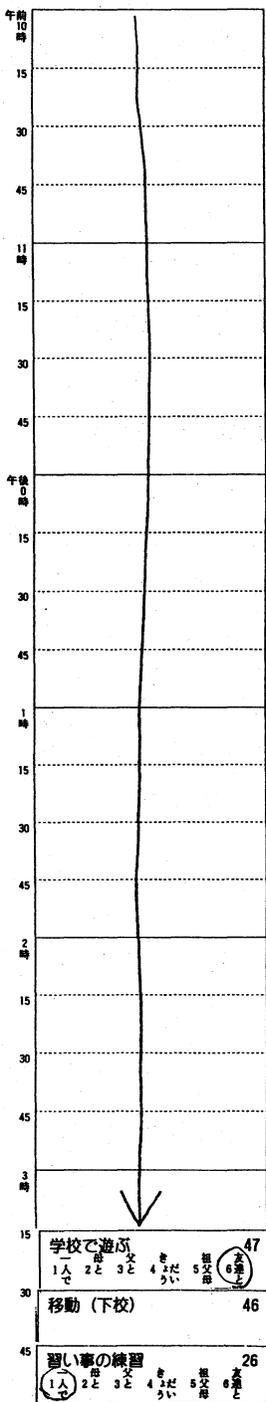
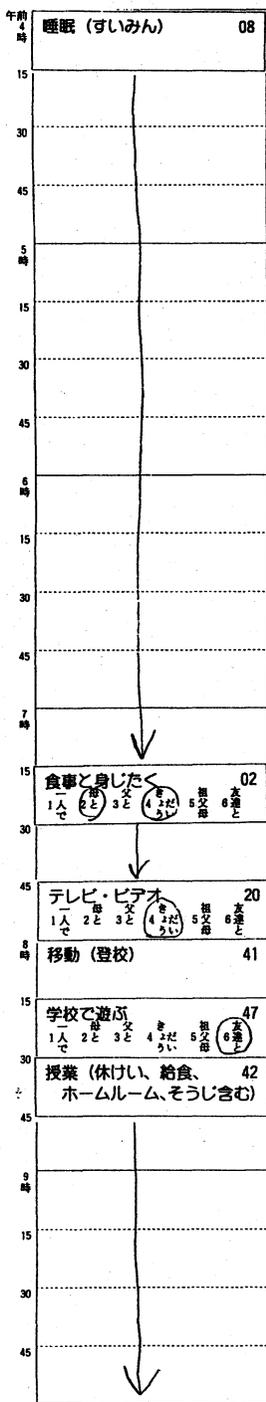
第1-2表 1日の生活時間記入用紙

ふだんの日の記入例

一日の生活時間記入用紙

() やまるのついた数字は集計用のものですから気にしないで下さい。 R00M00

9月13日(水曜日) (1,2)	今日のお父さんの主な行動は？(1つだけ○) (8)	お父さんが出かけた時間 (9~13)
今日の天気は？ ① 晴または、くもり ② 少し雨がふった ③ ほぼ1日中、雨 (3)	① 仕事にいった (1, 2, 4の場合) ② 出張でいかなかった ③ 私と一緒に出かけた ④ 私と別に出かけた ⑤ 家にいた ⑥ 病気で休んでいた	① 午前 7時30分 ② 午後 7時30分 ③ 午前 8時00分 ④ 午後 8時00分
今日のあなたの主な行動は？(1つだけ○)	今日のお母さんの主な行動は？(1つだけ○) (19)	お母さんが出かけた時間 (20~24)
① 学校にいった ④ しんせき・ともだちの家にとまった ② 家にいた・近くにでかけた ⑤ 宿泊旅行にいった ③ 病気で休んでいた ⑥ 日帰りレジャーにいった (4)	① 仕事にいった (1, 2, 4の場合) ② 出張でいかなかった ③ 私と一緒に出かけた ④ 私と別に出かけた ⑤ 家にいた ⑥ 病気で休んでいた	① 午前 時 分 ② 午後 時 分 ③ 午前 時 分 ④ 午後 時 分
今日はどんな一日でしたか？(それぞれ、はい、いいえで答えて下さい)		
A つかれた (5) B いそがしかった (6) C 楽しかった (7)		



1日を15分単位で96区分し、15分間毎に53種類のシールのなかから、調査回答者が実際に行動した内容にあてはまるシールを記録用紙に貼ってもらう方法をとった（第1－2表は記入例）。

1区分の時間帯（15分）に2つの行動がまたがっている場合は、行動の長い方の時間のシールを貼ってもらっている。例えば、19時から19時15分までの時間帯の場合、19時05分まで夕食のしたくを手伝っていて、19時5分から夕食となった場合は、この15分間の時間帯では、前者が5分、後者が10分となるので、時間の長い方の「食事（記入例ではテレビを見ながら家で食事）」シールを貼ることになる。

なお、本調査では午前4時から翌朝の午前4時までの24時間を1日として扱っている。午前0時を1日の始まりとした場合、午前0時の時間帯には、睡眠中の子どもとまだ寝ないで起きている子どもの両者がいることになる。本調査では、子どもが朝起きてから寝るまでの行動をつかむことを目的としているので、ほとんどの子どもが寝ていると想定される午前4時を1日の始まりとした。

(2) 集計方法

本調査では、中分類による19種類の行動それぞれについて、行為比率を算出している。行為比率とは、15分間の時間帯ごとに、どのくらいの子どものがどの行動をしているのかについて比率で示したものである。

また、1日における生活時間を算出しており、小分類（54種類）と中分類（19種類）それぞれの平均値を示している。

また、回答の分散をつかむため、本報告書では、分位数も算出している。主に、十分位を使用しているが、それは、それぞれの行動について生活時間がもっとも短い子どもから数えて10.0%目（第1十分位、1/10と表記）の子どもの時間数から、90.0%目（第9十分位、9/10と表記）にあたる子どもの時間数までには、8割の子どもの回答が含まれており、生活時間の分布状況がつかめるためである。本報告書で十分位の値を示す場合は、第1十分位の値を短い子ども、早い子どもの時間数（あるいは時刻）と表現している。同様に、第9十分位の値を長い子ども、または遅い子どもの値としている（なお、最高値と最低値は、その数値が異常値であるケースもありうるので、本報告書では使用していない）。

また、本報告書の表中にはこの十分位の他に、四分位も同時に示してある。

さらに、起床時刻、就寝時刻、食事の開始時刻、クラブ活動の開始時刻と終了時刻を回答から求めている。その求め方は以下に示す通りである。なお、これらの時刻の平均値などについては、実際にその行動をとった子どもについての数値であり、全回答者とは一致しないことに留意されたい。

〈起床時刻〉

調査日の午前4時以降で「睡眠」から別の行動に移った時刻を起床時刻とした。

〈就寝時刻〉

夜の時間帯で、他の行動から「睡眠」に移った時刻を就寝時刻とした。

〈食事の開始時刻〉

「食事と身じたく」「家で食事」「外で食事」及び「テレビを見ながら食事」の4つの行動を全て「食事」時間としてとらえた（「おやつ」は含まない）。その「食事」を時間帯により3食に区分した。起床時刻より午前11時までの「食事」を朝食とし、11時より16時までの「食事」は昼食、16時以降から就寝までの「食事」は夕食とみなした。そして、それぞれの時間帯において、別の行動から「食事」に移った時刻を「食事」の開始時刻とした。

なお、16時以降から就寝までの時間帯において、「食事」時間が2回あった場合は、2回目の「食事」時間を夜食として考え、1回目の「食事」の開始時刻を夕食の開始時刻とした。

〈クラブ活動の開始時刻と終了時刻〉

調査日の午前4時以降で初めて「クラブ活動」の行動が現れた時刻を開始時刻とした。「クラブ活動」の終了時刻は一番最後の「クラブ活動」から別の行動に移った時刻とした。

ただし、平日については、学校の授業が始まる前までの朝の練習と放課後の練習が想定されるので、起床後から授業が始まる前までの時間帯と授業終了後から就寝までの時間帯のそれぞれについてクラブ活動の開始時刻と終了時刻を求めた。

では、以下から、小学生、中学2年生、中学3年生の順に、土曜日、日曜日、平日のそれぞれについて、行為比率と生活時間をみていくことにする。なお、ここでは主に中分類を扱っている。

2. 小学生の生活時間

まず、小学生についてみていこう（有効回答411名）。

(1) 土曜日の場合

第1-3表よりみると、学校5日制で学校が休みとなる第2土曜日（以下、土曜日）の朝は、早い子どもで6時15分には起き出しているが、遅い子どもでは9時まで寝ている。起床時刻の平均値は7時31分である。土曜日の平均起床時刻を他の曜日と比べると、日曜日（7時36分）とほぼ同じであるが、平日（6時43分）より48分遅い。このように、起床時刻が平日に比べ土曜日や日曜日で遅いのは、中学生でも同様である。

日帰りレジャーや宿泊旅行に出かけた子どもを除いた場合、93.8%の子どもが土曜日の「朝食」をとっている（第1-4表）。「朝食」をとった子どもの朝食開始時刻をみると、早い子どもで7時、遅い子どもで9時15分となり、平均値は8時である。

第1-3表 起床時刻、就寝時刻、クラブ活動の開始時刻と終了時刻、食事の開始時刻
 〈土曜日と日曜日〉 (平均値、分位数)

	分 位	土曜日							日曜日						
		起床時刻・時分	就寝時刻・時分	時刻・時活動・開始	時刻・時活動・終了	時朝食の開始時刻・	時昼食の開始時刻・	時夕食の開始時刻・	起床時刻・時分	就寝時刻・時分	時刻・時活動・開始	時刻・時活動・終了	時朝食の開始時刻・	時昼食の開始時刻・	時夕食の開始時刻・
小学生計	平均	7:31	22:22	10:54	15:09	8:00	12:20	18:42	7:36	21:53	8:53	14:17	8:06	12:21	18:36
	9/10	9:00	23:30	16:07	19:48	9:15	13:00	19:45	8:47	22:56	12:00	17:06	9:30	13:15	19:30
	3/4	8:00	23:00	13:08	18:23	8:30	12:30	19:00	8:00	22:23	9:00	15:34	8:56	12:30	19:00
	1/2	7:30	22:15	9:30	15:00	8:00	12:15	18:38	7:30	22:00	8:00	14:45	8:00	12:15	18:30
	1/4	7:00	22:00	8:30	12:15	7:15	12:00	18:15	7:00	21:15	7:45	13:15	7:30	12:00	18:11
	1/10	6:15	21:00	7:54	10:30	7:00	11:45	18:00	6:15	21:00	7:45	10:42	6:54	11:45	17:45
		(401)	(408)	(8)	(8)	(364)	(341)	(368)	(404)	(408)	(9)	(9)	(351)	(301)	(373)
中学2年生計	平均	7:52	23:03	10:05	15:06	8:06	12:18	18:49	7:38	22:45	8:48	14:55	7:46	12:23	18:36
	9/10	9:30	24:00	14:12	18:24	9:45	13:00	19:45	9:30	24:00	11:46	18:15	9:30	13:15	19:30
	3/4	8:45	23:45	12:38	17:19	9:00	12:30	19:15	8:15	23:30	9:00	17:15	8:30	12:45	19:00
	1/2	8:00	23:00	9:00	16:00	8:00	12:15	18:53	7:15	23:00	8:00	14:53	7:30	12:15	18:30
	1/4	6:49	22:30	7:56	12:26	7:11	12:00	18:15	6:38	22:15	7:45	12:45	7:00	12:00	18:00
	1/10	6:15	22:00	7:15	11:42	6:30	11:30	18:00	6:00	21:43	7:28	12:00	6:15	11:45	18:00
		(191)	(193)	(49)	(49)	(157)	(140)	(176)	(192)	(194)	(94)	(94)	(165)	(133)	(178)
中学3年生計	平均	8:07	23:38	10:14	13:40	8:06	12:19	18:48	8:24	23:09	11:18	15:48	8:11	12:21	18:40
	9/10	10:00	25:00	14:15	17:54	9:30	13:15	20:00	10:15	24:15	17:57	20:57	10:00	13:30	19:30
	3/4	9:00	24:00	12:15	17:00	9:00	12:30	19:15	9:30	23:45	13:11	17:53	9:15	12:45	19:00
	1/2	8:00	23:30	9:00	13:08	8:00	12:00	18:45	8:00	23:00	9:00	17:00	8:00	12:15	18:45
	1/4	7:00	23:00	7:45	11:53	7:15	12:00	18:15	7:00	22:30	8:00	12:15	7:15	12:00	18:04
	1/10	6:15	22:00	7:11	8:26	6:30	11:30	18:00	6:15	22:00	8:00	12:06	6:39	11:45	18:00
		(144)	(145)	(12)	(12)	(114)	(114)	(138)	(145)	(145)	(9)	(9)	(111)	(113)	(135)

(注) () 内は件数

第1-4表 食事の有無（日帰りレジャー・宿泊旅行に行った子どもをのぞく）

	朝食の有無						昼食の有無								
	土曜日			日曜日			平日			土曜日			日曜日		
	あり	なし	計	あり	なし	計	あり	なし	計	あり	なし	計	あり	なし	計
小学生計	93.8	6.2	388	91.4	8.6	384	95.9	4.1	41	87.9	12.1	388	78.4	21.6	384
男の子	96.4	3.6	195	90.8	9.2	196	95.6	4.4	20	83.1	16.9	195	75.5	24.5	196
女の子	91.2	8.8	193	92.0	8.0	188	96.1	3.9	20	92.7	7.3	193	81.4	18.6	188
中学2年生計	85.3	14.7	184	87.3	12.7	189	91.8	8.2	19	76.1	23.9	184	70.4	29.6	189
男の子	84.0	16.0	94	86.5	13.5	96	90.1	9.9	10	78.7	21.3	94	69.8	30.2	96
女の子	86.7	13.3	90	88.2	11.8	93	93.5	6.5	9	73.3	26.7	90	71.0	29.0	93
中学3年生計	79.7	20.3	143	78.7	21.3	141	91.7	8.3	14	79.7	20.3	143	80.1	19.9	141
男の子	79.7	20.3	79	77.9	22.1	77	92.4	7.6	7	79.7	20.3	79	81.8	18.2	77
女の子	79.7	20.3	64	79.7	20.3	64	90.9	9.1	6	79.7	20.3	64	78.1	21.9	64

テレビをみながら食事をする子どももいるため、7時15分以降は「テレビ（含むラジオ・読書）」が1割から2割弱を占める（第1-5表）。なお、この「テレビ（含むラジオ・読書）」の比率は子どもが朝起きてから寝るまでの間、外出する子どもが多い2時ごろから4時ごろを除く全ての時間帯で1割を切ることはほとんどない。

次に朝食後の行動をみていこう。

トレーニングや散歩、スポーツチームなどの「スポーツ」にでかける子どもは8時45分以降から15時45分ぐらいまでの時間帯では1割前後みられる。「レジャー・外出」は10時30分から16時15分ごろまでの間に1割前後ある。

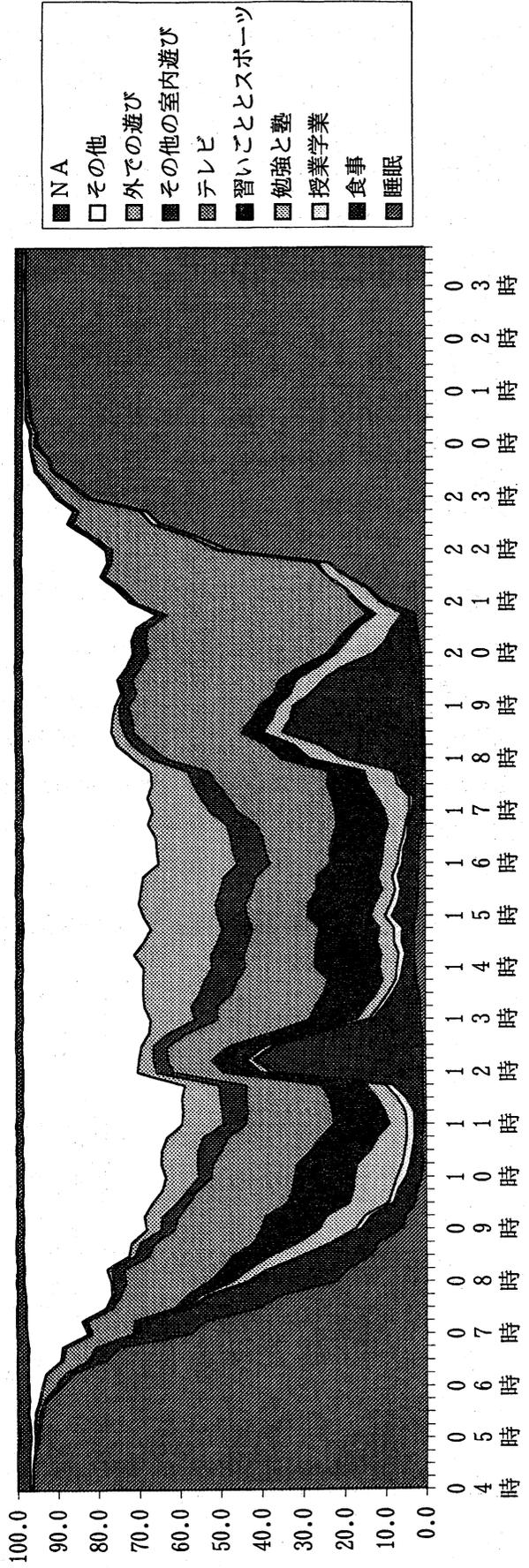
午前中の時間帯をみると、「外で遊ぶ」（外での遊びや趣味、ゲームセンター・コンビニ、学校で遊ぶ）は10時15分から11時45分までの間では1割前後みられるが、午後（14時15分～16時45分、2割弱）と比較するとやや少ない。「（家で）勉強」する子どもは、9時から10時15分までの時間帯では約1割ある。

前掲の第1-4表より食事の有無をみると、「昼食」をとらなかった子どもは12.1%いる。本報告書では時間の単位を15分間としているので、食事時間が7分以下の場合には食事シールは貼られない（詳細は本章第1節の調査方法を参照）。したがって、12.1%の子どもが全員「昼食」をとらなかったとは断言できないが、「朝食」と「昼食」を一緒にとり、1日に食事を2回しかとらない子どもがいることはうかがえる。

「昼食」をとった87.9%の子どもについて、前掲第1-3表より開始時刻をみると、早い子どもで11時45分、遅い子どもで13時となり、平均値は12時20分となる。「朝食」と比較すると、時間帯が正午前後に集中していることがわかる。

20時45分	2.1	16.5	2.0	0.2	0.7	2.6	3.2	3.4	5.4	8.6	1.0	3.4	2.4	2.1	1.4	7.5	1.4
21時00分	10.4	12.1	0.7	0.2	1.0	3.2	1.9	2.2	4.4	5.6	0.7	1.2	1.0	1.4	1.4	5.0	1.4
21時15分	18.9	10.7	1.2	0.2	1.0	2.9	1.9	2.7	4.6	4.6	0.5	1.0	1.0	1.4	1.4	6.0	1.4
21時30分	23.3	7.7	0.2	0.2	0.5	1.7	2.4	2.4	2.4	4.1	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	5.3	1.4
21時45分	47.5	11.3	0.2	0.2	1.0	1.7	2.2	2.2	2.2	2.4	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	3.7	1.4
22時00分	54.9	7.3	0.2	0.2	0.5	1.4	1.7	1.7	1.9	2.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
22時15分	67.4	4.5	0.2	0.2	0.2	1.4	1.4	1.4	2.2	1.4	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
22時30分	81.5	4.4	0.2	0.2	0.2	1.0	1.4	1.4	1.4	1.4	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
22時45分	85.1	4.4	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.4	1.4	1.4	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
23時00分	90.1	1.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.4	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
23時15分	91.6	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
23時30分	94.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
23時45分	96.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
0時00分	97.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
0時15分	97.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
0時30分	97.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
0時45分	97.6	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
1時00分	97.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
1時15分	97.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
1時30分	97.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
1時45分	97.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
2時00分	97.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
2時15分	97.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
2時30分	97.6	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4
2時45分	97.6	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.4	1.4	2.4	1.4

参考図A 土曜日の時間帯別にみた行為比率 <小学生の場合>



再び第1-5表より昼食後の行動をみると、「外での遊び」に出かける子どもが午前中よりも増えている。13時から17時45分までの時間帯では1割を超え、うち14時15分から16時45分までの間は2割弱とやや多い。また、「テレビゲーム」をしている子どもは13時15分から15時45分までの時間帯では7~8%台を保っている。常時、1割前後を占めていた「テレビ(含むラジオ・読書)」は17時以降になるとさらに増加し、2割を超える。また、「家事手伝い」をしている子どもは、「夕食」が始まる前の時間帯(17時から18時まで)で5~6%みられる。

「夕食」は94.8%とほとんどの子どもがとっており(図表省略)、早い子どもでは18時、遅い子どもでは19時45分が開始時刻となる(平均18時42分、前掲第1-3表)。

この「夕食」のなかには「テレビを見ながら食事」といった回答が含まれており、比率にすると45.4%と多くの子どもが「テレビを見ながら夕食をとっている」ことになる(第1-6表)。したがって、再び行為比率をみると、夕食が集中する時間帯(18時台、19時台)も「テレビ(含むラジオ・読書)」の比率は減少することなく徐々に増加し、18時15分では4人に1人、19時30分では3人に1人、20時45分には2人に1人の割合でみられる。21時45分以降は徐々に減少するが、22時45分でも1割強いる。

夜に「(家で)勉強」する子どもは20時から20時15分の時間帯に8%おり、日曜日(20時~21時45分、12~17%)や平日(20時~21時15分、22~25%)と比べると少ない。

「身の回りの用事」(「入浴」など)は19時45分から22時くらいまでの時間帯には1割前後みられ、早い子どもでは21時に、遅い子どもでは23時30分に就寝する(前掲第1-3表)。平均就寝時刻は22時22分で、日曜日(21時53分)や平日(22時2分)よりも「就寝」時刻は後ろにずれており、順に29分差、20分差となっている。

第1-6表 TVをみながら食事をするかどうか(夕食の場合)

	土曜日			日曜日			平日		
	する	しない	計	する	しない	計	する	しない	計
小学生計	45.4	54.6	368	46.6	53.4	373	48.2	51.8	398
男子	42.1	57.9	183	44.8	55.2	192	50.8	49.2	197
女子	48.6	51.4	185	48.6	51.4	181	45.8	54.2	201
中学2年生計	50.0	50.0	176	44.9	55.1	178	48.6	51.4	185
男子	47.3	52.7	91	44.0	56.0	91	47.9	52.1	96
女子	52.9	47.1	85	46.0	54.0	87	49.4	50.6	89
中学3年生計	37.7	62.3	138	44.4	55.6	135	42.6	57.4	141
男子	39.7	60.3	78	46.6	53.4	73	42.1	57.9	76
女子	35.0	65.0	60	41.9	58.1	62	43.1	56.9	65

以上で1日の生活の流れをみてきたが、以下からは主な行動に費やす時間数についてまとめている。

なお、ここで示す平均時間は、調査日にその行動をとらなかった子どもが含まれた平均値であり、実際にその行動をとった子ども（行為者）の平均値ではない。なお、本報告書ではとくに断わりのない限りは0分の子どもを含んだ平均値であり、行為者のみの平均値を使用している場合はその旨を別に表記している。

では、以下からは、主な行動についての平均時間をみていこう（第1-7表）。

「身の回りの用事」は55分、「食事」は1時間41分である。後述するが、小学生は中学生と比べると、1日に食事を3回とる子どもが多いので、単純に計算すれば1食あたり30分強をあてていることになる。

「スポーツ」は1時間2分である。前述したように、この平均値には「スポーツ」をしなかった子どもが含まれているので、行為者のみの平均値よりも短いことに注意が必要である。以下も同様であり、「買物・ショッピング」を含む「レジャー外出」の時間は1人あたり1時間2分である。

次に遊びの時間についてみていこう。

「テレビ（含むラジオ・読書）」は3時間19分、「テレビゲーム」は49分、「その他の室内遊び」は43分、「会話」は17分である。うちもっとも長い「テレビ（含むラジオ・読書）」について内訳を示すと、「テレビ・ビデオ」が2時間28分ともっとも長く、「本や新聞・マンガを読む」が45分、「ラジオ・CD・カセット」が6分となっている（図表は資料参照）。これらに対し、「外遊び」の時間は1時間9分と短い。

勉強時間についてみると、「（家での）勉強」は40分、「塾」は10分で、両者を合わせた勉強時間は50分である。

その他の主な行動をみると、「習いごと」は23分である。「家事手伝い」の時間は22分であるが、平日の6分と比べると多い。また、「休養」は33分である。

次に、「睡眠時間」についてみていこう。

本調査では、既に述べた理由から、1日を午前4時からの24時間としている。したがって、本調査で“1日の「睡眠時間」と表記する場合は、調査日の午前4時から起床時刻までの睡眠時間に昼寝時間、及び就寝時刻から翌朝の午前4時までの睡眠時間を合わせた時間をいう。

土曜日における1日の「睡眠時間」をみると、短い子どもで7時間45分、長い子どもで10時間30分となり、平均では9時間9分となるが、土曜日の就寝時刻（22時22分）から翌朝（日曜日）の起床時刻（7時36分）までの睡眠時間を算出すると、9時間14分となる。

第1-7 土曜日の主な行動に費やす時間(平均値・分位数)

	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分
小学生計 N=411	平均	55	101	0	9	22	46	33	17	40	10	23	62	199	49	43	62	69	47
	9/10	630	165	0	0	60	120	90	51	120	0	90	246	360	150	135	195	225	150
	3/4	600	120	0	0	30	60	45	30	60	0	30	60	270	75	60	75	120	56
	1/2	540	90	0	0	0	30	15	0	15	0	0	0	195	0	0	0	0	0
	1/4	510	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0
1/10	465	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	
中学2年生計 N=194	平均	532	96	8	105	18	55	35	16	69	22	12	13	210	35	21	65	39	31
	9/10	645	150	0	395	60	150	105	45	195	120	45	17	405	122	78	240	180	77
	3/4	600	120	0	180	15	75	45	15	120	0	0	0	300	45	0	60	0	30
	1/2	533	90	0	0	0	30	15	0	45	0	0	0	180	0	0	0	0	0
	1/4	480	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0
1/10	420	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	
中学3年生計 N=145	平均	527	91	8	93	14	35	46	20	104	36	9	10	225	31	26	36	31	35
	9/10	630	150	0	405	45	105	120	60	270	150	0	45	450	105	105	120	105	135
	3/4	570	105	0	0	15	45	75	34	165	15	0	0	330	19	15	19	4	30
	1/2	525	90	0	0	0	15	30	0	90	0	0	0	195	0	0	0	0	0
	1/4	480	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	0	0	0	0	0
1/10	420	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	

(2) 日曜日の場合

日曜日の場合は土曜日の生活のリズムと類似している。したがって、ここでは土曜日の生活と異なる部分について述べていこう（第1-8表）。

「レジャー外出」は11時15分ごろから16時45分ごろまでの時間帯では1割前後みられ、土曜日よりも時間帯が後ろにずれている。

土曜日では、17時前後から「テレビ（含むラジオ・読書）」に徐々に集中し始めていたが、日曜日の17時前後の時間帯をみると、「テレビ（含むラジオ・読書）」以外に、「その他の室内遊び」や「(家で)勉強」もそれぞれ1割前後いる。うち「その他の室内遊び」は14時15分から17時45分までの間に比較的多くみられる。

「夕食」の時間帯は土曜日とほぼ同様であるが、夕食後の過ごし方は異なっている。

夕食後の行動では、「テレビ（含むラジオ・読書）」がもっとも多いが、2人に1人の割合に達するのは20時から20時30分までの時間帯であり、21時には4人に1人の割合に減少している。土曜日に比べ、ピーク時は30分ほど前だおしになっている。

また、「(家で)勉強」は20時から21時45分までの時間帯では1割台みられ、とくに20時45分から21時15分までの間は15~17%と多めである。土曜日の場合は、20時から20時15分までの時間帯に8%とやや目立つ程度であるのと比較すると、日曜日の方がより多くの子どもが夕食後に勉強をしているといえる。

就寝時刻は土曜日よりも全体的に前だおしになっており、早い子どもで21時、遅い子どもで22時56分である。平均時刻は土曜日よりも29分早い21時53分である。

主な行動についての平均時間の結果を示しながら、再度、土曜日の生活との違いを整理してみよう（第1-9表）。

既に述べたように、夕食前後の過ごし方は土曜日の場合と異なっており、「(家で)勉強」する子どもは日曜日に多かった。したがって、日曜日の「(家で)勉強」時間は59分となり、土曜日（40分）より19分長くなっている。

「テレビ（含むラジオ・読書）」は2時間52分で、土曜日に比べ27分短い。これは、夕食前後に「(家で)勉強」する子どもが土曜日よりも多く、「テレビ（含むラジオ・読書）」にあてる子どもが少ないことと、「就寝時刻」が土曜日よりも早いことが反映している。

その他、「テレビゲーム」も38分と土曜日より11分短い。

1日の「睡眠時間」は、短い子どもで8時間23分であるのに対し、長い子どもでは11時間15分となっている。平均「睡眠時間」は9時間43分となるが、日曜日の就寝時刻（21時53分）から翌朝（月曜日）の起床時刻までの睡眠時間を算出すると、8時間50分となる（本調査では月曜日の生活時間は調査していない。そこで、平日の起床時刻（6時43分）はほぼ変わらないと考え、睡眠時間を推定した）。

この推定値を土曜日の夜から日曜日の朝にかけての睡眠時間（9時間14分）と比較すれば、日曜日から平日にかけての睡眠時間は24分短い。

第1-9表 日曜日の主な行動に費やす時間(平均値、分位数)

	平均	9/10	3/4	1/2	1/4	1/10	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	分業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分	
小学生計 N=411	583	53	109	1	16	21	44	34	19	59	6	10	69	172	38	38	38	38	38	172	38	38	38	58	59	46
	675	105	180	0	0	68	105	90	60	135	0	30	338	315	135	135	0	30	30	315	135	135	180	188	180	
	630	60	135	0	0	30	60	45	30	90	0	0	0	240	60	60	0	0	0	240	60	60	75	90	45	
	585	45	105	0	0	0	30	15	0	45	0	0	0	150	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0	
	540	30	75	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	90	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0	0	
	503	15	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	
中学2年生計 N=194	535	56	101	0	183	12	47	34	17	87	8	7	7	190	34	18	18	7	7	190	34	18	31	45	24	
	647	105	165	0	510	30	120	105	45	210	0	0	0	360	135	75	75	0	0	360	135	75	105	210	60	
	600	60	120	0	345	0	60	45	15	135	0	0	0	255	15	0	0	0	0	255	15	0	0	0	30	
	525	45	90	0	83	0	30	15	0	60	0	0	0	173	0	0	0	0	0	173	0	0	0	0	0	
	465	30	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	
	420	15	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	
中学3年生計 N=145	568	54	96	1	70	17	35	37	18	118	35	6	10	201	33	21	21	6	10	201	33	21	48	34	33	
	705	105	150	0	330	60	90	90	75	285	210	0	30	390	105	75	75	0	30	390	105	75	165	120	105	
	634	60	120	0	0	15	45	45	15	180	0	0	0	285	34	0	0	0	0	285	34	0	49	0	30	
	555	45	90	0	0	0	0	15	0	105	0	0	0	180	0	0	0	0	0	180	0	0	0	0	0	
	495	30	60	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	90	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0	0	
	435	15	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	

(3) 平日の場合

平日は学校があるため、1日の生活は土曜日や日曜日とは全く異なっている。

起床時刻をみると、早い子どもでは6時に起きだし、遅い子どもでも7時15分には起床となる。平均起床時刻は6時43分で、土曜日（48分差）や日曜日（53分差）よりも早い（第1-10表）。

「身の回りの用事」は6時30分から7時15分までの時間帯にみられ、「朝食」は早い子どもで6時30分から、遅い子どもで7時30分にとっており、平均開始時刻は6時56分である（第1-11表）。ちなみに、「朝食」は95.9%の子どもがとっている（前掲第1-4表）。

1割の子どもは7時には家を出ており、7時45分ごろにはおよそ半数の子どもが家を出ている。したがって、多くの子どもは起床してからおよそ1時間後に家を出ていることになる。

次に、登校してから授業が始まるまでの過ごし方をみていこう。

第1-12表より調査日におけるクラブ活動への参加の有無をみると、平日の朝に活動している子どもは5.9%にとどまっている。少数ではあるが、再び第1-10表より平均値をみると、朝の練習は7時38分から開始され8時35分には終了していることがわかる。

また、授業が始まるまで学校で遊んでいる子どももおり、「外で遊ぶ」の比率は7時45分では1割、8時から8時15分までの間は2割前後を占めている。

8時15分ごろにはほとんどの子どもが登校を終えて、授業は8時30分以降から始まる。学校が終わり、下校し始めるのは14時30分ごろで、15時15分には半数の子どもが放課後を迎える。

第1-10表 起床時刻、就寝時刻、クラブ活動の開始時刻と終了時刻、食事の開始時刻
〈平日〉（平均値、分位数）

	分位	平 日							
		起床時刻・時分	就寝時刻・時分	クラブ活動開始時刻・時分	クラブ活動終了時刻・時分	クラブ活動開始時刻・時分	クラブ活動終了時刻・時分	朝食の開始時刻・時分	夕食の開始時刻・時分
小学生計	平均	6:43	22:02	7:38	8:35	15:30	17:27	6:56	18:52
	9/10	7:15	23:00	8:00	8:47	16:30	19:19	7:30	19:45
	3/4	7:00	22:30	8:00	8:45	16:00	18:15	7:15	19:15
	1/2	6:45	22:00	7:38	8:30	15:15	17:15	7:00	19:00
	1/4	6:30	21:30	7:23	8:30	15:00	16:30	6:45	18:30
	1/10	6:00	21:00	7:14	8:15	14:30	16:10	6:30	18:00
		(399)	(410)	(24)	(24)	(42)	(42)	(393)	(398)
中学2年生計	平均	6:40	22:59	7:21	8:24	15:59	18:21	6:50	19:03
	9/10	7:15	24:00	7:45	8:45	16:57	19:00	7:30	20:00
	3/4	7:00	23:30	7:30	8:30	16:30	18:45	7:15	19:30
	1/2	6:45	23:00	7:30	8:23	16:00	18:15	6:45	19:00
	1/4	6:30	22:30	7:15	8:15	15:30	18:00	6:30	18:30
	1/10	6:00	22:00	7:00	8:08	15:00	17:30	6:15	18:15
		(192)	(193)	(40)	(40)	(137)	(137)	(178)	(185)
中学3年生計	平均	6:56	23:22	7:30	8:23	16:11	18:23	6:59	19:03
	9/10	7:30	24:30	7:45	8:30	17:21	19:15	7:30	20:15
	3/4	7:00	24:00	7:38	8:30	16:49	18:53	7:15	19:30
	1/2	7:00	23:15	7:30	8:30	16:00	18:15	7:00	19:00
	1/4	6:30	22:45	7:23	8:15	15:30	17:41	6:45	18:30
	1/10	6:15	22:15	7:15	8:00	15:18	17:15	6:30	18:00
		(145)	(145)	(4)	(4)	(21)	(21)	(133)	(141)

(注) () 内は件数

放課後、クラブ活動をする子どもの比率を再び第1-12表よりみると、10.2%にとどまっているものの、朝の練習と比べると参加率は高い。平均すると、部活動は15時30分に開始され、17時27分には終了しており、活動時間はおよそ2時間となっている（前掲第1-10表）。

その他の行動についてみると、放課後に「外で遊ぶ（学校で遊ぶを含む）」子どもは17時15分までに1割強みられ、「習いごと」に行く子どもが16時30分から17時30分までの時間帯では6～9%、「塾」は17時から18時15分までの間で7～9%いる。

「(家で)勉強」している子どもは夕食後の時間帯（20時30分～21時、24～25%）と比べると少ないものの、16時30分から19時30分までの間では、1割前後いる。

また、「テレビ（含むラジオ・読書）」の比率は16時45分以降から連続的に一定程度の比率を占めている。

「夕食」についてみると、早い子どもでは18時、遅い子どもで19時45分にとり始め、平均開始時刻は18時52分となる（前掲第1-10表）。平均値と比較すると、土曜日や日曜日より若干開始時刻が後ろにずれており、この傾向は中学生でもみられる。

ちなみに、「テレビをみながら夕食をとる」小学生の比率を前掲の第1-6表よりみると、48.2%となっており、土曜日や日曜日と同程度みられる。

「家事手伝い」をしている子どもは少数ではあるが、18時30分から18時45分までの時間帯では5%みられる。

連続的にみられる「テレビ（含むラジオ・読書）」であるが、「夕食」後の時間帯にあたる19時30分から20時30分までの間は3割を占め、ピークに達する。ただし、土曜日や日曜日のピーク時には半数前後を占めていたのと比べると明らかに少ない。それは、「(家で)勉強」をする子どもが「夕食」後の19時30時ごろから2時間後の21時45分までの時間帯に1割を超えているからであり、うち20時30分から21時までの間は4人に1人が勉強している。

第1-12表 クラブ活動の有無

	土曜日	日曜日	平日の朝	平日の放課後	計
	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	
小学生計	2.0 98.0	2.2 97.8	5.9 94.1	10.2 89.8	411
男の子	2.0 98.0	2.5 97.5	5.4 94.6	8.8 91.2	205
女の子	1.9 98.1	1.9 98.1	6.3 93.7	11.7 88.3	206
中学2年生計	25.3 74.7	48.5 51.5	20.6 79.4	70.6 29.4	194
男の子	29.7 70.3	47.5 52.5	22.8 77.2	69.3 30.7	101
女の子	20.4 79.6	49.5 50.5	18.3 81.7	72.0 28.0	93
中学3年生計	8.3 91.7	6.2 93.8	2.8 97.2	14.5 85.5	145
男の子	10.1 89.9	6.3 93.7	2.5 97.5	12.7 87.3	79
女の子	6.1 93.9	6.1 93.9	3.0 97.0	16.7 83.3	66

「身の回りの用事」は20時ごろから21時30分までの時間帯では1割台みられ、早い子どもでは21時に、遅い子どもでは23時に床についている。平均就寝時刻は22時2分となり、日曜日（21時53分）よりは遅いものの、土曜日（22時22分）よりは早まっている（前掲第1-10表）。

では、以下から平日の主な行動についての平均時間の結果をみていこう（第1-13表）。

「身の回りの用事」は43分で土曜日や日曜日と比べると短い。「食事」は1時間6分であるが、これには学校で食べる給食の時間は含まれていない。

平日は1日の大部分を学校で過ごしており、時間にするとはほぼ8時間を費やしている。うち「授業（休憩・給食・ホームルーム・掃除を含む）」は6時間39分で、登校時間や下校時間とクラブ活動や学校の行事の時間を合わせた「授業以外の学業」の時間は1時間19分である。

「(家での)勉強」は1時間7分であり、「塾」の14分を合わすと、勉強時間計は1時間21分となる。また、「習いごと」は15分で、「スポーツ」は17分である。

遊び関連の行動をみると、「テレビ（含むラジオ・読書）」が1時間34分でもっとも長い。その大部分は「テレビ・ビデオ」で1時間15分となっており、「本や新聞・マンガを読む」が16分、「ラジオ・CD・カセット」が3分である（図表は資料参照）。その他、「テレビゲーム」が13分、「その他の室内遊び」が9分で、話をしたり、電話をしたりする「会話」は10分である。これらに対し「外での遊び」は39分にとどまっている。

また、これらの遊び時間と比べると、「家事手伝い」は6分と短い。

1日の「睡眠時間」は短い子どもで7時間30分、長い子どもで9時間30分となり、平均時間は8時間35分である。平日の平均就寝時刻（22時2分）と平均起床時刻（6時43分）は曜日を問わずほぼ変わらないとすれば、平日の夜から翌朝にかけての睡眠時間は8時間41分である。前述した睡眠時間（8時間35分）の値と異なっているのは、回答者の記入忘れなどにより、起床時刻の判別が不可能であったケースが数件あることによる。

ちなみに、この睡眠時間の推定値で曜日による比較を試みると、土曜日の夜から翌朝にかけての「睡眠時間」が9時間14分ともっとも長く、日曜日の夜から翌朝にかけての「睡眠時間」（8時間50分）がそれに続き、平日の夜から平日の朝までの「睡眠時間」（8時間41分）がもっとも短くなっている。

第1-13表 平日の主な行動に費やす時間（平均値、分位数）

		睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	分学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分
小学生計 N=411	平均	515	43	66	399	79	6	19	9	10	67	14	15	17	94	13	9	3	39	17
	9/10	570	75	90	495	150	30	53	30	30	135	60	60	75	180	60	30	0	120	60
	3/4	555	60	75	465	90	0	30	15	15	90	0	15	0	135	0	0	0	60	15
	1/2	525	45	60	420	45	0	0	0	0	60	0	0	0	90	0	0	0	15	0
	1/4	495	30	45	375	30	0	0	0	0	30	0	0	0	45	0	0	0	0	0
	1/10	450	15	30	300	30	0	0	0	0	15	0	0	0	15	0	0	0	0	0
中学2年生計 N=194	平均	460	43	64	431	168	3	15	12	9	69	26	4	5	85	11	4	3	13	13
	9/10	525	75	92	525	270	0	30	32	30	137	120	0	0	180	45	0	0	32	32
	3/4	495	60	75	495	210	0	30	15	0	90	0	0	0	135	0	0	0	0	15
	1/2	465	45	60	450	165	0	0	0	0	60	0	0	0	75	0	0	0	0	0
	1/4	420	30	45	420	105	0	0	0	0	15	0	0	0	30	0	0	0	0	0
	1/10	390	15	30	345	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学3年生計 N=145	平均	453	47	62	451	73	3	16	21	7	96	43	3	5	96	11	8	3	14	26
	9/10	525	75	90	540	180	15	60	60	30	195	150	0	30	195	60	15	0	45	90
	3/4	480	60	75	495	75	0	30	30	0	135	90	0	0	124	0	0	0	0	30
	1/2	450	45	60	465	60	0	0	0	0	90	0	0	0	90	0	0	0	0	0
	1/4	420	30	45	420	30	0	0	0	0	30	0	0	0	45	0	0	0	0	0
	1/10	375	15	30	375	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 中学2年生の生活時間

次に中学2年生についてみていこう（有効回答194名）。

(1) 土曜日の場合

まず、土曜日の起床時刻からみていこう（前掲第1－3表）。

早い子どもは6時15分に起き出すが、遅い子どもでは9時30分まで寝ている。平均起床時刻は7時52分となるが、小学生（7時31分）と比べると、中学2年生の方が21分遅い。

前掲第1－4表より「朝食」の有無をみると、「朝食」をとらなかった子どもは14.7%みられ、小学生（6.2%）の倍以上ある。また、「昼食」をとらなかった子どもが23.9%あり、小学生（12.1%）よりも多い。そこで、第1－14表より朝食の有無と昼食の有無をクロスしてみると、「朝食」と「昼食」の両方をとった子どもは63.6%にとどまり、どちらか一方しかとらなかった子どもが34.2%（朝食のみ21.7%、昼食のみ12.5%）と少なくない。

「朝食」をとった85.3%の子どもについて開始時刻をみると、早い子どもで6時30分、遅い子どもで9時45分となり、平均開始時刻は8時6分となる。

次に朝食後の活動をみていこう。

後述する第5章でも述べるが、中学2年生では5人に4人以上の割合で学校のクラブに所属している。そこで、前掲第1－12表より、土曜日（学校5日制が実施される土曜日）に部活動をした子どもの比率をみると、中学2年生全体のうち25.3%を占めている。

第1－14表 朝食および昼食の有無の比率

		土曜日の昼食の有無			日曜日の昼食の有無		
		あり	なし	計	あり	なし	計
中学2年生計		184 100.0			189 100.0		
朝食の有無	あり	117 63.6	40 21.7		115 60.8	50 26.5	
	なし	23 12.5	4 2.2		18 9.5	6 3.2	
中学3年生計		143 100.0			141 100.0		
朝食の有無	あり	91 63.6	23 16.1		87 61.7	24 17.0	
	なし	23 16.1	6 4.2		26 18.4	4 2.8	

（注）日帰りレジャーや宿泊旅行に出かけた子どもは除いてある。

さらに、実際に活動した子どもを対象に部活動の開始時刻を第1-15表より分布でみると、「7時台」が22.4%、「8時台」が20.4%となっており、7時から9時までの間に多くの子どもが部活動を開始していることがわかる。また、「13時台」が14.3%みられるので、午後に部活動のある子どもでは13時から14時までの間に開始していることがわかる。なお、第1-16表より、「授業以外の学業（部活動を含む）」の行為比率をみると、7時45分から17時までの時間帯で1割を超えており、とくに午前中は2割前後と多めである。

第1-15表 中学2年生のクラブ活動・開始時刻（曜日別）

	6時未満	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	N A	計・N Aを除く	中 央 値 (時分)	平 均 値
土曜日	...	2.0	22.4	20.4	14.3	6.1	6.1	4.1	14.3	4.1	2.0	2.0	2.0	49	9:21	10:05
日曜日	...	5.3	20.2	46.8	14.9	1.1	2.1	1.1	3.2	2.1	...	2.1	1.1	94	8:31	8:48
平日 <朝>	...	5.0	95.0	40	7:28	7:21
平日 <放課後>	0.7	4.4	28.5	56.2	10.2	137	16:18	15:59

「テレビ（含むラジオ・読書）」は8時30分から1割を超えており、「レジャー外出」は11時以降では1割ある。「家事手伝い」をする子どもは10時30分から11時45分までの時間帯では5～6%ある。午前中の時間帯に「(家で)勉強」する子どもは夜の時間帯（19時45分～21時45分、1割強）と比較するとやや少なく、10時台では8～9%みられる。

「昼食」をとった76.1%の子どもの開始時刻をみると、早い子どもでは11時30分、遅い子どもでは13時となり、平均値は12時18分である。小学生と同様に、昼食の時間帯は正午前後に集中しており、平均開始時刻（小学生12時20分）もほぼ同じである（前掲第1-3表）。

昼食後も学校の部活動を含む「授業以外の学業」と「テレビ（含むラジオ・読書）」及び「レジャー外出」は引続きみられる。また、「外での遊び」は15時から16時30分までの時間帯では1割前後ある。

「(家での)勉強」と「テレビ（含むラジオ・読書）」は17時ごろより徐々に増加し始めるが、小学生ではこの時間帯には「テレビ（含むラジオ・読書）」が集中していたのと比較すると、中学2年生では「(家での)勉強」もある程度みられ、異なっている。

「家事手伝い」は17時30分から18時までの間に5%みられる。

第5章でも述べるが、中学2年生は小学生と比べると通塾率は高い（小学生23.9%→中学2年生50.7%）。そこで、行為比率で「塾」をみると、18時30分ごろから21時45分までの時間帯では6～9%あり、小学生（3%以下）よりもかなり多くなっている。また、「習いごと」は19時30分から19時45分までの間に4%ある。

「夕食」は、「朝食」や「昼食」の場合と異なり、95.7%とほとんどの子どもがとっている（図表省略）。平均開始時刻は18時49分であり、早い子どもでは18時、遅い子どもでは19時45分に開始してい

る。なお、この時間帯は小学生と同様である（前掲第1-3表）。

前述したように、この「夕食」には「テレビを見ながら食事」といった回答も含まれており、「夕食」をとった子どものうちの50.0%がそれにあたる（前掲第1-6表）。この比率は日曜日（44.9%）や平日（48.6%）の場合とほぼ同様であり、また、小学生とも類似している。

夕食を済ませると、「(家で)勉強」にとりかかる子どもが増加する。19時45分から21時45分までの時間帯では1割を超えており、小学生（1割未満）と比べると多い。

「テレビ(含むラジオ・読書)」は19時45分から3割を占めるようになり、その後も同比率は徐々に増加し、21時30分は2人に1人の割合へとピークに達している。22時台でも3人に1人は「テレビ(含むラジオ・読書)」にあてており、23時15分でも1割台みられる。「テレビ(含むラジオ・読書)」の比率が1割を切る時刻は23時30分であり、小学生（23時）と比べると、中学2年生の方が30分ほど後ろにずれている。

「身の回りの用事」は20時から22時45分までの時間帯にみられるが、小学生（19時45分～22時）と比べると時間帯は後ろにずれている。

就寝時刻をみると、早い子どもでは22時、遅い子どもでは24時に床につき、平均就寝時刻は23時3分となる。小学生の就寝時刻（22時22分）と比べると、41分ほど遅い（前掲第1-3表）。

次に、主な行動についての平均時間をみていこう（前掲第1-7表）。

中学2年生の特徴は部活動の時間が一定程度を占めることであり、「授業以外の学業」の時間は平均で1時間45分となる（うち「クラブ活動」は1時間9分、図表は資料参照）。

また、中学2年生になると勉強にあてる時間が小学生よりも長くなり、「(家での)勉強」が1時間9分（小学生との差29分、以下同様）、「塾」が22分（12分差）である。逆に、「習いごと」は12分（11分差）、「スポーツ」は13分（49分差）で、それぞれ小学生より短い。

次に、遊び時間についてみていこう。中学2年生でも小学生と同様に、「テレビ・ビデオ」がもっとも長く、2時間34分となっている（図表は資料参照）。これに「ラジオ・CD・カセット」の15分と、「本や新聞・マンガを読む」の41分を合わせた「テレビ(含むラジオ・読書)」は3時間30分となる。また、「テレビゲーム」は35分で、「その他の室内遊び」は21分、「会話」は16分である。これらに対し、「外での遊び」は39分にとどまっている。

その他、「レジャー外出」は1時間5分、「身の回りの用事」が55分、「食事」が1時間36分、「休養」が35分となる。

1日の「睡眠時間」は短い子どもで7時間、長い子どもで10時間45分となり、平均では8時間52分となる。ただし、土曜日の就寝時刻（23時3分）から日曜日の起床時刻（7時38分）までの睡眠時間を算出すると、8時間35分であり、小学生（9時間14分）より39分短くなっている。

第1-16表 土曜日の時間帯別にみた行為比率〈中学2年生の場合〉

N=194

	(1) 睡眠	(2) 身の回りの用事	(3) 家事	(4) 授業	(5) 授業以外の学業	(6) 読書	(7) 移動	(8) 休養	(9) 会話	(10) 勉強	(11) 塾	(12) 習いごと	(13) スポーツ	(14) テレビ・映画	(15) テレゲーム	(16) その他の室内遊び	(17) ショッピング	(18) 外出	(19) その他	N	A
4時00分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
4時15分	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	7	7
4時30分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
4時45分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
5時00分	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	7	7
5時15分	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7
5時30分	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	7	7
5時45分	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7
6時00分	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
6時15分	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7
6時30分	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
6時45分	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
7時00分	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7
7時15分	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7
7時30分	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7
7時45分	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7
8時00分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
8時15分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
8時30分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
8時45分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
9時00分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
9時15分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
9時30分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
9時45分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
10時00分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
10時15分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
10時30分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
10時45分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7
11時00分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
11時15分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
11時30分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
11時45分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
12時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
12時15分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
12時30分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
12時45分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
13時00分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
13時15分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
13時30分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
13時45分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
14時00分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
14時15分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
14時30分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
14時45分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
15時00分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
15時15分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
15時30分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
15時45分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7
16時00分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
16時15分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
16時30分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
16時45分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
17時00分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
17時15分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
17時30分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
17時45分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7
18時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
18時15分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
18時30分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
18時45分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
19時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
19時15分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
19時30分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
19時45分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
20時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
20時15分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
20時30分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
20時45分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
21時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
21時15分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
21時30分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
21時45分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
22時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7

(2) 日曜日の場合

小学生と同様に、中学2年生も土曜日と日曜日の生活パターンは類似しているため、土曜日と異なる部分について述べることにする。

朝は早い子どもで6時に起床し、遅い子どもでは9時30分に起床となる。平均起床時刻は7時38分で、土曜日(7時52分)と比べると早い(前掲第1-3表)。

このように、起床時刻が早まっているのは部活動に出かける子どもが多いからである。ちなみに、日曜日に実際、部活動に出かけた子どもの比率は48.5%である(土曜日の場合は25.3%、前掲第1-12表)。

日曜日にも土曜日と同様に「朝食」と「昼食」を合せてとる子どもが一定程度みられる(前掲第1-14表)。「朝食」をとった87.3%の子どもについて、その開始時刻をみると、早い子どもで6時15分、遅い子どもで9時30分となる。平均すると7時46分であるが、土曜日(8時6分)と比べると前だおしになっている。これには、学校のクラブで活動する子どもが土曜日よりも多くみられることが反映している。

そこで、「授業以外の学業(部活動含む)」の行為比率を第1-17表よりみると、7時30分から1割を超え、その後も徐々に増加し、9時から11時30分までの時間帯では4割前後を占める。同比率は午後になっても15時30分までの時間帯では2割台で推移するが、それ以降17時までの間は1割台で推移する。

ちなみに、クラブ活動の開始時刻の分布を前掲の第1-15表よりみれば、「8時以降9時未満」が46.8%でピークとなっており、半数近い子どもは8時台に部活動が始まっていることがわかる。学校5日制が実施されている土曜日では午後から部活動に参加している子どもも一定程度みられたが、日曜日の場合は午後から部活動が始まるケースは土曜日と比べると少ない。

他方、「授業以外の学業」に出かけなかった子どもは、主に「テレビ(含むラジオ・読書)」と「(家で)勉強」にあてている。「テレビ(含むラジオ・読書)」は8時30分から1割台で推移し、「(家で)勉強」は10時15分から11時45分までの時間帯では5%前後みられる。

「昼食」をとった70.4%の子どもについて、その開始時刻をみると、早い子どもでは11時45分、遅い子どもでは13時15分となり、平均値は12時23分となっている(前掲第1-3表)。

昼食後は「外での遊び」に出かける子どもが多くなり17時30分までの時間帯では1割前後で推移する。また、「(家で)勉強」している子どもは、昼食後から夕食までの間では1割弱みられる。

「テレビ(含むラジオ・読書)」は17時30分から2割を超え、「家事手伝い」をしている子どもはわずかであるが、17時15分から18時45分までの時間帯では4%みられる。

「夕食」の平均開始時刻は、土曜日(18時49分)とほぼ同時刻の18時36分であるが、夕食後、もっとも多くの子どものとる行動は「テレビ(含むラジオ・読書)」であり、20時台は4割強～5割とピークとなっている。「(家で)勉強」をする子どもも20時以降は1割を超えており、21時から21時45分までの時間帯では3割前後を占める。それ以降の時間帯では、両者ともに比率は少なくなるものの、就寝

直前までみられる行動である。これらの夕食後の行動について土曜日との比較を試みると、「テレビ（含むラジオ・読書）」のピーク時は、土曜日（21時30分）よりも早まっている。夕食後に「（家で）勉強」する子どもは土曜日では1割強にとどまっていたが、日曜日の21時台では3割前後と多くなっている。

「身の回りの用事」（含む「入浴」）は20時30分から22時30分までの時間帯では1割前後みられる。早い子どもでは21時43分には床につくが、24時まで起きている遅い子どももいる。平均就寝時刻は22時45分で、土曜日（23時3分）と比べると18分早い（前掲第1-3表）。

次に主な行動の平均時間について、土曜日と異なる部分について述べていこう（前掲第1-9表）。

日曜日は学校の部活動に参加している子どもが2人に1人の割合で見られ、土曜日（4人に1人の割合）と比べると多かった。そのため、「授業以外の学業」の時間は3時間3分となり、土曜日（1時間45分）の倍ある。

1日の流れでも述べたように、行為比率で見ると、日曜日は土曜日に比べ夕食後に「（家で）勉強」する子どもが多く、その分「テレビ（含むラジオ・読書）」にあてている子どもは少なくなっている。平均時間でもその特徴は現れており、「（家での）勉強」時間は1時間27分で、土曜日（1時間9分）より18分長い（ちなみに、日曜日の「塾」は8分）。逆に、「テレビ（含むラジオ・読書）」（3時間10分）は土曜日より20分短い。

このように、日曜日は土曜日と比べると、「授業以外の学業」や「（家での）勉強」の時間が長い。また、1日の生活の流れのところでも明らかとなったように、就寝時刻は土曜日よりも前だおしになっていることと関連して、「テレビ（含むラジオ・読書）」は土曜日よりも短い。

その他、「テレビゲーム」は34分（土曜日とはほぼ同じ）、「外での遊び」は45分（土曜日より6分長い）である。

日曜日の一日の「睡眠時間」は短い子どもで7時間、長い子どもで10時間47分となり、平均時間は8時間55分であるが、日曜日の就寝時刻（22時45分）から翌朝、つまり平日の起床時刻（6時40分）までの睡眠時間を推定すると、7時間55分となる。土曜日から日曜日にかけての睡眠時間（8時間35分）よりも短くなっている。

(3) 平日の場合

平日の生活パターンについて1日の流れに沿ってみていこう（第1-18表）。

朝は、早い子どもでは6時に起き出し、遅い子どもでも7時15分には起きる。平均起床時刻は6時40分であり、土曜日（7時52分）や日曜日（7時38分）よりも1時間前後早い。この曜日による傾向の違いは小学生と同様であり、起床時刻も小学生と大きくは変わらない（前掲第1-10表）。

「身の回りの用事」は6時30分から7時30分までの時間帯に集中している。

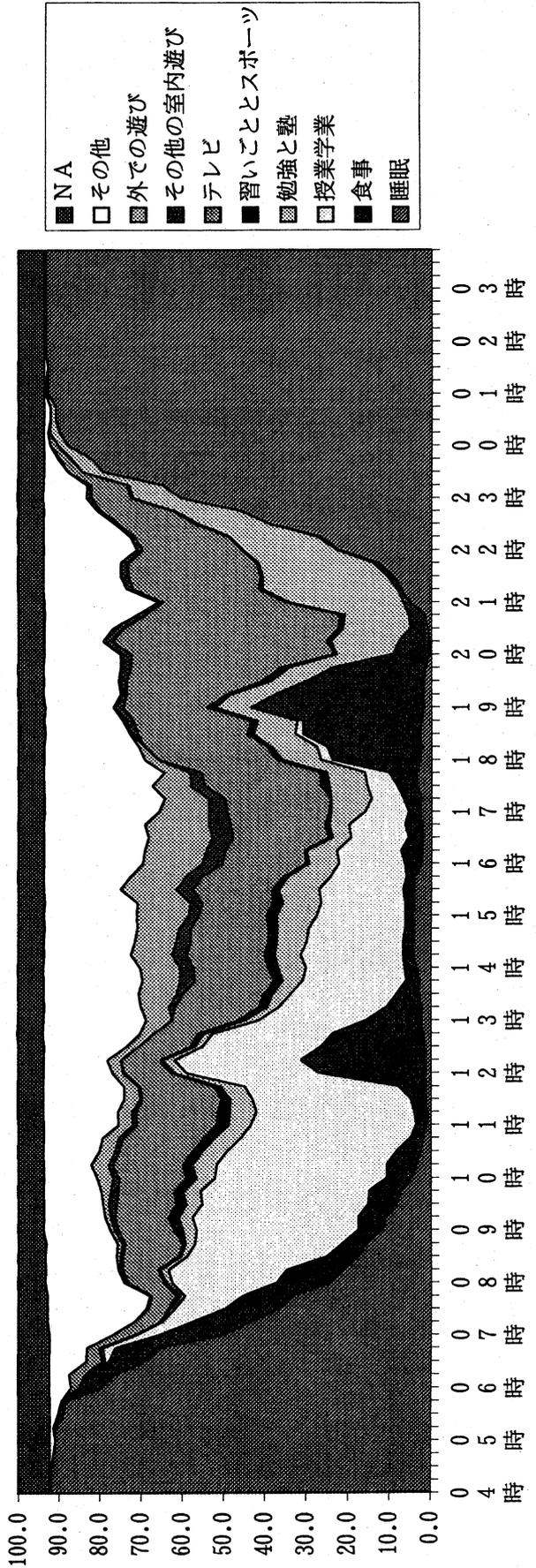
第 1-17表 日曜日の時間帯別にみた行為比率〈中学 2 年生の場合〉

N=194

時間	(1) 睡眠	(2) 身の回りの用事	(3) 食事	(4) 授業	(5) 授業以外の学業	(6) 読書・手洗い	(7) 移動	(8) 休養	(9) 会話	(10) 勉強	(11) 塾	(12) 習いごと	(13) スポーツ	(14) テレビ・読書	(15) テレビゲーム	(16) その他の室内遊び	(17) ショッピング外出	(18) 外の遊び	(19) その他	N	A
4時00分	88	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
4時15分	88	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
4時30分	91	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
4時45分	91	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
5時00分	90	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
5時15分	88	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
5時30分	76	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
5時45分	65	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
6時00分	43	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
6時15分	36	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
6時30分	32	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
6時45分	21	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
7時00分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
7時15分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
7時30分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
7時45分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
8時00分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
8時15分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
8時30分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
8時45分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
9時00分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
9時15分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
9時30分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
9時45分	11	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
10時00分	8	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
10時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
10時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
10時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
11時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
11時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
11時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
11時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
13時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
13時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
13時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
13時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
14時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
14時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
14時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
14時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
15時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
15時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
15時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
15時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
16時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
16時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
16時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
16時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
17時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
17時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
17時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
17時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
18時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
18時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
18時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
18時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
19時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
19時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
19時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
19時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
20時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
20時15分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
20時30分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
20時45分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
21時00分	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	

20時45分	1.4	10.1	3.9	...	1.4	3.4	1.2	4.4	1.2	4.4	1.0	1.0	44.9	2.4	1.9	0.5	6.3
21時00分	5.7	15.9	1.4	...	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	27.5	1.9	1.4	0.5	3.8
21時30分	9.2	22.2	1.4	...	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	30.0	1.9	1.4	0.5	3.8
21時45分	13.0	30.1	1.0	...	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	30.0	1.9	1.4	0.5	3.8
22時00分	22.6	44.2	0.5	...	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	23.2	0.5	1.4	0.5	3.8
22時15分	39.1	69.1	1.0	...	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	22.2	0.5	1.4	0.5	3.8
22時30分	45.9	84.0	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	17.9	0.5	1.4	0.5	3.8
22時45分	60.4	97.0	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	8.7	0.5	1.4	0.5	3.8
23時00分	79.2	116.2	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	3.4	0.5	1.4	0.5	3.8
23時15分	87.9	131.1	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	2.9	0.5	1.4	0.5	3.8
23時30分	89.3	132.5	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	1.9	0.5	1.4	0.5	3.8
23時45分	92.3	135.4	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	1.0	0.5	1.4	0.5	3.8
0時	92.3	135.4	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
1時	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
1時15分	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
1時30分	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
1時45分	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
2時	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
2時15分	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
2時30分	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
2時45分	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
3時	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8
3時45分	93.8	137.9	0.5	1.0	4.4	2.4	2.2	4.4	1.0	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	3.8

参考図E 日曜日の時間帯別にみた行為比率〈中学2年生の場合〉



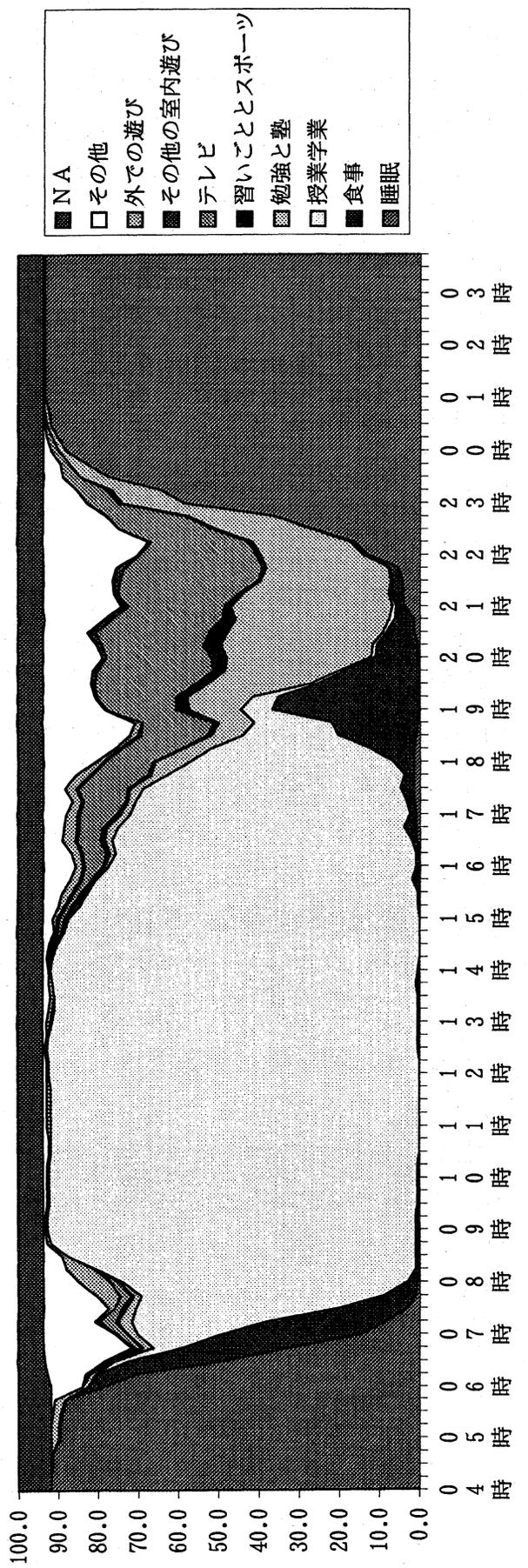
第1-18表 平日の時間帯別にみた行為比率〈中学2年生の場合〉

N=194

	(1) 睡眠	(2) 身の回りの用事	(3) 食事	(4) 娯楽	(5) 娯楽以外の学業	(6) 家事手伝い	(7) 移動	(8) 休養	(9) 会話	(10) 勉強	(11) 塾	(12) 習いごと	(13) スポーツ	(14) テレビ・漫画	(15) シンガム	(16) その他の室内遊び	(17) シヤウト外出	(18) 外での遊び	(19) その他	N	A	
4時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	
4時15分	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
4時30分	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
4時45分	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
5時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
5時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
5時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
5時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
6時00分	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
6時15分	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
6時30分	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
6時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
7時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
7時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
7時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
7時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
8時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
8時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
8時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
8時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
9時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
9時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
9時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
9時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
10時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
10時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
10時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
10時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
11時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
11時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
11時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
11時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
12時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
12時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
12時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
12時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
13時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
13時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
13時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
13時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
14時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
14時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
14時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
14時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
15時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
15時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
15時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
15時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
16時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
16時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
16時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
16時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
17時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
17時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
17時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
17時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
18時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
18時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
18時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
18時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
19時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
19時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
19時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
19時45分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
20時00分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
20時15分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
20時30分	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8

20時45分	1.4	8.2	4.8	...	0.5	1.0	1.4	0.5	1.4	1.9	2.9	1.4	0.5	2.1	4.4	6.6	3.3
21時00分	3.4	9.2	3.2	...	3.4	0.5	1.4	...	0.5	1.4	1.4	0.5	...	2.1	4.4	6.6	3.3
21時15分	4.4	9.2	3.2	...	3.4	0.5	0.5	...	0.5	1.4	1.4	0.5	...	2.1	4.4	6.6	3.3
21時30分	5.0	9.2	3.2	...	3.4	0.5	0.5	...	0.5	1.4	1.4	0.5	...	2.1	4.4	6.6	3.3
21時45分	5.0	9.2	3.2	...	3.4	0.5	0.5	...	0.5	1.4	1.4	0.5	...	2.1	4.4	6.6	3.3
22時00分	13.0	12.6	1.0	...	1.9	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
22時15分	16.4	14.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
22時30分	26.2	19.7	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
22時45分	36.2	9.7	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
23時00分	58.5	7.2	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
23時15分	64.7	3.2	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
23時30分	77.8	2.9	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
23時45分	82.7	2.9	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
0時00分	89.9	2.9	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
0時15分	91.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
0時30分	92.3	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
0時45分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
1時00分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
1時15分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
1時30分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
1時45分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
2時00分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
2時15分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
2時30分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
2時45分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
3時00分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
3時15分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
3時30分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3
3時45分	93.2	1.0	1.0	...	1.0	1.0	1.0	...	1.0	1.0	0.5	0.5	...	4.8	3.3	6.6	3.3

参考図F 平日の時間帯別に見た行爲比率〈中学2年生の場合〉



ちなみに、91.8%の子どもは平日の「朝食」をとっているが、早い子どもでは6時15分、遅い子どもでも7時30分には「朝食」を開始している。平均開始時刻は6時50分であり、小学生（6時56分）とほぼ同様である。

前述した通り、中学2年生では5人に4人以上の割合で学校のクラブ活動に所属している状況にある（詳細は第5章）。そこで、前掲の第1-12表よりクラブ活動の朝の練習に参加する子どもの比率をみると20.6%おり、その活動は7時21分から開始し、8時24分には終了している（時刻はいずれも平均値）。

授業は、8時15分ごろから8時30分ぐらいまでの間に開始される。授業が終了して放課後となるのは、早い子どもでは14時45分ごろで、半数を超えるのは15時45分ごろである。

放課後の部活動に参加した子どもは中学2年生全体のうち70.6%あり、その活動時間を平均値で見ると、15時59分から開始され、18時21分には終了していることがわかる。したがって、およそ2時間半程度の活動をしていることになる。

再び、行為比率をみると、半数の子どもが下校するのは18時以降であり、19時以降になると1割を切っている。

以下からは帰宅後の行為比率についてみていこう。

「テレビ（含むラジオ・読書）」は17時30分から1割を超え、それ以降も徐々に増加する。「夕食」の時間帯においても増加は続き、19時30分には2割を超える。ピークとなるのは21時30分から21時45分までの時間帯であるが、3人に1人の割合にとどまっており、土曜日や日曜日と比べると「テレビ（含むラジオ・読書）」にあてている人は少ない。

「夕食」は早い子どもで18時15分、遅い子どもで20時より開始しており、平均開始時刻は19時3分である（前掲第1-10表）。曜日別にみると、土曜日（18時49分）や日曜日（18時36分）よりも若干遅くなっており、この傾向は小学生や中学3年生でも同様である。

土曜日や日曜日と比較して、平日に多くみられる行動は勉強である。「塾」の時間は19時30分から20時45分までの時間帯では2割弱を占めている。「(家で)勉強」をしている子どもは19時45分から1割を超え、20時15分には2割、21時から22時15分までの時間帯ではおよそ4人に1人前後の割合となる。

最後に就寝時刻をみていこう（前掲第1-10表）。早い子どもでは22時に、遅い子どもでも24時には床につく。平均就寝時刻は22時59分である。小学生（22時2分）と比べると、57分遅いものの、小学生と同様に、就寝時刻は土曜日、平日、日曜日の順に前だおしになっている。また、この曜日による違いは中学3年生でも同様である。

では、以下からは平日における中学2年生の主な行動時間の平均値をみていこう（前掲第1-13表）。

平日は「授業（休憩・給食・ホームルーム・掃除を含む）」に7時間11分、通学時間や部活動の時間などを含む「授業以外の学業」に2時間48分を費やしており、これらを合わせると10時間程度となる。

その他の主な行動をみると、「(家での)勉強」時間は1時間9分、「塾」の時間は26分である。遊び

時間では、「テレビ（含むラジオ・読書）」が1時間25分ともっとも長い。ちなみに、「テレビ（含むラジオ・読書）」の内訳を示すと、「テレビ・ビデオ」が1時間6分で大部分を占め、「本や新聞・マンガを読む」が13分、「ラジオ・CD・カセット」が7分である（図表は資料参照）。その他、「テレビゲーム」は11分、「その他の室内遊び」は4分である。これらに対し、「外での遊び」は13分と短い。

また、勉強時間や遊びの時間と比べると「家事手伝い」は3分と非常に短い。

1日の睡眠時間をみると、短い子どもで6時間30分、長い子どもで8時間45分となる（平均7時間40分）。平日の平均就寝時刻（22時59分）と平均起床時刻（6時40分）から求めた睡眠時間は7時間41分となり、曜日別にみてももっとも短い。これに対し、もっとも長いのは土曜日から日曜日にかけての睡眠時間（8時間35分）である。

また、いずれの場合においても、睡眠時間は小学生より中学2年生の方が短くなっている。

4. 中学3年生の生活時間

中学3年生はどうだろうか（有効回答145件）。まず、土曜日についてみていこう。

(1) 土曜日の場合

1日の生活の流れをみると、土曜日の朝は早い子どもで6時15分には起き出し、遅い子どもは10時まで寝ている。平均起床時刻は8時7分であり、これを学年別に比較すると、小学生が7時31分ともっとも早く、中学2年生が7時52分でそれに続き、中学3年生がもっとも遅くなっている。時間の差を示せば、小学生より36分遅く、中学2年生とは15分差である（前掲第1-3表）。

前掲第1-4表より「朝食」の有無をみると、20.3%の子どもが「朝食」をとっておらず、小学生（6.2%）や中学2年生（14.7%）よりかなり多くなっている。また、「昼食」の場合の同比率は20.3%となり、中学2年生と同様に1日2食の食生活を送っている子どもが一定程度いることがわかる。

そこで、朝食の有無別に昼食の有無をみると、両方ともとった子どもは63.6%であり、朝食のみの場合も昼食のみの場合もそれぞれ16.1%ある。したがって、3人に1人は1日2食の生活を送っており、中学2年生（34.2%）と同程度みられる（前掲第1-14表）。

「朝食」をとった8割の子どもを対象にその開始時刻をみると、早い子どもで6時30分、遅い子どもで9時30分となり、平均開始時刻は8時6分となる。この平均値は平均起床時刻と同時刻であるが、これは、「朝食」を食べていない子どもの起床時刻が遅いことを意味している。ちなみに、小学生の開始時刻は8時、中学2年生のそれは8時6分となっており、「朝食」の開始時刻は学年別にみても共通している。

前掲第1-12表より学校のクラブ活動に実際に参加した子どもの比率をみると、8.3%にとどまっております。中学2年生（25.3%）と比べるとかなり少ない。ただし、第1-19表より行為比率をみると、

第1-19表 土曜日の時間帯別にみた行為比率〈中学3年生の場合〉

N=145

	(1) 睡眠	(2) 身の回りの用事	(3) 食事	(4) 授業	(5) 授業以外の学業	(6) 家事	(7) 移動	(8) 休養	(9) 会話	(10) 勉強	(11) 塾	(12) 習いごと	(13) スポーツ	(14) テレビ・漫画	(15) テレゲーム	(16) その他の室内遊戯	(17) ショッピング	(18) 外出	(19) その他の遊戯	N	A
4時00分	94	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
4時15分	94	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
4時30分	94	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
4時45分	94	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
5時00分	94	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
5時15分	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
5時30分	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
5時45分	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
6時00分	84	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
6時15分	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
6時30分	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
6時45分	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7
7時00分	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
7時15分	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
7時30分	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
7時45分	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
8時00分	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
8時15分	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
8時30分	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
8時45分	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
9時00分	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
9時15分	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
9時30分	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
9時45分	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
10時00分	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
10時15分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
10時30分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
10時45分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
11時00分	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
11時15分	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
11時30分	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
11時45分	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
12時00分	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
12時15分	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
12時30分	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
12時45分	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
13時00分	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
13時15分	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
13時30分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
13時45分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
14時00分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
14時15分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
14時30分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
14時45分	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
15時00分	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
15時15分	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
15時30分	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
15時45分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
16時00分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
16時15分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
16時30分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
16時45分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
17時00分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
17時15分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
17時30分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
17時45分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
18時00分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
18時15分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
18時30分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
18時45分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
19時00分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
19時15分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
19時30分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
19時45分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
20時00分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
20時15分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
20時30分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
20時45分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
21時00分	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

「授業以外の学業」は7時15分以降、1割強みられる（中学2年生は1割強～2割）。この「授業以外の学業」の大半はクラブ活動であるが、学校行事や、高校の文化祭・体育祭の見学などの例もみられる。

中学2年生と比べて中学3年生で多くみられるのは「(家での)勉強」や「塾」、「テレビ(含むラジオ・読書)」である。午前中の行動をみると、「テレビ(含むラジオ・読書)」は9時以降の時間帯に1割強から2割、「(家での)勉強」は10時から11時30分までの間に1割台ある。

「昼食」をとった8割の子どもについてその開始時刻をみると、早い子どもで11時30分、遅い子どもで13時15分であり、平均すると12時19分となる。この時刻も学年を通して共通している（前掲第1-3表）。

なお、昼食後に「レジャー外出」をした子どもは12時30分から15時15分にかけての時間帯に7～9%みられた。

9時から1割台を占めていた「テレビ(含むラジオ・読書)」であるが、昼食後は2割を超えるまでに増加し、とくに13時30分から13時45分までの時間帯は28%台を占める。ただし、14時を過ぎると再び「(家で)勉強」をする子どもが1割前後へと増えるので、「テレビ(含むラジオ・読書)」は2割台からやや減少し、19時までの時間帯では1割台で推移する。

「夕食」は早い子どもで18時、遅い子どもで20時にとり始める。平均開始時刻は18時48分で、小学生(18時42分)や中学2年生(18時49分)とほぼ同時刻である（前掲第1-3表）。

「塾」で勉強している子どもが19時から21時15分までの間では1割みられ、「(家で)勉強」をする子どもは20時から22時45分までの時間帯では1割台ある。

また、「テレビ(含むラジオ・読書)」は19時以降から2割台へと増加し、20時30分前後の時間帯では3割に達する。21時から21時45分の時間帯がピークで4割台を占めるが、22時台においても3割を切ることはない。また、23時でも4人に1人の割合を占め、24時でも1割の子どもは「テレビ(含むラジオ・読書)」にあてている。

「身の回りの用事」は22時15分から23時までの時間帯にみられるが、その時間帯は小学生(19時45分～22時)や中学2年生(20時～22時45分)より後ろにずれている。

就寝時刻は早い子どもで22時、遅い子どもは25時(翌日の午前1時)となり、平均値では23時38分である。土曜日の就寝時刻を学年別に比較すると、受験学年の中学3年生がもっとも遅く、二番目に遅い中学2年生(23時3分)と35分差である（前掲第1-3表）。

では、主な行動について、1日における平均時間数をみていこう（前掲第1-7表）。

中学3年生の特徴は受験学年であるため「(家での)勉強」や「塾」の時間が中学2年生よりも長くなっていることである。平均時間でみると、「(家での)勉強」に1時間44分をあてており、「塾」は36分である（中学2年生では、「(家での)勉強」1時間9分、「塾」22分）。

遊び時間についてみていこう。中学3年生でも「テレビ(含むラジオ・読書)」がもっとも長く、3時間45分を費やしている。小学生よりは26分短い、中学2年生とはあまり大差ない。ちなみに、「テレビ(含むラジオ・読書)」の内訳は、「テレビ・ビデオ」が2時間29分でもっとも多く、「本や新聞・

マンガを読む」が47分、「ラジオ・CD・カセット」が29分である（図表は資料参照）。また、「テレビゲーム」は31分、「その他の室内遊び」は26分となり、これも中学2年生と同様である。なお、「会話」は20分である。これらに対し「外での遊び」は31分にとどまっている。

その他、「食事時間」は1時間31分、「身の回りの用事」は1時間2分、「休養」は46分、「レジャー外出」は36分、「家事手伝い」は14分、「スポーツ」は10分である。なお、「授業以外の学業」の時間も中学2年生とほぼ変わらず、1時間33分である。

1日の「睡眠時間」は短い子どもで7時間、長い子どもで10時間30分となり、平均値は8時間47分となる。ただし、土曜日の就寝時刻（23時38分）から翌朝の起床時刻（8時24分）までの睡眠時間は8時間46分となる。

(2) 日曜日の場合

以下からは、土曜日と異なっている部分について述べていくことにする。

第1-20表より行為比率をみると、土曜日では1割を超えていなかった「レジャー外出」が日曜日の14時から16時45分までの時間帯では1割を超えており、やや多くなっている。

また、夕食後「(家での)勉強」にとりかかる時刻は、土曜日とほぼ同じ（20時以降、1割台）であるが、21時から22時45分までの時間帯では2割を超えており、うち21時45分から22時15分までの間は3割弱の子どもが勉強をしている。土曜日や日曜日と比べると、この時間帯に勉強している子どもは相対的に多い。

したがって、「テレビ（含むラジオ・読書）」のピーク（4割前後）は20時から20時45分までの時間帯となり、土曜日のピーク（21時台）よりおよそ1時間早まっている。とはいえ、21時台でも「テレビ（含むラジオ・読書）」の比率は3割を占めている。

就寝時刻をみると、早い子どもで22時、遅い子どもは24時15分に床についている。平均値は23時9分であり、曜日別に比較すると、平日（23時22分）より13分、土曜日（23時38分）より29分それぞれ早くなっている。

上述したように、1日の生活の流れでは「(家での)勉強」と「テレビ（含むラジオ・読書）」、及び「レジャー外出」の行動が土曜日と異なっているので、以下からはこれらの行動時間数についてみていこう（前掲第1-9表）。

平均値で比較すると、「塾」は35分となり土曜日（36分）とほぼ同じであるが、「(家での)勉強」は1時間58分で土曜日（1時間44分）より14分ほど長い。また、「レジャー外出」は48分で、土曜日（36分）より12分長くなっている。

その他、「テレビ（含むラジオ・読書）」（3時間21分）は土曜日より24分短く、「授業以外の学業」（1時間10分）は、土曜日より23分短くなっている。

1日の「睡眠時間」は短い子どもで7時間15分、長い子どもで11時間45分となり、平均では9時間28分となる。ただし、日曜日の就寝時刻（23時9分）から平日の起床時刻（6時56分）までの睡眠時間

を推定すると7時間47分となり、土曜日の夜から日曜日の朝までの睡眠時間（8時間46分）と比べると、1時間ほど短い。

なお、その他の主な行動時間数は多少の差はあるが、土曜日と日曜日はほぼ類似している。

(3) 平日の場合

平日はどうだろうか。

朝は早い子どもでも6時15分に起き出し、遅い子どもでも7時30分には起きている（前掲第1-10表）。平均起床時刻は6時56分となり、土曜日（8時7分）や日曜日（8時24分）より1時間強早まっている。この傾向はいずれの学年においても共通している。

また、平日の起床時刻は小学生（6時43分）や中学2年生（6時40分）と大きな差ではないが、中学3年生がもっとも遅い。

91.7%の子どもが「朝食」をとっており、早い子どもでも6時30分、遅い子どもでも7時30分には開始している。平均開始時刻は6時59分であり、学年を通して共通している。

授業は8時30分ごろから始まり、15時15分ぐらいまで続く（第1-21表）。

放課後の部活動に参加している子どもは、中学2年生と比べるとかなり少なく、14.5%にとどまるが、前掲の第1-10表より平均値で見ると、16時11分から開始し、18時23分に終了しており、およそ2時間強をクラブ活動にあてていることがわかる。ちなみに、授業が始まる前までの朝の練習にはわずか2.8%の子どもが参加しているのみである。

学年別に放課後の部活動に参加している子どもの比率を比べると、中学3年生は中学2年生（70.6%）よりも少なくなっているため、放課後から夕食が始まるまでの時間帯の行為比率は中学2年生のそれと異なっている。

「テレビ（含むラジオ・読書）」は中学2年生では17時30分から1割を超えていたが、中学3年生では中学2年生よりも1時間ほど早い16時30分から1割を超えており、寝る直前まで、常時1～2割強みられる。

また、中学2年生では「(家での)勉強」を夕食後の時間帯にする子どもが多かったが、中学3年生では夕食前の17時以降からすでに1割前後みられる。

なお、「夕食」は早い子どもでも18時から始まり、遅い子どもでも20時15分から開始している。夕食の平均開始時刻は19時3分であり、学年別にみても大差はない。

「塾」に通う子どもは18時30分から1割を超えており、21時45分までの時間帯では一定程度みられる。うち、19時30分から20時45分までの間は2割とやや多い。

「テレビ（含むラジオ・読書）」は19時から22時45分までの時間帯では2割前後を占めるが、この行為比率は土曜日や日曜日のそれよりも少なく、中学2年生の平日（21時30分～21時45分のピーク時で32%）と比較しても少ない。また、夕食後の「テレビ（含むラジオ・読書）」の比率は「(家で)勉強」している子どもの比率を下回っており、21時30分から22時45分までの時間帯では3割前後の子どもが

「(家で)勉強」している。

平日の就寝時刻をみると、早い子どもでは22時15分、遅い子どもでは24時30分に寝ている。平均値は23時22分であり、土曜日(23時38分)がもっとも遅く、逆に日曜日(23時9分)がもっとも早くなっている。このような曜日による就寝時刻の違いは、学年を通して共通している。

また、学年別に就寝時刻を平均値でみると、中学3年生がもっとも遅く、以下、中学2年生(22時59分)が続き、小学生(22時2分)がもっとも早くなっている。また、このような傾向は、いずれの曜日においても共通している。

では、以下から平日の1日における主な行動の平均時間についてみていこう(前掲第1-13表)。

「授業(休憩・給食・ホームルーム・掃除を含む)」時間は7時間31分であるが、「授業以外の学業」は1時間13分にとどまっているので、これらを合わせると9時間弱は学校にいることになる。中学2年生の場合は、「授業以外の学業」が2時間48分と長いので、学校には10時間程おり、それと比べると、中学3年生は1時間程度短い。

中学3年生は受験学年であるので、「(家での)勉強」時間は1時間36分と中学2年生よりも27分長く、「塾」は43分で中学2年生(26分)の倍近い。また、中学2年生よりも家にいる時間が長いので、「テレビ(含むラジオ・読書)」は1時間36分で中学2年生より11分長くなっている。また、「休養」は中学2年生より9分長い21分である。

最後に平日の1日の「睡眠時間」をみていこう。短い子どもで6時間15分、長い子どもで8時間45分となり、平均値では7時間33分となる。

ただし、平日の就寝時刻と起床時刻は曜日を問わず一定であると考えると、就寝時刻(23時22分)から起床時刻(6時56分)までの睡眠時間は7時間34分と推定される。この推定値でみると、土曜日の夜から日曜日の朝までの睡眠時間(8時間46分)がもっとも長く、日曜日の夜から平日の朝までの睡眠時間(7時間47分)がそれに続き、平日の睡眠時間がもっとも短くなっている。なお、この傾向は小学生や中学2年生でもみられる。また、中学2年生と比べると、土曜日の夜から日曜日の朝までの睡眠時間以外は中学3年生の睡眠時間の方が短くなっている。したがって、睡眠時間は総じて、小学生がもっとも長く、逆に中学3年生がもっとも短くなっている。

なお、その他の行動については中学2年生の平日とほぼ変わらない。

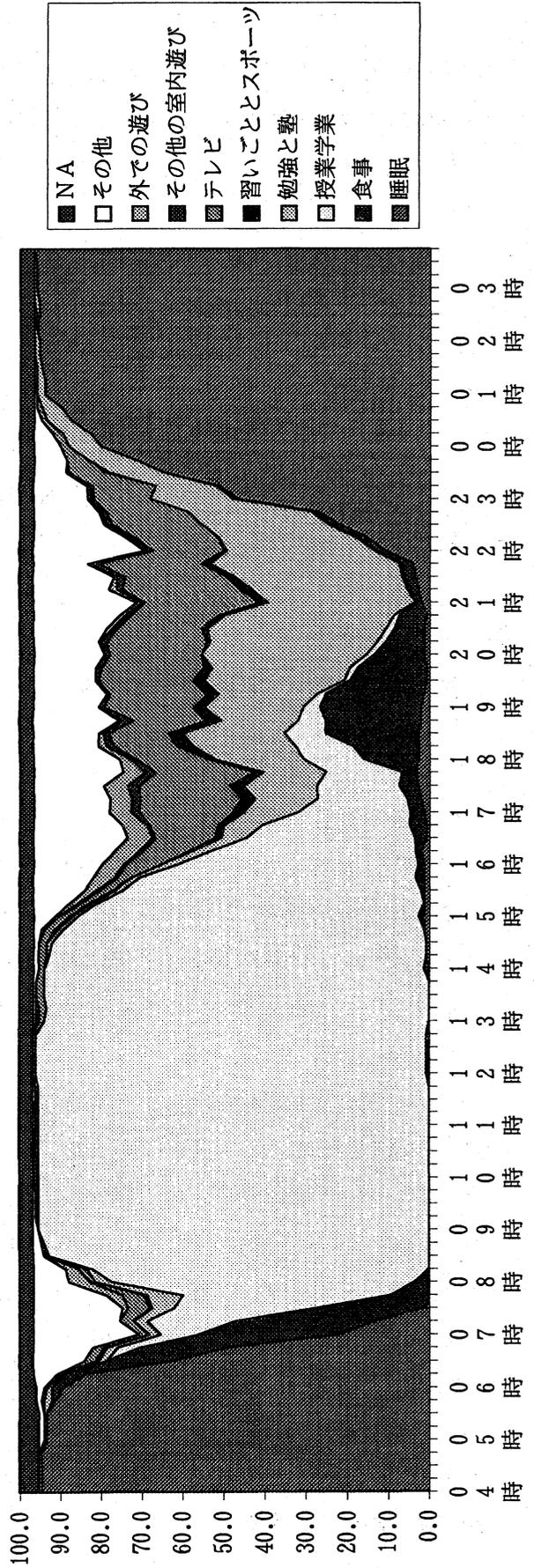
第1-21表 平日の時間帯別にみた行為比率〈中学3年生の場合〉

N = 145

	(1) 睡眠	(2) 身の回りの用事	(3) 食事	(4) 授業	(5) 授業以外の学業	(6) 家事手伝い	(7) 移動	(8) 休養	(9) 会話	(10) 勉強	(11) 塾	(12) 習いごと	(13) スポーツ	(14) テレビ・読書	(15) テレビゲーム	(16) その他の室内遊び	(17) レジャー外出	(18) 外での遊び	(19) その他	N	A		
4時00分	94.7	0.7	4.7	7		
4時15分	94.7	0.7	4.4	7	
4時30分	94.7	0.7	4.4	7	
4時45分	94.7	0.7	4.4	7	
5時00分	93.3	0.7	0.7	0.7	...	4.4	7	
5時15分	93.3	0.7	0.7	0.7	...	4.4	7	
5時30分	93.3	0.7	1.3	...	4.4	7	
5時45分	91.1	...	0.7	2.0	0.7	1.3	...	4.4	7	
6時00分	89.9	2.0	1.3	1.3	...	4.4	7	
6時15分	84.4	5.3	0.7	0.7	3.3	3	
6時30分	62.7	12.0	16.0	0.7	0.7	3.3	3	
6時45分	49.9	14.0	21.3	0.7	0.7	3.3	3	
7時00分	22.3	22.0	34.0	0.7	0.7	3.3	3	
7時15分	13.0	16.0	26.7	0.7	0.7	3.3	3	
7時30分	0.7	14.0	34.0	2.7	0.7	0.7	1.3	4.0	3	
7時45分	...	19.9	33.3	2.7	0.7	0.7	1.3	4.0	3	
8時00分	...	1.2	3.3	31.1	0.7	0.7	5.3	4.0	3	
8時15分	...	2.0	...	60.7	0.7	0.7	5.3	3.3	3	
8時30分	...	1.0	...	87.3	0.7	0.7	0.7	3.3	3	
8時45分	...	1.0	...	93.3	0.7	0.7	0.7	3.3	3	
9時00分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	3.3	3	
9時15分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	3.3	3	
9時30分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	3.3	3	
9時45分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	3.3	3	
10時00分	94.7	0.7	1.3	...	3.3	3	
10時15分	94.7	0.7	1.1	...	3.3	3	
10時30分	94.7	0.7	0.7	0.7	...	3.3	3	
10時45分	94.7	0.7	0.7	0.7	...	3.3	3	
11時00分	94.7	0.7	0.7	0.7	3.3	3	
11時15分	94.7	0.7	0.7	0.7	3.3	3	
11時30分	94.7	0.7	0.7	0.7	0.7	3.3	3	
11時45分	94.7	0.7	0.7	0.7	0.7	3.3	3	
12時00分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	3.3	3	
12時15分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	3.3	3	
12時30分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	3.3	3	
12時45分	...	0.7	...	94.7	0.7	0.7	0.7	3.3	3	
13時00分	92.0	1.3	...	0.7	1.3	0.7	3.3	3	
13時15分	92.0	1.3	2.2	3.3	3	
13時30分	92.0	1.3	2.2	3.3	3	
13時45分	1.3	90.7	2.2	2.2	1.3	3	
14時00分	0.7	90.7	2.2	0.7	2.2	1.3	3	
14時15分	0.7	88.0	3.3	1.3	2.2	1.3	3	
14時30分	1.3	84.7	3.3	1.3	0.7	2.2	0.7	2.0	3	
14時45分	1.3	...	1.3	75.3	8.0	1.3	0.7	2.2	0.7	3.3	3	
15時00分	1.3	0.7	...	67.3	12.7	...	2.7	0.7	0.7	1.3	0.7	2.2	2.0	4.0	3	
15時15分	1.3	0.7	0.7	58.0	14.7	0.7	1.3	3.3	...	2.0	0.7	1.3	2.0	0.7	0.7	2.7	6.0	3	
15時30分	1.3	0.7	2.0	52.7	14.7	0.7	2.0	6.0	...	2.0	0.7	1.3	2.0	0.7	0.7	5.3	4.7	3	
15時45分	3
16時00分	1.3	2.0	1.3	37.3	21.3	0.7	2.7	3.3	0.7	4.0	5.3	3.3	0.7	1.3	5.3	6.0	...	3.3	3	
16時15分	2.0	2.0	1.3	28.7	21.3	0.7	3.3	4.0	0.7	4.7	7.3	4.0	0.7	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
16時30分	0.7	2.7	2.0	20.0	21.3	...	6.0	5.3	...	5.3	0.7	10.7	4.0	0.7	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
16時45分	0.7	0.7	4.0	12.7	23.3	...	7.0	4.7	...	4.7	1.3	11.3	5.3	0.7	1.3	6.0	7.7	...	3.3	3	
17時00分	1.3	...	3.3	6.7	20.7	...	4.0	5.3	...	5.3	1.3	11.3	4.0	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
17時15分	2.0	2.0	3.3	6.0	16.0	...	3.3	4.7	...	4.7	0.7	11.3	6.0	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
17時30分	2.0	3.3	4.7	4.0	16.0	...	1.3	4.7	...	4.7	11.3	6.0	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
17時45分	3.3	3.3	3.3	2.0	16.7	...	3.3	6.0	...	6.0	0.7	11.3	6.0	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
18時00分	2.7	4.7	13.3	2.0	12.7	2.0	4.0	5.3	...	14.0	...	0.7	...	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
18時15分	2.2	2.7	16.0	1.3	12.7	1.3	2.7	5.3	1.3	16.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
18時30分	2.2	1.3	22.0	...	12.0	2.0	3.3	4.0	...	14.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
18時45分	2.2	2.2	23.3	...	6.7	2.2	8.0	5.3	...	16.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
19時00分	2.0	2.2	24.7	...	4.0	1.3	4.7	4.7	...	18.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
19時15分	1.0	3.3	24.0	...	2.0	2.0	5.5	3.3	...	18.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
19時30分	0.7	3.3	18.7	...	1.3	0.7	6.0	3.3	...	18.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
19時45分	0.7	4.7	16.7	1.3	6.0	3.3	...	18.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
20時00分	1.3	3.3	12.0	1.3	3.3	3.3	...	18.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
20時15分	1.3	3.3	19.9	1.3	3.3	...	18.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	
20時30分	1.3	10.7	7.3	2.2	3.3	...	18.0	10.7	7.3	2.2	2.0	6.0	7.7	...	3.3	3	

20時45分	0.7	13.3	6.7	1.3	4.0	2.7	7.0	3.7	21.0	3.0	20.0	0.7	0.7	18.3	7.0	2.7	1.0	0.7	1.3	1.3	3.3
21時00分	2.2	14.0	0.0	0.7	2.0	4.0	2.7	2.7	20.0	3.3	16.7	0.7	0.7	25.0	7.0	2.7	0.7	0.7	1.3	1.3	3.3
21時15分	3.3	8.0	2.7	0.7	4.7	4.0	0.0	1.3	23.3	3.0	14.7	0.7	0.7	26.0	7.0	2.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
21時30分	4.0	6.0	2.7	0.7	2.7	3.3	0.0	0.7	35.3	0.3	10.7	0.7	0.7	22.3	7.0	2.0	2.0	0.7	1.3	1.3	3.3
22時00分	10.3	14.0	2.0	0.7	2.7	4.0	0.0	0.7	31.3	3.3	4.7	0.7	0.7	16.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
22時15分	22.0	8.0	2.0	0.7	3.3	2.0	0.0	2.0	29.3	3.0	2.0	0.7	0.7	21.0	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
22時30分	27.0	8.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	29.3	3.0	1.3	0.7	0.7	22.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
22時45分	45.0	8.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	2.0	20.0	0.7	0.7	0.7	0.7	12.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
23時00分	61.0	6.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	13.3	3.3	0.7	0.7	0.7	19.3	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
23時15分	72.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	8.0	0.7	0.7	0.7	0.7	5.0	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
0時00分	82.0	4.3	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	6.0	0.7	0.7	0.7	0.7	2.0	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
0時15分	87.0	3.3	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	4.0	0.7	0.7	0.7	0.7	1.3	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
0時30分	90.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	2.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
0時45分	94.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
1時00分	94.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
1時15分	95.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
1時30分	95.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
1時45分	95.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
2時00分	96.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
2時15分	96.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
2時30分	96.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
2時45分	96.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
3時00分	96.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
3時15分	96.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3
3時30分	96.0	0.0	0.7	0.7	3.3	3.0	0.0	1.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.0	0.7	1.3	0.7	1.3	1.3	3.3

参考図1 平日の時間帯別に行為比率にみた行為比率〈中学3年生の場合〉



第2章 遊びについて

本章以降では、子どもの生活の諸側面ごとに子どもの意識、及びその母親の意識との関連性や、子どもの生活時間との関連性について分析を進めていく。

本章では遊びについて、①遊びの種類、②遊び場所、③遊び時間の順にみていくことにする。

1. 遊びの種類

(1) 学年別にみた特徴

放課後の自由時間に遊んでいる遊びの種類を子どもに17項目中3つ以内選択できいたところ、第2-1表のような結果をえた。

① 小学生の場合

まず、小学生についてみていこう。

	〈男の子〉	(%)	〈女の子〉	(%)
第1位	テレビゲーム	51.5	本・マンガ	56.0
第2位	本・マンガ	46.6	テレビやビデオ	52.8
第3位	サッカー	41.3	おしゃべり・電話	35.6
第4位	テレビやビデオ	35.4	自転車に乗る	21.3
第5位	バスケットボール	32.0	テレビゲーム	20.8

「本・マンガを読む」は男女ともそれぞれ上位の遊びとなっている。

その他の遊びをみると、性による違いが大きい。男の子では、「テレビゲーム（ファミコンなど）をする（ゲームセンター含む）」がもっとも多く、「テレビやビデオをみる」が第4位にあがっている。これらの“室内遊び”に加え、「サッカー」や「バスケットボール」といったボールを使ったスポーツが盛んであり、“外遊び”も一定程度みられる。

他方、女の子の遊びをみると、男の子に多くみられた球技はそれぞれ1割未満と少なく、“外遊び”としては「自転車に乗る」(21.3%)がみられる。女の子の遊びの大半は“室内遊び”であり、第1位の「本・マンガを読む」以外には、「テレビやビデオをみる」「おしゃべり・電話」が上位に上がっている。また、男の子ではトップの遊びであった「テレビゲーム」は女の子では第5位で20.8%と順位も比率も低い。

第2-1表 放課後自由時間の遊びの種類（3つ以内選択）

	サッカー	バスケットボール	野球・ソフトボール	ドッジボール	その他のボール遊び	スケートボード・ローラースケート	自転車にのる	おにごっこ・かくれんぼ	おしゃべり・電話	本・マンガを読む	音楽を聞く	テレビやビデオをみる	テレビゲームをする	トランプなどのゲームをする	カラオケをする	趣味をする	その他	N A	計	回答 累計
小学生計	21.6 ④	20.6 ⑤	10.4	7.6	6.9	4.0	19.9	7.8	20.4	51.4 ①	10.4	44.3 ②	35.8 ③	7.6	...	9.7	8.1	0.2	422	286.5
男子	41.3 ③	32.0 ⑤	19.9	9.2	4.9	2.9	18.4	4.9	4.4	46.6 ②	3.9	35.4 ④	51.5 ①	3.9	...	5.3	4.4	...	206	288.8
女子	2.8	9.7	1.4	6.0	8.8	5.1	21.3 ④	10.6	35.6 ③	56.0 ①	16.7	52.8 ②	20.8 ⑤	11.1	...	13.9	11.6	0.5	216	284.3
中学2年生計	11.6	17.9	10.6	0.5	10.1	1.9	5.3	0.5	26.6 ⑤	42.0 ②	34.8 ③	44.4 ①	28.5 ④	1.0	...	5.8	20.8	1.0	207	262.3
男子	22.0	24.8 ⑤	12.8	0.9	7.3	2.8	8.3	...	7.3	47.7 ②	27.5 ④	42.2 ③	49.5 ①	1.8	...	5.5	13.8	0.9	109	274.3
女子	...	10.2	8.2	...	13.3	1.0	2.0	1.0	48.0 ①	35.7 ④	42.9 ③	46.9 ②	5.1	6.1	28.6 ⑤	1.0	98	249.0
中学3年生計	11.3	9.9	5.3	...	6.6	...	7.3	...	29.8 ④	57.6 ②	51.0 ③	64.9 ①	18.5 ⑤	2.6	2.0	6.6	12.6	...	151	286.1
男子	20.5 ⑤	15.7	9.6	...	2.4	...	9.6	...	18.1	56.6 ②	50.6 ③	57.8 ①	25.3 ④	2.4	1.2	6.0	13.3	...	83	289.2
女子	...	2.9	11.8 ⑤	...	4.4	...	44.1 ④	58.8 ②	51.5 ③	73.5 ①	10.3	2.9	2.9	7.4	11.8 ⑤	...	68	282.4

※丸数字は比率の順位

このように小学生では、男子は“外遊びと室内遊び”、女子は“室内遊び”といった図式になっている。

ちなみに、NHK世論調査部が1989年に実施した『小学生の生活と意識調査』の結果をみてみよう（第2-2表）。

時系列による変化をみると、1989年調査では外遊びが中心の男子の遊びに「テレビゲーム」が34%を占め第2位に初登場したことである。比率の変動をみると、「サッカー」が43%から28%へと大きく減少し、第1位を占める「野球・ソフトボール」の比率も55%から49%へと減少をみせている。小学生の男子の遊びは、84年調査では球技中心の“外遊び”であったが、89年調査では室内遊びの「テレビゲーム」が大きく割り込んできたことがわかる。

第2-2表 小学生男子の遊びの実態

あなたは、ふだんどんな遊びをすることが多いですか。よくする遊びを3つ教えてください。（自由回答）				
＜小学生の男子＞				
	1984年調査（805人）		1989年調査（827人）	
1位	野球・ソフトボール	55%	野球・ソフトボール	49%
2位	サッカー	43%	テレビゲーム	34%
3位	ドッジボール	27%	サッカー	28%
4位	鬼ごっこ・かくれんぼ	21%	ドッジボール	24%
5位	ボール遊び	14%	鬼ごっこ・かくれんぼ	20%

1992年『現代小学生の生活と意識』NHK世論調査部編、21頁と98頁より作成

本調査では設問の仕方は異なるものの、「テレビゲーム」は小学生の男の子の遊びのトップであるので、89年よりも遊びに占める「テレビゲーム」の比重はより大きくなっていることが推測される。

また、1984年調査でも1989年調査でも小学生の男の子の遊びは「野球・ソフトボール」がもっとも多く、「サッカー」はそれを下回っていた。本調査をみると、「野球・ソフトボール」は19.9%で、「サッカー」(41.3%)より少ない。また、NHK調査では上位にみられなかった「バスケットボール」が、本調査では32.0%を占め、第5位となった。これらの結果は昨今のサッカーブームやバスケットボール人気を反映したものといえよう。

② 中学2年生の場合

次に、中学2年生についてみてみよう。

	〈男の子〉	(%)	〈女の子〉	(%)
第1位	テレビゲーム	49.5	おしゃべり・電話	48.0
第2位	本・マンガ	47.7	テレビやビデオ	46.9
第3位	テレビやビデオ	42.2	音楽を聞く	42.9
第4位	音楽を聞く	27.5	本・マンガ	35.7
第5位	バスケットボール	24.8	その他	28.6

男の子のトップは小学生の男の子と同様に「テレビゲーム」であり、「本・マンガ」も第2位となった。「テレビやビデオ」も4割強を占め、小学生では遊びの種類がばらけていたのに対し、中学2年生の男の子ではこれらの遊びに集中している。また、小学生では3.9%とわずかであった「音楽を聞く」も3割弱を占め、多くなっている。“外遊び”では「バスケットボール」「サッカー」が上位にあがっているが、小学生の男の子に比べ遊び全体に占める“外遊び”の比率が少ない。

中学2年生の女の子はどうであろうか。もっとも多いのは「おしゃべり・電話」で半数弱を占めている。その他、「テレビやビデオ」「音楽を聞く」「本・マンガ」といった“室内遊び”、それも一人あるいは数人で遊ぶものが上位に上がっている。なお、「その他」が3割弱を占め多くなっているが、その内容の多くは部活動(クラブ活動)であった。

③ 中学3年生の場合

最後に、中学3年生をみてみよう。

	〈男の子〉	(%)	〈女の子〉	(%)
第1位	テレビやビデオ	57.8	テレビやビデオ	73.5
第2位	本・マンガ	56.6	本・マンガ	58.8
第3位	音楽を聞く	50.6	音楽を聞く	51.5
第4位	テレビゲーム	25.3	おしゃべり・電話	44.1
第5位	サッカー	20.5	その他ボール遊び	11.8

中学3年生になると、遊びの種類は小学生や中学2年生に生じていたような性による違いはあまりみられなくなる。男女とも第1位から第3位までは「テレビやビデオ」「本・マンガ」「音楽を聞く」となっており、共通している。ただし、本調査では明らかではないが、その中身については男女で差があると思われる。

中学3年生の男の子をみると、小学生と中学2年生で第1位であった「テレビゲーム」が25.3%へと減少し、第4位となった。変わって「テレビやビデオ」が第1位となり、以下、「本・マンガ」「音楽を聞く」「おしゃべり」が上位に並び、外遊びの「サッカー」は第5位、「バスケットボール」は第7位となった。このように、中学3年生でも「室内遊び」中心である。

女の子の遊びをみると、「テレビやビデオ」が7割強を占め、とくに目立って多くなっている。以下、「本・マンガ」「音楽を聞く」「おしゃべり・電話」といった室内遊びが続き、「外遊び」では「その他のボール遊び」が1割強あるにとどまった。

このように、男の子は“外遊びと室内遊び”、女の子は“室内遊び”といった図式がみられるが、子どもの成長に伴い、男の子でも“外遊び”の占める割合は少なくなっている。また、女の子には“外遊び”が全くみられないという訳ではなく、「自転車に乗る」「その他のボール遊びをする」といった遊びが1割前後から2割と多くはないが一定程度みられる。ただし、男の子の“外遊び”が「サッカー」や「バスケットボール」及び「野球」といったスポーツが中心であるのに比べ、同じ“外遊び”でもその内容に違いがある。

室内遊びにおける特徴をまとめておくと、「テレビゲーム」は男の子に、「おしゃべり・電話」は女の子にそれぞれより多くみられる遊びである。また、「本・マンガを読む」と「テレビやビデオを見る」は、学年や性を問わず、共通して多くみられるが、とくに中学3年生ではこれらの占める比率は多い。中学3年生では、「テレビやビデオ」や「本・マンガ」に加え、「音楽を聞く」は男女ともに共通して多くみられる遊びの種類となっている。

(2) 遊びの種類のカロス分析

では、“外遊び”と“室内遊び”の両者がみられた小学生の男の子(206人)について遊びのパターンをみてみよう。第2-3表からは、〈外でしか遊ばない子ども〉は34人、〈室内でしか遊ばない子ども〉は44人、〈外と室内の両方で遊ぶ子ども〉は127人いることがわかる。つまり、小学生の男の子の場合は61.7%の子どもが外と室内の両方で遊んでいることになり、それに比べると“室内遊びのみ”は21.4%、“外遊びのみ”は16.5%で少ないが、室内遊びのみの子どもが5人に1人はいることに留意したい。また、後述する生活時間調査の結果では、小学生男の子の遊び時間(土曜日)の内訳は室内遊びが79.4%、外遊びが20.6%であり、時間でみると室内遊びのウエイトが圧倒的に大きいという実態がある。

第2-3表 遊び方のパターン別にみた放課後自由時間の遊びの種類
〈小学生の男の子の場合〉(3つ以内選択)

	サッカー	バスケットボール	野球・ソフトボール	ドッチボール	その他のボール遊び	スケートボード・ローラースケート	自転車にのる	おにごっこ・かくれんぼ	おしゃべり・電話	本・マンガを読む	音楽を聞く	テレビやビデオをみる	テレビゲームをする	トランプなどのゲームをする	カラオケをする	趣味をする	その他	N	計	回答累計
外遊び型	24 70.6	27 79.4	16 47.1	12 35.3	3 8.8	3 8.8	8 23.5	2 5.9	1 2.9	2 5.9	...	34 100.0	288.2
室内遊び型	4 9.1	38 86.4	4 9.1	30 68.2	32 72.7	3 6.8	...	6 13.6	3 6.8	...	44 100.0	272.7
両者併用型	61 48.0	39 30.7	25 19.7	7 5.5	7 5.5	3 2.4	30 23.6	8 6.3	5 3.9	58 45.7	4 3.1	40 31.5	74 58.3	5 3.9	...	5 3.9	5 3.9	...	127 100.0	295.9

一緒に遊ぶ友達により遊びの種類はどのように違ってくるのだろうか。第2-4表は小学生についてみたものだが、それによると、男女とも大勢で遊ぶことが多い子どもは「サッカー」や「バスケットボール」「その他のボール遊び」などのボール遊びがより多く、逆に2~3人で遊ぶことが多い子どもは外遊びでは「自転車に乗る」が、室内遊びでは「本・マンガ」「音楽」「テレビゲーム」などの比率がより多くなっている。

上級生や下級生を遊び相手にすることが多い場合は男の子では球技、女の子では「自転車」「その他のボール遊び」「テレビやビデオ」「テレビゲーム」「トランプなどのゲーム」「趣味をする」がより多くなっている。

友達の性別にみると、異性とも遊ぶと回答した男の子の遊びの種類は、室内遊びでは「音楽を聞く」「トランプなどのゲームをする」「テレビやビデオ」、外遊びでは「野球・ソフトボール」「自転車に乗る」がやや多い。他方、女の子では、異性とも遊ぶと回答した場合、「バスケットボール」や「サッカー」「野球・ソフトボール」といった球技と「鬼ごっこ・かくれんぼ」「トランプなどのゲーム」がより多くなっている。

このように、遊びの種類は遊び友達の種類によって異なっているが、球技には「大勢」で遊んだり、「上級生や下級生」「異性」とも遊ぶと回答した子どもがそれぞれ多くなっており、球技は遊び友達を広げる遊びであることがわかる。

第2-4表 放課後自由時間の遊びの種類（3つ以内選択）（小学生、性別、友達別）

		サッカー	バスケットボール	野球・ソフトボール	ドッチボール	その他のボール遊び	スケートボード・ローラースケート	自転車にのる	おにごっこ・かくれんぼ	おしゃべり・電話	本・マンガを読む	音楽を聞く	テレビやビデオをみる	テレビゲームをする	ゲームをする	カラオケをする	趣味をする	その他	N	計	回答累計
男の子	遊ぶ人数	57.8	34.9	26.5	13.3	8.4	2.4	15.7	7.2	1.2	41.0	1.2	28.9	45.8	3.6	...	3.6	3.6	...	83	295.2
	おおぜいで遊ぶことが多い	32.1	32.1	17.0	7.1	2.7	3.6	20.5	3.6	7.1	45.5	5.4	38.4	55.4	4.5	...	7.1	4.5	...	112	286.6
	遊ぶ相手	39.8	31.7	14.6	9.8	4.1	2.4	20.3	5.7	4.1	48.8	4.1	37.4	53.7	2.4	...	6.5	4.1	...	123	289.4
	同性ばかり	49.2	35.4	27.7	7.7	7.7	4.6	16.9	3.1	3.1	36.9	1.5	30.8	49.2	7.7	...	4.6	4.6	...	65	290.8
	上級生や下級生ともいっしょに遊ぶ	42.9	33.5	19.3	9.9	5.0	2.5	18.0	5.0	5.0	45.3	2.5	34.2	52.2	3.7	...	6.8	5.0	...	161	290.7
女の子	遊ぶ人数	7.9	15.9	1.6	11.1	11.1	3.2	15.9	19.0	27.0	42.9	12.7	54.0	11.1	14.3	...	14.3	14.3	...	63	276.2
	遊ぶ人数	...	7.4	1.4	4.1	8.1	5.4	23.6	7.4	40.5	62.2	18.2	52.0	24.3	10.1	...	12.2	10.1	0.7	148	287.2
	遊ぶ相手	1.8	10.2	1.2	7.8	7.8	4.8	18.7	10.2	39.2	59.0	18.1	52.4	18.7	9.0	...	10.8	12.7	0.6	166	282.5
	同性ばかり	2.6	5.3	2.6	...	13.2	5.3	31.6	13.2	23.7	52.6	10.5	57.9	28.9	21.1	...	18.4	2.6	...	38	289.5
	上級生や下級生ともいっしょに遊ぶ	1.4	7.2	0.7	5.8	7.9	4.3	20.1	9.4	38.1	60.4	15.8	57.6	20.1	10.1	...	11.5	10.1	0.7	139	280.6
友達別	4.3	14.5	2.9	5.8	11.6	5.8	24.6	13.0	31.9	50.7	18.8	43.5	21.7	14.5	...	14.5	14.5	...	69	292.8	

2. 遊び場所

(1) 学年別にみた特徴

では、どの様なところで遊んでいるのだろうか。遊び場所を子どもに14項目中3つ以内選択できた結果は第2-5表に示す通りである。遊び場所は遊びの種類と密接に関係しているため、ここでも学年別にみて行くことにする。

① 小学生の場合

では、まず小学生についてみてみよう。

小学生の遊びは、男の子は外遊びと室内遊び、女の子は室内遊びといった図式がみられた。そのため、女の子では81.9%を占める「自分の家の中」も男の子では65.0%と相対的に少ない。また、「サッカー」や「バスケットボール」「野球」といったボールを使ったスポーツが男の子に多くみられたことから、「公園・広場・グラウンド・野球場」は男の子で46.1%、女の子では28.7%と男の子よ

り多い。「友達の家、近所の家」は6割強、「学校」や「自分の家の庭・家のまわり」は3～4割みられ、これらは男女にはほぼ共通している。

第2-5表 放課後自由時間の遊び場所（3つ以内選択）

	公園・広場・グラウンド・野球場	庭を含む学校・体育館や校庭	地域の公共施設・公民館や児童館	家・近所	友達の家・近所の家	自分の家の中	自分の家の庭・家のまわり	神社やお寺	川・海・森林・田	駐車場・あき地	道路	ゲームセンター	コンビニエンスストア・だかし屋	カラオケボックス	その他	N	計	回答累計
小学生計	37.2 ③	37.0 ④	4.7	62.3 ②	73.7 ①	34.1 ⑤	2.4	3.1	5.5	6.6	2.1	5.2	0.2	2.1	0.2	422	276.3	
男子	46.1 ③	41.3 ④	4.9	60.7 ②	65.0 ①	31.1 ⑤	2.9	3.9	8.3	6.8	2.9	4.9	...	1.0	0.5	206	279.6	
女子	28.7 ⑤	32.9 ④	4.6	63.9 ②	81.9 ①	37.0 ③	1.9	2.3	2.8	6.5	1.4	5.6	0.5	3.2	...	216	273.1	
中学2年生計	25.1 ④	53.6 ②	3.9	32.9 ③	74.4 ①	17.9 ⑤	...	3.4	3.4	1.4	4.3	8.7	1.0	4.8	1.0	207	234.8	
男子	36.7 ③	45.0 ②	4.6	36.7 ③	80.7 ①	21.1 ⑤	...	5.5	6.4	0.9	8.3	7.3	0.9	0.9	...	109	255.0	
女子	12.2 ⑤	63.3 ②	3.1	28.6 ③	67.3 ①	14.3 ④	...	1.0	...	2.0	...	10.2	1.0	9.2	2.0	98	212.2	
中学3年生計	11.9 ⑤	39.1 ③	2.0	45.7 ②	82.1 ①	16.6 ④	0.7	3.3	0.7	7.3	3.3	6.0	3.3	5.3	0.7	151	227.2	
男子	18.1 ⑤	34.9 ③	...	51.8 ②	78.3 ①	25.3 ④	1.2	6.0	1.2	8.4	4.8	6.0	2.4	4.8	1.2	83	243.4	
女子	4.4 ②	44.1 ③	4.4	38.2 ③	86.8 ①	5.9 ④	5.9 ④	1.5	5.9 ④	4.4	5.9 ④	...	68	207.4	

※丸数字は比率の順位

② 中学2年生の場合

次に中学2年生についてみてみよう。中学2年生の男子では、外遊びはみられるものの、室内遊びにやや片寄る傾向がみられ始めていたため、小学生と比較すると、「公園・広場・グラウンド・野球場」（36.7%）は9ポイント、「自分の家の庭・家のまわり」（21.1%）は10ポイントそれぞれ少ない。逆に、「自分の家の中」が80.7%と多数を占め、小学生の男子に比べると16ポイント増加している。また、室内でも、「友達の家・近所の家」は36.7%にとどまり、小学生の男子より24ポイント減少し、友達の家で遊ぶことも少なくなることがわかる。かわって、「学校（体育館や校庭を含む）」が45.0%で第2位になっている。

中学2年生の女子と小学生の女子を比較すると、中学2年生では「友達の家・近所の家」が28.6%と35ポイント少なく、逆に「学校（体育館や校庭を含む）」（63.3%）が30ポイント多くなっていて、男子をも大きく上回っている。また、中学2年生の女子では“外遊び”はあまりみられないため、「公園・広場・グラウンド・野球場」は12.2%に、「自分の家の庭・家のまわり」は14.3%にとどまった。

また、「コンビニエンスストア・だかし屋」（10.2%）は1割みられ、他の学年に比べやや多めである。

③ 中学3年生の場合

中学3年生はどうであろうか。傾向としては、中学2年生と変わりなく、室内遊びに片寄っているため、遊び場所も屋内が中心である。また、中学2年生で多くみられた「学校」は、男の子では34.9%、女の子では44.1%であり、中学2年生よりは少ない。また、「公園・広場・グラウンド・野球場」も男の子では2割弱、女の子では数パーセントと中学2年生と比べると少ない。

(2) 遊び場所のクロス分析

ではここで、遊び場所別に遊びの種類をみていこう(第2-6表)。小学生を対象にみると、上述したように、「公園・広場・グラウンド・野球場」では「サッカー」や「バスケットボール」「野球」といった球技がより多く行われている。「学校(体育館や校庭を含む)」では、それらの球技の他に「ドッチボール」や「その他のボール遊び」もやや多く、その他「おしゃべり」も25.6%みられる。それらに対し、「友達の家・近所の家」や「自分の家の中」では「本・マンガを読む」「テレビやビデオを見る」「テレビゲームをする」「おしゃべり・電話」及び「音楽を聞く」といった遊びが行われている。

第2-6表 遊び場所別にみた遊びの種類〈小学生の場合〉(3つ以内選択)

	サッカー	バスケットボール	野球・ソフトボール	ドッチボール	その他のボール遊び	スケートボード・ローラースケート	自転車にのる	おにごっこ・かくれんぼ	おしゃべり・電話	本・マンガを読む	音楽を聞く	テレビやビデオをみる	テレビゲームをする	トランプなどのゲームをする	カラオケをする	趣味をする	その他	N A	計	回答 累計
小学生計	21.6	20.6	10.4	7.6	6.9	4.0	19.9	7.8	20.4	51.4	10.4	44.3	35.8	7.6	...	9.7	8.1	0.2	422	286.5
公園・広場・グラウンド・野球場	34.4	28.0	21.7	9.6	5.7	5.7	24.8	7.6	12.1	41.4	7.0	33.8	35.0	8.9	...	8.3	5.7	...	157	289.8
学校-体育館や校庭を含む	32.7	34.0	11.5	11.5	10.3	3.2	14.7	10.3	25.6	44.2	9.0	34.6	29.5	6.4	...	7.7	7.1	...	156	292.3
友達の家・近所の家	22.1	19.4	11.8	6.5	6.1	4.6	21.3	9.9	23.2	53.2	11.8	40.7	36.9	7.2	...	10.3	6.1	0.4	263	290.9
自分の家の中	15.4	15.8	5.8	5.5	6.4	3.2	20.3	7.1	22.2	56.6	12.2	51.4	38.9	7.4	...	10.3	8.7	0.3	311	287.1
自分の家の庭・家のまわり	18.8	16.7	11.8	7.6	8.3	5.6	19.4	6.9	19.4	51.4	9.7	50.7	37.5	6.3	...	9.0	9.0	...	144	288.2

3. 遊び時間

では、実際どの程度の時間を遊んでいるのかを子どもの生活時間調査からみていこう。ここでは、“室内遊び”として「テレビ・ビデオ」「テレビゲーム」「本や新聞・マンガを読む」「その他のへや遊びや趣味」「話をする」「電話する」「ラジオ・CD・カセット」「ゲームセンター・コンビニなど」「カラオケボックス」といった9項目を、“外遊び”として「外での遊びや趣味」と「学校で遊ぶ」を取り扱うことにする。

(1) 学年別にみた特徴

以下から、土曜日、日曜日、平日の順に、学年別に遊び時間をみていくことにする。

① 土曜日の遊び時間

A. 小学生の場合

まず、土曜日について小学生の遊び時間についてみてみよう（第2-7表）。

遊び時間の合計時間をみると、男の子が6時間39分、女の子が5時間58分であり、うち室内遊びは男の子5時間17分、女の子は5時間14分である。他方、外遊びは男の子で1時間22分、女の子で44分となっている。比率にすれば、室内遊び：外遊びは男の子で79.4%：20.6%、女の子で87.7%：12.3%となり、男女ともに圧倒的に室内遊びの時間の方が多い。外遊びと室内遊びの両者がみられ、遊びの内容に広がりが生じていた男の子でも、遊び時間に占める外遊びの比率は2割にとどまり、女の子を8ポイント上回る程度である。

第2-7表 土曜日の遊び時間（平均値）

	室内遊び									外遊び		件数
	テレビ・ビデオ・分	テレビゲーム・分	本や新聞・マンガを読む・分	その他のへや遊びやしゅみ・分	話をする・分	電話する・分	セッット・CD・カセット・分	ゲームセンターなど・分	カラオケボックス・分	みでの遊びやしゅみ・分	学校で遊ぶ・分	
小学生	148	49	45	43	16	1	6	6	1	61	2	411
男の子	138	73	41	39	13	1	4	7	1	78	4	205
女の子	157	26	49	47	19	2	8	4	2	44	0	206
中学2年生	154	35	41	21	13	3	15	5	1	33	0	194
男の子	149	61	43	17	12	1	14	8	0	44	0	101
女の子	160	7	39	26	15	5	17	1	2	22	1	93
中学3年生	149	31	47	26	15	4	29	4	6	27	0	145
男の子	129	47	39	26	13	2	27	5	10	42	1	79
女の子	172	12	57	26	18	7	32	1	0	10	0	66

では、室内遊びの時間について詳しくみていこう。

「テレビ・ビデオ」はもっとも長く、とくに女の子で2時間37分と男の子（2時間18分）に比べ長い。逆に、「テレビゲーム」は男の子で1時間13分と女の子（26分）を大きく上回っている。これらを合わせた時間は男の子が3時間31分であるのに対し、女の子は3時間3分と男の子より28分短い。男女ともに3時間以上はTV画面に向かっていることになる。また、本調査では「テレビをみながら食事と身じたく」（男の子29分、女の子37分）の時間もきいており、これも合わせるとTV画面に向かっている時間はさらに長くなり、1日に4時間前後を費やしている（第

2-8表)。睡眠時間は9時間強であるので、起きている15時間のうちおよそ4分の1強はTV画面の前にいる。

なお、室内遊びの時間に占める「テレビ・ビデオ」と「テレビゲーム」の合計時間の比率をみると、男の子が66.6%、女の子が58.3%となり、室内遊びの中でも非常に大きいウエイトを占めていることがわかる。

調査日に実際「テレビゲーム」で遊んだ子どもに限って平均時間を算出すると、男の子では1時間52分、女の子では1時間22分となっている。これは必ずしも連続時間ではないが、やり始めるとかなり長時間になることを示している(第2-9表)。

再び第2-7表よりその他の室内遊びをみると、「本や新聞・マンガを読む」や「その他の部屋遊びや趣味」はそれぞれ40分前後となっており、女の子の方が男の子よりそれぞれ8分長くなっている。また、「話をする」も女の子で19分と男の子(13分)に比べやや長めである。また、小学生では音楽を聞くといった遊びは中学生ほど多くはみられないので、「ラジオ・CD・カセット」は男女ともに10分未満と中学生に比べ短い。なお、「電話する」(男の子1分、女の子2分)や「ゲームセンター・コンビニ・だがしや」(男の子7分、女の子4分)、及び「カラオケボックス」(男の子1分、女の子2分)は短い。

次に、外遊びの時間をみてみよう。本調査では外遊びの中身を詳しくきかずに、「外での遊びや趣味」と「学校で遊ぶ」の2つに集約して生活時間を求めた。そのため、外遊びの中身はわからないが、「外での遊びや趣味」は男の子が1時間18分、女の子が44分であるのに対し、「学校で遊ぶ」は学校が休みのため短い(男の子4分、女の子0分)。

第2-8表 テレビをみながら家で食事をしている時間(平均値)

	件数	テレビをみながら家で食事		
		土曜日	日曜日	平日
小学生計	411	33	38	23
男の子	205	29	37	23
女の子	206	37	39	24
中学2年生計	194	35	39	25
男の子	101	33	33	26
女の子	93	38	45	25
中学3年生計	145	27	35	19
男の子	79	27	34	18
女の子	66	27	36	21

第2-9表 テレビゲームで遊んだ時間(平均値、土曜日、行為者に限定)

	件数	テレビゲーム・分
小学生計	197	102
男の子	133	112
女の子	64	82
中学2年生計	63	108
男の子	49	126
女の子	14	45
中学3年生計	39	114
男の子	30	123
女の子	9	85

B. 中学生の場合

では、中学生はどうだろうか。小分類でみると、中学生の生活は小学生に比べ「勉強（予習・復習を含む）」（中学2年生53分、中学3年生1時間19分）が長く、「塾」（中学2年生22分、中学3年生36分）も長くなっている。また、中学2年生では「クラブ活動」が1時間9分と長い。したがって、遊びにあてる時間は小学生より少なくなる（図表は資料参照）。

遊びの時間は、合計すると中学2年生では男の子が5時間49分、女の子が4時間55分、中学3年生では男の子が5時間41分、女の子が5時間35分である。うち室内遊びは中学2年生では男の子が5時間5分、女の子が4時間32分、中学3年生では男の子が4時間58分、女の子が5時間25分である。他方、外遊びは中学2年生では男の子が44分、女の子が23分、中学3年生では男の子が43分、女の子が10分となっている。このように、外遊びの時間は男の子の方が多くなっているものの、室内遊びの時間が圧倒的に長く、その比率は9割前後に達している（中学2年生の男の子87.4%、女の子92.2%、中学3年生の男の子87.4%、女の子97.0%）。室内遊びの比率は、小学生のそれ（男の子79.4%、女の子87.7%）を上回っており、室内遊びにさらに集中していることがわかる。

また、女の子では遊び時間の合計時間は中学2年生より中学3年生の方が長くなっている。これは、中学3年生の女の子では「クラブ活動」の時間が8分と中学2年生の女の子（51分）よりも短いことによっている（図表は資料参照）。

以下からはそれぞれの遊びについてみていくことにする。

まず、室内遊びの大半を占めている「テレビ・ビデオ」をみると、中学2年生の男の子で2時間29分、女の子で2時間40分、中学3年生の男の子で2時間9分、女の子で2時間52分といずれも2時間台となり、いずれも女の子が長い。

「テレビゲーム」は圧倒的に男の子で長く、中学2年生で1時間1分、中学3年生で47分といずれも女の子（中学2年生7分、中学3年生12分）を順に、54分、35分上回っている。TV画面に向かっている時間を算出すれば、中学2年生では男の子が3時間30分、女の子が2時間47分となり、中学3年生では男の子が2時間56分、女の子が3時間4分となる。このように、室内遊びの時間に占めるTV画面の視聴時間はかなり多くの部分を占めており、小学生ともほぼ同じ時間となる。

ちなみに、先ほどと同様に「テレビをみながら食事と身じたく」（中学2年生男の子33分、女の子38分、中学3年生男女とも27分）の時間も加えると、TV画面に向かっている時間はさらに長くなり、1日に4時間前後であろうと推測される。中学生の睡眠時間は9時間弱であるので、小学生と同様に起きている時間の4分の1強をTV画面の前で過ごしていることになる。

ちなみに、調査日に実際「テレビゲーム」で遊んだ子どもだけでその平均時間を示すと、中学2年生の男の子では2時間6分、中学3年生の男の子では2時間3分と、小学生以上に長い。

「本や新聞・マンガを読む」は中学2年生の男の子では43分、女の子では39分であり、40分前後となっている。中学3年生になると、男女で差が生じ、男の子が39分であるのに対し、女の子

では57分とおよそ1時間を費やすようになっている。

「その他の部屋遊びや趣味」は中学3年生では男女ともに26分である。ただし、中学2年生の男の子では17分とやや短い。

本章第1節の「遊びの種類」でみたように、「音楽を聞く」という遊びは小学生に少なく中学生に多かった。生活時間でみても、「ラジオ・CD・カセット」の時間は小学生に比べ長く、中学2年生男の子で14分、女の子で17分である。中学3年生になるとさらに長くなり、男の子で27分、女の子で32分と30分前後となる。

「話をする」は10分台、「電話する」は10分以内となっており、これらを合わせた〈会話〉の時間は中学2年生では男の子が13分、女の子が20分、中学3年生では男の子が15分、女の子が25分である。それぞれ女の子の方が長く、中学2年生で7分差、中学3年生で10分差である。

その他、「ゲームセンター・コンビニ・だがしや」は女の子では1分と短い、男の子では中学2年生が8分、中学3年生が5分となっている。「カラオケボックス」は中学3年生の男の子では10分であるが、その他では0～2分と短い。

次に外遊びについてみてみよう。外遊びと室内遊びの両者がみられた小学生の男の子に対し、中学生の男の子では女の子ほどではないが、室内遊びに偏る傾向がみられた。したがって、外遊びが遊び時間全体に占める比率は少ない。性別にみると、男の子では中学2年生、中学3年生ともに12.6%を占めるのに対し、女の子では中学2年生が7.8%、中学3年生が3.0%と1割に満たない。

先にも述べたように、本調査では外遊びの中身を詳しく聞いていない。そのため、どのような遊びにどの程度の時間を費やしているのか明らかにはならないが、「外での遊びや趣味」は男の子では中学2年生が44分、中学3年生が42分とそれぞれ40分台となっている。他方、女の子では短く、中学2年生は22分、中学3年生では10分である。それに比べ、「学校で遊ぶ」は男女ともに0～1分と短く、土曜日に学校で遊ぶことは小学生と同様に少ない。

ここで、簡単に小、中学生で共通してみられた特徴をまとめておこう。

子どもの遊び時間は室内遊び、それも「テレビ・ビデオ」がその大半を占めており、外遊びの時間はそれに比べ極端に短い。

男の子では「テレビゲーム」の時間も長く、「その他の部屋遊びや趣味」あるいは「本や新聞・マンガを読む」の時間を上回わり、「テレビ・ビデオ」に次ぐ室内遊びとなっている。

女の子では室内遊びの占める比率が高く、「テレビ・ビデオ」がとくに長い。その他の遊びでは、小学生は「その他の部屋遊びや趣味」が、中学生は「ラジオ・CD・カセット」が長くなっているが、中学3年生になると「本や新聞・マンガを読む」も長くなる。

② 日曜日の遊び時間

日曜日の遊び時間は基本的には土曜日の遊び時間とほぼ類似している(第2-10表)。ここでは、

土曜日と異なっている箇所を触れておこう。

「テレビ・ビデオ」の時間が全体的に土曜日に比べやや短い。土曜日との差を示すと、小学生では男の子が19分差、女の子が28分差、中学2年生では男の子が13分差、女の子が35分差、中学3年生では女の子が31分差となっている。

また、小学生では「テレビゲーム」が男の子で15分差、女の子で8分差とそれぞれ土曜日より短くなっているため、「テレビ・ビデオ」に「テレビゲーム」を加えたTV視聴時間は土曜日と比べると、男女とも30分あまり短い（土曜日との差は男の子34分、女の子36分）。

このように日曜日のTV視聴時間は土曜日よりも短くなっているが、これには日曜日の就寝時刻が土曜日より前だおしになっていること、日曜日の勉強の時間が土曜日よりも長いことが反映している。

第2-10表 日曜日の遊び時間（平均値）

	室内遊び										外遊び	
	分 テレビ・ビデオ	テレビゲーム	本や新聞・マンガを読む	その他のへや遊び	話をする	電話する	セッジオ・CD・カセット	ゲームセンターなど	カラオケボックス	み外での遊び	学校で遊ぶ	
小学生	124	38	41	38	18	1	7	3	1	53	3	
男の子	119	58	39	37	14	1	4	4	1	61	4	
女の子	129	18	44	40	22	1	10	3	1	46	2	
中学2年生	131	34	44	18	15	2	15	7	1	37	2	
男の子	136	60	49	8	9	0	18	12	0	55	1	
女の子	125	6	38	29	23	4	13	1	1	18	2	
中学3年生	134	33	49	21	16	2	18	1	3	31	2	
男の子	129	49	43	24	13	1	14	3	5	51	3	
女の子	141	14	57	17	20	3	22	0	0	8	0	

③ 平日の遊び時間

A. 小学生の場合

次に、平日の遊び時間を第2-11表よりみていこう。小学生についてみると、平日は学校があるので、土曜日や日曜日に比べると遊び時間は限られており、全体的に短い。遊び時間は小学生男の子が2時間49分、女の子が2時間39分となり、女の子の方が10分短い。

平日でも室内遊びの時間は長く、男の子が2時間7分、女の子が2時間6分となっている。他方、外遊びの時間は男の子では42分、女の子では33分である。室内遊びの時間では男女に差がみられないが、外遊びでは男の子の方が9分長い。

平日でも「テレビ・ビデオ」は室内遊びの多くを占めており、男の子で1時間14分、女の子で1時間16分とほぼ同じで、その時間は土曜日より短い。

第2-11表 平日の遊び時間（平均値）

	室内遊び									外遊び	
	テレビ・ビデオ・分	テレビゲーム・分	本や新聞・マンガを読む・分	その他のへや遊びやしゆみ・分	話をする・分	電話する・分	ラジオ・CD・カセット・分	ゲームセンター・コンビニなど・分	カラオケボックス・分	外での遊びやしゆみ・分	学校で遊ぶ・分
小学生	75	13	16	9	9	0	3	1	0	19	19
男子	74	20	16	6	8	0	2	1	0	23	19
女子	76	5	16	12	11	1	4	1	0	15	18
中学2年生	66	11	13	4	7	2	7	0	0	6	7
男子	66	18	14	5	6	0	8	0	0	12	4
女子	65	3	12	3	8	3	5	0	0	0	10
中学3年生	66	11	20	8	6	1	10	0	0	6	8
男子	72	17	18	7	3	0	7	1	0	10	8
女子	60	5	23	9	9	2	13	0	0	0	9

「テレビゲーム」は男の子では20分と女の子（5分）に比べ長い、いずれも土曜日に比べると短くなっている、と合わせてTV視聴時間は男の子では1時間34分、女の子では1時間21分にとどまった。

また、平日でも土曜日や日曜日と同様に、「テレビを見ながら家で食事」（23～24分）の時間も一定程度みられるので、実質的にTV画面に向かっている時間は男の子では2時間、女の子では2時間弱といった時間になると推測される。

このように、TV画面に向かっている時間は土曜日に比べ短くなっているとはいえ、室内遊びのかなりの部分を占めている。

その他の室内遊びをみると、「本や新聞・マンガを読む」（男女ともに16分）と「その他の部屋遊びや趣味」（男の子6分、女の子12分、以下同様）、及び「話をする」（8分、11分）はそれぞれ10分前後となっている。それらに比べ、「ラジオ・CD・カセット」（2分、4分）、「ゲームセンター・コンビニ・だがし屋」（男女とも1分）、及び「電話する」（0分、1分）は少ない。また、男女ともに「カラオケボックス」は0分であった。

これらについて男女の差に着目すれば、「その他の部屋遊びや趣味」と「話をする」は女の子でやや長い。

外遊びはどうだろうか。「外での遊びや趣味」は男の子が23分、女の子が15分である。平日は学校があるため、「学校で遊ぶ」（男の子19分、女の子18分）も20分弱みられ、「外での遊びや趣味」と「学校で遊ぶ」がほぼ同じ時間となっている。

B. 中学生の場合

次に、中学生についてみてみよう。

平日は学校があるため、遊び時間は全体的に短く、中学2年生では男の子が2時間13分、女の

子が1時間49分、中学3年生では男の子が2時間23分、女の子が2時間10分である。いずれの学年も男の子の遊び時間が長く、その差は中学2年生では24分、中学3年生では13分となっている。

遊び時間のうち室内遊びの時間は、中学2年生では男の子が1時間57分、女の子が1時間39分となり、男の子の方が18分長い、中学3年生では男の子が2時間5分、女の子が2時間1分で、男女ともほぼ同じ時間である。他方、外遊びの時間は男の子が長く、中学2年生では男の子が16分、女の子が10分、中学3年生では男の子が18分、女の子が9分である。

いずれにしても室内遊びが中心であると同時に、小学生に比べると室内遊びも外遊びも時間は短い。

室内遊びについてさらに詳しくみていこう。「テレビ・ビデオ」は中学2年生では男の子が1時間6分、女の子が1時間5分となっており、男女ともほぼ同じ時間である。本章の第1節で既に述べたように、「テレビやビデオを見る」といった遊びは中学3年生がもっとも多く、また、男女に共通してみられた遊びである。その平均時間は男の子は1時間12分、女の子は1時間である。このように、中学生でも男女とも室内遊びの半数以上の時間を「テレビ・ビデオ」が占めている。

「テレビゲーム」は男の子に多くみられる遊びであるが、平日の場合は、中学2年生で18分、中学3年生で17分と土曜日に比べ短い。ちなみに、女の子の「テレビゲーム」時間は3～5分と短い。

「テレビを見ながら家で食事」(18～26分)の時間も考慮すると、TV画面に向かっている時間は2時間弱と推測される。中学生の平日の睡眠時間はおよそ8時間弱であるので、起きている時間の約10分の1にあたり、小学生とはほぼ同率である。

「本や新聞・マンガを読む」は中学2年生では男の子が14分、女の子が12分、中学3年生では男の子が18分、女の子が23分で、室内遊びではTV視聴に続いて長くみられる遊びである。「話をする」と「電話する」を合わせた〈会話〉の時間は、中学2年生では男の子が6分、女の子が11分、中学3年生では男の子が3分、女の子が11分となっている。

その他、「その他の部屋遊びや趣味」は10分に満たず、「ゲームセンター・コンビニ・だがし屋」と「カラオケボックス」は0～1分と短い。また、小学生では数分の「ラジオ・CD・カセット」は中学3年生の女の子では13分とやや長めである。

中学生の外遊びの時間をみてみよう。外遊びの少なさが指摘されているところだが、男の子では「外での遊びや趣味」(中学2年生12分、中学3年生10分、以下同様)と「学校で遊ぶ」(4分、8分)の両者がみられるのに対し、女の子では「学校で遊ぶ」(10分、9分)のみである。

ここで再度、小、中学生に共通してみられる特徴をまとめておこう。いずれの学年でも遊びの種類は室内遊びに偏っており、外遊びの時間は室内遊びのそれに比べ短い。そしてその傾向は女の子

や中学生ほど強くなっている。その室内遊び時間の大部分を占めているのはTV画面の視聴時間であり、睡眠時間を除いた時間に占める比率（つまり起きている時間に占める比率）は土曜日ではおよそ4分の1と多くなっている（平日では約10分の1）。

(2) 遊び時間のクロス分析

① TV画面の視聴時間別にみた生活時間

1日の多くの部分をTV画面の前で過ごしていることが明らかとなったが、TV画面に向かっている時間が長い子どもは生活時間のどの部分が短くなっているのだろうか。第2-12表より、TV画面の視聴時間別に平日の生活時間をみてみよう。なお、ここで扱うTV画面の視聴時間とは「テレビ・ラジオ」と「テレビゲーム」の時間を足し合わせた時間である。

まず、小学生についてみていこう。TV画面に向かっている時間が1時間30分未満の子どもの生活時間をみると、「授業以外の学業」、「塾」、「外での遊び」、「スポーツ」及び「習い事」の時間がそれぞれ長くなっており、男の子では、これらに加え「移動」も長くなっている。

第2-12表 テレビ画面の視聴時間別にみた生活時間〈平日の場合〉(平均値)

	件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分
小学生男の子計	205	523	40	63	411	65	4	17	9	8	61	15	11	25	93	20	6	2	44	16
90分未満	98	527	40	67	406	83	4	23	7	8	70	20	12	35	54	6	6	2	47	18
90分以上	106	519	40	60	416	49	4	12	12	8	53	11	9	16	129	33	6	3	40	14
小学生女の子計	206	507	45	69	388	94	9	21	9	11	73	14	19	8	95	5	12	4	34	18
90分未満	121	507	47	73	386	100	9	22	10	12	79	18	25	12	53	2	12	7	38	21
90分以上	85	508	43	64	389	84	8	20	8	10	66	7	11	2	155	10	11	1	28	14
中学2年生男の子計	101	466	36	61	436	165	3	17	12	7	63	28	1	5	88	18	5	4	16	9
90分未満	51	459	40	61	457	173	2	25	12	8	75	41	0	6	45	8	4	5	7	7
90分以上	50	472	32	61	415	156	3	8	12	5	50	14	3	5	131	29	6	3	24	11
中学2年生女の子計	93	453	51	67	425	172	3	13	13	11	76	24	7	4	82	3	3	1	10	18
90分未満	65	446	49	69	443	189	2	15	8	11	84	32	8	4	45	0	4	1	7	18
90分以上	28	471	54	63	383	133	3	7	25	10	58	5	5	3	169	9	0	2	17	18
中学3年生男の子計	79	464	37	58	454	73	1	14	21	4	87	47	3	7	97	17	7	5	18	22
90分未満	40	454	37	60	446	86	1	19	21	7	92	68	5	6	56	1	6	11	29	34
90分以上	39	474	38	57	462	60	1	10	22	0	83	26	2	7	138	33	8	0	7	10
中学3年生女の子計	66	440	58	65	448	72	5	18	21	12	107	38	3	4	95	5	9	1	10	30
90分未満	49	434	54	66	466	81	5	19	22	13	97	46	5	5	70	1	8	1	10	37
90分以上	17	457	69	62	394	45	4	14	18	9	135	14	0	0	169	18	10	2	9	11

中学生でもこのような傾向は類似しており、TV画面に向かっている時間が1時間30分未満の子どもでは、学校における時間（「授業」と「授業以外の学業」を合せた時間数）と「塾」、「移動」の時間が長くなっている。

小学生、中学生ともに、家にいない場合はTV画面に向かう時間が短くなっており、家にいないので、テレビは見られない（テレビゲームはできない）といった状況にあることがわかる。また、TV画面に向かう時間が短い子どもでは、「(家での)勉強」時間が長くなっている（ただし、中学3年生の女の子を除く）。

② スケジュールの有無別にみた生活時間

ところで、遊び時間の長さは1週間の決まったスケジュール（スポーツクラブ、習い事、学校の部活動、塾）の有無で左右されるのだろうか。以下からは、A. スポーツクラブの有無別にみた小学生男の子の土曜日の遊び時間、B. 習い事の有無別にみた小学生女の子の平日の遊び時間、C. 学校の部活動の有無別にみた中学2年生の土曜日の遊び時間、D. 塾の有無別にみた全学年の平日の遊び時間それぞれについて、みていくことにする。

A. スポーツクラブの有無別にみた小学生男の子の土曜日の遊び時間

では、まず小学生の男の子についてスポーツクラブに行ったかどうかの別でみていこう。土曜日についてみると、実際にスポーツクラブに行った子どもの場合は、室内遊びと外遊びの時間がそれぞれ短くなっている。時間の差を示せば、「テレビ（含むラジオ・読書）」は1時間4分差と大きく開き、「テレビゲーム」は25分差、「その他の室内遊び」は26分差、「レジャー外出」は14分差、「外での遊び」は28分差となっている（第2-13表）。

第2-13表 スポーツクラブの有無別にみた小学生男の子の土曜日の生活時間（平均値）

件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	分学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分	
小学生男の子計	205	542	49	96	0	11	16	44	30	14	36	9	10	100	183	73	39	44	89	52
スポーツ無し	134	540	49	100	0	17	21	40	36	16	41	12	8	205	81	48	49	99	60	
有り	71	545	49	88	0	0	6	51	19	9	27	5	274	141	56	22	35	71	37	

B. 習い事の有無別にみた小学生女の子の平日の遊び時間

小学生の女の子について習い事に行ったかどうかの別に平日の遊び時間をみると、実際に習いごとに行った子どもの遊び時間のうち「テレビ（含むラジオ・読書）」（34分差）と「その他の室内遊び」（12分差）、及び「外での遊び」（9分差）がそれぞれ習い事に行かなかった子どもの遊び時間よりも短くなっている（第2-14表）。

第2-14表 習い事の有無別にみた小学生女の子の平日の生活時間（平均値）

	件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分
小学生女の子計	206	507	45	69	388	94	9	21	9	11	73	14	19	8	95	5	12	4	34	18
習い事無し有り	169 37	507 508	45 49	70 64	392 369	92 100	9 6	21 24	9 10	12 11	73 78	16 1	5 84	9 3	101 67	5 5	14 2	4 6	35 26	18 19

C. 学校の部活動の有無別にみた中学2年生の土曜日の遊び時間

次に、部活動への参加の有無別に中学2年生の遊び時間をみていこう。土曜日についてみると、部活動に参加した子どもでは、遊び時間のうち「テレビ（含むラジオ・読書）」が49分短く、「外での遊び」は26分短い。また、「レジャー外出」も56分短くなっている（第2-15表）。

第2-15表 学校の部活動の有無別にみた中学2年生の土曜日の生活時間（平均値）

	件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分
中学2年生計	194	532	55	96	8	105	18	55	35	16	69	22	12	13	210	35	21	65	39	31
部活動無し有り	145 49	538 513	58 49	99 87	7 9	42 293	22 6	57 48	37 27	18 12	73 56	21 27	14 5	16 5	223 174	34 40	21 20	79 23	45 19	32 28

D. 塾の有無別にみた全学年の平日の遊び時間

通塾別に平日の遊び時間についてみていこう。調査日に実際、塾に行った子どもと塾には行かなかった子どもの遊び時間をそれぞれ比較すると、通塾した子どもではいずれの学年でも「テレビ（含むラジオ・読書）」の時間が短く、小学生では23分差、中学2年生では49分差、中学3年生では39分差となっている。また、小学生では「外での遊び」時間も19分短い（第2-16表）。

第2-16表 塾の有無別にみた平日の生活時間（平均値）

	件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分
小学生計	411	515	43	66	399	79	6	19	9	10	67	14	15	17	94	13	9	3	39	17
塾無し有り	351 59	519 495	44 38	66 63	400 393	78 87	7 3	18 29	9 7	9 12	68 66	0 100	17 4	18 8	97 74	13 8	9 8	4 2	41 22	18 12
中学2年生計	194	460	43	64	431	168	3	15	12	9	69	26	4	5	85	11	4	3	13	13
塾無し有り	148 46	466 440	44 39	64 62	429 437	171 160	3 0	12 24	13 10	9 7	74 54	0 110	4 4	5 2	97 48	13 6	3 6	4 0	12 15	13 13
中学3年生計	145	453	47	62	451	73	3	16	21	7	96	43	3	5	96	11	8	3	14	26
塾無し有り	100 45	460 438	51 38	63 58	445 464	75 66	4 1	11 26	23 18	9 3	114 57	0 138	2 5	7 1	108 69	13 9	9 5	3 4	15 12	25 27

このように、スケジュールの有無別に遊び時間をみると、なにかしらのスケジュールが入っている子どもの遊び時間は総じて短く、とくに「テレビ（含むラジオ・読書）」はいずれの場合でもかなり短くなっており、共通している。また、「外での遊び」時間もスケジュールの入っている子どもでは短くなっているが、塾の有無別にみた場合では中学生で違いがみられなかった。

また、遊び以外の生活時間に着目すると、スケジュールがあることによって「睡眠時間」が短くなっているケースが生じていることがわかる。

中学2年生について部活動への参加別に、土曜日の1日の「睡眠時間」をみると、参加した子どもの「睡眠時間」は25分短くなっている。また、塾の有無別にみると、平日に塾に通った子どもの「睡眠時間」は塾に行かなかった子どものそれに比べ、小学生では24分、中学2年生では26分、中学3年生では22分それぞれ短くなっている。

このように、部活動の有無（土曜日）や塾の有無（平日）が「睡眠時間」にも影響を与えていることがわかる。なお、小学生の男の子におけるスポーツクラブの有無別（土曜日）や小学生の女の子における習い事の有無別（平日）では「睡眠時間」の違いはみられない。

③ 親のTV視聴時間別にみた子どものTV視聴時間

本調査では、母親にもアンケート調査で母親のTV視聴時間をきいている。第2-17表は母親のTV視聴時間別に子どもの視聴時間を曜日別に示したものである。

第2-17表 母親のテレビの視聴時間別にみた子どものテレビ視聴時間（平均値）

	件数	土曜日		日曜日		平日	
		分テレビ・ビデオ・	家でテレビをみながら食事・分	分テレビ・ビデオ・	家でテレビをみながら食事・分	分テレビ・ビデオ・	家でテレビをみながら食事・分
小学生計	411	148	33	124	38	75	23
1時間未満	86	139	22	117	27	80	16
1時間以上	152	149	33	131	37	74	24
2時間以上	131	148	37	115	46	73	22
4時間以上	40	162	45	140	42	72	38
中学2年生計	194	154	35	131	39	66	25
1時間未満	30	162	16	121	25	57	18
1時間以上	80	155	44	141	41	62	25
2時間以上	64	136	33	123	37	69	27
4時間以上	19	189	40	126	58	83	35
中学3年生計	145	149	27	134	35	66	19
1時間未満	24	107	19	133	18	67	14
1時間以上	73	140	25	126	30	65	20
2時間以上	39	178	31	147	48	67	20
4時間以上	8	214	51	156	62	73	24

(注) 1時間未満は15分以上1時間未満のことである。

それによると、子どもの「テレビ・ビデオ」時間は必ずしも母親のTV視聴時間の長短と関連しているとはいえない。

ただし、「テレビを見ながら家で食事」の時間は、母親のTV視聴時間と相関がみられる。土曜日について小学生を例に示すと、母親のTV視聴時間が1時間未満では、子どもの「テレビ見ながら家で食事」時間が22分であるのに対し、4時間以上の場合は45分と倍みられる。このような傾向は、中学生でも同様であり、また、曜日を問わず共通している。

したがって、母親のTV視聴時間が長い場合には、「テレビを見ながら食事」をするスタイルをとっていることがうかがえる。そして、それに対応して子どものTV視聴時間も長くなると推測される。

④ 子ども専用テレビの有無別にみた子どものTV視聴時間とテレビゲームの時間

ちなみに、子ども専用のテレビを所有しているか否かで、子どものTV視聴時間やテレビゲームの時間は異なってくるのだろうか（第2-18表）。

中学2年生においては、専用テレビを持つ子どもの「テレビ・ビデオ」や「テレビゲーム」の時間が専用のテレビがない子どものそれらを上回っていることは確認できるが、このような傾向は小学生や中学3年生ではみられない。したがって、専用テレビの有無とテレビ画面視聴時間には関連性があるとはこの結果だけからは断言はできない。

第2-18表 子ども専用テレビの有無別にみたテレビ視聴時間とテレビゲーム時間（平均値）

	件数	日曜日			土曜日			平日		
		分テレビ・ビデオ・	テレビゲーム・分	・TV+TVゲーム	分テレビ・ビデオ・	テレビゲーム・分	・TV+TVゲーム	分テレビ・ビデオ・	テレビゲーム・分	・TV+TVゲーム
小学生計	411	148	49	197	124	38	162	75	13	88
ある	34	147	56	203	84	38	122	64	28	93
きょうだいで見るテレビがある	99	147	73	220	131	45	176	78	10	88
ない	275	147	40	186	126	36	162	76	12	87
中学2年生計	194	154	35	189	131	34	165	66	11	76
ある	34	180	59	240	141	65	206	78	14	92
きょうだいで見るテレビがある	37	131	49	181	116	27	144	75	13	89
ない	123	153	24	178	133	28	160	59	9	69
中学3年生計	145	149	31	179	134	33	168	66	11	78
ある	17	121	30	151	133	46	179	84	12	96
きょうだいで見るテレビがある	20	126	28	154	111	32	143	68	8	76
ない	108	157	31	189	139	32	170	13	12	75

第3章 人間関係について

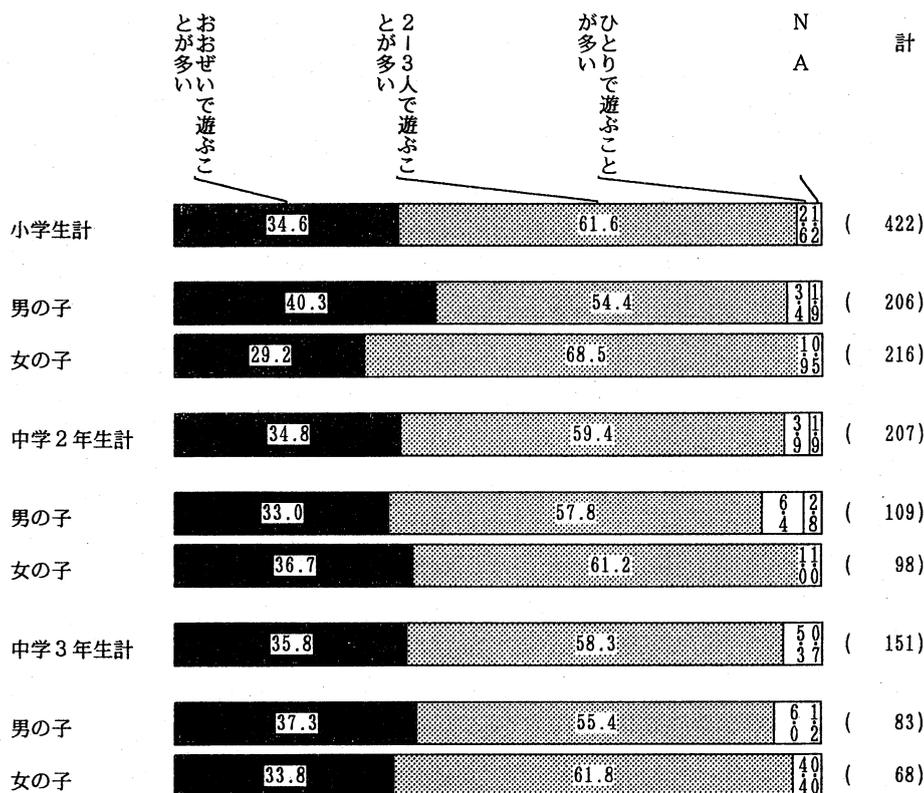
ここでは、子どもの人間関係についてみていくことにする。本調査では①友達との関係、②学校の先生との関係、③親子関係についてきいてみたので、順を追って分析を進めていく。

1. 友達関係

(1) 一緒に遊ぶ友達の人数

まず、一緒に遊ぶ友達の人数についての子どもの回答をみていこう。第3-1図よりみると、いずれの学年でも「2～3人で遊ぶことが多い」が6割前後と多く、「大勢で遊ぶことが多い」(3割強)の2倍近くみられる。「ひとりで遊ぶことが多い」は3～5%とわずかである。このように「ひとり遊び」は少ないが、「2～3人」がもっとも多くを占めており、遊び友達の小人数化がうかがえる。

第3-1図 一緒に遊ぶ友達の人数



性別にみると、小学生で違いがみられる。「大勢」：「2～3人」の比率が男の子では40.3%：54.4%、女の子では29.2%：68.5%となっており、男の子は女の子に比べ「大勢で遊ぶこと」が多く、女の子では小人数で遊ぶ子どもが多くなっている。これは前述した第2章の「遊びの種類」でみたように、男の子ではボールを使ったスポーツ（サッカー、バスケットボール、野球など）をしているのに対し、女の子では少ないことと関連していると思われる。

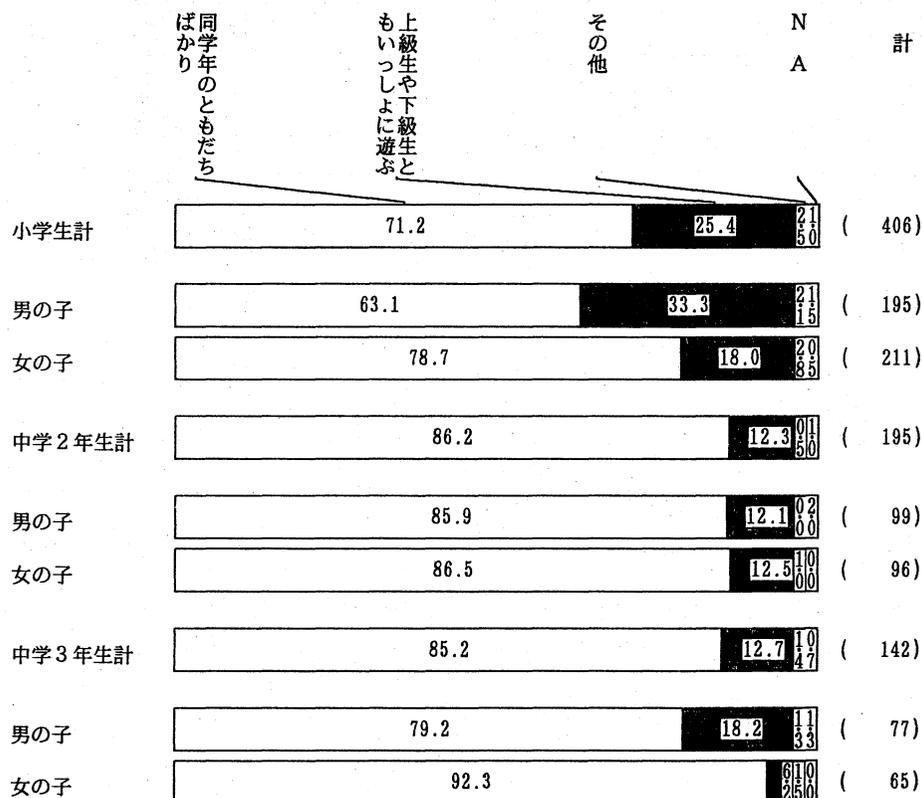
(2) 一緒に遊ぶ友達の学年

友達と遊ぶ子どものうち、上級生や下級生などと遊ぶことがある子どもはどのくらいいるのであろうか。子どもの回答を第3-2図よりみていこう。

「上級生や下級生とも一緒に遊ぶ」の比率をみると、小学生計では25.4%と中学生（1割強）より多くなっているが、4人に1人しかいない。残りの4分の3の子どもは「同学年の友達ばかり」と遊んでいる。小学生を性別にみると、「上級生や下級生とも一緒に遊ぶ」子どもは男の子にやや多く33.3%を占めるが、それでも3人に1人の割合にとどまっている（女の子18.0%）。また、中学3年生でも性による違いがある。女の子のほとんどが「同学年の友達」（92.3%）と回答したのに対し、男の子では「上級生や下級生」が18.2%みられる。

このように、異年齢の子ども集団が形成されていないケースが多いことを示す結果となっている。

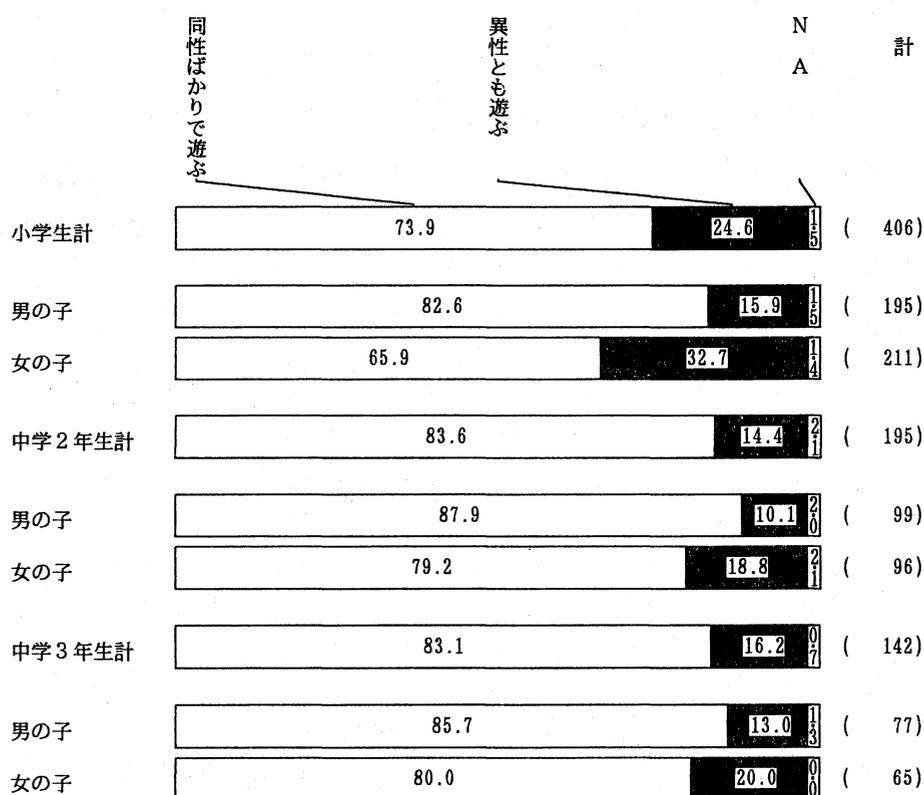
第3-2図 一緒に遊ぶ友達の学年



(3) 一緒に遊ぶ友達の性別

では、一緒に遊ぶ友達の性別についての子どもの回答を第3-3図よりみていこう。同性ばかりではなく異性の友達と遊ぶことはあるのだろうか。「異性とも遊ぶ」と回答した子どもは小学生では24.6%を占めるが、中学生では1割台（中学2年生14.4%、中学3年生16.2%）にとどまり、どちらも決して多いとはいえない。「同性ばかりで遊ぶ」が7割強から8割強を占め多数となっている。これを性別にみると、いずれの学年でも女の子の方が「異性とも遊ぶ」とより多く回答していることがわかる。

第3-3図 一緒に遊ぶ友達の性別



以上のように、調査回答者の子ども達は小人数で遊ぶことが多く、上級生や下級生よりも同学年の友達、それも同性ばかりとより多く遊ぶ子どもが多数であることがわかる。これらが相互に関連していることは、第3-1表のように遊ぶ友達の数別にみるとさらにはっきりとしてくる。2~3人といった小人数で遊ぶことが多い子どもは同学年や同性の友達と遊ぶことがより多い。他方、大勢で遊ぶことが多い子どもは上級生や下級生、異性とも遊んでいることがより多いからである。

第3-1表 一緒に遊ぶ友達の学年・性別（遊ぶ友達の数別）

			同 学 年 の と も だ ち	も い っ し よ に 遊 ぶ	上 級 生 や 下 級 生 と	そ の 他	N A	同 性 ば か り で 遊 ぶ	異 性 と も 遊 ぶ	N A	計
小学生	男の子	おおぜいで遊ぶことが多い	54.2	42.2	...	3.6		73.5	22.9	3.6	83
		2-3人で遊ぶことが多い	69.6	26.8	3.6	...		89.3	10.7	...	112
小学生	女の子	おおぜいで遊ぶことが多い	63.4	31.0	2.8	2.8		62.0	33.8	4.2	71
		2-3人で遊ぶことが多い	82.9	15.4	1.6	...		77.2	22.0	0.8	123
中学生	男の子	おおぜいで遊ぶことが多い	82.1	14.9	...	3.0		79.1	17.9	3.0	67
		2-3人で遊ぶことが多い	83.5	14.7	0.9	0.9		91.7	7.3	0.9	109
中学生	女の子	おおぜいで遊ぶことが多い	86.4	13.6		69.5	30.5	...	59
		2-3人で遊ぶことが多い	90.2	7.8	2.0	...		85.3	12.7	2.0	102

(4) ひとりで遊ぶことの多い子どもの遊びの種類

ところで、「ひとりで遊ぶことが多い」子どもはふだんどのような遊びをしているのだろうか。「ひとりで遊ぶことが多い」と回答した子どもは小学生で11名、中学生で16名と少数であるが、その子ども達の遊びの種類を第3-2表よりみてみよう。

外遊びは非常に少なく、学年、性を共通して若干みられるのは「自転車に乗る」だけである。回答の大半は室内遊びに集中し、「本・マンガ」「テレビやビデオ」「テレビゲーム」「音楽を聞く」「趣味」といった回答が多くなっているが、「おしゃべり・電話」「トランプなどのゲームをする」は皆無、あるいは数パーセントと極端に少ない。

第3-2表 放課後自由時間の遊びの種類（3つ以内選択）（遊び友達の数別）

		サッカー	バスケットボール	野球・ソフトボール	ドッチボール	その他のボール遊び	スケートボード・ローラースケート	自転車にのる	おにごっこ・かくれんぼ	おしゃべり・電話	本・マンガを読む	音楽を聞く	テレビやビデオをみる	テレビゲームをする	ランプなどのゲームをする	カラオケをする	趣味をする	その他	N	計	回答累計
小学生男の子	おおぜいで遊ぶことが多い	57.8	34.9	26.5	13.3	8.4	2.4	15.7	7.2	1.2	41.0	1.2	28.9	45.8	3.6	...	3.6	3.6	...	83	295.2
	2-3人で遊ぶことが多い	32.1	32.1	17.0	7.1	2.7	3.6	20.5	3.6	7.1	45.5	5.4	38.4	55.4	4.5	...	7.1	4.5	...	112	286.6
	ひとりで遊ぶことが多い	14.3	100.0	14.3	71.4	57.1	14.3	...	7	271.4
小学生女の子	おおぜいで遊ぶことが多い	7.9	15.9	1.6	11.1	11.1	3.2	15.9	19.0	27.0	42.9	12.7	54.0	11.1	14.3	...	14.3	14.3	...	63	276.2
	2-3人で遊ぶことが多い	...	7.4	1.4	4.1	8.1	5.4	23.6	7.4	40.5	62.2	18.2	52.0	24.3	10.1	...	12.2	10.1	0.7	148	287.2
	ひとりで遊ぶことが多い	25.0	25.0	25.0	50.0	...	50.0	25.0	75.0	25.0	...	4	300.0
中学生男の子	おおぜいで遊ぶことが多い	29.9	26.9	17.9	1.5	6.0	1.5	9.0	...	19.4	38.8	35.8	43.3	35.8	1.5	...	6.0	11.9	...	67	285.1
	2-3人で遊ぶことが多い	17.4	17.4	9.2	...	3.7	1.8	9.2	...	8.3	56.9	39.4	50.5	42.2	2.8	0.9	5.5	15.6	...	109	280.7
	ひとりで遊ぶことが多い	8.3	16.7	8.3	...	8.3	...	8.3	66.7	25.0	66.7	33.3	8.3	8.3	8.3	12	258.3
中学生女の子	おおぜいで遊ぶことが多い	...	11.9	3.4	...	15.3	...	3.4	1.7	54.2	37.3	39.0	44.1	1.7	1.7	1.7	10.2	30.5	1.7	59	255.9
	2-3人で遊ぶことが多い	...	3.9	5.9	...	10.8	1.0	2.0	...	44.1	48.0	49.0	66.7	10.8	1.0	1.0	3.9	17.6	...	102	265.7
	ひとりで遊ぶことが多い	25.0	...	25.0	75.0	75.0	50.0	25.0	4	275.0

2. 学校の先生との関係

次に学校のクラスの担任の先生との関係をみてみよう。第3-4図よりみると、自分の気持ちを「わかってくれていると思う」と回答した子どもは小学生では7割、中学生では5割台を占め、多数となっているが、自分の気持ちを「わかってくれていないと思う」と回答した子どもは小学生で3割、中学生で4割強みられる。

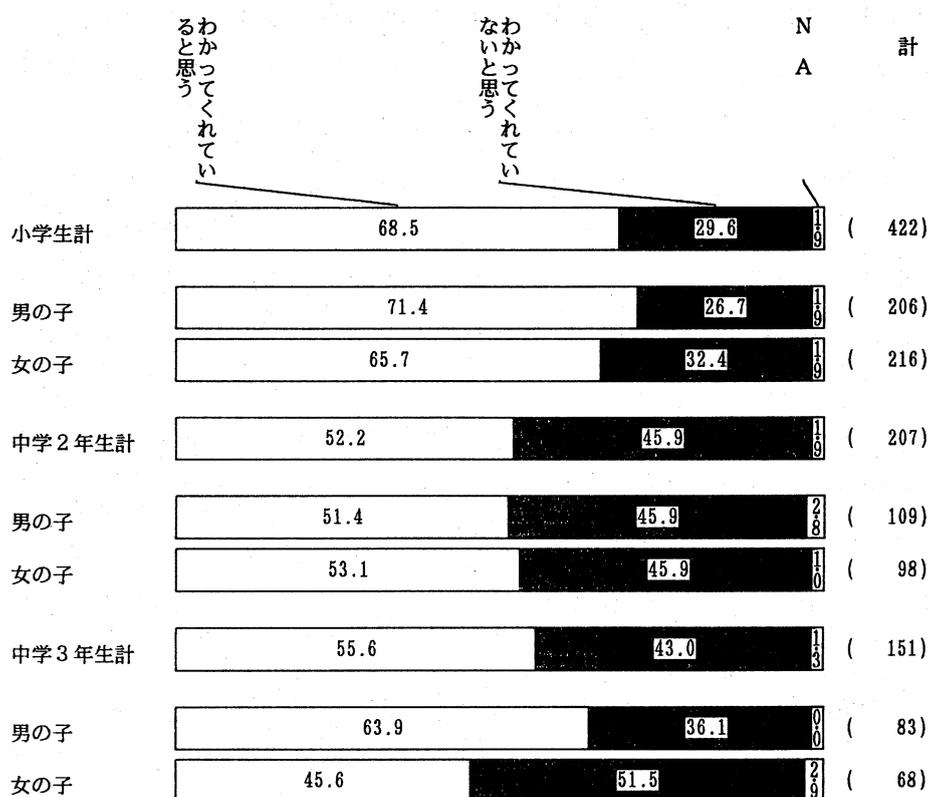
3. 親子関係

(1) 両親から言われること

本調査では、両親は[いつも「勉強しなさい」と言う]と[いつも「遊んでばかりいて」「テレビばかり見て」としかる]といった設問に対し、それぞれ「はい」「いいえ」の二者択一で子どもに回答を求めた。

まず、父親から言われることについてみていこう。第3-3表より小学生についてみると、[いつも「勉強しなさい」と言う]は29.1%、[いつも「遊んでばかりいて」「テレビばかり見て」としかる]は24.9%となっている。中学生でもこの傾向は類似している。

第3-4図 担任が気持ちをわかってくれているかどうか



第3-3表 父親から言われること〈はいの比率〉

	お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん	お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん	お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん	お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん	お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん	お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん お父さん お母さん	計	回 答 累 計
小学生計	29.1	24.9	46.0	61.6	43.6	56.4	422	261.6
男の子	32.5	29.1	42.2	71.8	45.6	57.3	206	278.6
女の子	25.9	20.8	49.5	51.9	41.7	55.6	216	245.4
中学2年生計	29.5	30.0	31.9	63.3	51.7	27.5	207	233.8
男の子	35.8	33.9	25.7	67.9	53.2	26.6	109	243.1
女の子	22.4	25.5	38.8	58.2	50.0	28.6	98	223.5
中学3年生計	25.2	21.2	23.2	57.0	53.6	16.6	151	196.7
男の子	21.7	18.1	22.9	61.4	50.6	16.9	83	191.6
女の子	29.4	25.0	23.5	51.5	57.4	16.2	68	202.9

このように、いつも父親に言われると回答した子どもはそれぞれ2～3割にとどまり、残りの7～8割の子どもは父親からはこのような注意をいつも受けているとは考えていない。

性別にみると、注意を受けている子どもの比率は小学生と中学2年生では男の子の方が女の子より7～13ポイント多くなっている。しかし、中学3年生になると女の子の方が多くなり、男の子を7～8ポイント上回っている。

次に、母親から言われることについてみていこう。母親からいつも「勉強しなさい」と言われていると回答した子どもと言われてはいないと回答した子どもは、いずれの学年でも概ね半々となっている。性別にみると、男の子ではいつも母親から注意されると考えている子どもが6割以上と女の子に比べると多く、とくに、小学生と中学2年生の男の子では7割前後を占める。

また、母親からいつも「遊んでばかりいて」「テレビばかり見て」と叱られていると考えている子どもの比率は、小学生では4割強、中学生では5割台である。中学生の方がやや多めではあるが、総じていつも叱られている子どもとそうでない子どもが半々となっている。性別にみると、「いつも叱られている」は小学生と中学2年生では男の子の方が3～4ポイントとやや多めであるが、中学3年生では逆に女の子の方が7ポイント多い。

このように、父親から注意を受けている子どもは2～3割にとどまり、多数の子どもは父親からいつも言われたり、叱られたりするとは考えていない。これに対し、母親から注意を受けている子どもとそのように思わない子どもは概ね2分の1ずつを占めており、両親の態度を比較すると、母親から言われると思うと回答した子どもの方が多くなっている。

ここで、第3－4表より親の学歴別にみると、中学生では父親の学歴が高い子どもほど父親に「勉強しなさい」と言われていることがわかる。その比率を示せば、父親の学歴が高卒の場合は2割強にとどまっているのに対し、専門学校卒以上（短大・高専卒、大学卒以上を含む）では3割強から5割弱と多い。小学生ではこのような違いは生じていない。

(2) 両親は宿題などを教えてくれるかどうかについて

ところで、子どもは両親が「いつも宿題などを教えてくれる」と考えているのだろうか。「はい」と回答した子どもの比率に注目していこう（前掲第3－3表）。

小学生では父親が「宿題を教えてくれる」と回答した子どもが46.0%、母親に教わる子どもが56.4%を占め、後者の方がやや多めである。

中学生になると、父親に教わる子どもは減少し、中学2年生男の子では25.7%、女の子では38.8%、中学3年生の男の子では22.9%、女の子では23.5%となる。他方、母親が「宿題を教えてくれる」の比率も小学生を下回り、中学2年生では男の子26.6%、女の子28.6%、中学3年生では男の子16.9%、女の子16.2%となり、子どもの成長に伴いその比率は少なくなる。

第3-4表 父親から言われること〈はいの比率〉(両親の学歴別)

	な お さ い と 言 う	お お さ い と 言 う	お お さ い と 言 う	お お さ い と 言 う	お お さ い と 言 う	お お さ い と 言 う	お お さ い と 言 う	計	回 答 累 計
小学生計	29.1	24.9	46.0	61.6	43.6	56.4	422	261.6	
父親の最終学歴別	中卒	27.8	27.8	33.3	72.2	50.0	44.4	18	255.6
	高卒	29.2	24.5	48.1	63.0	46.8	60.2	216	271.8
	専門学校卒	37.5	37.5	50.0	50.0	18.8	50.0	16	243.8
	短大・高専卒	40.0	26.7	53.3	66.7	26.7	53.3	15	266.7
	大学卒以上	25.2	25.2	43.9	59.8	41.1	49.5	107	244.9
母親の最終学歴別	中卒	70.0	40.0	40.0	70.0	70.0	40.0	10	330.0
	高卒	26.1	23.9	47.0	62.2	41.7	56.1	230	257.0
	専門学校卒	39.4	36.4	42.4	57.6	48.5	51.5	33	275.8
	短大・高専卒	32.1	25.6	51.3	56.4	44.9	57.7	78	267.9
	大学卒以上	18.4	13.2	34.2	63.2	34.2	57.9	38	221.1
中学生計	27.7	26.3	28.2	60.6	52.5	22.9	358	218.2	
父親の最終学歴別	中卒	18.8	12.5	...	68.8	43.8	...	16	143.8
	高卒	22.8	24.9	22.8	59.8	54.0	19.6	189	203.7
	専門学校卒	45.5	27.3	27.3	63.6	45.5	27.3	11	236.4
	短大・高専卒	47.1	52.9	29.4	58.8	47.1	17.6	17	252.9
	大学卒以上	32.1	27.2	45.7	64.2	49.4	33.3	81	251.9
母親の最終学歴別	中卒	15.4	7.7	15.4	46.2	23.1	7.7	13	115.4
	高卒	23.9	25.9	25.9	61.0	56.1	20.5	205	213.2
	専門学校卒	43.8	40.6	18.8	62.5	53.1	21.9	32	240.6
	短大・高専卒	26.7	23.3	33.3	55.0	43.3	25.0	60	206.7
	大学卒以上	37.0	29.6	48.1	70.4	55.6	48.1	27	288.9

再び第3-4表より親の属性別にみると、中学生では親の学歴別に違いがみられる。「宿題などを教えてくれる」と回答した子どもは、父親、あるいは母親が大学卒以上の場合に多い(大卒父親45.7%、大卒母親48.1%、その他の学歴の場合は2割台)。

両親のどちらからにも教わっていない子どもはどのくらいいるのであろうか(第3-5表)。小学生では全く教わっていない子どもの比率が2割台、中学生になると増加し、中学2年生では男の子で58.7%、女の子では48.0%、中学3年生では男の子66.3%、女の子67.6%とさらに多くみられる。他方、両親から教わっている子どもは小学生は3割あるが、中学2年生では1割台、中学3年生では1割に満たない。

第3-5表 両親はいつも宿題などを教えてくれるかどうかについて
(父親の態度別にみた母親の態度)

	父親の態度			
	はい		いいえ	
	母親の態度		母親の態度	
	はい	いいえ	はい	いいえ
小学生男の子	61 29.6	25 12.1	57 27.7	59 28.6
小学生女の子	67 31.0	38 17.6	53 24.5	54 25.0
中学2年生男の子	14 12.8	14 12.8	15 13.8	64 58.7
中学2年生女の子	16 16.3	21 21.4	12 12.2	47 48.0
中学3年生男の子	7 8.4	12 14.5	7 8.4	55 66.3
中学3年生女の子	6 8.8	10 14.7	5 7.4	46 67.6

上段は人数、下段は比率。
比率は、例えば小学生男の子の場合は小学生男の子計を100として比率を算出している。

(3) 母親の子どもに対する態度

ところで、母親は子どもにはどのような態度をとっているのだろうか。具体的には、[自分は、子どもに対してはきびしい]と[自分は、子どもの勉強や成績についてうるさく言う]の2つの態度について「そう思う」「そう思わない」の二者択一で母親に回答を求めた(第3-6表)。

まず、[子どもに対してはきびしい]かどうかについてみると、「そう思わない」と回答した母親が多数を占め、[子どもに対してはきびしい]と回答した母親は、小学生と中学2年生ではおよそ3人に1人の割合、中学3年生の母親では4人に1人の割合にどとまった。性別でみると、男の子の母親の方が「厳しい」の比率が2~6ポイントとやや多めである。

[勉強や成績についてうるさく言う]は小学生の母親(37.9%)よりも中学生の母親にやや多く、中学2年生で45.4%、中学3年生で40.4%を占めている。性別にみると、いずれの学年でも男の子の母親の方が女の子の母親より多い(小学生16ポイント差、中学2年生7ポイント差、中学3年生17ポイント差)。

第3-6表 子どもに対する態度（母親の回答）〈そう思うの比率〉

	き 子 ど も に 対 し て は	よ く わ か っ て い る	子 ど も の 気 持 ち を	て う る さ く 言 う	勉 強 や 成 績 に つ い	な こ と を 話 す	子 ど も に い ろ い ろ	あ た た か い 親 だ	子 ど も に や さ し く	計	回 答 累 計
小学生計	35.3	55.0	37.9	75.1	49.3	422	252.6				
男の子	38.3	54.9	46.1	70.4	51.0	206	260.7				
女の子	32.4	55.1	30.1	79.6	47.7	216	244.9				
中学2年生計	32.9	47.3	45.4	79.7	56.0	207	261.4				
男の子	33.9	44.0	48.6	78.0	51.4	109	256.0				
女の子	31.6	51.0	41.8	81.6	61.2	98	267.3				
中学3年生計	25.8	35.8	40.4	68.9	51.0	151	221.9				
男の子	27.7	33.7	48.2	71.1	51.8	83	232.5				
女の子	23.5	38.2	30.9	66.2	50.0	68	208.8				

母親の子どもに対する態度と子どもの受け止め方には関連性がみられるのだろうか。

第3-7表よりみると、[子どもの勉強や成績についてうるさく言う]と回答した母親の場合、自分
はうるさく言うとは思わないと回答した母親に比べ、母親からいつも注意を受けると回答した子ども
の比率は多くなっている。

また、[子どもがよい成績をとるように、いろいろ手だてをこうじている]と回答した母親の場合
は、いつもお母さんから「勉強しなさい」「遊んでばかりいて、テレビばかりみて」と注意されると回
答したり、[お母さんは宿題などを教えてくれる]と回答する子どもが多い。

第3-7表 母から言われること（子どもの回答）〈はいの比率〉
（母親の意識や態度（母親の回答）別）

		子どもの意識				
		な お ま い と 言 う	ば お か り さ ん — 勉 強 し	お ま ま さん — と 遊 ん で	ど お を 教 え ん — 宿 題 な る	計
母 親 の 意 識 や 態 度 別	うるさい	小学生男の子計	71.8	45.6	57.3	206
		そう思う	77.9	55.8	68.4	95
		そう思わない	66.4	37.3	48.2	110
	接し方	よい成績とるよう 手だてをこうじる 成績について手を うつことはしない	75.3	53.4	60.3	73
			69.5	42.0	55.7	131
	うるさい	小学生女の子計	51.9	41.7	55.6	216
		そう思う	80.0	52.3	61.5	65
		そう思わない	39.7	37.1	53.0	151
	接し方	よい成績とるよう 手だてをこうじる 成績について手を うつことはしない	64.8	49.3	60.6	71
			44.8	37.1	52.4	143
	うるさい	中学生男の子計	65.1	52.1	22.4	192
		そう思う	81.7	71.0	24.7	93
そう思わない		49.5	34.3	20.2	99	
接し方	よい成績とるよう 手だてをこうじる 成績について手を うつことはしない	74.4	61.5	25.6	78	
		59.3	46.0	19.5	113	
うるさい	中学生女の子計	55.4	53.0	23.5	166	
	そう思う	83.9	69.4	27.4	62	
	そう思わない	38.2	43.1	20.6	102	
接し方	よい成績とるよう 手だてをこうじる 成績について手を うつことはしない	69.2	56.9	32.3	65	
		47.0	51.0	18.0	100	

(4) 両親は自分の気持ちを理解してくれているかどうかについて

では、子どもは自分の気持ちを両親はわかってくれていると感じているのだろうか。第3-8表よりみると、[お父さんはよくわかってくれる]は小学生で6割前後、中学生で5割前後を占め、[お母さんはよくわかってくれる]は小学生で7割弱、中学2年生では6割弱、中学3年生では5割強を占

めている。このように、[よくわかってくれる]の比率は小学生でもっとも多いが、父親から自分の気持ちを理解されていないと回答した小学生は3割台、母親の理解を得られないと考えている小学生は3割弱とそれぞれ少なくない（図表省略）。

また、[よくわかってくれる]の比率は学年が上がるに伴い減少し、逆に[よくわかってくれるとは思わない]の比率が増加する傾向にある。中学3年生では、父親に対しても、母親に対しても、[自分の気持ちをよくわかってきている]とは思えないといった回答がそれぞれ半数に達している。

さらに、父親への評価と母親への評価を比較すれば、いずれの学年でも母親は[自分の気持ちをよくわかってくれる]の比率が父親のそれを上回っている（小学生と中学2年生は8ポイント差、中学3年生7ポイント差）。

第3-8表 父母は気持ちをわかってくれるかどうか〈そう思うの比率〉

	か お つ て く れ る よ く わ	か お つ て く れ る よ く わ	計	回 答 累 計
小学生計	60.4	68.2	422	128.7
男の子	62.1	68.4	206	130.6
女の子	58.8	68.1	216	126.9
中学2年生計	50.7	58.5	207	109.2
男の子	54.1	58.7	109	112.8
女の子	46.9	58.2	98	105.1
中学3年生計	47.0	53.6	151	100.7
男の子	47.0	53.0	83	100.0
女の子	47.1	54.4	68	101.5

ところで、母親自身の評価はどうだろうか。前掲の第3-6表よりみると、[子どもの気持ちをよくわかっている]は小学生の母親では55.0%と過半数しかいない。中学生になるとその比率はさらに減少し、中学2年生の母親では47.3%、中学3年生の母親では35.8%と子どもの学年が上がるとともに[子どもの気持ちをよくわかっている]と回答した母親は少なくなる。子どもの成長とともに親自身の評価が低くなるのは、子ども側からの評価でも共通している。

では、子どもの評価と母親自身の評価の関連を検討しよう。第3-9表は母親自身の評価別に子どもの意識をみたものである。これによると、母親自身の評価が高い場合は、子どもの親への評価が高

く、逆に、母親自身の評価が低いと「お母さんは自分の気持ちをよくわかってくれている」と回答する子どもが多くなっている。

ただし、母親自身が子どもの気持ちをよくわかっているつもりでも、母親の理解は得られていないと感じている子どもは小学生では21%、中学生では32%と一定程度みられる。逆に、母親が子どもの気持ちはよくわからないと考えていたとしても、小学生では56~58%、中学生では48%の子どもは「お母さんは自分の気持ちをよくわかってくれている」と回答しており、母子の意識にギャップがみられる。

第3-9表 お母さんは自分の気持ちをよくわかってくれるかどうかについて
(子どもの回答)(子どもの気持ちをよくわかっているかどうか
(母親の回答)別)

		子どもの評価			
		そう 思う	そう 思わない	N A	計
母親の 評価別	小学生男の子計	68.4	28.6	2.9	206
	そう思う	77.0	21.2	1.8	113
	そう思わない	58.2	37.4	4.4	91
	小学生女の子計	68.1	29.6	2.3	216
	そう思う	77.3	21.0	1.7	119
	そう思わない	56.3	40.6	3.1	96
	中学生男の子計	56.3	41.7	2.1	192
	そう思う	68.4	31.6	...	76
	そう思わない	48.3	48.3	3.4	116
	中学生女の子計	56.6	41.6	1.8	166
	そう思う	65.8	31.6	2.6	76
	そう思わない	47.7	51.1	1.1	88

ところで、母親も父親も「自分の気持ちをよくわかってくれている」と考えている子どもはどのくらいいるのであろうか。第3-10表よりみると、小学生では男の子21.4%、女の子25.0%、中学2年生では男の子32.1%、女の子36.7%、中学3年生では男の子42.2%、女の子39.7%となっている。このように両親とも「自分の気持ちをよくわかってくれている」と感じている子どもは中学3年生がもっとも多く、4割前後を占めている。ただし、もっとも少ない小学生でも2割台みられる。

さらに、両親だけでなく、学校の先生にも自分の気持ちを理解されていないと回答した子どもの比率(人数)を同表よりみると、「両親ともわかってくれない」の比率の3分の2程度になっていること

がわかる。その分、学校の先生が役割を果たしていることを表している。しかし、男の子についてみると、小学生は8.7%、中学2年生は19.3%、中学3年生は24.1%と学年があがるとともに増加している。さらに、女の子ではその比率はいずれの学年でも男の子のそれを上回り、小学生は14.8%、中学2年生は25.5%、中学3年生は30.9%となっている。

このように、中学生では親からも先生からも「わかってもらえない」と考えている子どもが少なくないことを示している。

第3-10表 自分の気持ちを良くわかってくれないと考えている子どもの比率

	両親ともはわかってくれない		件数
	人 (%)	人 (%)	
小学生 男の子	44 (21.4)	18 (8.7)	206
女の子	54 (25.0)	32 (14.8)	216
中学2年生男の子	35 (32.1)	21 (19.3)	109
女の子	36 (36.7)	25 (25.5)	98
中学3年生男の子	35 (42.2)	20 (24.1)	83
女の子	27 (39.7)	21 (30.9)	68

(5) 悩みの相談相手

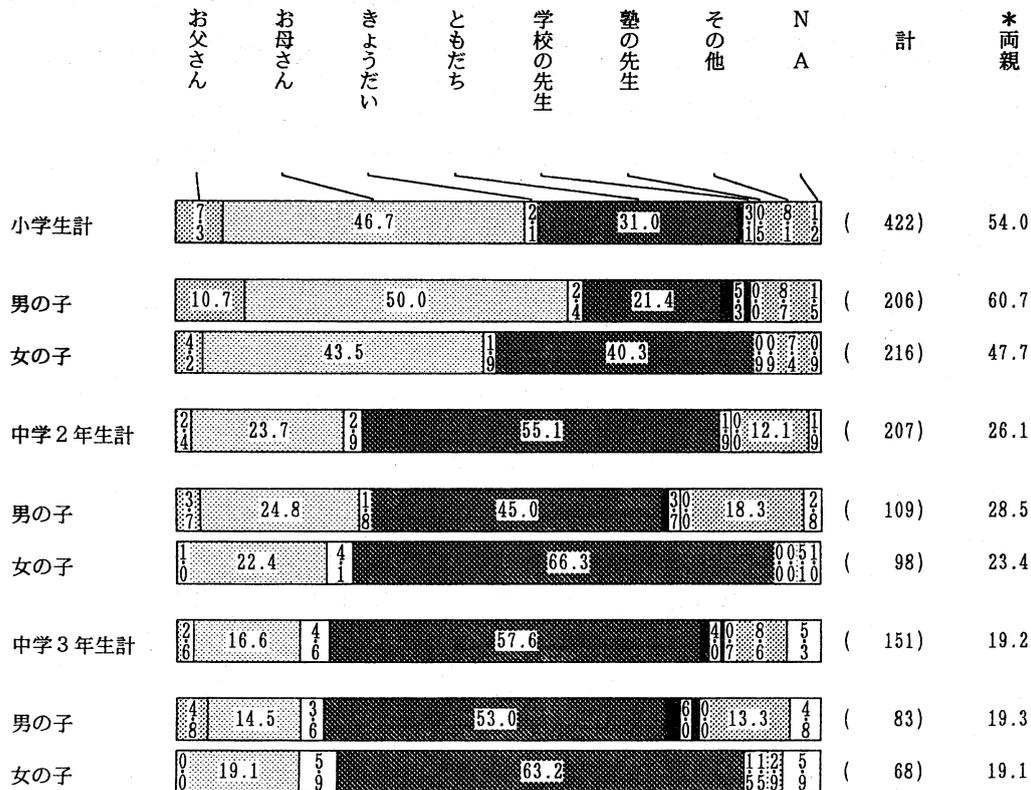
本調査では、親子関係をつかむために、悩みがある時は誰に相談するのかについて子どもにきいた(7項目中1つ選択)。

まず、第3-5図より小学生についてみていこう。主な相談相手としてもっとも多いのは「お母さん」であり、46.7%と中学生に比べてくに多い。また、「お父さん」は7.3%にとどまるが、これらを合わせた〈両親〉は54.0%と半数強となっている。また、「友達」も31.0%と3割を占める。

中学生になると、この「友達」の占めるウエイトが高まり、中学2年生では55.1%、中学3年生では57.6%と徐々に多くなる。他方、〈両親〉に相談する子どもの比率は中学2年生では26.1%、中学3年生ではさらに少なく19.2%となるが、そのほとんどが「お母さん」であり、「お父さん」は数パーセントである。

子どもの性別にみると、男の子では父親に相談する子どもが小学生では10.7%、中学2年生では3.7%、中学3年生では4.8%とそれぞれわずかであるが、女の子よりは若干多めである。女の子は友達に相談することが男の子より10~21ポイント多く、中学生の女の子ではおよそ3人に2人の割合で友達に相談している。

第3-5図 悩みを相談する相手



このように、悩みごとがあった時に〈両親〉に相談する子どもは、子どもの学年が上がるほど減少し、逆に友達に相談する子どもが増加しているが、親の常日頃の子どもへの接し方により、子どもの相談相手は異なっているのだろうか。本調査では、[子どもにいろいろなことを話す]や[子どもにやさしくあたたかい親だ]といった母親の日常の接し方をきいているので、第3-11表のように母親の子どもへの接し方別に子どもの相談相手を集計してみた。

母親に相談する子どもの比率に着目すると、小、中学生とも [子どもにいろいろなことを話す] や [子どもにやさしくあたたかい親だ] と回答した母親の場合は、そうでない母親に比べ子どもが悩みを母親に相談することがやや多く、4~11ポイント上回っている。

第3-11表 悩みを相談する相手（子どもに対する母親の態度別）

		子どもが悩みを相談する人								計	
		お父さん	お母さん	きょうだい	ともだち	学校の先生	塾の先生	その他	N A		
子どもに対する母親の態度別	小学生計	7.3	46.7	2.1	31.0	3.1	0.5	8.1	1.2	422	
	色々話す	そう思う	5.0	48.9	1.9	30.9	3.2	0.6	7.9	1.6	317
		そう思わない	14.6	40.8	2.9	30.1	2.9	...	8.7	...	103
	やさしい	そう思う	4.8	48.6	2.9	29.3	4.3	0.5	8.7	1.0	208
		そう思わない	10.0	44.8	1.4	32.4	1.9	0.5	7.6	1.4	210
	中学生計	2.5	20.7	3.6	56.1	2.8	0.3	10.6	3.4	358	
	色々話す	そう思う	2.2	23.4	4.5	53.5	3.3	0.4	9.3	3.3	269
		そう思わない	3.5	12.8	1.2	62.8	1.2	...	15.1	3.5	86
	やさしい	そう思う	2.6	24.4	4.7	52.8	3.6	0.5	9.8	1.6	193
		そう思わない	2.5	16.8	2.5	59.0	1.9	...	11.8	5.6	161

(6) 食事の相手・話の相手

生活時間調査では、行動によっては誰と一緒に行動したのかについてもきいている。ここでは親といっしょであったかどうかに関心をあてながら、①朝食を一緒に食べた相手、②夕食を一緒に食べた相手、③話をした相手について順にみていくことにする。

① 朝食を一緒に食べた相手

まず、朝食をとった子どもについて、誰と食事をしているのかについてみていこう（第3-12表）。

小学生について土曜日と日曜日のケースをみると、「両親がそろっている」と回答した子どもは土曜日では33.0%であるのに対し、日曜日では43.6%を占め、土曜日と比べると多くなっている。

中学2年生では、土曜日に「一人で（朝食をとる）」と回答した子どもが35.7%を占め、小学生（16.5%）よりも多い。そのため、「両親がそろっている」の比率は小学生と比べると少ないものの、28%と一定程度を占めている。このような傾向は日曜日でもみられ、中学3年生とも共通している。

平日では、NAが1割前後と多いことに留意する必要があるが、「両親がそろっている」の比率は

小学生で32.3%、中学2年生で23.0%、中学3年生で22.6%となっており、いずれの学年においても土曜日と日曜日を下回っている。また、「一人で」の比率は小学生では9.2%にとどまっているのに対し、中学2年生では25.3%、中学3年生では30.1%と多くなっている。

また、いずれの学年においても、「母がいて父がいない」の比率は「父がいて母がいない」の比率を大きく上回り、同時に、「両親がそろっている」の比率と同程度か、もしくは「両親がそろっている」の比率の方が多くなっている。

このように、朝食時に「両親がそろっている」状態は土曜日と日曜日が多く、平日はそれと比べると少ない。また、父親よりも母親と一緒に食事をとるケースが多く、仕事などで父親の朝食の時刻が家族とは異なっている様子がうかがえる。これらに加え、中学生ではいずれの日曜日も「一人で」の比率が一定程度みられる。

第3-12表 朝食を一緒に食べた相手

	土曜日							日曜日							平日											
	両親がそろっている	母がいて父がいない	父がいて母がいない	うだいと	祖父または祖母	友人のみ	一人で	N	A	計	両親がそろっている	母がいて父がいない	父がいて母がいない	うだいと	祖父または祖母	友人のみ	一人で	N	A	計						
小学生計	33.0	28.0	4.1	14.3	...	16.5	4.1	364		43.6	21.1	6.3	7.4	0.6	14.8	6.3	351		32.3	23.2	5.9	17.3	0.3	9.2	12.0	393
男の子	34.6	28.7	4.8	12.2	...	17.0	2.7	188		48.3	19.7	6.2	5.6	0.6	14.6	5.1	178		35.4	18.5	6.2	19.5	0.5	6.7	13.3	195
女の子	31.3	27.3	3.4	16.5	...	15.9	5.7	176		38.7	22.5	6.4	9.2	0.6	15.0	7.5	173		29.3	27.8	5.6	15.2	...	11.6	10.6	198
中学2年生計	28.0	24.8	3.8	4.5	0.6	35.7	2.5	157		28.5	17.0	3.6	5.5	0.6	35.8	9.1	165		23.0	24.2	6.7	7.9	0.6	25.3	12.4	178
男の子	31.6	26.6	3.8	2.5	1.3	32.9	1.3	79		30.1	20.5	4.8	6.0	...	30.1	8.4	83		23.1	25.3	11.0	7.7	...	19.8	13.2	91
女の子	24.4	23.1	3.8	6.4	...	38.5	3.8	78		26.8	13.4	2.4	4.9	1.2	41.5	9.8	82		23.0	23.0	2.3	8.0	1.1	31.0	11.5	87
中学3年生計	27.2	25.4	3.5	12.3	1.8	27.2	2.6	114		27.0	17.1	3.6	8.1	...	36.0	8.1	111		22.6	21.8	6.0	10.5	...	30.1	9.0	133
男の子	30.2	22.2	3.2	11.1	1.6	28.6	3.2	63		33.3	15.0	3.3	6.7	...	35.0	6.7	60		26.0	17.8	6.8	9.6	...	28.8	11.0	73
女の子	23.5	29.4	3.9	13.7	2.0	25.5	2.0	51		19.6	19.6	3.9	9.8	...	37.3	9.8	51		18.3	26.7	5.0	11.7	...	31.7	6.7	60

② 夕食を一緒に食べた相手

次に、夕食をとった子どもを対象に、一緒に食べた相手についてみていこう（第3-13表）。

いずれの日曜日においても、学年を通してNAが1割前後を占めることには注意が必要であるが、日曜日について小学生をみると、「両親がそろっている」が65.4%ともっとも多く、「母がいて父がいない」は16.9%、「父がいて母がいない」は2.4%となっている。NAが1割を占めていることを考慮すれば、〈両親がそろっている〉が7割と多数である。片親と食べている子どもは、〈母親だけ〉が2割、〈父親だけ〉が数パーセントで、そのほとんどは母親と食べているケースである。残りの1割の子どもは一緒に夕食を食べていないことになる。なお、「一人で」は1.1%とわずかである。このような傾向は中学生でも同様である。

土曜日の場合、日曜日と比べるといずれの学年でも「両親がそろっている」（小学生55.4%、中学生50.0%）の比率がやや少なくなる。逆に中学生では「一人で」が多くなり、中学2年生では

9.7%、中学3年生では11.6%を占める。

平日の場合は、「両親がそろっている」の比率は土曜日と日曜日を大きく下回り、小学生で36.4%、中学2年生で27.0%、中学3年生で31.9%にとどまっています、〈母親だけ〉と食べているケースが3～4割を占めている。さらに、中学3年生では「一人で」夕食を食べる子どもが18.4%と2割近くみられ、目立っている。

このように、「両親そろっている」の比率は朝食よりは夕食の方が多く、また、曜日別では日曜日をもっとも多いが、父親が夕食の時刻に家にいない場合も少ないとはいえない。さらに、平日では夕食の時刻に父親がいない家庭の方が多数であることがわかる。

第3-13表 夕食を一緒に食べた相手

	土曜日								日曜日								平日							
	両親がそろっている	母がいて父がいない	父がいて母がいない	祖父または祖母がいて母がいない	友人のみ	一人で	N	計	両親がそろっている	母がいて父がいない	父がいて母がいない	祖父または祖母がいて母がいない	友人のみ	一人で	N	計	両親がそろっている	母がいて父がいない	父がいて母がいない	祖父または祖母がいて母がいない	友人のみ	一人で	N	計
小学生計	55.4	21.7	3.5	4.9	1.1	3.3	10.1	368	65.4	16.9	2.4	3.5	0.3	1.1	10.5	373	36.4	37.9	2.8	8.5	...	3.5	10.8	398
男の子	55.7	18.0	4.4	6.6	0.5	3.3	11.5	183	63.0	18.8	2.1	4.7	...	1.0	10.4	192	35.0	37.1	3.0	8.6	...	4.6	11.7	197
女の子	55.1	25.4	2.7	3.2	1.6	3.2	8.6	185	68.0	14.9	2.8	2.2	0.6	1.1	10.5	181	37.8	38.8	2.5	8.5	...	2.5	10.0	201
中学2年生計	50.0	21.6	3.4	4.5	1.7	9.7	9.1	176	64.6	15.7	1.7	5.1	1.1	4.5	7.3	178	27.0	40.5	3.2	8.6	0.5	9.2	10.8	185
男の子	50.5	25.3	4.4	5.5	...	8.8	5.5	91	65.9	14.3	1.1	6.6	...	4.4	7.7	91	22.9	41.7	4.2	13.5	...	8.3	9.4	96
女の子	49.4	17.6	2.4	3.5	3.5	10.6	12.9	85	63.2	17.2	2.3	3.4	2.3	4.6	6.9	87	31.5	39.3	2.2	3.4	1.1	10.1	12.4	89
中学3年生計	50.0	18.1	6.5	5.1	0.7	11.6	8.0	138	61.5	16.3	6.7	2.2	0.7	3.0	9.6	135	31.9	30.5	...	5.0	1.4	18.4	12.8	141
男の子	50.0	19.2	7.7	1.3	1.3	15.4	5.1	78	69.9	12.3	6.8	...	1.4	...	9.6	73	28.9	31.6	...	2.6	2.6	22.4	11.8	76
女の子	50.0	16.7	5.0	10.0	...	6.7	11.7	60	51.6	21.0	6.5	4.8	...	6.5	9.7	62	35.4	29.2	...	7.7	...	13.8	13.8	65

③ 話をした相手

生活時間調査では「話をする」といった行動についても話した相手をたずねている。そこでここでは、子どもが、誰と話をしたのかについてみていく。第3-14表にその結果を示しているが、それについて述べる前に次の点を留意点として示しておきたい。

生活時間調査では15分間を時間の単位としているが、「話をする」という行動をとっていても15分に満たない場合がありうる。また食事を取りながら、あるいはテレビを見ながら話をしているケースも充分ありうる。したがって、同表で示す数値は、15分以上の時間「(もっぱら)話をした」と回答した子どもの比率である。

まず、日曜日についてみていこう。

小学生では、15分以上の時間「両親と話をした」子どもは16.1%にとどまり、「母と話をした(父とは話さない)」の8.8%と「父と話をした(母とは話さない)」の2.4%を加えても、〈片親あるいは両親〉と15分以上の時間「話をしている」子どもは27.3%である。他方、中学生は小学生と比べると「両親と話した」の比率はさらに少なく、中学2年生が8.2%、中学3年生が9.7%となり、〈片親

あるいは両親（と話した）の比率は中学2年生が19.0%、中学3年生が16.6%といずれも2割を切っている。

平日の場合はどうかであろうか、いずれの学年も日曜日と比べると「両親と話した」の比率は少なく、小学生が9.0%、中学2年生が6.2%、中学3年生が4.8%である。また、平日は学校で過ごす時間が1日の大部分を占めているため、相当な時間を学校で友達と話をしていることが推測されるが、それとは別に放課後などに「友達と」話をした子どもは小学生で12.7%、中学2年生で6.7%、中学3年生で11.7%となっている。

第3-14表 話をした相手（複数選択）

（上段は件数、下段は比率）

	日曜日							平日							計
	両親と話した	母と話した・父と	父と話した・母と	きょうだいと	友達と	祖父母と	N A	両親と話した	母と話した・父と	父と話した・母と	きょうだいと	友達と	祖父母と	N A	
小学生計	66 16.1	36 8.8	10 2.4	18 4.4	95 23.1	26 6.3	6 1.5	37 9.0	52 12.7	5 1.2	25 6.1	52 12.7	10 2.4	6 1.5	411
中学2年生計	16 8.2	18 9.3	3 1.5	14 7.2	21 10.8	4 2.1	1 0.5	12 6.2	12 6.2	1 0.5	16 8.2	13 6.7	4 2.1	2 1.0	194
中学3年生計	14 9.7	9 6.2	1 0.7	8 5.5	14 9.7	5 3.4	2 1.4	7 4.8	10 6.9	…	10 6.9	17 11.7	2 1.4	2 1.4	145

第4章 基本的な生活習慣

本章では子どもの基本的な生活習慣として、①ふだんの日、家でしていること、②家の仕事、③家事手伝い時間についてみていく。

1. ふだんの日、家でしていること

ふだんの日、家でしていることとして「朝ひとりで起きる」ことと「自分のまわりや自分の部屋のかたづけをする」ことについてみてみよう。

(1) 学年別にみた特徴

第4-1表より子どもの回答をみると、「朝ひとりで起きる」子どもは、小学生では47.2%に過ぎず、残りの半数の子どもは朝、ひとりで起きていないことになる。性別にみると、「朝、ひとりで起きる」子どもは男の子により多く53.9%を占め、女の子(40.7%)を13ポイント上回っている。

第4-1表 ふだんの日、家でしていること〈はいの比率〉

	朝ひとりで起きる	自分のまわりや部屋のかたづけ	計
小学生計	47.2	47.9	422
男の子	53.9	36.4	206
女の子	40.7	58.8	216
中学2年生計	46.4	52.7	207
男の子	46.8	46.8	109
女の子	45.9	59.2	98
中学3年生計	50.3	63.6	151
男の子	51.8	62.7	83
女の子	48.5	64.7	68

中学生はどうだろうか。[朝ひとりで起きる]子どもは中学2年生で46.4%、中学3年生で50.3%あり、小学生と同様に半数の子どもは朝ひとりで起きず、親などに起こしてもらっている。中学生では性による違いはみられない。

次に、[自分のまわりや部屋のかたづけ]についてみてみよう。

[自分のまわりや部屋のかたづけ]をしている子どもは小学生では47.9%と半数にとどまり、2人に1人は自分の身の回りの整理整頓をしていないことになる。中学生になると[自分のまわりや部屋のかたづけ]をする子どもは小学生よりも多くなり、中学2年生では52.7%、中学3年生では63.6%と学年があがるにつれ徐々に増加している。ただし、もっとも多い中学3年生でも3人に1人は身の回りの整理整頓をしていない。

これを性別にみると、[自分のまわりや部屋のかたづけ]をする子どもは女の子に多い。小学生では男の子が36.4%を占めるのに対し、女の子では58.8%と男の子を22ポイント上回っている。男の子は学齢とともに、身の回りの整理整頓をする子どもが女の子以上に増加するため、男女の比率の差は中学2年生では12ポイントにまで縮小し、中学3年生では女の子との差はなくなる。

(2) ふだんの日、家でしていることのクロス分析

では、自分の部屋を所有している子どものうちのくらいが[自分のまわりや部屋のかたづけをする]のだろうか。第4-2表は子ども部屋の所有別に示したものである。自分専用の部屋がある子どもについてみると、小学生の男の子では42.5%が、女の子では69.8%が部屋の片付けをすると回答しており、専用の部屋がない子どもやきょうだいと一緒に部屋を所有している子どもよりも、その比率は多くなっている。

ところで、母親からいつも「遊んでばかりいて」「テレビばかり見て」と叱られる子どもと叱られていない子どもとでは[自分のまわりや部屋の片付けをする]の比率にどのような違いがみられるのだろうか。第4-3表より「かたづけをしない」子どもの比率に着目してみよう。

まず、小学生の男の子についてみると、「遊んでばかりいて」と親から叱られる子どもでは「かたづけをしない」が70.2%であるのに対し、叱られない子どもでは57.7%であり、親から叱られる子どもの方が身の回りの整理整頓をしない子どもが多い。これは他の学年や女の子にもあてはまる。

このように、母親からいつも叱られていることと身の回りの整理整頓の間には相関がみられる。

第4-2表 自分のまわりや部屋のかたづけをするの比率（子ども専用の部屋の有無別）

		自分のまわりや部屋のかたづけをする		
		はい	いいえ	計
小学生男の子	ある	42.5	57.5	80
	きょうだいと一緒に の部屋がある 特別にはない	32.3	67.7	93
		31.3	68.8	32
小学生女の子	ある	69.8	30.2	106
	きょうだいと一緒に の部屋がある 特別にはない	44.8	55.2	87
		57.1	42.9	21
中2・男	ある	44.4	54.2	72
	きょうだいと一緒に の部屋がある	51.6	48.4	31
中2・男	ある	60.9	39.1	69
	きょうだいと一緒に の部屋がある	61.9	38.1	21
中3・男	ある	65.7	32.8	67
	きょうだいと一緒に の部屋がある	46.2	53.8	13
中3・女	ある	64.8	35.2	54
	きょうだいと一緒に の部屋がある	63.6	36.4	11

第4-3表 自分のまわりや部屋のかたづけをする子どもの比率（母親はいつも「遊んでばかりいて」「テレビばかり見て」と叱るかどうか別）

			子どもの回答		
			自分のまわりや部屋のかたづけをする		
			はい	いいえ	計
母親の子どもへの対応別	小学生男	叱る	29.8	70.2	94
		叱らない	42.3	57.7	111
	小学生女	叱る	58.9	41.1	90
		叱らない	58.1	41.9	124
	中2・男	叱る	44.8	55.2	58
		叱らない	51.0	49.0	49
	中2・女	叱る	55.1	44.9	49
		叱らない	63.8	36.2	47
	中3・男	叱る	57.1	42.9	42
		叱らない	70.0	30.0	40
	中3・女	叱る	56.4	43.6	39
		叱らない	75.9	24.1	29

2. 家の仕事

では、ふだん家でしている家の仕事はどのようなものがあるのだろうか。

(1) 学年別にみた特徴

第4-4表より子どもの回答をみると、いずれの学年でも「何もやらない」は1割強にとどまり、残りの9割弱の子どもはなんらかの家の仕事をしていることになる。

また、回答累計をみると、小学生では324.8%、中学2年生では271.5%、中学3年生では273.5%となっており、小学生は中学生に比べふだん家でしている仕事の種類が多くなっている。また、これを

性別にみると、いずれの学年でも女の子の回答累計が男の子のそれを上回り、女の子の方がより多くの家の仕事をしていることになる。その種類を示せば、小学生の女の子では一人あたり3.5種類と最も多いのに対し、中学3年生の男の子では2.4種類と最も少ない。

このように回答累計をみても、性や学年による差が生じていることが明らかであるので、ここでは、学年別・性別にみていくことにする。

① 小学生の場合

まず、小学生についてみてみよう。小学生の男の子は「おつかい」(48.5%)が最も多く、以下「風呂場の掃除」(38.3%)、「ゴミを出す」(36.9%)が続いている。それに対し、女の子では「自分の部屋のそうじ」(52.3%)、「おつかい」(48.1%)、「食事の後片付け」(47.7%)が上位を占め、性によって家の仕事の中身が異なっている。

男女の比率の差に着目すれば、「おつかい」は男女とも48%台で同率となり、「弟や妹の面倒をみる」は男女ともに3割台を占めている。男の子により多くみられる家の仕事は、多少の力と運動量を必要とする「風呂場の掃除」や「ゴミを出す」であり、その他のほとんどの家の仕事は女の子の方が多し。とくに男の子の比率を大きく超えているものは、「自分の部屋の掃除」(24ポイント差)、「洗濯物(ほす、またはたたむ)」(16ポイント差)、及び「食事の後片付け」(14ポイント差)である。

第4-4表 家の仕事でふだんしているもの(複数選択)(子どもの回答)

	自分の部屋のそうじ	洗濯物(ほす・またはたたむ)	食事のしたく	食事のあとかたづけ	ゴミを出す	おつかい	布団のあげおろし・ベッドを整える	風呂場のそうじ	弟や妹のめんどうをみる	その他	何もやらない	N A	計	回答 累計
小学生計	40.8 ③	23.0	28.2	41.0 ②	31.3	48.3 ①	31.5	34.1	34.8	11.8	10.0	0.9	422	324.8
男の子	28.6	15.0	23.8	34.0	36.9 ③	48.5 ①	26.2	38.3 ②	36.4	11.2	12.1	1.0	206	299.1
女の子	52.3 ①	30.6	32.4	47.7 ③	25.9	48.1 ②	36.6	30.1	33.3	12.5	7.9	0.9	216	349.5
中学2年生計	53.1 ①	17.9	22.2	32.4 ③	19.8	31.4	41.1 ②	25.6	19.8	8.2	13.0	1.0	207	271.5
男の子	46.8 ①	9.2	19.3	27.5	29.4	33.9 ③	36.7 ②	26.6	19.3	8.3	11.9	1.8	109	256.9
女の子	60.2 ①	27.6	25.5	37.8 ③	9.2	28.6 ②	45.9 ②	24.5	20.4	8.2	14.3	...	98	287.7
中学3年生計	64.2 ①	17.2	21.9	29.8 ③	15.9	27.2	47.0 ②	27.8	15.9	6.6	13.9	0.7	151	273.5
男の子	57.8 ①	6.0	15.7	25.3	18.1	25.3	44.6 ②	30.1 ③	13.3	7.2	15.7	1.2	83	243.3
女の子	72.1 ①	30.9	29.4	35.3 ③	13.2	29.4	50.0 ②	25.0 ②	19.1	5.9	11.8	...	68	310.3

(注) 表中の回答累計は「自分の部屋のそうじ」～「その他」の10項目の比率を合計した比率である。

② 中学2年生の場合

次に中学2年生をみてみよう。男女ともに「自分の部屋の掃除」(男の子46.8%、女の子60.2%)と「布団のあげおろし・ベッドを整える」(男の子36.7%、女の子45.9%)が上位にあがっており、その比率は女の子に多い。自分のことは自分でやるといった姿勢は小学生よりも見受けられるものの、概ね過半数の子どもは「自分の部屋の掃除」や「布団のあげおろし・ベッドを整える」ことはしていない。

男女の差に着目すれば、女の子に多いのは「洗濯物」(27.6%)と「食事のしたく」(25.5%)及び「食事の後片付け」(37.8%)である。逆に、男の子では「ごみを出す」(29.4%)や「おつかい」(33.9%)が多く、前者の「ごみを出す」は女の子と20ポイントもの開きがある。

③ 中学3年生の場合

中学3年生でも比率の違いはあるものの、中学2年生の結果とほぼ類似している。

ここで、子どもの成長に伴う変化についてまとめておくと、学齢があがるとともに「自分の部屋のそうじ」や「布団の上げ下ろし・ベッドを整える」の比率は増加し、逆に「おつかい」「弟や妹の面倒をみる」は減少している。また、男の子でより多くみられる「ごみを出す」は、子どもの成長に伴い少なくなっている。

(2) 家事や手伝いで子どもにやらせていること

次に、母親の回答をみてみよう。子どもと全く同じ選択肢を用意し、家の仕事で子どもにやらせているものを複数選択できいたところ第4-5表のような結果をえた。

いずれの学年でも「何もやらせていない」が数パーセントで1割を切っている。子どもでは「何もやらない」が1割強を占めていたのと比べると、この比率は若干少なめである。また、回答した選択肢数の合計を示す回答累計をみると、子どものそれを母親のそれが上回っている。

このように、母子間で回答の比率に差が生じているが、これは母親が考えているよりも、子どもは家の仕事をやっているとは回答していないことを意味している。ただし、概ね回答の傾向は一致しており、子どもがやっていると回答している比率の高い項目は母親の回答でも高い。

第4-5表 家事や手伝いで子どもにやらせていること（複数選択）（母親の回答）

	自分の部屋のそうじ	洗濯物はたたく	洗濯物をほすまた	食事のしたく	けし	食事のあとかたづけ	ごみを出す	おつかい	布団のあげおろし・ベッドを整える	風呂場のそうじ	をみる	弟や妹のめんどう	その他	何もやらせない	N	計	回答累計
小学生計	51.2 ③	24.2	24.4	51.7 ②	28.7	58.8 ①	36.0	35.8	39.3	16.1	3.1	0.9	422	366.1			
男の子	41.3 ③	13.1	18.0	46.1 ②	31.1	55.8 ①	32.5	38.3	38.8	18.9	4.9	1.0	206	333.9			
女の子	60.6 ②	34.7	30.6	56.9 ③	26.4	61.6 ①	39.4	33.3	39.8	13.4	1.4	0.9	216	396.7			
中学2年生計	59.9 ①	24.2	24.2	41.5	18.8	42.0 ③	44.0 ②	30.0	27.1	15.9	4.3	2.4	207	327.6			
男の子	50.5 ①	14.7	18.3	33.0	24.8	44.0 ②	42.2 ③	32.1	24.8	13.8	4.6	2.8	109	298.2			
女の子	70.4 ①	34.7	30.6	51.0 ②	12.2	39.8 ③	45.9 ③	27.6	29.6	18.4	4.1	2.0	98	360.2			
中学3年生計	72.2 ①	22.5	23.2	43.0 ③	15.2	36.4	49.0 ②	35.8	17.2	12.6	7.3	0.7	151	327.1			
男の子	68.7 ①	10.8	13.3	39.8 ③	21.7	38.6	45.8 ②	39.8 ③	16.9	18.1	8.4	1.2	83	313.3			
女の子	76.5 ①	36.8	35.3	47.1 ③	7.4	33.8	52.9 ②	30.9	17.6	5.9	5.9	...	68	344.1			

(注) 表中の回答累計は「自分の部屋のそうじ」～「その他」の10項目の比率を合計した比率である。丸数字は比率の順位である。

3. 家事手伝い時間

以上のように家の仕事の中身は、学年や性により異なっていた。ここでは、家事手伝いの時間（おつかい含む）を生活時間調査の結果からみてみよう。

(1) 学年別にみた特徴

まず、第4-6表より小学生についてみると、土曜日は男の子で16分、女の子で29分、日曜日は男の子で15分、女の子で27分とそれぞれ女の子の時間が長く、男の子の倍の時間をあてている。平日は土曜日や日曜日と違い、学校の時間が多くを占めるので、男の子で4分、女の子で9分と短くなるが、平日でも女の子の家事手伝い時間は男の子の倍みられる。

次に中学生についてみてみよう。

土曜日を見ると、中学2年生では男の子が13分、女の子が24分、中学3年生では男の子が15分、女の子が13分となっている。日曜日を見ると、中学2年生では男の子が8分、女の子が17分、中学3年生では男の子が14分、女の子が21分である。中学3年生では土曜日で男女の時間がほぼ同じになっているが、2日間のトータルでみれば、中学3年生も中学2年生と同様に、女の子の方が時間が長い。また、平日は中学2年生では男女とも3分、中学3年生では男の子が1分、女の子が5分と、土曜日や日曜日に比べ短くなっている。

このように小、中学生とも、平日よりも土曜日や日曜日の時間が長くなっており、男の子よりも女の子の方が家事手伝いの時間が長い。ただし、前章でみた遊び時間と比較すると、1日の時間に占める家事手伝いの時間は非常に短い。

ちなみに、これらの結果をもとに1週間に行われる家事時間を算出してみよう。小学生の男の子は平日では4分であるので、これを5倍した20分に、土曜日の16分、日曜日の15分を加えると、51分程度となる。同様に他の学年や女の子について計算すると、小学生の女の子は1時間41分程度、中学2年生では男の子は36分程度、女の子は56分程度、中学3年生では男の子が34分程度、女の子が59分程度となる。

第4-6表 家事手伝い（おつかいを含む）の時間（平均値）

	件数	家事手伝い		
		土曜日・分	日曜日・分	平日・分
小学生計	411	22	21	6
男の子	205	16	15	4
女の子	206	29	27	9
中学2年生計	194	18	12	3
男の子	101	13	8	3
女の子	93	24	17	3
中学3年生計	145	14	17	3
男の子	79	15	14	1
女の子	66	13	21	5

(2) 実際に家の手伝いをした子どもの比率とその平均時間

ところで、調査日に実際、家の手伝いを行っていた子どもの平均時間はどうなっているのだろうか。

第4-7表は新たに算出した結果であるが、まず、調査日に実際に家の手伝いをしていた子どもがどのくらいいるのかみてみよう。

調査した土曜日についてみると、実際に家の手伝いをした子どもは小学生では39.2%にとどまり、中学生ではさらに少なく中学2年生で30.4%、中学3年生で29.0%である。性別にみると女の子の比率が高く、男の子より多くの子どもが家の仕事をしていることになる。

平日になると、家事手伝いをしている子どもは土曜日よりもさらに少なくなり、小学生では22.4%、中学2年生では8.2%、中学3年生では11.0%と少数である。

第4-7表 実際に家の手伝いをしていた子どもの平均時間

単位：分(実際に家事手伝いをした子どもの比率、その件数)

	<土曜日>			<日曜日>			<平日>			<計>
	分	%	人	分	%	人	分	%	人	
小学生	57	(39.2)	161	57	(37.2)	153	29	(22.4)	92	411
男の子	52	(30.7)	63	52	(29.3)	60	23	(18.0)	37	205
女の子	60	(47.6)	98	60	(45.1)	93	32	(26.7)	55	206
中学2年生	60	(30.4)	59	51	(24.2)	47	32	(8.2)	16	194
男の子	61	(21.8)	22	41	(18.8)	19	39	(6.9)	7	101
女の子	60	(39.8)	37	57	(30.1)	28	27	(9.7)	9	93
中学3年生	49	(29.0)	42	57	(30.3)	44	25	(11.0)	16	145
男の子	56	(26.6)	21	68	(20.3)	16	23	(5.1)	4	79
女の子	41	(31.8)	21	50	(42.4)	28	26	(18.2)	12	66

これらの比率から、1週間に行われる手伝いの回数を小学生について考えてみよう。平均でみると、調査した平日では22.4%の子どもが家の仕事をしているが、これを平日における平均値と考えると22.4%を5倍した比率は学校5日制の週における平日の家事手伝いをしている子どもの比率となる。この112.0%に土曜日の39.2%と日曜日の37.2%を加えると188.4%になる。前節のアンケート結果でみたように、ほとんどの子どもは「なんらかの家の仕事をしている」状態にあるが、上述の様に推測すると、手伝いをしているといっても、平均すれば小学生では週2回程度、あるいは平日に1回と土曜か日曜に1回程度行っていることになる。同様に計算すると、中学生では週1回程度に過ぎないことになる。

次に、実際に家の手伝いをしていた子どもの平均時間をみてみよう。

土曜日の時間をみると、小学生では男の子が52分、女の子が1時間、中学2年生では男の子が1時間1分、女の子が1時間、中学3年生では男の子が56分、女の子が41分であり、必ずしも女の子の時間が長いというものではない。本調査では手伝いの中身まではわからないが、時間をみると、男女の差もそれほど大きくはなく、実際に家の手伝いをしている子どもは男女ともに土曜日や日曜日には1時間前後の時間を費やしていることになる。

なお、平日をみると、小学生では男の子が23分、女の子が32分、中学2年生では男の子が39分、女の子が27分、中学3年生では男の子が23分、女の子が26分と、手伝いをしている場合でも時間は土曜日や日曜日の半分程度となっている。

(3) 家の手伝いをしなかった子どもの生活時間

では、家事をしていない子どもはいったい他のどの行動の時間が長くなっているのでしょうか。土曜日と日曜日の結果はほぼ類似しているので、ここでは、土曜日について検討してみることにする。

第4-8表は土曜日の実際の家事手伝いの時間別に、土曜日の生活時間をみたものである。

まず、小学生をみると、家事手伝いをしていない子どもは「スポーツ」の時間が長く、女の子では「習いごと」の時間も長い。他方、中学生では部活動の時間（「授業以外の学業」）や「移動」「塾」「外での遊び」の時間も長くなっている。このように、家事手伝いをしていない子どもは外出時間が長く、基本的に家にいる時間が短い。そのため、「会話」の時間も短く、親子で一緒にいる時間がやや少なくなっていることが推測される。

また、小学生の男の子で家事手伝いをしていない子どもは、家にいる時間が短いうえに、家では「テレビ（含むラジオ・読書）」の時間がやや長くなっている（17分差）。

その他、家の仕事をしていない子どもは「身の回りの用事」の時間が短く、家の手伝いだけでなく自分の身の回りの整理整頓をする時間も短くなっていることがわかる。

第4-8表 土曜日の家事手伝いの有無別にみた土曜日の生活時間（平均値）

	件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー・外出・分	外での遊び・分	その他・分
小学生男の子計	205	542	49	96	0	11	16	44	30	14	36	9	10	100	183	73	39	44	89	52
家事手伝いをしない	142	543	45	97	0	12	0	45	31	11	36	12	10	116	188	69	35	51	91	45
家事手伝いをした	63	539	57	93	0	10	52	40	28	20	37	3	12	65	171	81	46	28	86	69
小学生女の子計	206	556	61	107	1	7	29	49	35	21	43	10	35	25	215	26	47	81	49	42
家事手伝いをしない	108	562	52	108	1	12	0	49	30	21	40	9	44	33	210	30	43	105	48	40
家事手伝いをした	98	549	71	107	0	2	60	48	40	20	46	11	26	15	220	21	50	53	50	45
中学2年生男の子計	101	530	49	93	6	115	13	48	30	13	73	26	1	12	206	61	17	63	52	33
家事手伝いをしない	79	530	45	91	7	123	0	56	28	12	64	27	1	14	204	62	17	70	61	28
家事手伝いをした	22	530	63	100	0	86	61	20	36	16	103	19	0	5	212	61	16	36	20	48
中学2年生女の子計	93	534	63	99	10	95	24	62	40	20	65	19	24	14	215	7	26	67	24	29
家事手伝いをしない	56	540	59	92	17	130	0	66	36	16	61	28	21	14	204	5	24	62	25	35
家事手伝いをした	37	525	68	109	0	41	60	56	45	26	69	6	27	15	234	10	28	75	21	20
中学3年生男の子計	79	539	54	89	7	99	15	34	43	15	113	33	3	14	195	47	26	36	48	26
家事手伝いをしない	58	535	54	85	10	124	0	35	50	10	117	28	3	18	193	43	26	40	37	27
家事手伝いをした	21	551	53	102	0	30	56	30	24	27	104	46	2	3	201	58	26	24	79	24
中学3年生女の子計	66	512	72	92	9	85	13	35	50	25	93	39	17	6	261	12	26	36	11	45
家事手伝いをしない	45	506	74	86	12	104	0	41	61	21	92	43	16	6	246	13	22	31	14	50
家事手伝いをした	21	524	68	104	2	44	41	23	25	34	95	29	21	6	294	9	34	46	6	34

第5章 勉強や塾、おけいごとについて

本章では勉強や塾、おけいごとについて、①おけいごとや塾、サークル活動について、②1週間のスケジュール、③学校の勉強、④塾、⑤計画的な勉強、⑥勉強観、⑦親の教育観、⑧希望する進路、⑨親の学歴別・居住地別にみた親の考え方、⑩勉強時間と塾の時間といった観点から分析を進めていくことにする。

1. おけいごとや塾、サークル活動について

どのくらいの子どもが塾やおけいごとに通ったり、サークル活動などに参加しているのだろうか。本調査では15項目中複数選択で母親に回答を求めた。第5-1表よりみると、「(これらの活動について) 全く通っていない・参加していない」子どもは中学3年生の男の子では12.0%とやや多いが、小、中学生共通して1割未満にとどまり、大多数の子どもは塾、おけいごと、サークル活動のいずれかに通ったり参加していることになる。

第5-1表 おけいごとや塾やサークル活動（複数選択）

	ピアノ等の楽器	合唱団などの地域の文化サークル	習字	そろばん	英会話・英語教室	スポーツクラブ	学校の運動部	学校の文化部	児童会や生徒会の役員	補習塾	進学塾	家庭教師	通信添削	その他	加通していない・参加していない	N	計	回答累計
小学生計	34.8 ②	2.6	32.2 ③	15.2 ⑦	19.4 ④	45.7 ①	10.7	7.1	10.9	15.4 ⑥	9.0	0.9	16.4 ⑤	5.7	6.2	0.5	422	226.0
男の子	11.2	2.4	19.4 ②	14.6 ⑥	17.5 ③	63.1 ①	12.1 ⑦	4.9	10.7	17.0 ④	6.8	0.5	16.5 ⑤	5.8	7.8	...	206	202.4
女の子	57.4 ①	2.8	44.4 ②	15.7 ⑥	21.3 ④	29.2 ③	9.3	9.3	11.1	13.9 ⑦	11.1	1.4	16.2 ⑤	5.6	4.6	0.9	216	248.6
中学2年生計	16.9 ④	0.5	13.0 ⑦	1.4	14.5 ⑥	6.8	74.9 ①	10.6	6.8	26.1 ②	24.6 ③	3.4	16.9 ④	7.7	4.3	1.0	207	224.2
男の子	4.6	0.9	4.6	0.9	12.8 ⑤	5.5 ⑦	83.5 ①	2.8	8.3 ⑥	29.4 ②	22.9 ③	2.8	16.5 ④	5.5 ⑦	2.8	0.9	109	200.9
女の子	30.6 ②	...	22.4 ④	2.0	16.3	8.2	65.3 ①	19.4 ⑥	5.1	22.4 ④	26.5 ③	4.1	17.3 ⑦	10.2	6.1	1.0	98	250.0
中学3年生計	13.2 ⑦	0.7	8.6	0.7	7.3	4.6	29.1 ②	15.2 ⑤	13.9 ⑥	17.2 ④	40.4 ①	7.9	19.2 ③	4.0	9.9	1.3	151	182.2
男の子	1.2	...	6.0	1.2	7.2 ⑦	7.2 ⑦	38.6 ②	4.8	15.7 ③	12.0 ⑤	48.2 ①	7.2 ⑦	15.7 ③	3.6	12.0 ⑤	2.4	83	168.7
女の子	27.9 ②	1.5	11.8 ⑦	...	7.4	1.5	17.6 ⑥	27.9 ②	11.8 ⑦	23.5 ④	30.9 ①	8.8	23.5 ④	4.4	7.4	...	68	198.5

(注) 表中の回答累計は「ピアノ・エレクトーン等の楽器」～「その他」の14項目の比率を合計した比率である。

(1) 学年別にみた特徴

① 小学生の場合

	〈男の子〉	(%)	〈女の子〉	(%)
第1位	スポーツクラブ	63.1	ピアノ等の楽器	57.4
第2位	習字	19.4	習字	44.4
第3位	英会話・英語教室	17.5	スポーツクラブ	29.2
第4位	補習塾	17.0	英会話・英語教室	21.3
第5位	通信添削	16.5	通信添削	16.2

小学生では、「スポーツクラブ」やおけいごとが上位を占めている。男の子では「スポーツクラブ（野球やソフトボール、サッカー、バスケット、スイミング、剣道等）」が63.1%を占め、もっとも多い。女の子でも「スポーツクラブ」は29.2%を占め第3位となっているが、女の子の第1位は「ピアノ・エレクトーン等の楽器」であり、57.4%（男の子11.2%）を占めている。それに「習字」が44.4%（男の子19.4%）で続いており、「ピアノ等の楽器」と同様に女の子により多い習いごととなっている。その他、「英会話・英語教室」（男の子17.5%、女の子21.3%）は男女ともに上位にあり、「そろばん」は1割台、「合唱団などの地域の文化サークル」は数パーセントであった。

他方、「進学塾」か「補習塾」の〈塾〉に通っている子どもは101人（男の子48人、女の子53人）おり、「スポーツクラブ」やおけいごと（「ピアノ等の楽器」「習字」など）と比べると少ないが、全体に占める比率は23.9%である。また、後述する中学生（中学2年生5割、中学3年生6割弱）と比べると少ない。比率を示すと、「補習塾」は男の子で17.0%、女の子で13.9%、「通信添削」は男の子で16.5%、女の子で16.2%、「進学塾」は男の子で6.8%、女の子で11.1%である。ちなみに、「家庭教師」は1%であった。

このように、小学生では男女ともにおけいごとや「スポーツクラブ」が多いが、塾に通っている子どもは2割強を占めている。性別にみると、男の子では「スポーツクラブ」に回答が集中しているのに対し、女の子では回答が分散している。また、おけいごとや塾、サークル活動などに通っている数の多さを示す回答累計は、女の子では248.6%（一人あたり平均2.5種類）と男の子（202.4%、2.0種類）よりやや多い。

② 中学2年生の場合

	〈男の子〉	(%)	〈女の子〉	(%)
第1位	学校の運動部	83.5	第1位 学校の運動部	65.3
第2位	補習塾	29.4	第2位 ピアノ等の楽器	30.6
第3位	進学塾	22.9	第3位 進学塾	26.5
第4位	通信添削	16.5	第4位 補習塾	22.4
第5位	英会話・英語教室	12.8	習字	22.4

男女ともに第1位は「学校の運動部」である。比率をみると、男の子は83.5%と大多数を占める。女の子では男の子に比べれば少ないが65.3%を占める。これは、小学生で「スポーツクラブ」が男の子に多かったことと同じである。また、女の子では「学校の文化部」も19.4%あるが、男の子では2.8%に過ぎない。このように部活動の中身には男女で差がみられるが、男女とも5人に4人以上は学校の部活動に参加していることになる。

おけいごとやスポーツクラブが中心の小学生に比べ、中学2年生では半数(105人、50.7%)の子どもが〈塾〉に通うようになる。「補習塾」は男の子で29.4%、女の子で22.4%、「進学塾」は男の子で22.9%、女の子で26.5%とそれぞれ2割台を占めている。ただし、「通信添削」(男の子16.5%、女の子17.3%)と「家庭教師」(男の子2.8%、女の子4.1%)は小学生とあまり変わらない。

女の子では、小学生で第1位にあった「ピアノ等の楽器」と第2位の「習字」がそれぞれ順位と比率を下げ、前者が第2位の30.6%、後者が第4位の22.4%となっている。おけいごとに通う子どもの比率は小学生よりは少ないが、後述する中学3年生と比べると多い。他方、男の子では「英会話・英語教室」(12.8%)は1割みられるものの、その他の習いごとはそれぞれ数パーセントにとどまった。

このように、中学2年生では「学校の部活動」が、もっとも多い。同時に、〈塾〉に通う子どもは2人に1人の割合と小学生よりも多く、また、「補習塾」と「進学塾」の比率は概ね均衡している。また、女の子では小学生ほどではないものの、おけいごとに通う子どももみられる。

③ 中学3年生の場合

〈男の子〉		(%)	〈女の子〉		(%)
第1位	進学塾	48.2	第1位	進学塾	30.9
第2位	学校の運動部	38.6	第2位	学校の文化部	27.9
第3位	生徒会の役員	15.7		ピアノ等の楽器	27.9
	通信添削	15.7	第4位	補習塾	23.5
第5位	補習塾	12.0		通信添削	23.5
	通っていない	12.0			

中学3年生では〈塾〉に通う子どもの比率が57.0%(86人)ともっとも高くなる。第1位は「進学塾」であり、男の子では48.2%、女の子では30.9%を占め、男の子により多い。中学2年生では「進学塾」と「補習塾」の比率がほぼ均衡していたのに対し、受験学年になると、「進学塾」が「補習塾」(男の子12.0%、女の子23.5%)よりも多くなっている。また、「通信添削」(男の子15.7%、23.5%)は引続き一定程度みられるが、「家庭教師」(男の子7.2%、女の子8.8%)は中学2年生より4~5ポイント多くなっている。男女の比率の差に着目すれば、男の子は「進学塾」が、女の子は「補習塾」と「通信添削」がそれぞれより多い。

中学3年生でも「学校の部活動」は上位にあがっているが、調査実施月が9月であったため、部活動を引退している子どもが多いとみられ、「学校の運動部」は男の子で38.6%、女の子で17.6%となっており、中学2年生と比べると少ない。ただし、女の子では「学校の文化部」に所属している子どもが27.9%あり、中学2年生（19.4%）より多い。

他方、おけいごとについてみると、男の子では習いごとに通う子どもはわずかであるが、女の子では「ピアノ等の楽器」は27.9%と中学2年生と同様であり、「習字」は減少するとはいえ、11.8%を占めている。女の子の回答累計は198.5%であり、塾と学校の部活動、及びおけいごとの3つをかけもちしている子どもも少なくないことを示している（男の子の回答比率は168.7%）。

また、中学3年生では「生徒会の役員」も1割台ある。

ここで、学年を通してみられる特徴をまとめておこう。

「スポーツクラブ」や「学校の運動部」は男の子に多く、「ピアノ等の楽器」や「習字」といった習いごとや「学校の文化部」は女の子により多くなっている。言い換えれば、男の子は体力をつけるものが、女の子は文化や教養を身につけるものがそれぞれ多くなっており、男女で差がみられる。

次に、学齢に伴う変化についてまとめておこう。小学生では「スポーツクラブ」が多くを占めていたが、中学生になると学校の部活動（とくに運動部）がそれにとってかわる。また、おけいごとは学齢があがるとともに徐々に減少し、逆に〈塾〉に通う子どもが増える。〈塾〉に通う子どもは小学生では2割強であったのに対し、中学2年生では5割、中学3年生が6割弱に達しており、中学3年生では他学年に比べ「進学塾」が多い。

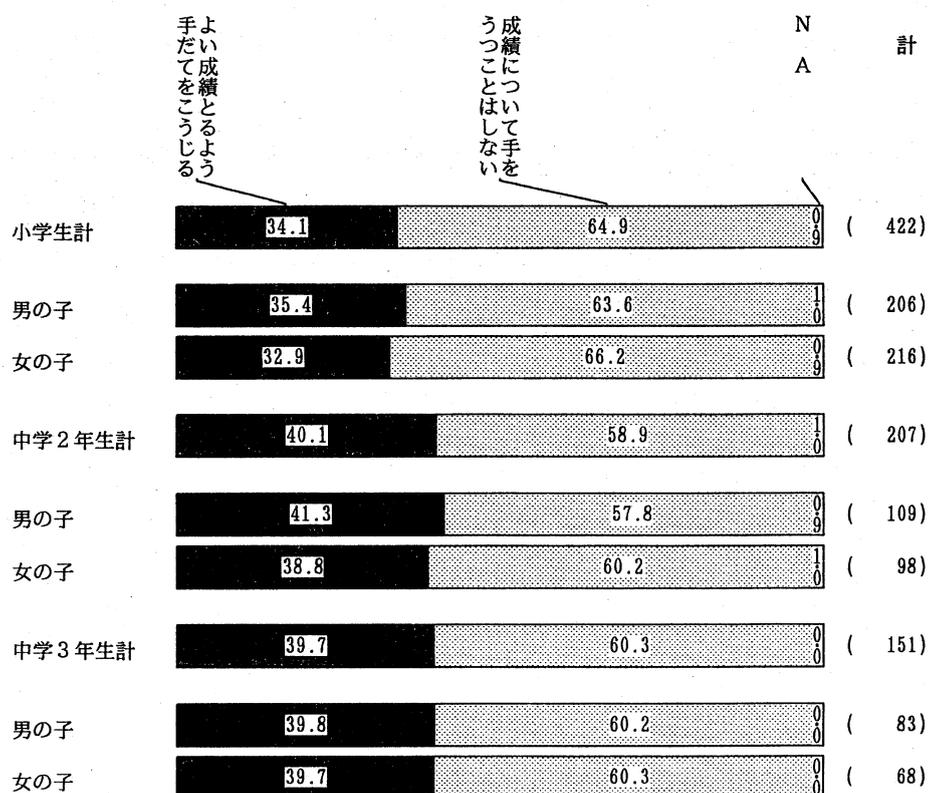
(2) おけいごとや塾、サークル活動についてのクロス分析

ところで、以上で子どものおけいごとや塾、サークル活動についてみてきたが、母親はふだん子どもの成績についてどのような姿勢で接しているのだろうか。「子どもがよい成績をとるように、親としてもいろいろ手立てをこうじている」と回答した母親は、子どもを塾に通わしたり、宿題を教えあげたりするのであろうか。

まず、第5-1図より子どもの成績に「手立てをこうじている」母親がどの程度いるのかみておこう。「子どもがよい成績をとるように、親としてもいろいろ手立てをこうじている」母親は小学生の母親で34.1%、中学2年生の母親で40.1%、中学3年生の母親で39.7%で、「子どもの成績について、親としてとくに手をうつようなことはしていない」は6割前後を占めている。

本調査では手立ての中身まではわからないが、このような母親の姿勢は子どもの性別にみても違いはみられない。

第5-1図 子どもの成績に対する手立ての有無



そこで、この母親の回答別に塾に通っている子どもの比率をみてみよう（第5-2表）。

子どもを補習塾や進学塾に通わせたり、家庭教師につけたり、あるいは通信添削をやらせている親の比率を単純に足し合わせた比率に注目すると、いずれの学年でも母親が「手立てをこうじている」と回答した場合は、これらの比率が多くなっていることがわかる。ちなみに、小学生の場合は57.7%を占め「手をうつようなことはない」と回答した母親（33.5%）との比率の差は24ポイントある。このような傾向は中学生でも同様であり、中学2年生では20ポイント差、中学3年生では17ポイント差となっている。

この結果から、親がこうじる「手立て」の中身には子どもを塾に通わせたり、通信添削などをやらせたりといったことも含んでいることがうかがえる。

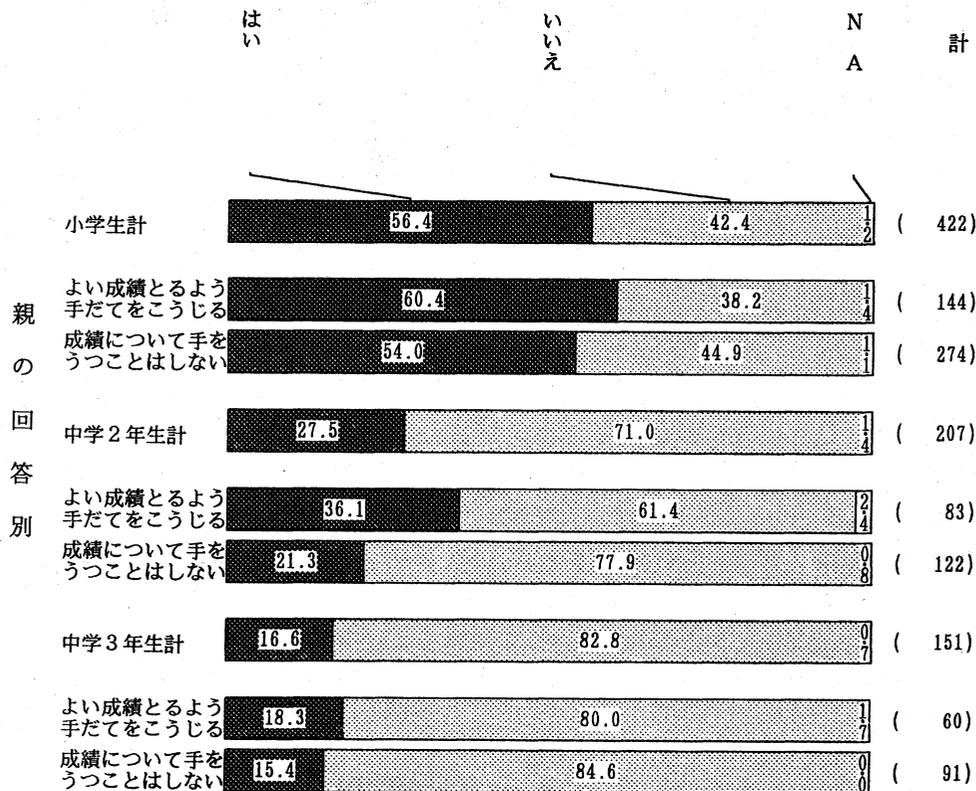
また、本調査では子どもに自分の親は宿題をいつも教えてくれるかどうかを聞いているので、ここで母親の姿勢別にみてみよう。第5-2図よりみると、母親が「手立てをこうじている」と回答した場合は「(自分の) お母さんはいつも宿題などを教えてくれる」と回答した子どもの比率が多くなっている。比率の差を示せば、中学3年生では3ポイント差とわずかであるが、小学生では6ポイント差、中学2年生では15ポイント差となっている。

第5-2表 おけいごとや塾やサークル活動（複数選択）
（子どもの成績に対する手立ての有無（親の回答）別）

	ピアノ・エレクトーン等の楽器	合唱などの地域の文化サークル	習字	そろばん	英会話・英語教室	スポーツクラブ	学校の運動部	学校の文化部	児童会や生徒会の役員	補習塾	進学塾	家庭教師	通信添削	その他	加通していない・参加していない	N	A	計	回答累計	*塾や家庭教師・通信添削の比率
小学生	34.8	2.6	32.2	15.2	19.4	45.7	10.7	7.1	10.9	15.4	9.0	0.9	16.4	5.7	6.2	0.5	422	226.0	41.7	
よい成績とるよう 手だてをこうじる 成績について手 をうつつことは しない	34.7	3.5	33.3	14.6	27.1	40.3	9.7	4.9	9.7	22.2	14.6	2.1	18.8	8.3	2.1	...	144	243.7	57.7	
	35.0	2.2	31.8	15.7	15.7	48.5	11.3	8.4	11.7	12.0	5.8	0.4	15.3	4.4	8.4	0.7	274	218.2	33.5	
中学2年生	16.9	0.5	13.0	1.4	14.5	6.8	74.9	10.6	6.8	26.1	24.6	3.4	16.9	7.7	4.3	1.0	207	224.2	71.0	
よい成績とるよう 手だてをこうじる 成績について手 をうつつことは しない	21.7	...	9.6	2.4	16.9	7.2	77.1	10.8	9.6	31.3	25.3	6.0	20.5	9.6	3.6	1.2	83	248.2	83.1	
	13.9	0.8	15.6	0.8	12.3	6.6	73.8	10.7	4.9	23.0	24.6	1.6	13.9	6.6	4.9	...	122	209.0	63.1	
中学3年生	13.2	0.7	8.6	0.7	7.3	4.6	29.1	15.2	13.9	17.2	40.4	7.9	19.2	4.0	9.9	1.3	151	182.2	84.7	
よい成績とるよう 手だてをこうじる 成績について手 をうつつことは しない	18.3	1.7	10.0	1.7	5.0	5.0	30.0	21.7	20.0	15.0	45.0	13.3	21.7	3.3	10.0	...	60	211.7	95.0	
	9.9	...	7.7	...	8.8	4.4	28.6	11.0	9.9	18.7	37.4	4.4	17.6	4.4	9.9	2.2	91	162.6	78.1	

(注) 表中の回答累計は「ピアノ・エレクトーン等の楽器」～「その他」の14項目の比率を合計した比率である。

第5-2図 お母さんはいつも宿題などを教えてくれるかどうか（子どもの回答）
（子どもの成績に対する手立ての有無（親の回答）別）



2. 1週間のスケジュール

ここでは、子どもがおけいごとや塾に通ったり、サークル活動に参加している場合に、どのくらいの時間をあてているのかについてみていくことにする。なお、ここで扱う1週間の合計時間は「月曜日から金曜日の平日5日間」と「学校が休みの土曜日」及び「日曜日」のそれぞれの曜日で費やしている時間の合計である。

(1) 実際にスポーツクラブに通っている子どものスケジュール

スポーツクラブに通う子どもは小学生で多くみられたので、第5-3表では小学生について示した。それによると、「月曜日から金曜日までの平日5日間」は74.0%と参加率が高く、「土曜日」がそれに次いでいる。「学校が休みでない土曜日」は61.8%、「学校が休みの土曜日」は55.3%と、学校が休みであるかどうかによって参加率は大きく変わらない。「日曜日」は土曜日と比べると少ないものの、29.3%みられる。

1週間の合計時間（平均値）は5時間32分であり、性別にみると、男の子は5時間51分、女の子は4時間55分で、男の子の方が1時間弱ほど長い。

第5-3表 スポーツクラブの曜日別参加率と1週間の合計時間
〈スポーツクラブに参加している人に限定した場合〉

	件数	スポーツクラブの参加率				1週間の合計時間
		月曜日—金曜日	休みでない土曜日	休みの土曜日	日曜日	
小学生計	123	74.0 91	61.8 76	55.3 68	29.3 36	5:32 123
男の子	81	70.4 57	70.4 57	61.7 50	36.4 28	5:51 81
女の子	42	81.0 34	45.2 19	42.9 18	19.0 8	4:55 42

(注) 上段は比率、下段は人数。
1週間の合計時間とは「月曜—金曜」と「学校が休みの土曜日」と「日曜日」の合計時間である。

(2) 実際におけいごとに通っている子どものスケジュール

次に、おけいごと実際に通っている子どものスケジュールをみていこう（第5-4表）。ここでは、ピアノ等の楽器、習字、英会話・英語教室、そろばん、合唱団などの地域の文化サークルなどに通っている子どもを対象としている。

まず、小学生をみていこう。先にみたスポーツクラブでは土曜日や日曜日に活動する子どもも一定程度みられたが、おけいごとの場合、小学生205名のうち186名、90.7%が平日に通っており、それに比べると土曜日（「学校が休みでない土曜日」29.8%、「学校が休みの土曜日」24.9%）や日曜日（5.4%）の活動は少ないことがわかる。

1週間の合計時間をみると、平均では1時間58分である。次に性別にみていこう。本章第1節で既示したように、おけいごとに通っている子どもの比率は女の子に多かったが、時間数で比較すると、女の子が2時間、男の子が1時間54分となり、男女でほぼ共通している。

中学2年生はどうだろうか。「平日」に通っている子どもの比率は78.4%を占めるものの小学生と比べるとやや少なく、「学校が休みでない土曜日」（37.8%）と「学校が休みの土曜日」（35.1%）が小学生よりも多くみられる。「日曜日」は2.7%と小学生と同様にわずかである。このようにおけいごとに通っている曜日には「平日」か「土曜日」かの違いはみられるものの、1週間の合計時間（平均値）は1時間53分と小学生とほぼ同じである。

このような曜日による比率の違いは中学3年生でも同様であるが、いずれの曜日も中学2年生の比率を下回っており、1週間の合計時間も1時間15分と中学2年生より短い。

第5-4表 おけいごとへの曜日別参加率と1週間の合計時間
〈おけいごとに通っている人に限定した場合〉

	件数	おけいごとへの参加率				1週間の合計時間
		月曜日—金曜日	休みでない土曜日	休みの土曜日	日曜日	
小学生計	205	90.7 186	29.8 61	24.9 51	5.4 11	1:58 205
男子	71	88.7 63	23.9 17	21.1 15	4.2 3	1:54 71
女子	134	91.8 123	32.8 44	26.9 36	6.0 8	2:00 134
中学2年生	37	78.4 29	37.8 14	35.1 13	2.7 1	1:53 37
中学3年生計	25	72.0 18	32.0 8	24.0 6	8.0 2	1:15 25

(注) 上段は比率、下段は人数。
1週間の合計時間とは「月曜日—金曜日」と「学校が休みの土曜日」と「日曜日」の合計時間である。

(3) 実際に学校の部活動に参加している子どものスケジュール

学校の部活動は中学2年生でもっとも盛んであるので、中学2年生についてみていこう（第5-5表）。

実際に活動している子どもの比率をみると、「平日」は100.0%、「学校が休みでない土曜日」は82.6%と、学校がある日には多数の子どもが活動している。学校5日制導入時には部活動の過熱化が懸念されたが、「学校が休みの土曜日」の部活動の参加比率は27.5%であり、「学校が休みでない土曜日」よりは少ないものの、3割弱と一定程度の比率を占めている。また、「日曜日」に活動している子どもは40.6%みられる。このように、学校が休みの日にも部活動が入り込んでいる様子がうかがえる。

ちなみに、1週間の合計時間をみると11時間59分であり、中学3年生（7時間23分）と比べるとおよそ4時間半長い。なお、小学生は4時間25分と最も短くなっている。

第5-5表 部活動の曜日別参加率と1週間の合計時間
〈部活動に参加している人に限定した場合〉

	件数	部活動の参加率				1週間の合計時間
		月曜日—金曜日	休みでない土曜日	休みの土曜日	日曜日	
小学生計	31	87.1 27	41.9 13	12.9 4	16.1 5	4:25 31
中学2年生	69	100.0 69	82.6 57	27.5 19	40.6 28	11:59 69
男子	42	100.0 42	85.7 36	28.6 12	40.5 17	11:18 42
女子	27	100.0 27	77.8 21	25.9 7	40.7 11	13:02 27
中学3年生計	10	100.0 10	60.0 6	10.0 1	30.0 3	7:23 10

(注) 上段は比率、下段は人数。
1週間の合計時間とは「月曜日—金曜日」と「学校が休みの土曜日」と「日曜日」の合計時間である。

(4) 実際に塾に通っている子どものスケジュール

塾の時間はどうか。補習塾と進学塾の通塾時間と家庭教師の時間を合わせた時間を第5-6表よりみていこう。

まず、実際に塾に通っている子どもについて、通塾率を曜日別にみていこう。

小学生では「平日」が100.0%であり、「土曜日」は2割、「日曜日」は数パーセントである。このよ

うな通塾パターンは中学生でも同様であり、「平日」が中心で、「土曜日」は平日よりも少なく、「日曜日」はさらに少なくなっている。

ただし、学年別に比率の差に注目すれば、中学2年生では「休みでない土曜日」に通塾する子どもも3割弱と多く、中学3年生では4割とさらに多くなっている。また、中学3年生では「日曜日」に通塾する子どもも12.3%みられる。

学校5日制導入にあたっては先に述べた部活動の過熱化だけでなく、塾通いの増加についても同時に懸念されていた。本調査の結果をみる限り、いずれの学年においても「学校が休みの土曜日」の通塾率が「学校が休みでない土曜日」の通塾率を上回ることはないので、必ずしも塾の過熱化が学校5日制の導入により進んでいるとは断言できない。

ちなみに、1週間の通塾時間の平均値は小学生では4時間11分であるが、中学生はそれより1時間ほど長く、中学2年生が5時間3分、中学3年生が5時間13分である。

また、性別にみると、中学生では男の子の時間が長くなっている。時間の差を示せば、中学2年生では35分差、中学3年生では18分差である。したがって、中学3年生の男の子の通塾時間が5時間20分と学年、性別でみると、もっとも長い。

第5-6表 塾の曜日別参加率と1週間の合計時間
 〈塾に通っている人に限定した場合〉

	件数	塾の参加率				1週間の合計時間
		月曜日—金曜日	休みでない土曜日	休みの土曜日	日曜日	
小学生計	72	100.0 72	19.4 14	20.8 15	5.6 4	4:11 72
男子	33	100.0 33	15.2 5	15.2 5	9.1 3	4:13 33
女子	39	100.0 39	23.1 9	25.6 10	2.6 1	4:09 39
中学2年生	64	98.4 63	26.6 17	23.4 15	6.3 4	5:03 64
男子	35	100.0 35	28.6 10	25.7 9	5.7 2	5:19 35
女子	29	96.6 28	24.1 7	20.7 6	6.9 2	4:44 29
中学3年生計	65	93.8 61	40.0 26	32.3 21	12.3 8	5:13 65
男子	40	90.0 36	32.5 13	25.0 10	17.5 7	5:20 40
女子	25	100.0 25	52.0 13	44.0 11	4.0 1	5:02 25

(注) 上段は比率、下段は人数。
 1週間の合計時間とは「月曜—金曜」と「学校が休みの土曜日」と「日曜日」の合計時間である。

(5) 実際の1週間のスケジュールの合計時間

以上のように個々のスケジュールについてみてきたが、スポーツクラブ、おけいごと、部活動、塾のいずれか一つでも参加している子どもについて、それらを合計した1週間の合計時間は第5-7表の通りになる。

学年別にみると、中学2年生がもっとも長い。短い子どもでは3時間であるが、長い子どもでは23時間30分にも達しており、平均値では12時間3分である。これに対し、中学3年生（5時間45分）と小学生（5時間35分）が5時間台でほぼ並んでいる。

性別にみれば、いずれの学年も男の子の時間が長い。したがって、中学2年生の男の子（12時間14分）が最も多忙ということになる。

第5-7表 1週間の決められたスケジュールの合計時間
(平均値、分位数、何らかの活動に参加している子どもの場合)

学 年		1週間の決められたスケジュール時間
小学生	平均値	5時間35分 (6時間34分、4時間45分)
	第9十分位	12時間 (14時間54分、9時間59分)
	第1十分位	1時間 (1時間18分、30分)
中学2年生	平均値	12時間3分 (12時間14分、11時間49分)
	第9十分位	23時間30分 (22時間54分、23時間54分)
	第1十分位	3時間 (3時間4分、3時間)
中学3年生	平均値	5時間45分 (6時間8分、5時間14分)
	第9十分位	10時間39分 (10時間54分、10時間30分)
	第1十分位	1時間30分 (2時間、30分)

(男の子、女の子)

3. 学校の勉強について

ここでは、学校の勉強について、①学校の勉強の面白さ、②学校の授業のスピード、③母親の評価による子どもの学校での成績、④宿題の量についてみていくことにする。

(1) 学校の勉強の面白さ

子どもに学校の勉強の面白さについてきいたところ、第5-3図のような結果を得た。

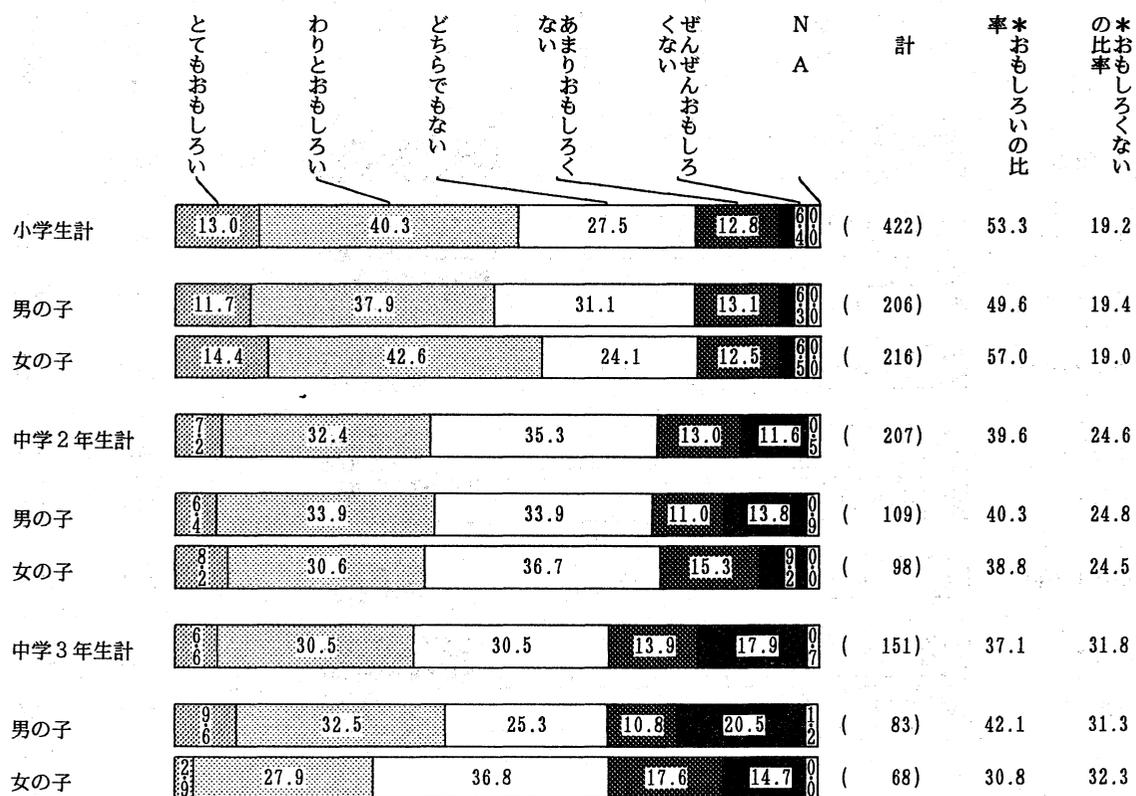
まず、小学生をみると、〈面白い〉の比率は53.3%と半数を超えているが、その多くは「わりと面白

い」(40.3%)であり、「とても面白い」は13.0%にとどまった。逆に、「面白くない」は19.2%と5人に1人の割合でみられ、うち「あまり面白くない」は12.8%で、「ぜんぜん面白くない」は6.4%である。なお、「どちらでもない」は27.5%である。

中学生になると、「面白い」の比率が減少し、中学2年生では39.6%、中学3年生では37.1%といずれも半数を大きく下回る。逆に、「面白くない」の比率が増加し、中学2年生では24.6%と4人に1人の割合でみられる。中学3年生になるとさらに増え、31.8%とおよそ3人に1人の割合となる。ちなみに、「どちらでもない」は中学2年生、中学3年生ともに3割台を占める。

これらの傾向は男女で共通しており、男女とも学年があがるにつれ学校の勉強は「面白くない」ものとなっていることがわかる。

第5-3図 学校の勉強の面白さ



(2) 学校の授業のスピード

子どもは学校の授業のスピードをどのように受け止めているのだろうか(第5-4図)。

小学生では、過半数が「どちらでもない」と回答している。「はやい」(「少しはやい」16.1%+「とてもはやい」2.6%)は18.7%、「遅い」(「少し遅い」23.2%+「とても遅い」4.3%)は27.5%を占めており、「遅い」と回答した子どもの方が多くなっている。また、「とてもはやい」あるいは「とても遅い」

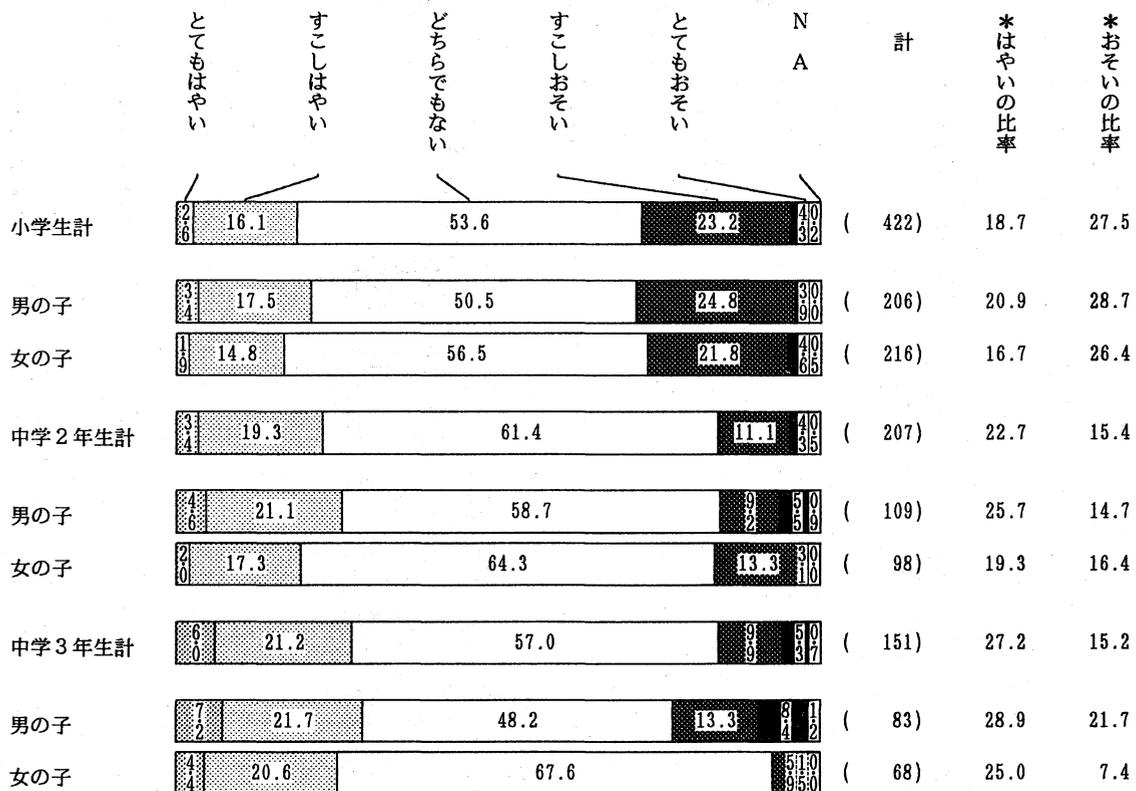
い」と回答した子どもはそれぞれ数パーセントと少ない。

中学生でも「どちらでもない」は多数を占め、6割前後と小学生よりやや多くなっている。しかし、〈はやい〉の比率は学齢とともに徐々に増加し、中学2年生では22.7%、中学3年生では27.2%に達する。逆に、〈遅い〉の比率は小学生（27.5%）と比べると少なく、中学生では15%である。

このように、小、中学生とも「どちらでもない」が過半数を占める点は、共通しているが、〈はやい〉の比率は学年が上がるとともに徐々に増加する。

性別にみると、〈はやい〉の比率は男の子にやや多く、女の子との差は小学生では4ポイント、中学2年生では6ポイント、中学3年生では4ポイントとなっている。

第5-4図 学校の勉強のスピード



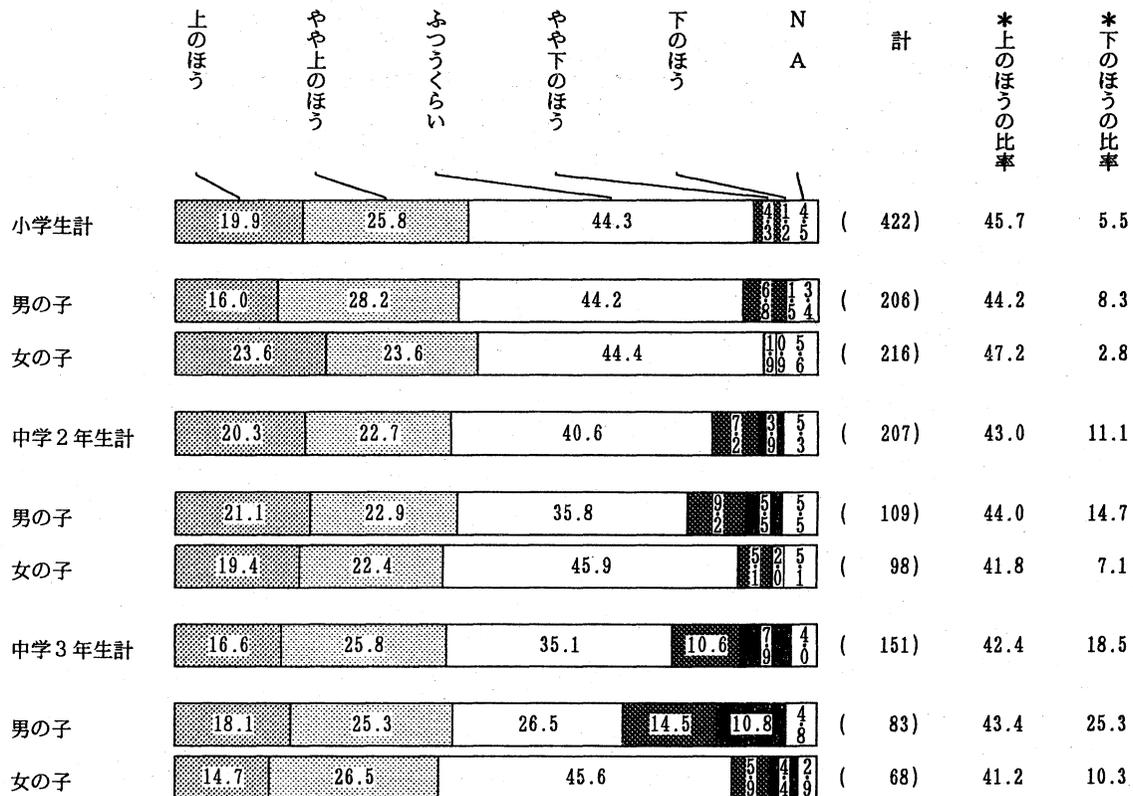
(3) 母親の評価による子どもの学校での成績

本調査では、母親に子どもの学校の成績を5段階で回答してもらっている（第5-5図）。

小学生では、「普通くらい」が44.3%と多数を占めるものの、「上のほう」の19.9%に「やや上のほう」の25.8%を加えた〈上のほう〉の比率は45.7%となり、「普通くらい」と〈上のほう〉で二分されている。ちなみに、〈下の方〉（「下のほう」1.2%+「やや下のほう」4.3%）は5.5%である。

性別にみると、〈下の方〉の比率は男の子の母親では8.3%を占め、女の子の母親（2.8%）を6ポイント上回っている。

第5-5図 母親の評価による子どもの学校での成績



中学生はどうであろうか。〈上のほう〉は4割強を占め、小学生と共通しているが、〈下のほう〉の比率は中学生の方が多く、また、学齢があがるに伴い徐々に増加している（中学2年生11.1%、中学3年生18.5%）。また、性別にみると、〈下のほう〉の比率は男子の方が多く、中学2年生では14.7%（女子7.1%）、中学3年生では25.3%（女子10.3%）と4人に1人の割合に達している。

このように、小、中学生で母親の回答が異なっているのは、小学生では絶対評価、中学生では相対評価でそれぞれ成績がつけられるといった評価方法の違いが反映しているといえる。

ここで、以上でみてきた「学校の勉強の面白さ」「授業のスピード」及び「学校での成績」の3つの質問の関連性についてみておこう。

第5-8表より学校の成績別にみると、小、中学生ともに成績が〈上のほう〉の子どもは学校の勉強が〈面白い〉とより多く回答しており、学校の勉強のスピードは〈遅い〉としている。逆に、母親による成績評価が〈下のほう〉の子どもは〈上のほう〉の子どもに比べ、〈面白い〉が少なく、スピードが〈早い〉とより多く答えた。このように、授業のスピードが早いことや授業が面白くないこと、及び学校の成績との間にはある程度の相関がみられる。

ただし、成績が〈上のほう〉の子どもでも学校の授業が〈面白くない〉は小学生で14.5%、中学生で26.8%、スピードが〈早い〉は小学生で14.5%、中学生では22.9%と一定程度みられる。

第5-8表 学校での成績別にみた学校の勉強の面白さと授業のスピード
(学校での成績別)

		子どもの回答									
		学校の勉強の面白さ				学校の授業のスピード				計	
		おもしろい	ど き さ ら だ も な い	おもしろくない	N A	はやい	ど き さ ら だ も な い	おそい	N A		
母親の回答別	小学生計	225 53.3	116 27.5	81 19.2	...	79 18.7	226 53.6	116 27.5	1 0.2	422 100.0	
	学校での成績別	<上のほう>	114 59.1	51 26.4	28 14.5	...	28 14.5	97 50.3	67 34.7	1 0.5	193 100.0
	ふつうくらい	90 48.1	55 29.4	42 22.5	...	34 18.2	111 59.4	42 22.5	...	187 100.0	
	<下のほう>	8 34.8	5 21.7	10 43.5	...	9 39.1	9 39.1	5 21.7	...	23 100.0	
	中学生計	138 38.5	119 33.2	99 27.7	2 0.6	88 24.6	213 59.5	55 15.4	2 0.6	358 100.0	
	学校での成績別	<上のほう>	64 41.8	47 30.7	41 26.8	1 0.7	35 22.9	83 54.2	34 22.2	1 0.7	153 100.0
	ふつうくらい	52 38.0	43 31.4	41 29.9	1 0.7	27 19.7	93 67.9	16 11.7	1 0.7	137 100.0	
<下のほう>	15 29.4	24 47.1	12 23.5	...	23 45.1	26 51.0	2 3.9	...	51 100.0		

(4) 宿題の量

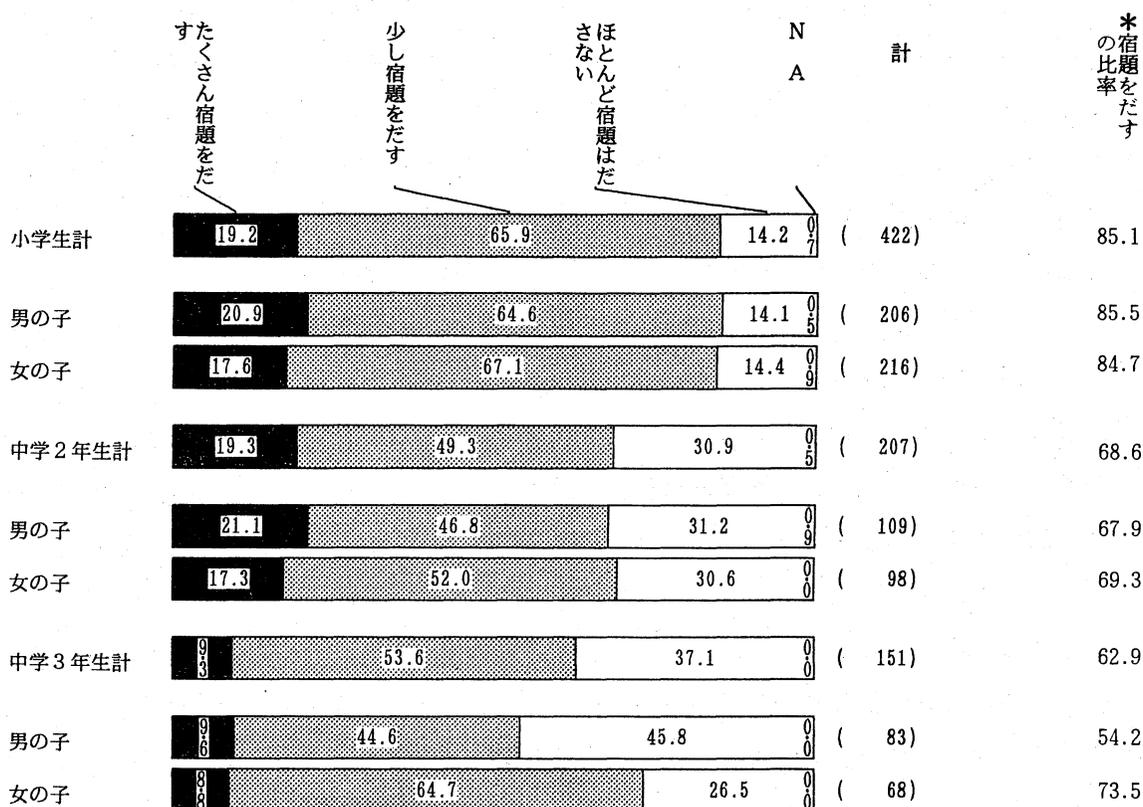
つぎに、学校の先生が出す宿題の量（中学生は主要5教科の量）についての子どもの回答をみていこう（第5-6図）。

小学生では「たくさん宿題をだす」は19.2%にとどまるが、「少し宿題をだす」が65.9%と多数を占め、これらを合わせた〈宿題をだす〉の比率は85.1%を占めており、「ほとんど宿題はださない」は14.2%である。

中学生になると、「たくさん宿題をだす」は中学2年生では小学生と同様に19.3%を占めるが、中学3年生では9.3%へと減少し、「少し宿題をだす」は中学2年生、中学3年生とも5割前後へと減少する。したがって、〈宿題をだす〉の比率は中学2年生では68.6%、中学3年生では62.9%と学齢とともに減少し、逆に「ほとんどださない」が増加する（中学2年生30.9%、中学3年生37.1%）。

このように、〈宿題をだす〉の比率は学年が上がるにつれ減少していく。

第5-6図 宿題の量



4. 塾について

本章第1節の「おけいごとや塾、サークル活動について」でみたように、補習塾や進学塾に通っている子どもは、小学生では23.9%であるのに対し、中学2年生では50.7%、中学3年生では57.0%と学年を追って増加している。

このように、塾に通っている子どもは多数いるため、塾は子どもの生活の多くの部分を占めているといえる。ここでは、補習塾あるいは進学塾に通っている子どもと家庭教師についている子どもについて、①学習塾に通ったり、家庭教師につく理由、②塾の勉強の面白さについてみていくことにする。

(1) 学習塾に通ったり、家庭教師につく理由

まず学習塾に通ったり家庭教師についている理由について、母親側の回答をみていこう（第5-7図）。

小学生の母親の回答をみると、「学校の勉強をできるようにさせたい」の比率は45.7%と最も多く、「よい中学や高校に入学させたい」の比率は15.2%にとどまっている。このように半数近くの母親は「よい中学や高校に入学させたい」というよりは「学校の勉強をできるようにさせたい」と考えている。また、「子どもがやりたいと言った」は32.4%を占め、一定程度みられる。なお、「子どもの友

達がなっているから」は4.8%とわずかである。

次に、中学生の母親の回答をみていこう。中学2年生の母親の回答は小学生の母親のそれとほぼ類似しているが、受験学年の中学3年生になると母親の回答にも変化が生じている。小学生や中学2年生では「学校の勉強をできるようにさせたい」がもっとも多くを占めていたのと比べると、中学3年生の母親では「学校の勉強をできるようにさせたい」(31.6%)が減少し、逆に「よい高校に入学させたい」(28.4%)が増え、両者の比率は接近している。なお、「子どもがやりたいと言った」と「子どもの友達がなっている」の比率はそれぞれ他の学年とほぼ同じである。

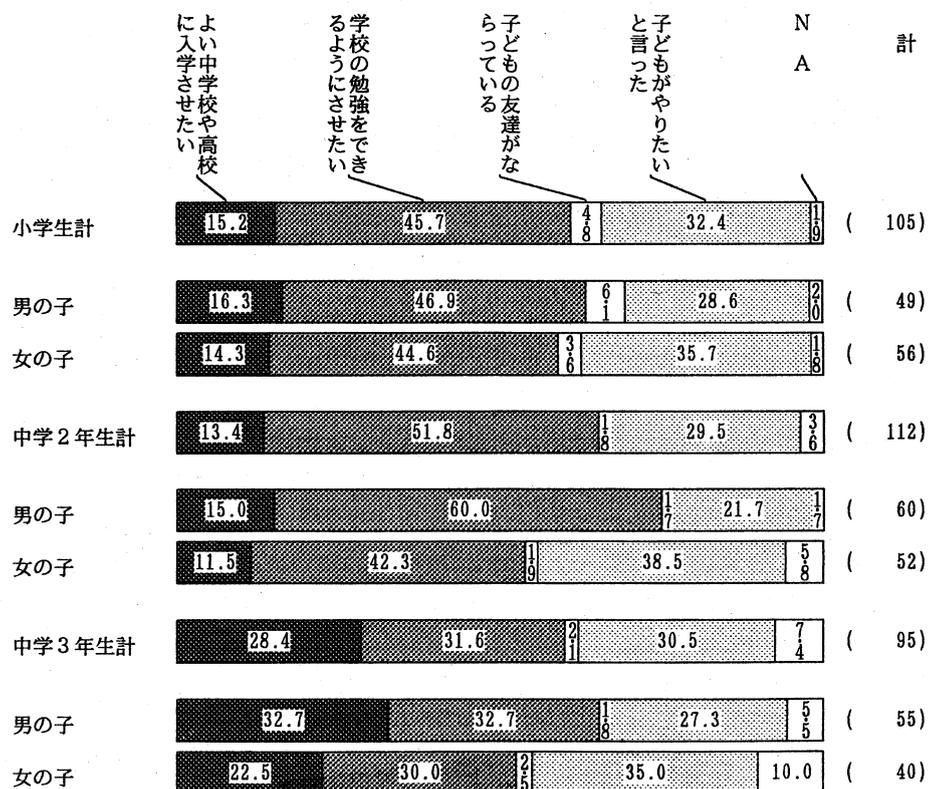
このように、小学生や中学2年生の母親と中学3年生の母親では回答が異なっているが、母親の回答を子どもの性別にみても違いがみられる。

男子の母親には「学校の勉強をできるようにさせたい」と「よい中学校や高校に入学させたい」といった理由が多くあがっている。両者を合わせた比率について子どもの性による差をみると、中学生では大きく開いており、中学2年生では21ポイント差、中学3年生では13ポイント差となっている。

他方、女の子の母親の回答をみると、これらの理由は男子の母親より少なく、逆に「子どもがやりたいと言ったから」を理由にあげた母親が多くなっている。男子の母親との比率の差を示すと、小学生で7ポイント差、中学2年生で17ポイント差、中学3年生で8ポイント差となる。

このように子どもの性別にみると、男子の母親では学校の補習や進学を理由にあげた人が多く、女の子の母親には子どもの意思をあげた親がより多くなっている。

第5-7図 学習塾に通ったり、家庭教師につくようになった理由(母親の回答)

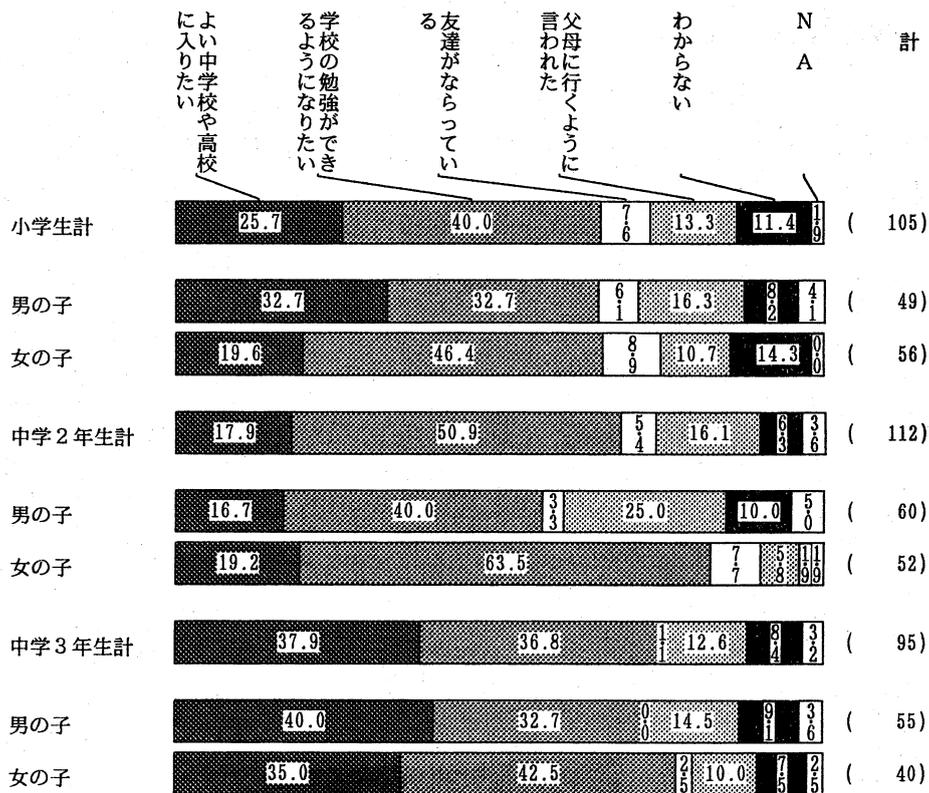


では、次に第5-8図より子どもの回答をみよう。

「よい中学校や高校に入学したい」の比率は、小学生では25.7%、中学2年生では17.9%、中学3年生では37.9%を占めており、それぞれ母親の回答よりも比率が多くなっている。子どもの方が「よい中学校や高校に入学したい」といった意識が強いといえよう。「父母にいくように言われた」は小学生では13.3%、中学2年生16.1%、中学3年生12.6%とほぼ1割強である。

性別に「父母にいくように言われた」の比率に着目すると、男の子の比率が女の子よりもやや多く、小学生では6ポイント差、中学2年生では19ポイント差、中学3年生では5ポイント差である。逆にいえば、女の子の方が自分の意思で塾に通っている率が高く、これは母親の回答と一致している。

第5-8図 学習塾に通ったり家庭教師につく理由（子どもの回答）



ここで、母親の回答別に子どもの意識を第5-9表でみると、母親が「よい中学校や高校に入学させたい」と回答した場合、「よい学校に入学したい」をあげた子どもは51.7%みられる。また、母親が補習を理由にあげた場合は、50.7%の子どもが「学校の勉強ができるようになりたい」と回答している。このように、母親の考えと子どもの考えには対応関係がみられる。

また同表からは、母親が「子どもがやりたいといったから」と回答した場合の子どもの側の回答がわかる。「父母に言われたから」と回答した子どもはほとんどなく、「友達がならっているから」の回答がやや多い点が他の子どもとは異なっている。

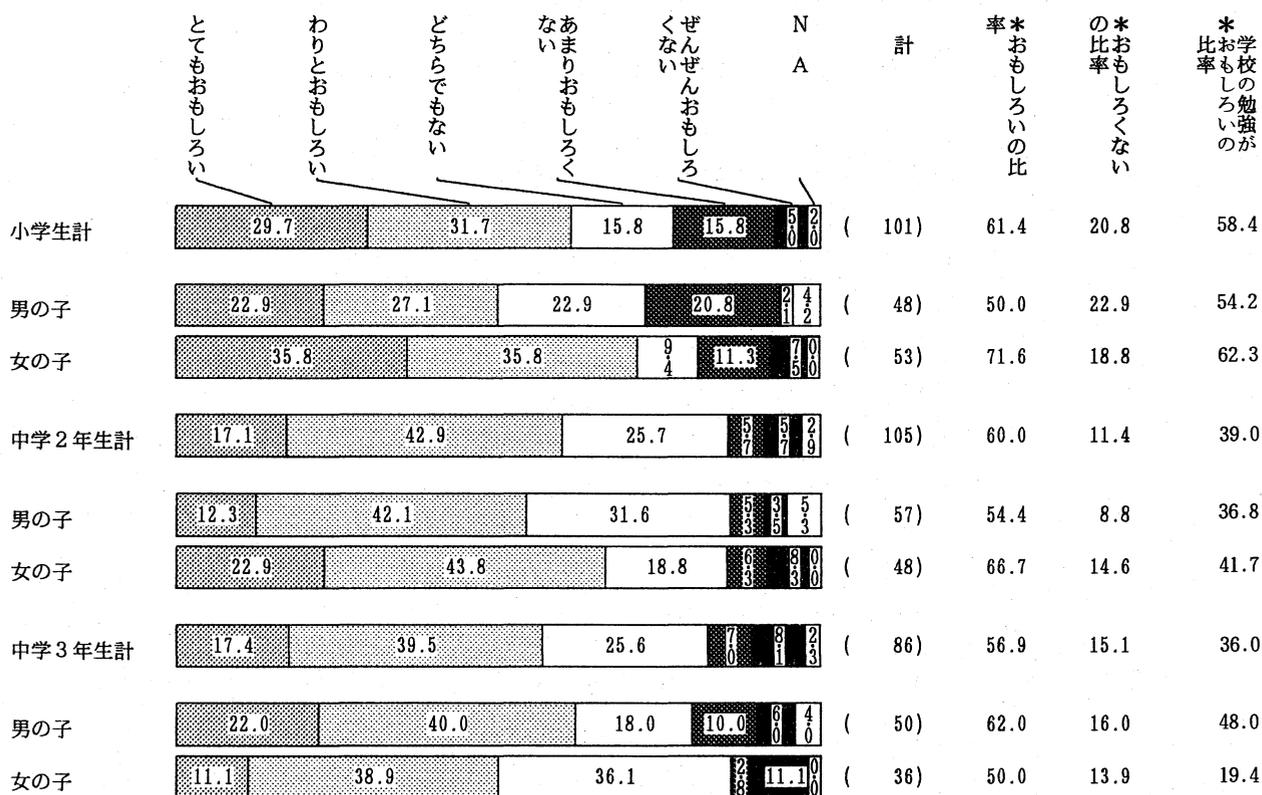
第5-9表 学習塾に通ったり家庭教師につく理由（子どもの回答）
（母親の回答別）

	よ い 中 学 校 や 高 校 に 入 学 し た い	学 校 の 勉 強 が で き る よ う に な り た い	友 達 が な ら っ て い る	父 母 に 行 く よ う に 言 わ れ た	わ か ら な い	N A	計	
総計	26.6	42.9	4.8	14.1	8.7	2.9	312	
母親の回答別	よ い 中 学 校 や 高 校 に 入 学 し た い	51.7	22.4	1.7	15.5	6.9	1.7	58
	学 校 の 勉 強 を で き る よ う に な り た い	13.2	50.7	1.5	21.3	9.6	3.7	136
	ど ち ら で も 言 っ た	32.3	47.9	8.3	2.1	8.3	1.0	96

(2) 塾の勉強の面白さ

進学塾、あるいは補習塾に通っている子どもは塾の勉強をどのくらい面白いと感じているのだろうか（第5-9図）。

第5-9図 塾の勉強の面白さ



*学校の勉強がおもしろい比率は補習塾、進学塾に通っている子どもを対象に集計したもの

小学生では、「とても面白い」が29.7%を占め、これに「わりと面白い」の31.7%を合わせた〈面白い〉は61.4%と6割を占めている。逆に、〈面白くない〉は20.8%を占め、うち「あまり面白くない」は15.8%で、「ぜんぜん面白くない」は5.0%にとどまった。なお、「どちらでもない」は15.8%を占めている。

このように、小学生では6割が塾の勉強を〈面白い〉と回答している。中学生でも〈面白い〉の比率はほぼ同率となり、中学2年生では60.0%、中学3年生では56.9%を占めている。なお、進学塾と補習塾の面白さを比較したところ、塾の種類による〈面白さ〉の違いはみられなかった(図表省略)。

本調査では[学校の勉強の面白さ]についてもきいているので、ここで比較を試みよう。なお、ここで使用する比率は、進学塾や補習塾に通っている子どもを対象に[学校の勉強の面白さ]を再集計した結果である。

同図よりみると、小学生では、学校の勉強を〈面白い〉と回答した子どもの比率(58.4%)と塾の勉強を〈面白い〉と回答した子どもの比率(61.4%)はほぼ同じである。中学生はどうであろうか。学校の勉強を〈面白い〉と回答した子どもは中学2年生では39.0%、中学3年生では36.0%となり、それぞれ塾の勉強を〈面白い〉と回答した子どもの方がはるかに多く、それぞれ21ポイント差となっている。

このように、中学生では学校の勉強は面白くないが、塾の勉強は〈面白い〉といった回答となっている。ただし、塾が面白い子ども以外は塾をやめてしまうこともあり得るので、それが〈面白い〉の比率を押し上げている面もあると思われる。

5. 計画的な勉強

第5-10表 ふだんの日、家でしていること
〈はいの比率〉

ところで、子ども達はふだんの日自分で計画的に勉強をしようとしているのだろうか。本調査ではテレビ視聴時間の自己管理ができるかどうかの指標として[テレビ番組は見たいものを選び、だらだらと見ない]の設問を、勉強の計画性の有無の指標として[勉強しなさいといわれなくても自分で計画をたて勉強する]の設問を用意し、「はい」「いいえ」の二者択一で回答を求めた。第5-10表はこれらの設問に対して「はい」と回答した子どもの比率を示したものである。

	い も の だ け 見 る 見 た	テ レ ビ 番 組 を 選 ぶ 計 画 を た て	自 分 で 計 画 を た て	計
小学生計	45.0	38.4	422	
男子	49.0	31.6	206	
女子	41.2	44.9	216	
中学2年生計	38.6	35.7	207	
男子	38.5	33.0	109	
女子	38.8	38.8	98	
中学3年生計	37.1	39.7	151	
男子	33.7	36.1	83	
女子	41.2	44.1	68	

(1) 学年別にみられる特徴

小学生では「テレビは見たいものだけ見る」が45.0%を占め、残りの半数以上はテレビの視聴時間の自己管理ができない状況にある。「計画をたて勉強する」子どもは38.4%と半数に満たない結果となり、過半数の子どもは勉強の計画性が立てられていないことになる。

他方、中学生をみると、「テレビは見たいものだけ見る」は中学2年生で38.6%、中学3年生で37.1%、「計画をたて勉強」は中学2年生で35.7%、中学3年生で39.7%となっている。したがって、中学生でも6割の子どもはテレビの視聴時間や計画的な勉強の自己管理ができていないことになる。とくに、テレビの視聴時間の自己管理ができていない子どもは中学生に多い。比率の差を示せば、中学2年生では6ポイント、中学3年生では8ポイントそれぞれ小学生を上回っている。

次に性別にみてみよう。

まず、「テレビは見たいものだけ見る」の比率をみると、男の子の場合は小学生で49.0%、中学2年生で38.5%、中学3年生で33.7%と学年を追って減少しており、年齢があがるほどテレビをずるずる見ている様子がうかがえる。それに対し、女の子では年齢による差はみられない。

「計画をたて勉強する」の比率をみると、いずれの学年も女の子の比率が男の子のそれを上回っている。小学生では44.9%で男の子と13ポイント差、中学2年生では38.8%で男の子と6ポイント差、中学3年生では44.1%で男の子と8ポイント差となっている。また、小、中学生ともに「計画をたて勉強する」女の子は4割前後となっており、学年による差はみられない。

(2) 計画的な勉強についてのクロス分析

ところで、自分は計画性があると回答した子どもは実際にどのような生活時間を過ごしているのだろうか(第5-11表)。ここでは、土曜日についてみてみよう。

「テレビ番組は見たいものを決め、だらだら見ない」に「はい」と回答した子どもの視聴時間は小学生の男の子で2時間13分、女の子では2時間19分となっており、「いいえ」と回答した子どものそれは小学生の男の子では2時間23分、女の子では2時間50分である。このように、テレビの視聴時間を自分で管理していると回答した子どもの方が、テレビ・ビデオの視聴時間は短い。その時間の差を示せば、小学生の男の子では10分差、女の子では31分差となっており、男の子より女の子における差が大きい。なお、時間の長さには違いがみられるものの、これらの傾向は中学生でも同様である。

では第5-12表より、「勉強しなさいといわれなくても、自分で計画をたて勉強する」に「はい」と回答した子どもの勉強時間(予習・復習を含む)をみてみよう。中学3年生をみると、計画的な勉強をしていると回答した子どもの勉強時間は男の子で1時間40分、女の子で1時間31分であり、そうでない子どもの勉強時間は男の子で1時間19分、女の子で57分となっている。男女とも「勉強しなさいといわれなくても、自分で計画をたて勉強する」と回答した子どもの方が勉強時間が長くなっている。なお、このような傾向は小学生や中学2年生でもみられ、共通している。

第5-11表 テレビの視聴時間〈土曜日の場合〉(平均値)(テレビの番組は見たいものを決め、だらだらと見ないかどうか別)

	件数	分 テレビ・ビデオ・
小学生男の子計	205	138
はい	101	133
いいえ	104	143
小学生女の子計	206	157
はい	84	139
いいえ	122	170
中学2年生男の子計	101	149
はい	39	146
いいえ	61	152
中学2年生女の子計	93	160
はい	38	153
いいえ	55	164
中学3年生男の子計	79	129
はい	27	110
いいえ	51	142
中学3年生女の子計	66	172
はい	27	148
いいえ	39	189

第5-12表 勉強時間〈土曜日の場合〉(平均値)(勉強しなさいといわれなくても自分で計画をたて勉強するかどうか別)

	件数	を勉強・予習・復習
小学生男の子計	205	31
はい	64	40
いいえ	141	27
小学生女の子計	206	36
はい	92	42
いいえ	114	31
中学2年生男の子計	101	58
はい	34	90
いいえ	66	39
中学2年生女の子計	93	48
はい	36	65
いいえ	57	38
中学3年生男の子計	79	86
はい	29	100
いいえ	49	79
中学3年生女の子計	66	72
はい	29	91
いいえ	37	57

6. 勉強観

子ども達はどのような勉強観をもっているのかを次にみていく。本調査では、親の意識との関連性をつかむために、母親にも子どもと同様の設問をしている。

ここでは、子どもに7つの考え方を示し、受験や学歴社会に対する考え方について「そう思う」か「そう思わない」の二者択一で回答を求めた結果のうち、「そう思う」の比率を表示している。具体的には、[小学生のうちには受験勉強などしないほうがよい][受験勉強は遊ぶ時間が減るからいやだ][受験勉強はよい学校に行くためだけで、本当の勉強ではない][受験勉強は、学んだことをまとめるよい機会だ][受験勉強は人間をきたえるよい機会である]といった受験勉強に対する5つの考え方と、[大学に入れないといいところに就職できない]や[実力さえあれば大学に行かなくとも大人になって困ることはない]といった大学の意味付けについての2種類である(第5-13表)。

第5-13表 受験や学歴社会に対する子どもの考え方
 〈そう思うの比率〉

	小学生は受験勉強しないほうがよい	勉強ではない	受験勉強は本当の勉強ではない	きたえるよい機会	受験勉強は人間を減らすからいや	受験勉強は遊ぶ時間が減るから嫌だ	受験勉強は学んだことをまとめる機会だ	いい就職は困難	大学に入れない	実力さえあれば困ることはない	計	回答累計
小学生計	70.6	38.4	46.7	66.8	62.8	47.2	44.1	422			376.5	
男子	68.9	42.7	47.1	68.0	61.2	49.0	43.7	206			380.6	
女子	72.2	34.3	46.3	65.7	64.4	45.4	44.4	216			372.7	
中学2年生計	78.3	34.8	44.9	59.9	70.5	56.0	43.0	207			387.4	
男子	78.9	35.8	46.8	57.8	61.5	51.4	39.4	109			371.6	
女子	77.6	33.7	42.9	62.2	80.6	61.2	46.9	98			405.1	
中学3年生計	83.4	41.1	48.3	67.5	68.9	46.4	53.6	151			409.3	
男子	83.1	48.2	45.8	63.9	71.1	48.2	53.0	83			413.3	
女子	83.8	32.4	51.5	72.1	66.2	44.1	54.4	68			404.4	

(1) 子どもの考え方

以下から、子どもの考え方を、①受験勉強について、②大学進学についての順にみていくことにする。

① 受験勉強について

では、まず受験勉強についての考え方についてみていこう。

A. 小学生の場合

小学生では、[小学生は受験勉強しないほうがよい]が70.6%みられ、多数は小学生の受験に否定的である。また、66.8%と多数の子どもが[受験勉強は遊び時間が減るから嫌だ]と回答している。

受験勉強の意義についてはどのように考えているのだろうか。受験勉強は[本当の勉強ではない]と回答した子どもは38.4%であり、過半数の子どもは受験勉強も勉強の一つの形と考えている。

また、受験勉強を[学んだことをまとめる機会だ]と考えている子どもは62.8%と過半数を占めている。このように、過半数の小学生では、受験勉強を勉強の一つの形、まとめの機会と考えている。なお、[人間をきたえるよい機会である]かどうかについては回答が分れており、肯定が46.7%、否定が49.1%（図表省略）となっている。

B. 中学生の場合

中学生はどうだろうか。

[小学生は受験勉強しないほうがよい] は中学2年生では78.3%、中学3年生では83.4%と、いずれも小学生の回答を上回り、かつ学年を追って小学生の中学受験に対する否定は強まっている。

また、[遊ぶ時間が減るから嫌だ] の比率は中学2年生では59.9%を占めるが、受験学年の中学3年生になると67.5%に増加する。この傾向は男の子よりも女の子に強く、中学2年生では62.2%と男の子(57.8%)と4ポイント差、中学3年生になると72.1%で男の子(63.9%)と8ポイント差とさらに開いている。

次に、中学生が考える受験勉強の意義付けについてみていこう。7割の子どもが受験勉強を[学んだことをまとめる機会](中学2年生70.5%、中学3年生68.9%)と考えている。これは小学生よりもさらに多い。

また、[本当の勉強ではない] と回答した子どもは中学2年生では34.8%、中学3年生では41.1%で、過半数は勉強の一つの形と考えている。この傾向は小学生と大差ないが、中学2年生より中学3年生の方が受験勉強を[本当の勉強ではない]と考えている子どもが多い。

しかし、[人間をきたえるよい機会である]については、小学生と同様に意見が分れており、肯定の比率は中学2年生では44.9%、中学3年生では48.3%である。

このように小、中学生ともに概ね回答の傾向は一致しているが、[学んだことをまとめる機会]と[小学生は受験勉強しないほうがよい]は中学生により多くみられる。うち、[小学生は受験勉強しないほうがよい]と考えている子どもは受験学年の中学3年生がもっとも多くなっている。また、中学3年生では[遊ぶ時間が減るから嫌だ]と[本当の勉強ではない]がそれぞれ中学2年生を上回っており、受験学年の特徴といえる。

② 大学進学について

次に、大学進学についての考え方についてみていこう。

[大学に入れないといい就職は困難]は小学生では47.2%、中学2年生では56.0%、中学3年生では46.4%とそれぞれ5割前後みられ、子どもの意見は分れている。ただし、中学生について中学2年生と中学3年生を比較すると、中学2年生の方が“大学入学=いい就職”といった考え方に賛成の子どもが10ポイント多い。

また、[実力さえあれば大学に行かなくとも大人になって困ることはない]は小学生(44.1%)と中学2年生(43.0%)では4割強を占めており、過半数は大学に行かないと大人になって困ると考えている。ただし、中学3年生になると[実力さえあれば大人になって困ることはない]と回答した子どもは53.6%となり、小学生や中学2年生と比べると、学歴重視主義がやや少なくなっている。

このように、学年でやや回答に差がみられるが、概ね“大学入学=いい就職”といった図式や

“学歴重視主義”といった考え方をする子どもとこれらを否定している子どもは二分されている。ただし、中学2年生と中学3年生を比較すると、受験学年の方が「大学に入れないといい就職は困難」が少なく、逆に「実力さえあれば大学に行かなくとも大人になって困ることはない」が多くなっている。これは、受験勉強への不満が回答に表れていると推測される。

(2) 母親の考え方

では、母親の考え方について第5-14表よりみてみよう。本調査では子どもと同じ質問を母親にもきいている（ただし、「受験勉強は遊ぶ時間が減るからいやだ」については親では省略、類似設問を設定、次節を参照のこと）。

第5-14表 受験や学歴社会に対する母親の考え方〈そう思うの比率〉

	小学生は受験勉強をしないほうがよい	小学生は受験勉強は本当の勉強ではない	受験勉強は人間をきたえるよい機会	受験勉強は学んだ事をまとめる機会	大学に入れないと就職は困難	実力さえあれば困ることはない	計	回答累計
小学生計	86.5	68.0	27.7	50.9	46.4	66.4	422	346.0
男子	87.9	66.5	34.0	55.8	50.5	66.5	206	361.2
女子	85.2	69.4	21.8	46.3	42.6	66.2	216	331.5
中学2年生計	92.8	64.7	34.3	44.9	47.3	65.7	207	349.8
男子	94.5	67.0	33.0	40.4	47.7	66.1	109	348.6
女子	90.8	62.2	35.7	50.0	46.9	65.3	98	351.0
中学3年生計	89.4	67.5	30.5	51.0	45.7	60.9	151	345.0
男子	90.4	65.1	32.5	53.0	50.6	56.6	83	348.2
女子	88.2	70.6	27.9	48.5	39.7	66.2	68	341.2

① 受験勉強について

A. 小学生の中学受験について

まず、小学生の中学受験についての考え方についてみていこう。

小学生の母親についてみると、「小学生は受験勉強をしないほうがよい」は9割弱を占めており、ほとんどの母親は否定的である。また、子どもの回答（7割）と比べても、小学生の中学受験に否定的な人の比率は多い。この点については、中学生の親でも大半が否定的である。

B. 受験勉強について

母親の考える受験勉強の意義とはどのようなものなのだろうか。

中学3年生の母親についてみると、受験勉強は「本当の勉強ではない」は7割弱、「人間をきたえるよい機会」は3割であり、多数の母親は受験勉強を「本当の勉強」とは考えていないのに加え、「人間をきたえる機会」とも考えていない。ただし、「学んだことをまとめる機会」は5割となっており、肯定した母親と否定した母親は半々みられ、意見が二分されている。こうした傾向は、中学2年生や小学生の母親でもほぼ同じである。

これらを子どもの回答と比較してみよう。

いずれの学年においても、「本当の勉強ではない」の比率は母親の方が多く、「まとめる機会」と「人間をきたえるよい機会」はそれぞれ母親の回答が少なくなっている。このように子どもの回答に比べると母親の方が受験勉強に対しては否定的な回答となっている。

② 大学進学について

大学については母親はどのように考えているのだろうか。

中学3年生の母親についてみれば、「大学に入れないといい就職は困難」は5割弱であり、意見が分れている。また、「実力さえあれば困ることはない」は6割を占めている。この点については中学2年生や小学生の母親でも大差ない。

義務教育の最終学年である中学3年生の母親に着目して子どもの性別にみると、男の子の母親は女の子の母親に比べ「大学に入れないといい就職は困難」が11ポイント多く、逆に「実力さえあれば困ることはない」は10ポイント少ない。男の子の母親の方が大学進学を重要視しているといえよう。

また、中学3年生の母親に限って子どもの回答と比べると、「大学に入れないといい就職は困難」と「実力さえあれば困ることはない」についての肯定の比率は母子間に大きな開きはない。

ところで、勉強についての母親の考え方と子どもの考え方は同一だろうか。ここでは、中学生についてみていこう。

第5-15表は中学生について母親の考え方別に子どもの「そう思う」の比率を示したものである。それによると、「大学に入れないといい就職は困難」と「実力さえあれば困ることはない」について母子間における回答の一致がある程度みられる。いずれも母親が肯定している場合と否定している場合とでは、子どもの回答比率には14ポイントの開きがあり、肯定している母親の場合はより多くの子どもが肯定していることがわかる。大学進学については母親の考え方がある程度子どもの回答に反映しているといえる。

第5-15表 勉強についての中学生の考え方〈そう思うの比率〉
(母親の考え方別)

		子どもの回答(中学生)							
		計	実力さえあれば困らない	大学に入れないと	いい就職は困難	受験勉強は学んだ	事をまとめる機会	きたえるよい機会	受験勉強は本当の
母親の考え方別	小学生は中学受験しないほうがよい	そう思う	79.8	37.3	47.4	71.9	51.1	48.9	327
		そう思わない	86.2	37.9	34.5	44.8	58.6	34.5	29
	受験勉強は本当の勉強ではない	そう思う	79.7	39.8	45.3	67.4	50.4	52.1	236
		そう思わない	82.2	33.1	49.2	73.7	55.1	39.0	118
	受験勉強は人間をきたえるよい機会	そう思う	82.1	35.9	41.0	74.4	53.8	47.9	117
		そう思わない	80.4	37.4	48.5	67.2	51.1	48.1	235
	受験勉強は学んだことをまとめる機会	そう思う	86.5	34.1	47.6	74.1	48.8	49.4	170
		そう思わない	76.2	39.2	44.2	65.7	54.7	47.0	181
	大学に入れないと就職は困難	そう思う	82.6	37.7	47.3	68.3	59.3	43.7	167
		そう思わない	79.0	37.1	45.2	70.4	45.2	51.1	186
	実力さえあれば困ることはない	そう思う	81.1	36.0	47.4	71.5	47.8	52.6	228
		そう思わない	81.3	40.7	43.9	65.0	60.2	39.0	123

7. 親の教育観

ここでは、①学習塾や②学校教育などに対する母親の考え方についてみていくことにする。

(1) 学習塾について

まず始めに、学習塾についてみていこう。

本調査では学習塾について3つの考え方を示し「そう思う」「そう思わない」の二者択一で回答を求めた。第5-16表は「そう思う」の回答比率を示したものである。

まず、小学生の母親の回答をみると、[よい学校に入るためには、学習塾へ行くことは当然だ]は22.7%にとどまり、[学習塾へ行くことで、遊ぶ時間がなくなるのはかわいそうだ]は70.4%と多数を占めている。[学習塾は受験競争をあおるものだから、ないほうがよい]については41.7%で意見が分れている。

他方、中学生の母親をみると、[よい学校に入るためには、学習塾へ行くことは当然だ](21.5%)は小学生の母親と同様に2割にとどまっている。しかし、[学習塾へ行くことで、遊ぶ時間がなくなるのはかわいそうだ]は56.4%と、小学生の母親と比べると14ポイント少ない。[学習塾は受験競争をあおるものだから、ないほうがよい]についても小学生の母親より6ポイント少なく、36.0%である。

第5-16表 学習塾に対する母親の考え方〈そう思うの比率〉

	めよいから受験る遊ぶ計	回答累計
小学生計	22.7 41.7 70.4 422	134.8
中学生計	21.5 36.0 56.4 358	114.0

このように、小、中学生の母親の回答を比較すると、中学生の母親の方が学習塾に否定的な意見は少なくなる。これは、先の「受験や学歴社会に対する考え方」でみたように、ほとんどの母親は「小学生は受験勉強をしないほうがよい」と回答していることとも関係していると考えられる。

(2) 学校教育などについて

また本調査では、学校教育に対する考え方も親にきいている。6つの考え方に対し二者択一で回答をもとめた結果が、第5-17表に示すとおりである（同表は「そう思う」の比率）。

小学生の母親についてみると、「今の子どもには、自由に遊んだり、好きな本を読んだりする時間が少なすぎる」は52.8%であり、肯定と否定が半々となっている。

「今の教育は子どもの個性をつぶしている」は51.2%、「今の教育は子どもを管理しすぎる」は52.4%、「子どもの評価が成績の善し悪しばかりでなされている」は52.8%であり、学校教育に対する意見にはいずれの場合も肯定的な人と否定的な人がおよそ半々となっている。また、「サラリーマン化した無気力な教師が多い」といった教師に対する批判も56.6%と半数以上みられる。

このように、小学生の母親では本調査で示した教育観については、肯定する人と否定する人で概ね二分されている。

第5-17表 教育に対する母親の考え方〈そう思うの比率〉

	性を教育は子ども個性をつぶしている	悪評価が成績の善し悪し	でないので塾必要	を管理しすぎ	今の教育は子ども	少なすぎる	自由に遊ぶ時間が	い無気力な教師が多	計	回答累計
小学生計	51.2	52.8	25.4	52.4	52.8	56.6	422	291.2		
中学生計	66.8	64.5	23.7	60.9	58.9	62.0	358	336.9		

中学生の母親では、小学生の母親と比べると教育の現状に対して否定的な回答をした人が多い。小学生の母親との比率の差も同時に示せば、[今の子どもには、自由に遊んだり、好きな本を読んだりする時間が少なすぎる]は58.9%で6ポイント差、[今の教育は子どもの個性をつぶしている]は66.8%で16ポイント差、[今の教育は子どもを管理しすぎる]は60.9%で9ポイント差、[子どもの評価が成績の善し悪しばかりでなされている]は64.5%で12ポイント差、[サラリーマン化した無気力な教師が多い]は62.0%で5ポイント差となっており、それぞれ小学生の母親の回答を上回っている。

このように、いずれの項目でも中学生の母親の批判は強く、学校教育に対する批判の中では、とくに[今の教育は子どもの個性をつぶしている]と[子どもの評価が成績の善し悪しばかりでなされている]という声はより多い。

本調査では学校と塾との関係については一設問しかきいていないが、[塾が必要になるのは、学校が授業をしっかりやっていないからだ]といった意見に肯定の母親の比率は小、中学生とも共通しており、小学生の母親で25.4%、中学生の母親で23.7%とおおよそ4人に1人の割合にとどまり、否定の方が多数である。

8. 希望する進路

次に、今後の進路の希望についてみていこう。この設問も母子の二者に聞いているが、ここでは、始めに母親の回答から分析することにする。

(1) 母親が子どもに希望する進路

第5-10図より母親の回答をみると、回答のほとんどが短大(あるいは専門学校)、大学といった高等教育機関に子どもを進ませたいとしている。うち、もっとも多いのは「一流大学でなくとも大学に進ませる」であり、45%台と半数弱を占めるが、これに「一流大学に進ませる」の1割強を合わせると大学進学を希望している母親は6割弱みられる。「海外の大学に留学をさせるつもり」(小学生0.7%、中学生0.0%)はほとんどみられない。

〈大学進学希望〉が58%台と6割弱を占めているのに比べると、「短大か専門学校に進ませるつもり」は少ないが、3割弱はある(小学生27.0%、中学2年生29.0%、中学3年生25.2%)。なお、「中学を卒業したら就職させるつもり」は皆無であり、「高校を卒業したら就職させるつもり」も1割強と少ない。

このように、学年計の結果で見れば、母親の回答は共通しているが、子どもの性別にみると、母親の希望の違いがみられる。

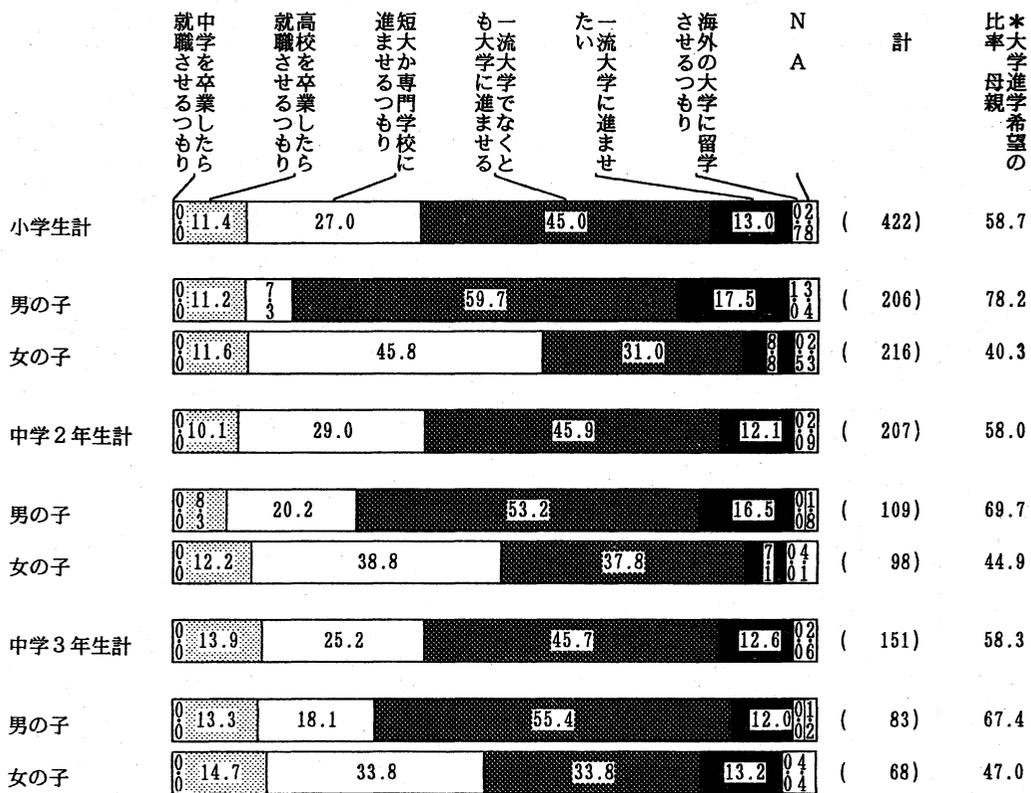
まず、男の子の母親についてみていこう。小学生の母親では〈大学進学希望〉の比率が78.2%と多

数であるが、中学生の母親になると7割弱とやや少なくなる（中学2年生69.7%、中学3年生67.4%）。逆に「短大・専門学校希望」が小学生の母親の7.3%から中学生の母親の2割へと増加する（中学2年生20.2%、中学3年生18.1%）。

また、「一流大学への進学を希望」は小学生の男の子の母親（17.5%）や中学2年生の男の子の母親（16.5%）に比べ、中学3年生では12.0%とやや少なくなる。ただし、中学3年生でも「一流大学でなくとも大学に進ませたい」は過半数を占めている。

他方、女の子の母親の回答をみると、小学生の母親では「短大・専門学校希望」が45.8%と半数弱みられるが、中学2年生の母親では38.8%、中学3年生の母親では33.8%と子どもの学年を追って少なくなり、変わって〈大学進学希望〉が徐々に増加している（小学生40.3%→中学2年生44.9%→中学3年生47.0%）。ただし、男の子の母親の希望と比べると〈大学進学希望〉の比率は少なく、「短大・専門学校希望」の方が多い。

第5-10図 子どもに対する母親の進路希望



さて、以下からは、本章第6節の「勉強観」で既に述べた母親の「大学進学に対する考え方」と「子どもに希望する進路先」との関連について触れておこう。第5-18表は母親の大学進学に対する考え方にみたものである。なお、ここでの分析対象は今回の調査回答者全員である。

第5-18表 母親の大学に対する考え方別にみた子どもに対する進路希望（母親の回答）

	就職させるつもり	中学を卒業したら	高校を卒業したら	短大か専門学校に進ませるつもり	も一流大学でなくとも大学に進ませる	一流大学に進ませたい	海外の大学に留学させるつもり	N	計	*大学進学希望の比率
総計	...	11.6	27.2	45.4	12.6	0.4	2.8	784	58.4	
大学に入れないと いい就職は困難 そう思わない	...	8.2	22.2	49.3	17.3	...	3.0	365	66.6	
	...	14.6	32.0	42.0	8.5	0.7	2.2	412	51.2	
総計	...	11.6	27.2	45.4	12.6	0.4	2.8	784	58.4	
実力さえあれば 困ることはない そう思わない	...	14.7	29.4	41.5	11.0	0.6	2.9	511	53.1	
	...	5.4	23.5	53.1	16.2	...	1.9	260	69.3	

〈大学進学希望〉の比率で比較すると、「大学=いい就職」といった考え方をする親ほど子どもの大学進学を希望していることがわかる。比率を示せば、「大学に入れないといい就職は困難」と考えている母親の66.6%が子どもに〈大学進学を希望〉しており、この考え方に否定的である母親（51.2%）よりも15ポイント多い。ただし、「大学=いい就職」といった考え方に否定的な回答をした母親でも半数の親は子どもに大学進学を希望していることがわかる。

また、「実力さえあれば大学にいかなくても大人になって困ることはない」と考える親では〈大学進学を希望〉の比率は53.1%であるが、この考え方を否定した母親では69.3%に達している。

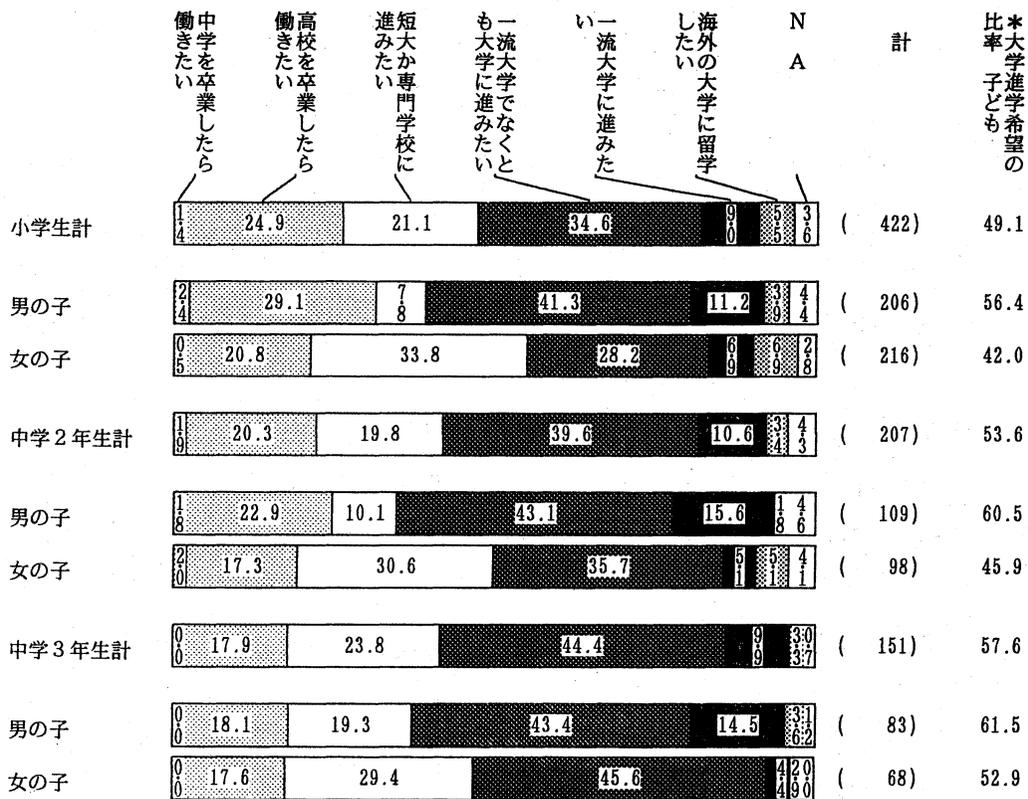
このように、母親の大学進学に対する考え方と子どもの大学進学への期待は、相関関係を持っているといえよう。また、学歴主義を否定する回答をした母親でもその半数は子どもに大学まで進んで欲しいと望んでいることも明らかである。

(2) 子ども自身が希望する進路

では、子どもの回答をみてみよう。学年により比率の差はみられるものの、総じて傾向は似通っているため、ここでは、進路を決定する機会にある中学3年生の回答をみてみよう。

第5-11図よりみると、〈大学進学希望〉の比率は57.6%と6割近くあり、そのうち「大学に進みたいが、一流大学でなくともかまわない」が44.4%と最も多く、「一流大学に進みたい」は9.9%、「海外の大学に留学したい」は3.3%とわずかである。また、「短大か専門学校に進みたい」は23.8%、「高校を卒業したら働きたい」は17.9%とそれぞれ2割前後を占め、いずれも一定程度みられる。なお、「中学を卒業したら働きたい」は皆無であり、回答者の全員が進学を希望していることになる。

第5-11図 子ども自身の進路希望



母親の回答と比べてみると、〈大学進学希望〉の比率はほぼ同じであるが、「高校卒業後は就職を希望」は子どもでは17.9%を占めており、親の希望（13.9%）よりやや多めである。

次に、中学3年生を性別にみてみよう。母親の回答では子どもの性によって進学先の希望は大きく異なっていた。そこで同図より子どもの回答をみると、〈大学進学希望〉の比率は男の子で61.5%を占め、女の子の52.9%より9ポイント多い。母親の回答でみられた子どもの性による差は20ポイントあったことと比べると、差はそれほど大きくはない。ただし、母親の考え方が子どもに反映していることはうかがえる。

中学3年生の母親の回答では〈大学進学希望〉の比率は男の子で67.4%、女の子で47.0%となっていた。女の子については母親の回答も子ども自身の回答も比率が似通っているが、男の子では〈大学進学希望〉の比率は母親に多くみられる。ここでも、母親の男の子に対する期待の高さがうかがえる。

ところで、子どもの回答は学年を追うとともに若干変化している。

まず、男の子について述べると、「高校卒業後に就職」は小学生では29.1%を占めるが、中学2年生では22.9%、中学3年生では18.1%と学齢が上がるとともに少なくなり、変わって「短大・専門学校希望」が7.8%→10.1%→19.3%と徐々に増加している。なお、〈大学進学希望〉は過半数を占め、共通している。

他方、女の子をみると、〈大学進学希望〉は小学生では42.0%を占めるが、学齢を追って増加し、中学2年生では45.9%、中学3年生では52.9%となっている。いずれの学年も「高校卒業後に就職」は

2割前後、「短大・専門学校」は3割前後を占め、一定程度みられる。

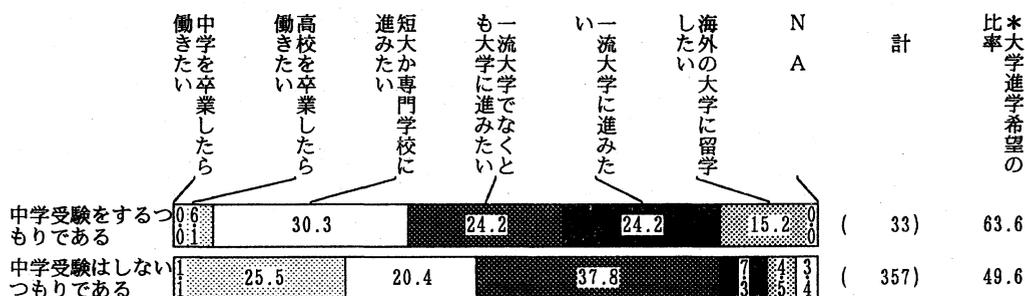
ちなみに、調査回答者の小学生のうちどのくらいが中学受験を予定しているのだろうか（あるいは、経験済みの中学生はどのくらいいるのだろうか）。

小学生をみると、「中学受験をするつもり」は7.1%であり、「中学受験はしないつもりである」が大半の81.3%となっている。ちなみに、中学生について小学生の時に中学受験をしたかどうかについてきいてみると、「中学受験を経験した」は3.6%で、大半が「中学受験は経験していない」（84.1%）と回答している（図表省略）。

そこで、中学受験を予定している小学生について、それぞれの希望の進学先をみてみよう（第5-12図）。

件数の少なさには注意しなければならないが、中学受験を予定している小学生では、「一流大学に進みたい」は24.2%、「海外の大学に留学したい」は15.2%となっており、目立っている。このように、中学受験を予定している小学生は一流大学や海外の大学に進学するといった上昇志向が強い。

第5-12図 子ども自身の進路希望（小学生、中学受験の予定例）



9. 親の学歴別・居住地別にみた親の考え方

以上でみてきたように、受験や学歴社会に対する考え方や希望の進路先などは親の考え方と子どもの回答がある程度一致していた。そこで、ここでは親の意識の違いがどのようなものから生じているのか検討していくことにする。

まず、分析に入る前に父親と母親の学歴についてみておこう。第5-19表は母親の最終学歴別に父親の最終学歴をみたものであるが、それによると、母親が高卒の場合はほとんどの父親が高卒であり、大学卒以上は1割にとどまっていることがわかる。他方、母親が短大卒の場合は、高卒の父親と大学卒以上の父親がおよそ半々となっており、また、母親が大学卒以上の場合、ほとんどの父親が大学卒以上である。

このように両親の学歴のパターンは、高卒は高卒同士、高学歴層は高学歴同士となっている場合が多数であるといえる。

第5-19表 母親の最終学歴別にみた父親の最終学歴

(数値は人数)

	父親の最終学歴							計	
	中卒	高卒	専門学校卒	高専卒	短大卒	大学卒以上	N A		
母親の最終学歴別	中卒	8	10	...	1	2	21
	高卒	21	298	15	6	4	47	9	400
	専門学校卒	2	28	5	2	1	17	1	56
	高専卒	3	...	1	...	4
	短大卒	2	46	5	3	8	50	...	114
	大学卒以上	...	4	...	2	...	54	...	60

では、子どもに希望する進路先についてみてみよう。本章第8節で既に述べたように、男の子の親は大半が〈大学進学〉を希望しているのに対し、女の子の親は「短大（あるいは専門学校）」、もしくは「一流大学でなくとも大学に進ませる」と回答した人が多かった。

そこで、第5-20表より両親の学歴別に〈大学進学を希望（短大は含まない）〉の比率に注目してみよう。

第5-20表 子どもに対する進路希望・母親の回答（両親の学歴別）

		就職させるつもり	中学を卒業したら	就職させるつもり	高校を卒業したら	進ませるつもり	短大か専門学校に進ませる	も大学に進ませる	一流大学でなくとも	一流大学に進ませたい	海外の大学に留学させるつもり	N A	計	*大学進学希望の比率
男の子の親		...	10.7	13.8	57.0	15.4	0.6	2.5	356	73.0				
父親学歴	高卒	...	12.3	13.8	60.6	12.3	...	1.0	203	72.9				
	大学卒以上	...	5.3	6.4	54.3	26.6	2.1	5.3	94	83.0				
女の子の親		...	12.3	42.0	33.2	9.1	0.3	3.1	383	42.6				
母親の学歴別	高卒	...	15.7	46.3	29.2	7.4	...	1.4	216	36.6				
	短大卒	...	3.3	46.7	38.3	10.0	...	1.7	60	48.3				
	大学卒以上	...	2.4	12.2	53.7	29.3	2.4	...	41	85.4				

男の子の親についてみると、父親の学歴が大学卒以上である場合では83.0%に達しており、高卒の場合の72.9%と比べて10ポイント多くなっている。このように、親の学歴が高いほど男の子に大学進学を希望する傾向が強いといえるが、高卒の親の場合でも子どもに大学まで進んでほしいと回答している人が多数である。

女の子についてみると、〈大学進学希望〉の比率は母親の最終学歴が高卒の場合は36.6%と少ない。母親が短大卒の場合でも同比率は48.3%にとどまっている。ただし、母親が大学卒以上の場合は85.4%が子どもに〈大学進学を希望〉している。このように、女の子の親については、高卒あるいは短大（専門学校）の母親は大卒の母親と比べると〈大学進学希望〉が少なく、逆に「短大あるいは専門学校に進ませるつもり」が46%台を占め、多くなっている。

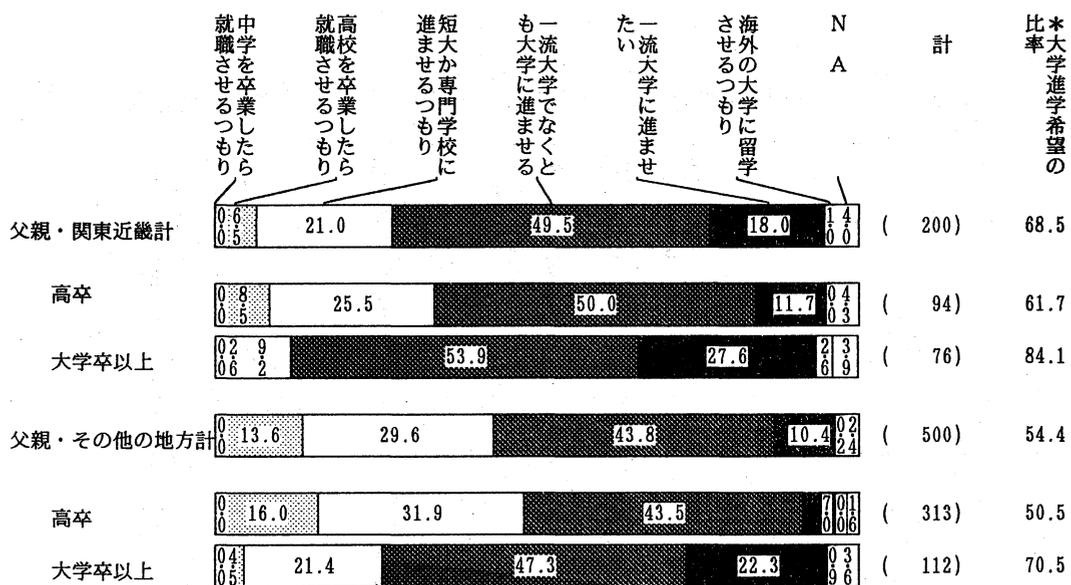
このように、親の学歴を強く反映しているのは女の子の方であり、また、父親の学歴よりも母親の学歴を反映した回答となっている。

また、居住地によっても親の希望は異なっている。

第5-13図は母親の回答を、関東・近畿地方とその他の地方別にみたものである。〈大学進学を希望〉の比率をみると、関東・近畿地方では68.5%を占めるのに対し、その他の地方では54.4%と14ポイント少ない。これは父親の学歴を同一に限定してみても同様で、いずれの学歴でも関東・近畿地方の方が〈大学進学を希望〉の比率がより多くなっている。

このように、希望する子どもの進路先については、親の学歴だけでなく、地方によっても異なっているといえる。

第5-13図 子どもに対する進路希望・母親の回答（父親の学歴別・地方別）



以上で述べた「子どもに希望する進路先」以外でも親の教育観には地方による特色がうかがえる。

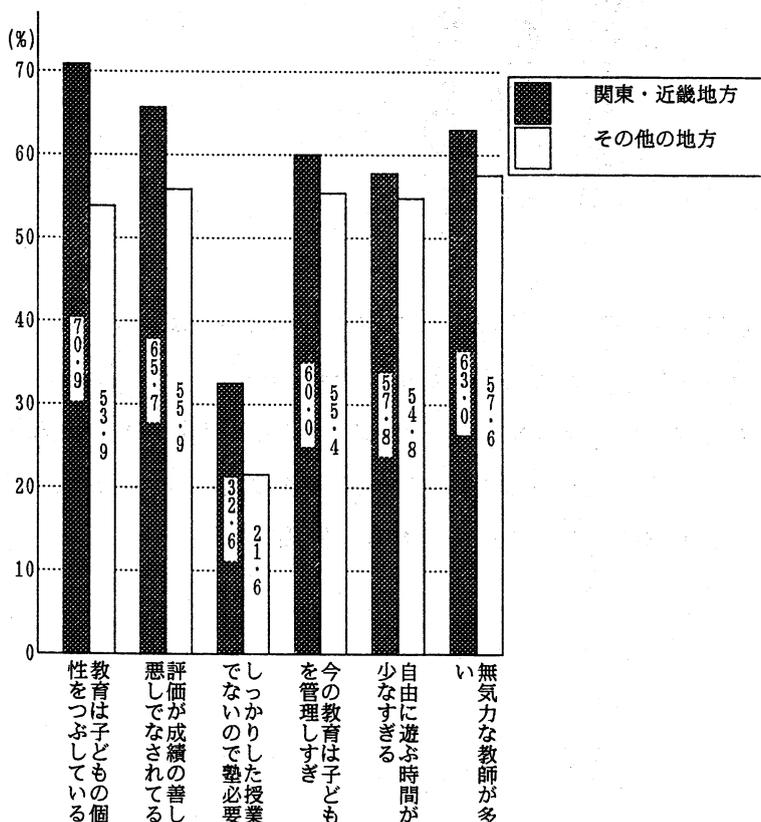
第5-21表より「受験や学歴社会に対する考え方」をみると、「大学に入れないといい就職は困難」と回答した親は関東・近畿地方では53.0%と半数を超えているのに対し、その他の地方では43.6%で9ポイント少ない。この考え方は関東・近畿地方の高卒層がもっとも多い。なお、「実力さえあれば困ることはない」については地方による違いはない。

第5-21表 受験や学歴社会に対する母親の考え方〈そう思うの比率〉
(父親の学歴別・地方別)

	いい就職は困難	大学に入れない	実力さえあれば困	計
父親・関東近畿計	53.0	64.5		200
高卒	55.3	57.4		94
大学卒以上	48.7	72.4		76
父親・その他の地方計	43.6	65.0		500
高卒	42.2	64.5		313
大学卒以上	48.2	68.8		112

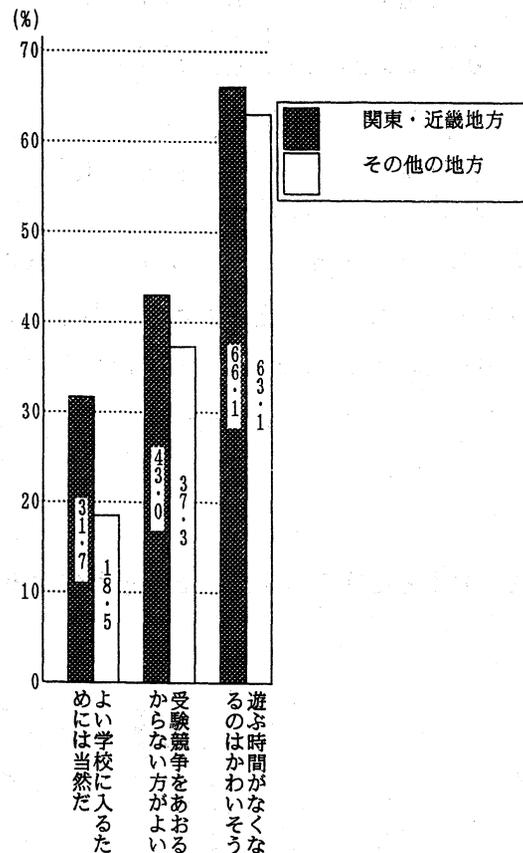
教育に対する考え方についてみてみよう。第5-14図よりみると、総じて関東・近畿地方の親の方が学校教育に対して否定的な親が多くなっていることがわかる。とくに、「教育は子どもの個性をつぶしている」(17ポイント差)、「評価が成績の善し悪しでなされている」(10ポイント差)、「しっかりした授業でないので塾必要」(11ポイント差)といった考え方に回答している人が関東・近畿地方の親に多い。

第5-14図 教育に対する母親の考え方〈そう思うの比率〉(地方別)



学習塾に対する考え方はどうだろうか（第5-15図）。[よい学校に入るためには当然だ]といった考え方と[受験勉強をあおるから塾はないほうが良い]といった考え方は関東・近畿地方の親にそれぞれ多くなっている。比率の差を示せば、順に13ポイント差、6ポイント差であり、関東・近畿地方の親はその他の地方の親に比べて、学習塾を必要な存在と考えている人と[ないほうが良い]と考えている人がそれぞれ多くなっており、学習塾については意見が分れている。

第5-15図 学習塾に対する母親の考え方
〈そう思うの比率〉（地方別）



このように、関東・近畿地方の親には学校教育について批判的な親がより多く、また、学習塾を必要と考える親と[ないほうが良い]と考える親がそれぞれ多くなっている。

このような親の考え方の違いは、補習塾や進学塾に通う子どもの比率にも反映しており、通塾率は父親の学歴とは関係なく、関東・近畿地方では5割、その他の地方では3割である。関東・近畿地方の方が塾に通っている子どもは多くなっている（第5-22表）。

第5-22表 おけいごとや塾やサークル活動（複数選択）
（父親の学歴別・地方別）

	ピアノ・エレキ 等の楽器	合唱団などの地 域の文化サークル	習字	そろばん	英会話・英語教室	スポーツクラブ	学校の運動部	学校の文化部	役員	児童会や生徒会の	補習塾	進学塾	家庭教師	通信添削	その他	通っていない・参 加していない	N A	計	補習塾と進学塾の 比率の合計
関東・近畿計	30.5	2.0	24.5	8.5	21.5	29.0	35.5	8.0	9.0	22.5	27.5	3.0	13.0	8.0	2.5	...	200	50.0	
高卒	23.4	1.1	21.3	11.7	20.2	29.8	41.5	4.3	7.4	21.3	28.7	3.2	8.5	7.4	4.3	...	94	50.0	
大学卒以上	42.1	2.6	28.9	6.6	22.4	31.6	30.3	11.8	11.8	18.4	31.6	1.3	21.1	6.6	1.3	...	76	50.0	
その他の地域計	24.2	1.6	22.0	9.4	14.0	27.2	30.0	10.6	11.0	17.6	14.8	2.8	20.4	5.2	8.0	1.0	500	32.4	
高卒	22.0	1.9	20.4	9.9	14.1	25.6	29.1	11.2	9.6	19.5	14.1	2.6	19.2	3.5	8.6	1.0	313	33.6	
大学卒以上	33.0	0.9	25.0	7.1	17.0	31.3	37.5	7.1	14.3	11.6	17.9	2.7	24.1	9.8	6.3	0.9	112	29.5	

10. 勉強時間と塾の時間

さて、ここからは生活時間調査の結果をみていこう。なお、ここで示す“勉強時間計”とは予習や復習を含む勉強時間、ながら勉強の時間、時間割をそろえるなど学校の用意をする時間、及び塾の時間（含む家庭教師についている時間）を合計したものである。この“勉強時間計”は調査日に子どもが実際に勉強した時間の合計であり、特定の日の勉強時間であることに留意されたい。

なお本節では、十分位のうち第1十分位にあたる子どもを“勉強時間の短い子ども”と表現し、第9十分位にあたる子どもを“勉強時間の長い子ども”と表現している。

(1) 学年別にみた特徴

① 小学生の場合

第5-23表より平日についてみると、家では1時間7分勉強しており、塾では14分勉強している。したがって、勉強時間計は1時間22分となる。この時間には学校における授業時間が含まれていない。本調査では学校の授業時間は明らかにされていないが、休憩や給食、ホームルーム、掃除などの時間を含んだ「授業」は6時間39分である（授業は1コマ45分で、1日のコマ数は5～6であるので、4時間あまりが純粋な授業時間といえる）。このように、1日のうちかなりの時間は勉強にあてられている。なお、これらの平均値には、勉強しなかった子どもも含まれる。

第5-24表によると、94.2%とほとんどの小学生が平日に、家あるいは塾で勉強していることがわかる。そこで、第5-25表より勉強した子どもに限って勉強時間計をみると、長い子どもで2時間45分、短い子どもで30分となり、平均値は1時間27分である。

土曜日はどうだろうか。勉強していない子どもを含んだ平均値は家で40分、塾で10分となり、勉強時間計は49分と1時間を切っている。ただし、実際に勉強した子どもは54.5%と半数をやや上回

る程度であり、その子どもに限って平均時間をみると1時間31分となり、短い子どもでは30分、長い子どもは3時間30分を勉強にあてている。

日曜日の場合、小学生全体の勉強時間計の平均値は1時間5分（家59分、塾6分）である。実際に日曜日に家、あるいは塾で勉強した子どもは76.6%と土曜日よりは多く、その勉強時間計は長い子どもで2時間45分、短い子どもで15分となり、平均値では1時間25分である。

第5-23表 家や塾で勉強した時間（平均値）

	件数	土曜日			日曜日			平日		
		家での勉強・分	塾での勉強・分	勉強時間計・分	家での勉強・分	塾での勉強・分	勉強時間計・分	家での勉強・分	塾での勉強・分	勉強時間計・分
小学生計	411	40	10	49	59	6	65	67	14	82
男の子	205	36	9	45	52	9	61	61	15	76
女の子	206	43	10	53	66	3	69	73	14	87
中学2年生計	194	69	22	91	87	8	95	69	26	95
男の子	101	73	26	98	82	8	91	63	28	91
女の子	93	65	19	84	92	8	100	76	24	100
中学3年生計	145	104	36	140	118	35	153	96	43	139
男の子	79	113	33	146	112	37	149	87	47	135
女の子	66	93	39	132	125	33	158	107	38	144

第5-24表 実際に家あるいは塾で勉強していた子どもの比率

	<土曜日>		<日曜日>		<平日>		計 人
	人	%	人	%	人	%	
小学生	224	(54.5)	315	(76.6)	387	(94.2)	411
男の子	105	(51.2)	148	(72.2)	193	(94.1)	205
女の子	119	(57.8)	167	(81.1)	194	(94.2)	206
中学2年生	130	(67.0)	143	(73.7)	172	(88.7)	194
男の子	66	(65.3)	70	(69.3)	89	(88.1)	101
女の子	64	(68.8)	73	(78.5)	83	(89.2)	93
中学3年生	111	(76.0)	119	(82.1)	138	(95.2)	145
男の子	64	(81.0)	61	(77.2)	74	(93.7)	79
女の子	47	(71.2)	58	(87.9)	64	(97.0)	66

第5-25表 実際に家あるいは塾で勉強した時間（勉強時間計）
（平均値、分位数、行為者）

	分 位	土 曜 日 ・ 分	日 曜 日 ・ 分	平 日 ・ 分
小学生計	平均	91	85	87
	9/10	210	165	165
	3/4	120	105	105
	1/2	60	60	75
	1/4	30	30	45
	1/10	30	15	30
男の子	平均	89	84	81
	9/10	195	160	150
	3/4	120	90	105
	1/2	60	60	60
	1/4	30	38	30
	1/10	30	15	15
女の子	平均	92	85	92
	9/10	210	165	167
	3/4	120	105	120
	1/2	60	75	75
	1/4	34	30	45
	1/10	30	15	30
中学2年生計	平均	136	129	108
	9/10	285	243	195
	3/4	195	150	135
	1/2	120	90	90
	1/4	60	60	60
	1/10	45	30	30
男の子	平均	150	131	103
	9/10	299	240	189
	3/4	195	165	135
	1/2	120	105	90
	1/4	90	60	60
	1/10	60	30	36
女の子	平均	121	127	112
	9/10	271	246	210
	3/4	158	150	150
	1/2	90	90	90
	1/4	60	60	60
	1/10	30	30	30
中学3年生計	平均	183	187	146
	9/10	336	339	255
	3/4	240	270	210
	1/2	165	165	135
	1/4	90	90	90
	1/10	60	45	35
男の子	平均	181	194	144
	9/10	331	336	256
	3/4	255	289	210
	1/2	150	180	120
	1/4	90	105	75
	1/10	60	60	29
女の子	平均	185	179	149
	9/10	378	347	255
	3/4	210	255	210
	1/2	165	150	143
	1/4	90	90	90
	1/10	60	35	59

ところで、小学生で中学受験を予定している子どもとそうでない子どもでは、勉強時間にどのくらいの差があるのだろうか。また、1日の過ごし方にはどのような違いが生じているのだろうか。本調査の回答者のうち中学受験を予定している小学生は28件と少数であることに留意しつつ比較してみよう。

まず、勉強時間計を第5-26表より平日についてみると中学受験を予定している子どもの勉強時間は家で1時間46分、塾で1時間7分を勉強にあてており、勉強時間計は2時間53分である。これに対し、中学受験を予定していない子どもの勉強時間計は1時間15分（家での勉強1時間6分、塾9分）であり、中学受験を予定している子どものおよそ2分の1にとどまっている。時間数の違いはあるものの、受験を予定している子どもの勉強時間計がかなり長い点は土曜日や日曜日でも同様である。

第5-26表 中学受験を予定しているかどうか別にみた小学生の生活時間（平均値）

	件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	分業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分	
土曜日	中学受験をする予定	28	549	58	103	0	0	41	52	29	19	104	44	31	22	166	23	49	47	65	38
	中学受験はしない	335	549	54	100	0	10	20	45	33	17	33	7	24	63	202	50	42	66	71	51
日曜日	中学受験をする予定	28	598	52	118	0	12	31	54	28	16	102	77	14	5	136	26	41	46	39	43
	中学受験はしない	335	583	53	105	1	17	20	44	34	19	54	1	11	76	172	39	37	62	58	47
平日	中学受験をする予定	28	509	40	63	346	107	5	23	2	10	106	67	16	13	59	10	10	5	40	10
	中学受験はしない	335	515	43	66	402	74	7	20	9	10	66	9	15	17	99	13	10	3	39	17

次に、1日の過ごし方の違いをみていこう。いずれの曜日も「睡眠時間」には違いはみられないので、起きている時間の過ごし方が異なっていることになる。まず、平日をみると、中学受験を予定している子どもでは「テレビ・読書」の時間が59分と受験を予定していない子どもより40分短い。土曜日や日曜日になると、この「テレビ・読書」以外にも、「スポーツ」「テレビゲーム」及び「外での遊び」といった遊び時間や「レジャー外出」の時間も短くなっている。

このように、中学受験を予定している子どもは勉強時間計が長くなるため、総じて遊びの時間が短くなっている。ただし、逆に「家事手伝い」は中学受験を予定している子どもの時間がやや長い（土曜日は21分差、日曜日は11分差）。

② 中学2年生の場合

次に、中学2年生についてみていこう。

平日における中学2年生全体の勉強時間計の平均値は1時間35分である（家で1時間9分、塾で26分）。この他にも学校の授業時間がある。本調査における「授業」には休憩時間や給食、ホームルーム、掃除などが含まれるものの、7時間11分である（純粋な授業時間は1コマ50分、1日は6コマで5時間と推測される）。

実際に調査日に勉強していた子どもは88.7%おり、長い子どもでは3時間15分、短い子どもでは30分で、平均値では1時間48分となっている。

土曜日はどうだろうか。中学2年生全体の勉強時間計の平均値は1時間31分（家で1時間9分、

塾で22分)となる。実際に家、あるいは塾で勉強していた子どもは67.0%であり、勉強時間計をみると長い子どもで4時間45分、短い子どもで45分となっている。平均勉強時間計は2時間16分となる。

日曜日の平均値は1時間35分(家で1時間27分、塾で8分)である。実際に勉強した子どもは73.7%で、土曜日をやや上回っており、その勉強時間計をみると、長い子どもで4時間3分、短い子どもで30分で、平均値は2時間9分となっている。

③ 中学3年生の場合

受験学年の中学3年生はどうだろうか。

まず、平日をみると、中学3年生全体の平均値では2時間19分となる(家で1時間36分、塾で43分)。平日では、これ以外に学校の「授業」に7時間31分を費やしている(これには休憩時間や給食、ホームルーム、掃除などの時間が含まれている。純粋な授業時間は中学2年生と同様5時間と推測される)。

平日の場合は、95.2%とほとんどの子どもが家あるいは塾で実際に勉強している。したがって、その平均時間は2時間26分で、中学3年生全体の平均とは大差はない。十分位でみると、長い子どもで4時間15分、短い子どもで35分となる。

土曜日の平均時間は2時間20分(家1時間44分、塾36分)であるが、実際に勉強している子どもは76.0%あり、その勉強時間計は長い子どもで5時間36分、短い子どもで1時間となり、平均値は3時間3分となる。

日曜日の中学3年生全体の勉強時間計は平均すると2時間33分(家で1時間58分、塾で35分)である。実際に日曜日に勉強した子どもは82.1%と土曜日をやや上回っており、その平均値は3時間7分で、長い子どもでは5時間39分、短い子どもでは45分を勉強にあてている。

このように、いずれの学年でも平日には多くの子どもが勉強しているのに対し、土曜日と日曜日の場合は平日の場合を下回っている。かつ、日曜日に比べ土曜日は勉強する子どもが少ない。また、この傾向は小学生では顕著であり、中学2年生、中学3年生になるにつれて、学校が休みの日と平日との差は少なくなっている。

平日における学校の「授業(休憩・給食・ホームルーム・掃除などを含む)」時間数は学年の上昇と共に増加しており、小学生がもっとも短いのに対し、中学3年生がもっとも長くなっている。

次に、実際に勉強した子どもに限って勉強時間計を曜日別に比較すると、小学生ではいずれの曜日でも1時間半前後と共通しているのに対し、中学生では土曜日の勉強時間数と日曜日のそれとは同程度であり、いずれも平日より長くなっている。時間数を示すと、中学2年生では平日は2時間弱であるのに対し、土曜日と日曜日は2時間強である。中学3年生の場合は、平日は2時間強であるのに対し、土曜日と日曜日は約3時間となっている。

また、学年別に平均勉強時間計を比較すると、平日でも、土曜日や日曜日でも、学年が上がるほど長くなり、とくに中学2年生に比べ中学3年生の時間が長いことがわかる。

④ 学年別にみた1週間の平均勉強時間計

以上では、調査を実施した特定の曜日（土曜日と日曜日、平日）の学校の授業を除く勉強時間計（家と塾での勉強時間）をみてきた。一体、子どもは1週間にどの程度の時間を勉強にあてているのだろうか。以下では、1週間のトータルを推定することを試みる。なお、1週間の勉強時間計の平均を示すことを目的としているので、ここでは、勉強時間計が0分の子どもを含んだ平均値を使用する（前掲第5-23表）。

まず、小学生についてみると、平日は1時間22分勉強しており、これを5倍した6時間50分に、土曜日の49分と日曜日の1時間5分を加えると、土曜が休みの週の1週間の勉強時間計は8時間44分となる。同様に算出すると、中学2年生は11時間1分、中学3年生は16時間28分となる。

このように、1週間の推定勉強時間計は学年が上がるとともに長くなるが、中学2年生と中学3年生の間で大きな開きがあり、中学3年生は中学2年生の1.5倍近い時間数となる。

(2) 勉強時間のクロス分析

① 土曜日と日曜日の勉強パターン

既に述べたように、平日の場合は多くの子どもが勉強しているのに対し、土曜日と日曜日の場合はそれを下回っている。そこで、第5-27表より土曜日と日曜日の勉強パターンをみていこう。

まず、小学生についてみると、2日とも勉強していない子どもは12.9%にとどまっている。これに対し、土曜日と日曜日の両日に勉強した子どもは44.0%ある。また、土曜日のみ勉強した子どもは10.2%、日曜日のみ勉強した子どもは32.6%で、この2つを合せると、2日間のうち1日のみ勉強している子どもは42.8%となる。また、土曜日よりは日曜日に勉強する子どもの方が多数であることもわかる。

この4割強に先に述べた両日ともに勉強した子どもの比率（44.0%）を加えると、9割弱の子どもは土曜日か日曜日のどちらか、または両日ともに勉強していることになる。したがって、土曜日と日曜日をセットにして考えれば、平日に勉強した子どもの比率（94.2%）に近い値となる。そし

第5-27表 土曜日と日曜日の勉強状況（家と塾での）

上段は件数、下段は比率

	小学生		中学2年生		中学3年生	
	勉強していない	勉強した	勉強していない	勉強した	勉強していない	勉強した
日曜日は勉強していない	53 12.9	42 10.2	30 15.5	21 10.8	11 7.6	15 10.3
日曜日は勉強した	134 32.6	181 44.0	34 17.5	109 56.2	23 15.9	96 66.2

(注) 表中に示した比率は学年計に占める比率である。
 なお、学年計の件数は小学生は411件、中学2年生は194件、
 中学3年生は145件である。

て、第1章でみたように、日曜日の夕食後に勉強する子どもは土曜日よりも多い。これは土曜日にやらなかった宿題を日曜日の夜になってかたづけている子どもが少なからずいることを示していると思われる。

このような傾向は中学生でも共通している。ただし、2日間とも勉強した子どもの比率は小学生(44.0%)を上回り、中学2年生で56.2%、中学3年生では66.2%と、学年を追って多くなっている。

したがって、小学生では土曜日と日曜日をセットとして考え、どちらか一方に勉強する子どもが少なくないのに対し、中学生では2日間とも勉強する子どもが多くなっている。

② 中学生の勉強のスタイル

子どもはどのような勉強のスタイルをとっているのだろうか。本調査では、勉強のスタイルをつかむために、「ながら勉強(テレビ・ラジオ・CD)」と「(ながら勉強でない)勉強」を分けて回答を求めているので、以下からは、〈ながら勉強型〉とながら勉強をしなかった〈勉強専念型〉についてみていくことにする。

前述した、第2章の遊び種類でも明らかとなったように、「音楽を聞く」といった遊びは、比率にすれば目立たないものの、学年が上がるにつれ、その比率が増加していく。また、生活時間調査の結果においても、「CD・ラジオ・カセット」の時間数は学年の上昇にともなって増加している。そこで、「音楽を聞く」子どもが多く、「CD・ラジオ・カセット」の時間数も長い中学3年生に着目して分析を進めていくことにする。

第5-28表は平日について、「ながら勉強」の有無と「(ながら勉強以外の)勉強」の有無をクロスしてみたものである。中学3年生をみると、(家での勉強を)全く勉強をしなかった子どもは24.8%いる。また、「ながら勉強」のみの子どもの12.4%あり、「ながら勉強」と「(ながら勉強以外の)勉強」をした子どもは11.7%みられ、両者を合わせた〈ながら勉強型〉は24.1%である。これに対し、ながら勉強をしなかった〈勉強専念型〉は51.0%と半数を占めている。なお、この傾向は中学2年生でも共通している。

したがって、〈ながら勉強型〉は〈勉強専念型〉のおよそ半数いるということになる。

第5-28表 中学生の勉強のスタイル〈平日の場合〉(家での勉強に限定)

		(ながら勉強以外の)勉強			
		中学2年生		中学3年生	
		しない	した	しない	した
ながら時間	しない	56 28.9	95 49.0	36 24.8	74 51.0
	した	27 13.9	16 8.2	18 12.4	17 11.7

(注) 表中に示した比率は学年計に占める比率である。
ちなみに、中学2年生は194件、中学3年生は145件である。

③ 希望する進路先と勉強時間

ところで、希望する進路先によって勉強時間は異なってくるのだろうか。第5-29表は学年別、進路希望先別に家での勉強時間と塾での勉強時間の合計をみたものである。

中学3年生について土曜日の勉強時間計の数値を示せば、一流大学に進みたいと希望している子どもでは3時間20分であり、一流大学でなくとも大学に進みたいと考えている子どもの2時間34分を46分上回っている。このような傾向は小学生や中学2年生でもみられ、進路希望と勉強時間には相関がみられる。

第5-29表 子ども自身の進路希望別にみた勉強時間計（平均値）

		件数	土曜日 ・分	日曜日 ・分	平日 ・分
小学生	中学を卒業したら働きたい	6	8	43	45
	高校を卒業したら働きたい	102	33	49	65
	短大か専門学校に進みたい	86	45	65	94
	一流大学でなくとも大学に進みたい	143	43	60	68
	一流大学に進みたい	37	99	120	128
	海外の大学に留学したい	23	82	86	119
中学2年生	中学を卒業したら働きたい	4	90	101	135
	高校を卒業したら働きたい	41	74	84	85
	短大か専門学校に進みたい	34	74	105	104
	一流大学でなくとも大学に進みたい	79	93	93	96
	一流大学に進みたい	20	149	136	105
	海外の大学に留学したい	7	81	62	86
中学3年生	高校を卒業したら働きたい	27	131	118	106
	短大か専門学校に進みたい	34	106	118	145
	一流大学でなくとも大学に進みたい	63	154	177	151
	一流大学に進みたい	15	200	220	159
	海外の大学に留学したい	5	66	93	81

④ 通塾の有無別にみた勉強時間と塾の時間

では、以下から中学3年生を対象に、平日について通塾の有無別に勉強時間をみていくことにする。

まず、〈塾に通っている子ども〉(81人)と〈もともと塾に通っていない子ども〉(64人)とに区分し、前者をさらに、「塾に通っており調査日も実際に通塾した子ども」(42人)と「塾に通っているが調査日には通塾しなかった子ども」(39人)とに分けた。そして、この3パターンそれぞれについて、家での勉強時間と塾での勉強時間、及び勉強時間計を第5-30表に示した。

第5-30表 通塾の有無別にみた中学3年生の勉強時間（平均値）

	曜日	家での勉強 (分)	塾 (分)	勉強時間計 (分)	件数 (人)
塾に通っているが調査日には 通塾しなかった子ども	土曜日	113	0	113	(46)
	平日	109	0	109	(39)
塾に通っており調査日も 通塾している子ども	土曜日	94	146	240	(35)
	平日	55	142	198	(42)
塾には通っていない子ども	土曜日	103	1	104	(64)
	平日	115	4	119	(64)

まず、〈塾に通っている子ども〉についてみると、「塾に通っており調査日も実際に通塾した子ども」は塾で2時間22分勉強し、家では55分勉強しているので、1日の勉強時間計は3時間18分に達している。「塾に通っているが調査日には実際に通塾しなかった子ども」の場合は1時間49分を家での勉強にあてている。両者を比較すると、家での勉強時間は「通塾しなかった子ども」の方が54分長くなっているが、1日のトータル（勉強時間計）でみれば「通塾した子ども」の方が1時間29分長い。

〈もともと塾には通っていない子ども〉は家で1時間55分勉強している。この家での勉強時間は「塾には通っているが調査日には通塾しなかった子ども」とほぼ同じであるが、後者の通塾した日における勉強時間計は3時間18分に及んでいる。1週間を通して考えれば、1週間の勉強時間計は〈もともと塾には通っていない〉子どもより〈塾に通っている〉子どもの方が長くなっている。

⑤ 塾での勉強時間と勉強時間計との関連

勉強時間計とその内訳である塾での勉強時間と家での勉強時間との関係はどうなっているのだろうか。

中学3年生の平日に着目してみると、勉強時間計が2時間半未満では、塾で勉強する子どもは少ないが、勉強時間計が2時間半から3時間半未満になると塾に1時間弱をあてていることがわかる。勉強時間計が3時間半を超えると、塾では2時間前後を費やしている。この傾向は小学生や中学2年生でも同様にみられる（第5-31表）。

また、件数は非常に少ないが、いずれの学年も勉強時間計が4時間ないしは4時間半を超える場合では、家での勉強時間と塾での勉強時間の両者がそれぞれもっとも長くなっている。ちなみに、中学3年生の時間数を示すと、家では3時間程度、塾では2時間程度をあてている。

次に、第5-32表より塾の時間別に家での勉強時間をみていこう。

いずれの学年も、塾での勉強時間の長短にかかわらず、家でおよそ1時間前後、勉強していることがわかる。時間数を示せば、塾の時間が1時間以上2時間未満の場合は、小学生と中学2年生は

ともに58分、中学3年生では40分をそれぞれ家での勉強にあてている。また、塾で2時間以上勉強している子どもでは、小学生で1時間26分、中学2年生で52分、中学3年生で1時間5分となり、うち小学生と中学3年生では、塾での時間が1時間以上2時間未満の子どもよりも家での勉強時間は明らかに長い。

つまり、塾での勉強時間が2時間以上に及んでいる場合でも、家での勉強時間は短くなることはなく、塾で1時間勉強した子どもとほぼ同じ程度か、あるいはそれを上回る時間数を家での勉強にあてている。したがって、塾での時間が長い場合はトータルの勉強時間計はさらに長くなることになる。

第5-31表 家での勉強時間と塾の時間
〈平日の場合〉(平均値)
(平日の勉強時間計別)

	件数	家での勉強時間 分	塾での勉強時間 分
小学生計	411	67	14
120分未満	319	50	3
120分以上	38	105	22
150分以上	22	115	44
180分以上	10	126	59
210分以上	5	165	51
240分以上	16	191	134
中学2年生計	194	69	26
120分未満	128	50	6
120分以上	25	73	55
150分以上	13	112	45
180分以上	13	112	76
210分以上	7	161	56
240分以上	8	152	128
中学3年生計	145	96	43
120分未満	65	52	9
120分以上	15	113	14
150分以上	17	107	50
180分以上	11	131	59
210分以上	11	115	102
240分以上	15	154	96
270分以上	11	185	121

第5-32表 塾の時間別にみた家での勉強時間
〈平日の場合〉

	家での勉強時間							平均値 (分)	
	30分未満	30分以上	60分以上	90分以上	120分以上	N A	計		
小学生計	15.6	27.3	26.1	16.3	12.9	1.7	411	67	
塾の時間別	1時間未満	16.3	26.7	28.1	14.9	14.0	...	356	67
	1時間以上	14.7	38.2	20.6	23.5	2.9	...	34	58
	2時間以上	10.0	30.0	10.0	35.0	15.0	...	20	86
中学2年生計	24.2	12.1	24.6	17.4	15.5	6.3	194	69	
塾の時間別	1時間未満	24.2	8.7	29.5	18.1	19.5	...	149	74
	1時間以上	29.2	29.2	20.8	12.5	8.3	...	24	58
	2時間以上	33.3	23.8	9.5	28.6	4.8	...	21	52
中学3年生計	21.3	9.3	13.3	19.3	33.3	3.3	145	96	
塾の時間別	1時間未満	16.8	7.9	10.9	21.8	42.6	...	101	113
	1時間以上	46.2	15.4	15.4	15.4	7.7	...	13	40
	2時間以上	29.0	12.9	22.6	16.1	19.4	...	31	65

⑥ 勉強時間の長い子どもの生活時間

勉強時間の長い子どもと短い子どもの生活時間の比較を試みよう。第5-33表は、平日の勉強時間計別に平日の生活時間をみたものである。

いずれの学年も勉強時間計の長い子どもでは、「睡眠」「テレビ・ビデオ」「テレビゲーム」の時間がそれぞれ短くなっており、共通している。その他、小学生では、「スポーツ」や「外での遊び」の時間が、中学2年生では学校の部活動を含む「授業以外の学業」が、中学3年生では「外での遊び」がそれぞれ短くなっている。

第5-33表 勉強時間計別にみた生活時間〈平日の場合〉(平均値)

	件数	睡眠・分	身の回りの用事・分	食事・分	授業・分	学業・授業以外・分	家事手伝い・分	移動・分	休養・分	会話・分	勉強・分	塾・分	習いごと・分	スポーツ・分	テレビ・読書・分	テレビゲーム・分	その他の室内遊び・分	レジャー外出・分	外での遊び・分	その他・分	勉強+塾・分
小学生計	411	515	43	66	399	79	6	19	9	10	67	14	15	17	94	13	9	3	39	17	82
60分未満	152	526	44	64	398	84	6	20	10	10	26	0	16	22	109	15	10	4	45	23	26
60分以上	167	514	44	68	410	76	7	18	10	11	72	7	17	16	93	13	6	3	37	15	78
120分以上	91	499	38	65	381	79	5	20	6	8	128	53	11	8	71	8	12	2	30	11	181
中学2年生計	194	460	43	64	431	168	3	15	12	9	69	26	4	5	85	11	4	3	13	13	95
60分未満	49	477	45	66	403	182	4	21	10	13	15	1	8	6	128	17	5	5	15	13	15
60分以上	79	467	44	64	445	161	3	9	15	9	71	9	3	5	84	12	2	3	12	19	80
120分以上	66	438	42	61	434	166	0	17	11	5	107	66	3	3	54	5	5	0	13	7	173
中学3年生計	145	453	47	62	451	73	3	16	21	7	96	43	3	5	96	11	8	3	14	26	139
60分未満	25	491	50	68	473	77	3	8	19	10	17	1	4	8	113	19	9	2	32	32	18
60分以上	40	458	47	55	459	80	3	10	28	9	74	15	6	4	119	12	5	4	13	38	89
120分以上	80	439	46	63	440	68	2	22	18	5	132	70	2	5	80	9	8	4	10	18	202

第6章 将来の生き方について

本章では子どもの人生観として将来の生き方に対する考え方をみていく。

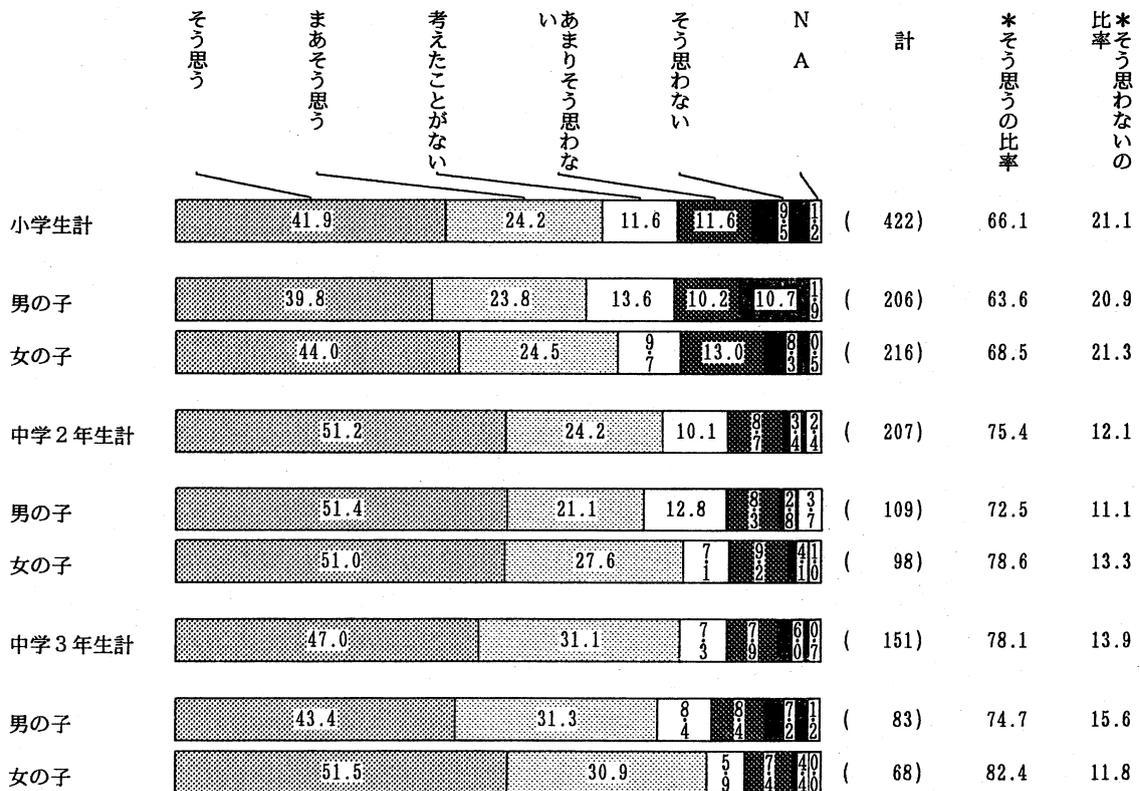
本調査では、「毎日をのんびりと平和にいきたい」「新しいことや難しいことにチャレンジしたい」「社会や人々のために役立つことをしたい」「仕事ひとすじにうちこみたい」「お金持ちになって豊かな生活をおくりたい」「高い地位につきたい」の以上6項目に対し、「そう思う」「まあそう思う」「考えたことがない」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択してもらった(第6-1図～第6-6図)。

1. 学年別にみた特徴

(1) 「毎日をのんびりと平和にいきたい」かどうかについて

「毎日をのんびりと平和にいきたい」かどうかについて、小学生の回答をみると、「そう思う」が41.9%、「まあそう思う」が24.2%で、これらを合わせた〈そう思う〉の比率は66.1%と半数を優に超

第6-1図 毎日をのんびりと平和にいきたい



えている。逆に「そう思わない」は9.5%にとどまるが、「あまりそう思わない」の11.6%を加えた〈そう思わない〉の比率は21.1%となり、一定程度を占める。なお、「考えたことがない」は11.6%にとどまった。

中学生になると、「毎日をのんびりと平和に生きたい」に〈そう思う〉と回答した子どもの比率は小学生よりも増え、中学2年生では75.4%、中学3年生では78.1%に達している。

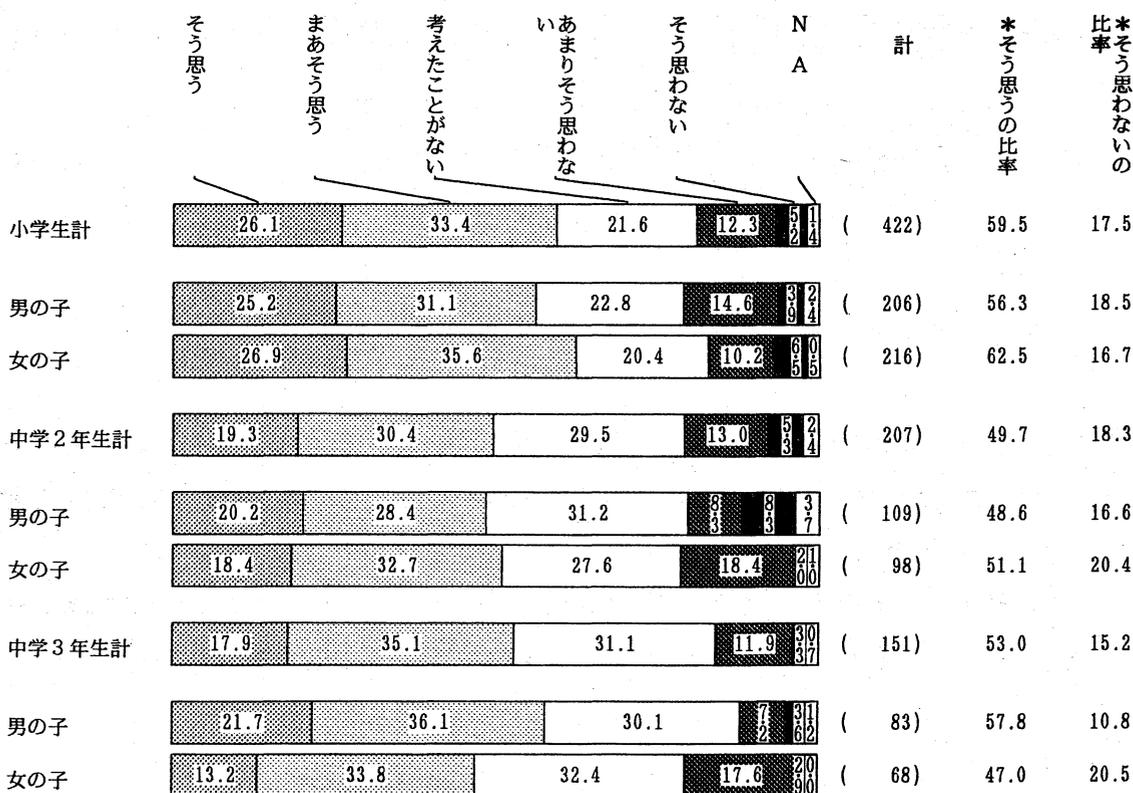
性別にみると、いずれの学年でも「のんびりと平和に生きたい」と考えている子どもは女の子に多く、男の子との比率の差は小学生で5ポイント、中学2年生では6ポイント、中学3年生では8ポイントとなっている。

(2) 「新しいことや難しいことにチャレンジしたい」かどうかについて

このように、小、中学生とも過半数が「毎日のんびりと平和に生きたい」と希望しているが、同時に「新しいことや難しいことにチャレンジしたい」というチャレンジ志向も過半数の子どもにみられる。

小学生をみると、「考えたことがない」子どもは21.6%みられるものの、残りの8割の子どものうち、〈そう思う〉は59.5%を占め、逆に〈そう思わない〉は17.5%である。中学生でもこれらの傾向は類似しているが、〈そう思う〉の比率は中学2年生で49.7%、中学3年生で53.0%とそれぞれ半数前後となり、小学生と比較すれば、チャレンジ志向はやや弱くなる。

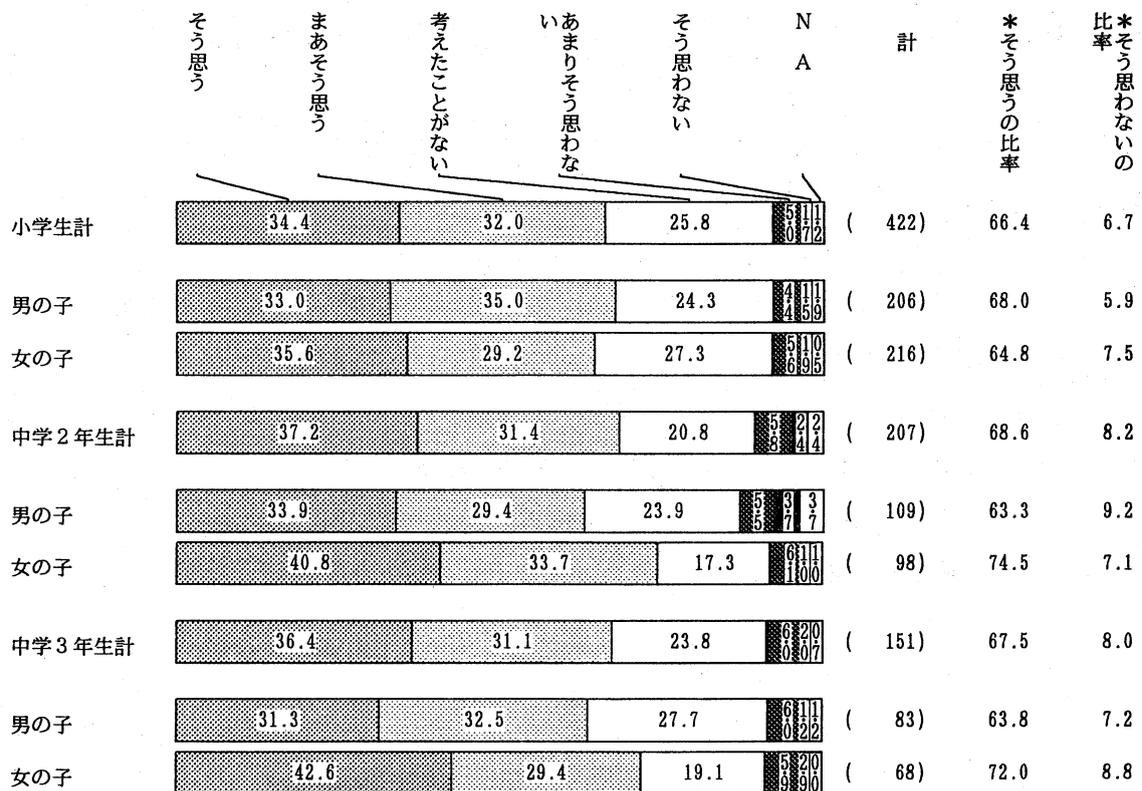
第6-2図 新しいことやむづかしいことにチャレンジしたい



(3) 「社会や人々のために役立つことをしたい」かどうかについて

次に、「社会や人々のために役立つことをしたい」かどうかについてみると、小学生では〈そう思う〉が66.4%と過半数を占め、逆に〈そう思わない〉は6.7%と少ない。また、「考えたことがない」子どもも25.8%と一定程度みられる。この回答は中学生でも同様であり、〈そう思う〉の比率は中学2年生で68.6%、中学3年生で67.5%である。

第6-3図 社会や人々のために役立つことをしたい

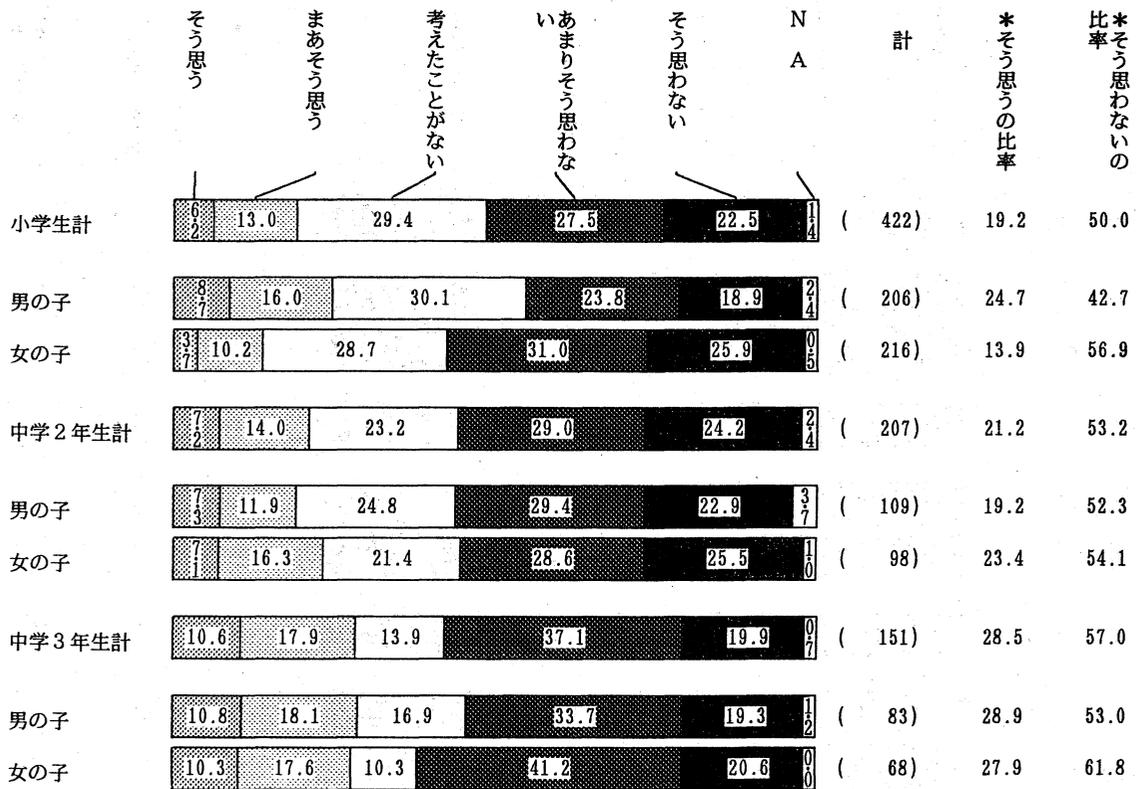


(4) 「仕事ひとすじにうちこみたい」かどうかについて

「仕事ひとすじにうちこみたい」という生き方を希望している子どもはどれくらいいるのだろうか。小学生では「考えたことがない」が29.4%みられるものの、〈そう思わない〉が50.0%と半数を占めている。他方、〈そう思う〉は19.2%である。

「考えたことがない」は年齢があがるとともに徐々に減少しており、中学2年生で23.2%、中学3年生で13.9%となっているが、否定が半数を占める点は小、中学生とも共通している。

第6-4図 仕事ひとすじにうちこみたい



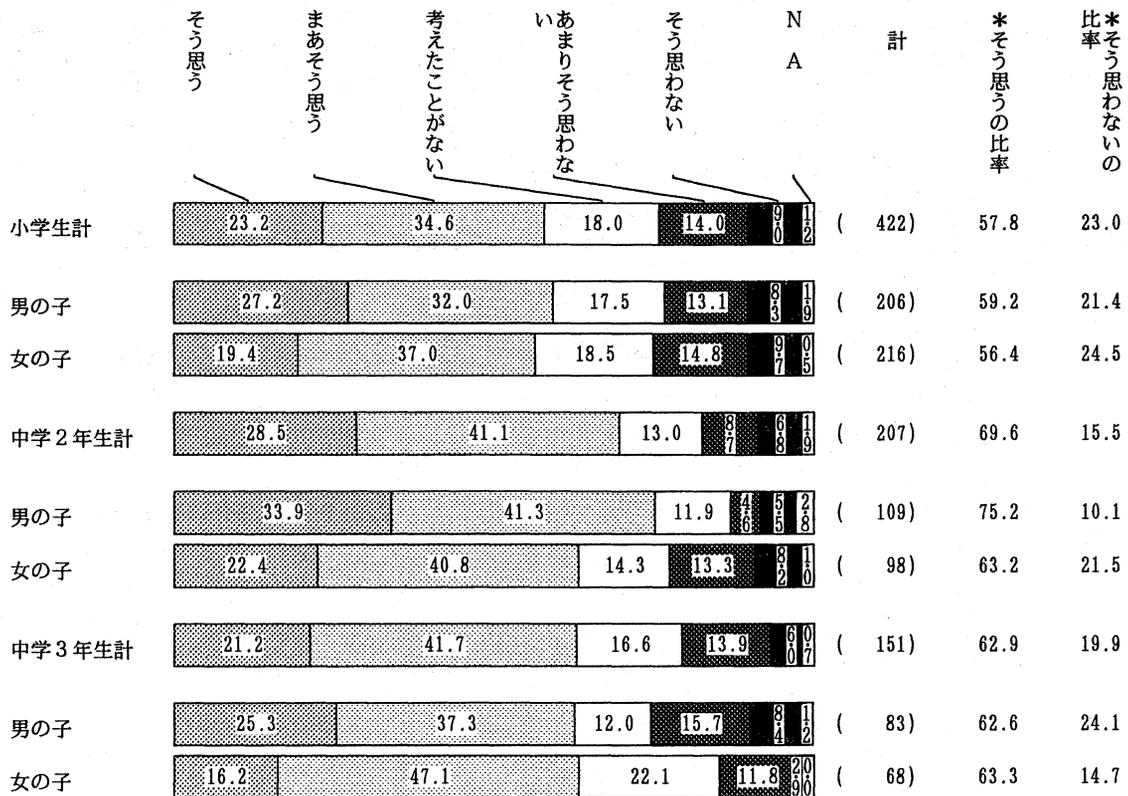
(5) 「お金持ちになって豊かな生活をおくりたい」かどうかについて

ところで、“金銭的な豊かさ”や“地位”についてはどのくらいの子どもが望んでいるのだろうか。まず、“金銭的な豊かさ”からみていこう。

「お金持ちになって豊かな生活をおくりたい」かどうかに対して〈そう思う〉と回答した小学生は57.8%と多数であり、逆に〈そう思わない〉は23.0%である。なお、「考えたことがない」は18.0%である。

中学生になると、「お金持ちになって豊かな生活をおくりたい」という希望は小学生より高まり、中学2年生で69.6%、中学3年生で62.9%となる。

第6-5図 お金持ちになって豊かな生活をおくりたい



(6) [高い地位につきたい] かどうかについて

次に“高い地位”についての子どもの考え方をみていこう。

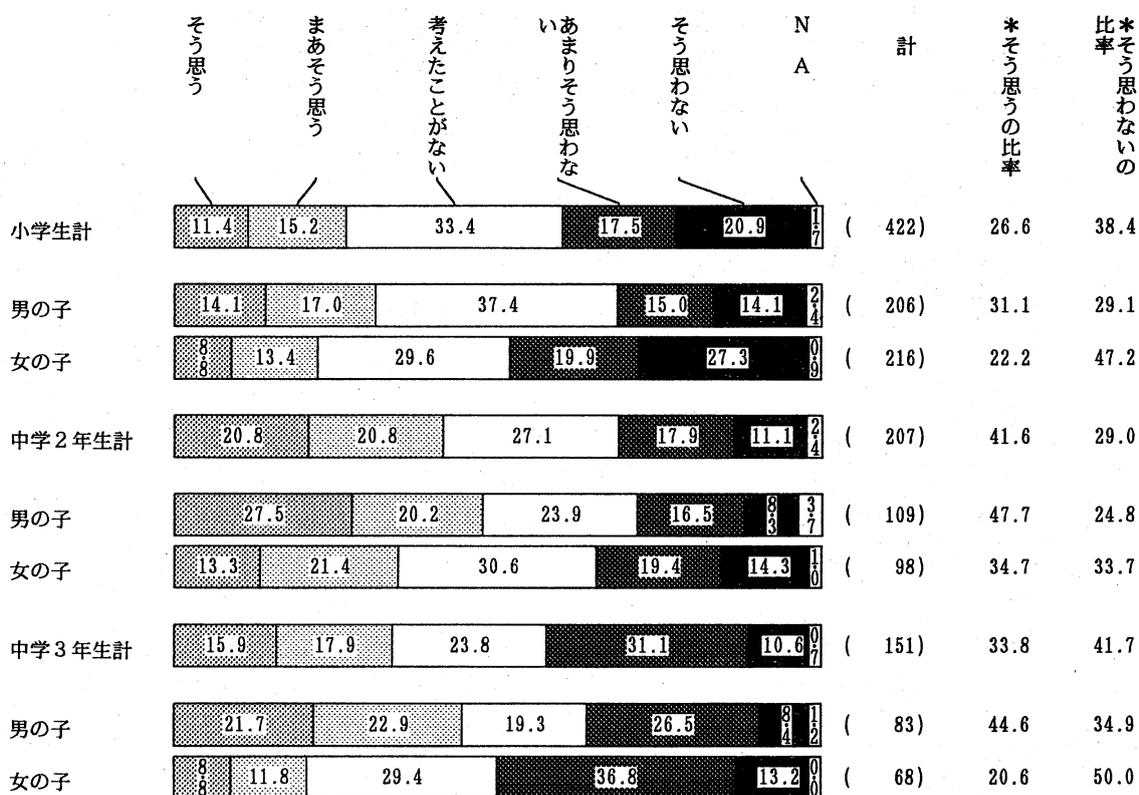
まず、[高い地位につきたい] かどうかについては「考えたことがない」と回答した子どもが小学生では33.4%と少なくない。この比率は中学2年生で27.1%、中学3年生で23.8%を占め、学年を追って減少している。つまり、学年があがるとともに地位について考えるようになるということである。

〈そう思う〉の比率をみると、小学生では26.6%、中学2年生で41.6%、中学3年生で33.8%である。小、中学生を比べると、中学生は小学生より多くなっているが、半数に満たない比率である。そこで、[高い地位につきたい] という考え方を否定している子どもの比率をみると、小学生では38.4%、中学2年生では29.0%、中学3年生では41.7%となっている。

したがって、金銭的な豊かさを希望している子どもは多数であるのに対し、[高い地位につきたい] という希望は、肯定と否定とに意見が分れている。

これを性別にみると、いずれの学年でも肯定は男子に多く、逆に否定は女子に多い。ちなみに、小学生をみると、〈そう思う〉の比率は男子で31.1%、女子で22.2%となり、男子が9ポイント多い。逆に、〈そう思わない〉の比率は女子では47.2%と半数近くを占め、男子(29.1%)と18ポイント差である。前述した[毎日をのんびりと平和に生きたい]は女子に多くみられたことを合わせると、性によって将来の生き方に対する考え方が若干異なっているといえる。

第6-6図 高い地位につきたい



このように、[仕事ひとすじ]と考えている子どもは少なく、[社会や人々のために役立つことをしたい]や[新しいことや難しいことにチャレンジしたい]といったチャレンジ志向を持つ子ども、及び[毎日をのんびりと平和に生きたい]と望んでいる子どもは過半数となっている。

また、[お金持ちになって豊かな生活をおくりたい]にも過半数の子どもが回答しているが、[高い地位につきたい]かどうかについては子どもの回答が肯定と否定にわかれている。

2. 将来の生き方についてのクロス分析

(1) 進路希望別にみた将来の生き方

以上でみてきた将来の生き方についての回答結果は、個々にみれば学年や性によって差が生じているが、傾向は概ね共通している。このような考え方には、希望する今後の進路と関連があると考えられるので、進路希望別に集計してみた。第6-1表には6つの将来の生き方に〈そう思う〉と回答した子どもの比率を示した。

第6-1表 将来の生き方〈そう思うの比率〉(性別、進路希望別)

	金持ちになり豊かな生活を送りたい	高い地位につきたい	社会や人々に役立つことをしたい	仕事ひとすじにうちこみたい	新しいことにチャレンジしたい	毎日をのんびりと平和に生きたい	計	回答累計
男の子の計	64.1	38.4	65.3	23.9	54.1	68.3	401	314.2
進路希望	高校を卒業したら働きたい	62.4	30.7	62.4	25.7	43.6	101	291.1
	大学に進みたい・留学も	68.9	46.4	68.9	22.6	58.7	235	334.5
女の子の計	59.5	25.1	68.7	19.1	56.9	73.6	383	302.9
進路希望別	高校を卒業したら働きたい	58.1	20.3	63.5	12.2	50.0	74	281.1
	短大か専門学校に進みたい	55.6	18.5	69.4	15.3	54.8	124	291.9
	大学に進みたい・留学も	64.0	32.6	71.5	24.4	61.6	172	325.6

まず、男の子についてみると、大学進学を希望している子ども（一流大学や海外留学を含む）は「高校を卒業したら働きたい」と回答した子どもに比べ、「高い地位につきたい」、「新しいことにチャレンジしたい」が多くなっている。

女の子の回答も男の子のそれと似通っているが、加えて「仕事ひとすじにうちこみたい」も大学進学を希望している子どもに多い。また、「高校を卒業したら働きたい」あるいは「短大か専門学校に進みたい」と回答している子どもでは「毎日をのんびりと平和に生きたい」が大学進学を希望している女の子より多くみられる。

このように、希望する進路と将来の生き方には関連性がみられ、より高学歴を希望している子どもは地位の高さを望み、新しいことに対するチャレンジ志向が強い傾向がみられる。

(2) 将来の生き方についての類型

ところで、これらの6つの将来の生き方についての子どもの回答にはどのような類型がみられるのだろうか。第6-7図は類型を座標軸で表すことを試みたものである。横軸を「社会や人々のために役立つことをしたい」、縦軸を「お金持ちになって豊かな生活をおくりたい」とし、〈そう思う〉を+、〈そう思わない〉を-の座標軸とした。そこに残りの4つの将来の生き方——「高い地位につきたい」「仕事ひとすじにうちこみたい」「新しいことや難しいことにチャレンジしたい」「毎日をのんびりと平和に生きたい」——のそれぞれについて〈そう思う〉と回答した子どもの比率を記したものである。

「お金持ちになって豊かな生活をおくりたい」と考え、「社会や人々のために役立つことをしたい」と考える子どもは42.7%おり、最も多くみられる。その子ども達は、同時に地位を求め、チャレンジ

精神も強い。

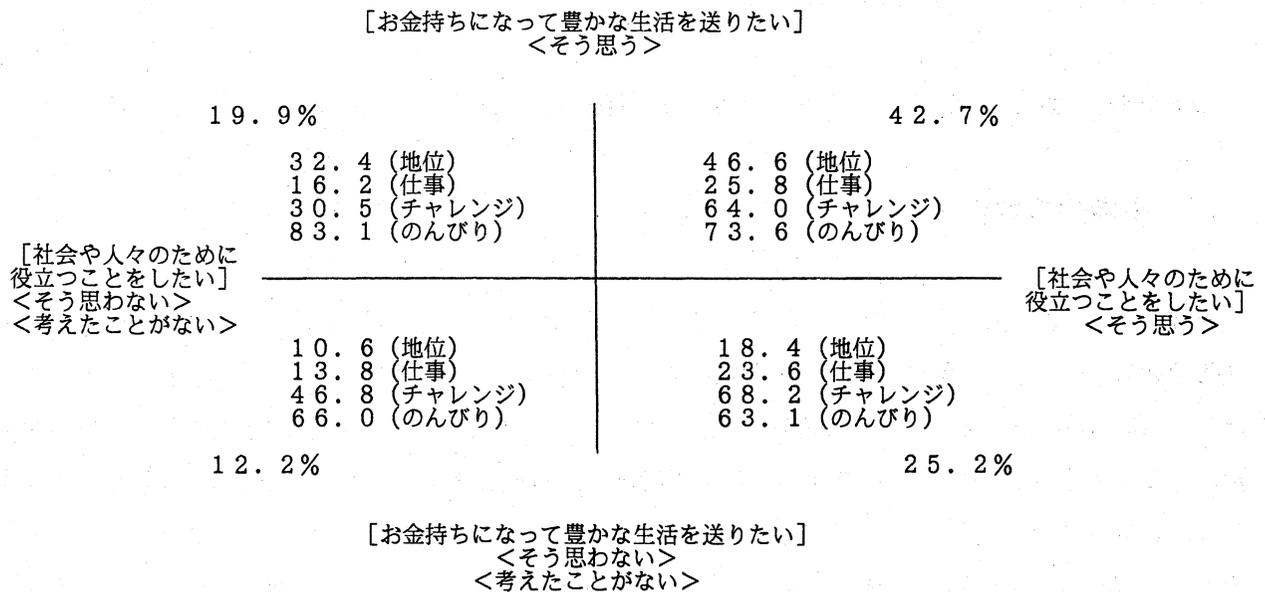
「お金持ち」にはなりたいが、「社会や人々のために役立ちたい」とは思わない子どもは19.9%あり、チャレンジ精神はあまりない。

「お金持ち」になりたいとは思わないが、「社会や人々のために役立ちたい」と考えている子どもは25.2%みられる。チャレンジ志向はあるが、地位は求めている。

「お金持ち」にもなりたいとは思わず、「社会や人々のために役立ちたい」とも思わない子どもは12.2%にとどまっており、地位も求めず、チャレンジ精神もやや弱い。

また、いずれの類型の子どもも「のんびりと平和に生きたい」と望んでいることは共通している。

第6-7図 子どもの考える将来の生き方の類型



数値は () 内の項目について＜そう思う＞と回答した比率

第7章 健康状態について

子ども達はどのような健康状態にあるのだろうか。本調査では、心身の不健康を表わすいくつかの項目を提示し、それぞれそのようなことが「ある」か「ない」かの二者択一で子どもに回答を求めた。具体的には、[夜、眠れない][つかれやすい][おもいきり暴れ回りたい][朝、食欲がない][なんでもないのでイライラする][お腹が痛い][なんとなく大声を出したい][肩がこる][すぐ不安になる][立ちくらみや目眩がする][学校に行く気がしない][頭が痛い][なにもやる気がしない][なにも興味もてない]の、14項目である。

1. 学年別にみられる特徴

以下から、「ある」の比率についてみていこう（第7-1表）。

(1) 小学生の場合

まず、小学生の男の子についてみていこう。[暴れ回りたい]（43.2%）、[朝、食欲がない]（42.7%）、及び[つかれやすい]（39.3%）はそれぞれ4割前後を占め、多い。その他、[大声を出したい]（31.6%）や[夜眠れない]（29.1%）、[すぐ不安になる]（27.7%）、[お腹が痛い]（26.7%）、及び[なんでもないのでイライラする]（25.2%）は3割前後、[肩がこる]（20.9%）、[学校に行く気がしない]（20.4%）、[なにもやる気がしない]（20.4%）はそれぞれ2割となっている。それらに比べ、[頭が痛い]（13.1%）や[立ちくらみや目眩がする]（12.1%）は1割強、[なにも興味もてない]は5.8%と少ない。

このように、小学生の男の子は多様な不健康項目に回答している。そこで、不健康の程度を示す指標として回答累計の値をみると358.3%であり、一人あたり平均して3.6項目をあげていることになる。

他方、小学生の女の子をみると、上位にあがっている不健康項目は男の子と共通しており、[朝、食欲がない]（49.5%）、[つかれやすい]（48.6%）、[暴れ回りたい]（45.8%）、[大声を出したい]（45.4%）などである。うち[朝、食欲がない]と[つかれやすい]は半数近くの女の子が回答している。

男の子と比較すると総じて女の子の回答比率が多く、回答累計の値は454.6%であり、男の子をおよそ1項目程度上回っている。

そこで、女の子の方が10ポイント程度比率が多くなっている項目をあげると、[つかれやすい][肩がこる]及び[なんとなく大声を出したい]はいずれも男の子を上回っている。また、これらの項目

は中学生でも女の子に多くみられる。

このように、小学生の健康状態はあまり芳しくなく、とくに女の子にその傾向が強い。

第7-1表 健康状態〈あるの比率〉

	夜眠れない	つかれやすい	まわりきりあばれたい	おもしろい	朝食欲がない	なんでもないのにイライラする	おなか痛い	出したい	なんとなく大声を出したい	肩がこる	すぐ不安になる	立ちくらみやめまいがする	学校に行く気がしない	頭が痛い	なにもやる気がしない	なにも興味がない	計	回答累計
小学生計	32.2 ⑤	44.1 ③	44.5 ②	46.2 ①	28.7 ⑦	27.7	38.6 ④	25.8	30.1 ⑥	16.8	22.0	18.2	23.2	9.2	422	407.6		
男子	29.1 ⑤	39.3 ③	43.2 ①	42.7 ②	25.2	26.7 ⑦	31.6 ④	20.9	27.7 ⑥	12.1	20.4	13.1	20.4	5.8	206	358.3		
女子	35.2 ⑤	48.6 ②	45.8 ③	49.5 ①	31.9 ⑦	28.7	45.4 ④	30.6	32.4 ⑥	21.3	23.6	23.1	25.9	12.5	216	454.6		
中学2年生計	20.8	53.6 ①	51.7 ②	42.0 ③	32.9 ⑦	27.5	32.9 ⑦	35.7 ⑥	36.2 ⑤	40.6 ④	22.2	15.9	26.1	12.1	207	450.2		
男子	23.9 ③	43.1 ①	44.0 ①	44.0 ⑦	27.5 ⑤	28.4	25.7	27.5 ⑦	32.1 ④	28.4 ⑤	17.4	14.7	21.1	5.5	109	383.5		
女子	17.3 ①	65.3 ②	60.2 ②	39.8 ⑦	38.8	26.5	40.8 ⑤	44.9 ④	40.8 ⑤	54.1 ③	27.6	17.3	31.6	19.4	98	524.5		
中学3年生計	30.5 ①	57.0 ③	51.0 ④	43.7 ④	36.4	31.8	40.4 ⑥	34.4	41.1 ⑤	51.7 ②	25.2	17.9	37.1 ⑦	13.2	151	511.3		
男子	30.1 ②	49.4 ①	50.6 ④	38.6 ④	31.3	32.5 ⑥	32.5 ⑥	25.3	37.3 ⑤	49.4 ②	25.3	13.3	30.1	12.0	83	457.8		
女子	30.9 ①	66.2 ③	51.5 ④	50.0 ④	42.6	30.9	50.0 ④	45.6 ⑥	45.6 ⑥	54.4 ②	25.0	23.5	45.6 ⑥	14.7	68	576.5		

※丸数字は比率の順位

(2) 中学2年生の場合

次に、中学2年生をみてみよう。

まず、回答累計をみると、男子は383.5%、女子は524.5%となっており、いずれも小学生より多い。また、性別に比較すると、女子は男子を1.4項目上回っている。このように、中学2年生は小学生と比べるとさらに健康状態は芳しくなく、やはり女子がとくに悪い。

そこで、以下では中学2年生の女子の回答を小学生と比較してみると、[つかれやすい] (65.3%) と [暴れ回りたい] (60.2%) は6割台とかなり多く、小学生の女子を大きく上回っている。その他、[なんでもないのにイライラする] (38.8%) や [肩がこる] (44.9%)、[すぐ不安になる] (40.8%)、[立ちくらみや目眩がする] (54.1%) 及び [なにもやる気がしない] (31.6%) はそれぞれ小学生より多い。

中学2年生女子の回答を中学2年生の男子と比較してみると、上位の項目の中身は共通している。ただし、性による比率の差に注目すると、小学生と同様 [つかれやすい] [肩がこる] 及び [なんとなく大声を出したい] が女子の方が多く、[なんでもないのにイライラする] や [すぐ不安になる] [立ちくらみや目眩がする] [なにもやる気がしない] も男子より多くなっている。このような男女の回答の違いは、中学3年生でも同様である。

(3) 中学3年生の場合

受験学年になるとどうなるのだろうか。ここでも女の子の回答をみていこう。

[つかれやすい]は66.2%でもっとも多く、3人に2人の割合で回答している。その他、[立ちくらみや目眩がする](54.4%)、[おもいきり暴れ回りたい](51.5%)、[朝、食欲がない](50.0%)、及び[なんとなく大声を出したい](50.0%)はいずれも過半数を占めており、多い。

中学2年生の女の子と比べると、[なんでもないのにイライラする](42.6%)や、[すぐ不安になる](45.6%)、及び[なにもやる気がしない](45.6%)はさらに増加している。また、[なんとなく大声を出したい]は小学生や中学2年生では4割台であったが、中学3年生の女の子では50.0%と増加している。

性別にみると、中学3年生も小学生や中学2年生と同様に、男の子よりも女の子の健康状態が悪いことがわかる。ちなみに、中学3年生の回答累計は、女の子で576.5%、男の子で457.8%となっており、小学生や中学2年生よりも多くなっている。

このように、いずれの学年でも、女の子は男の子に比べ健康状態があまり芳しくなく、その状況は学年があがるとともに悪くなっている。とくに[つかれやすい][なんでもないのにイライラする][肩がこる][すぐ不安になる][立ちくらみや目眩がする]、及び[なにもやる気がしない]は全て学年が上がるにともない女の子で比率が高まっている。

2. 自分の気持ちをわかってくれるかどうか別にみた健康状態

このような健康状態は親子関係あるいは学校の先生との関係によっても異なってくる。第7-2表は[お父さんは自分の気持ちをよくわかってくれる]、[お母さんは自分の気持ちをよくわかってくれる]及び[クラスの担任の先生は自分の気持ちをわかってくれている]といった設問別に健康状態をみたものである。

回答累計だけを見ても、自分の気持ちをわかってくれているとは〈思わない〉と回答した子どもの方が、わかってくれていると回答した子どもよりも健康状態がよくないことがわかる。これはいずれの学年、性でも共通しているので、ここではもっとも回答累計の値が大きい中学3年生の女の子を例示しよう。

中学3年生の女の子の場合、[お父さんは自分の気持ちをよくわかってくれている]とは〈思わない〉子どもの回答累計は673.5%であり、[お父さんは自分の気持ちをよくわかってくれている]と回答した子どものそれ(500.0%)より174ポイントも多い。同様に、母親は自分を理解していないと考えている子どもの回答累計は651.7%で、「よくわかってくれている」と回答した子どもと109ポイント差、担任の先生の場合は642.9%で140ポイント差となっている。

したがって、人間関係の善し悪しは、健康状態にも影響を及ぼしていると推測される。

第7-2表 健康状態〈あるの比率〉
(自分の気持ちをわかってきているかどうか別)

		夜眠れない	つかれやすい	おもしろい	朝食欲がない	なんでもないのでイライラする	おなかが痛い	なんとなく大声を出したい	肩がこる	すぐ不安になる	立ちくらみやめまいがする	学校に行く気がしない	頭が痛い	ない	ない	計	回答累計
小学生男の子	父親	33.6	36.7	41.4	44.5	19.5	27.3	33.6	17.2	26.6	14.8	18.8	9.4	20.3	5.5	128	349.2
		24.3	47.1	48.6	38.6	34.3	24.3	28.6	25.7	27.1	7.1	25.7	21.4	20.0	7.1	70	380.0
	母親	33.3	37.6	45.4	39.0	19.9	26.2	31.9	14.9	27.7	13.5	19.9	12.1	17.7	5.0	141	344.0
		22.0	45.8	40.7	49.2	35.6	27.1	30.5	32.2	23.7	8.5	23.7	16.9	27.1	8.5	59	391.5
	先生	30.6	38.1	42.2	45.6	21.8	27.2	29.3	21.8	26.5	9.5	19.7	12.2	19.0	4.8	147	348.3
		25.5	41.8	43.6	34.5	32.7	23.6	36.4	20.0	29.1	20.0	21.8	12.7	21.8	9.1	55	372.7
小学生女の子	父親	37.0	44.9	44.9	49.6	30.7	27.6	46.5	33.1	29.9	19.7	18.1	20.5	22.0	13.4	127	437.8
		33.3	54.8	47.6	48.8	31.0	32.1	45.2	27.4	35.7	23.8	32.1	28.6	29.8	10.7	84	481.0
	母親	34.7	44.2	43.5	43.5	28.6	28.6	45.6	30.6	33.3	19.7	18.4	19.0	21.8	12.2	147	423.8
		35.9	60.9	51.6	62.5	35.9	28.1	45.3	31.3	28.1	23.4	34.4	31.3	32.8	12.5	64	514.1
	先生	33.8	47.2	40.8	47.2	26.8	26.1	40.1	26.8	31.0	20.4	19.7	21.8	21.1	12.7	142	415.5
		38.6	51.4	55.7	54.3	40.0	34.3	55.7	38.6	34.3	21.4	32.9	27.1	35.7	12.9	70	532.9
中学2年生男の子	父親	23.7	44.1	33.9	39.0	13.6	25.4	18.6	20.3	28.8	25.4	11.9	13.6	11.9	1.7	59	311.9
		23.9	41.3	54.3	50.0	43.5	32.6	32.6	37.0	34.8	30.4	21.7	17.4	32.6	8.7	46	460.9
	母親	18.8	39.1	39.1	39.1	20.3	26.6	20.3	18.8	26.6	25.0	9.4	12.5	12.5	3.1	64	310.9
		32.6	51.2	51.2	53.5	39.5	32.6	34.9	41.9	41.9	34.9	27.9	18.6	34.9	9.3	43	504.7
	先生	17.9	50.0	37.5	44.6	21.4	26.8	23.2	21.4	39.3	19.6	7.1	14.3	12.5	...	56	335.7
		32.0	38.0	54.0	46.0	34.0	32.0	30.0	34.0	26.0	40.0	30.0	16.0	30.0	12.0	50	454.0
中学2年生女の子	父親	13.0	67.4	41.3	43.5	32.6	17.4	34.8	47.8	37.0	43.5	19.6	13.0	28.3	10.9	46	450.0
		21.6	64.7	76.5	37.3	43.1	35.3	45.1	43.1	43.1	64.7	33.3	21.6	35.3	25.5	51	590.2
	母親	14.0	59.6	49.1	43.9	33.3	19.3	31.6	49.1	38.6	52.6	21.1	14.0	28.1	14.0	57	468.4
		22.5	75.0	75.0	35.0	45.0	37.5	52.5	40.0	42.5	57.5	35.0	22.5	37.5	25.0	40	602.5
	先生	13.5	67.3	50.0	32.7	23.1	28.8	25.0	44.2	32.7	51.9	19.2	19.2	28.8	9.6	52	446.2
		22.2	62.2	71.1	48.9	57.8	24.4	57.8	46.7	48.9	55.6	37.8	15.6	35.6	31.1	45	615.6
中学3年生男の子	父親	20.5	43.6	46.2	38.5	17.9	20.5	41.0	33.3	30.8	46.2	23.1	15.4	17.9	12.8	39	407.7
		36.6	53.7	56.1	36.6	41.5	41.5	26.8	19.5	43.9	51.2	26.8	9.8	39.0	12.2	41	495.1
	母親	20.5	40.9	43.2	36.4	18.2	22.7	38.6	27.3	34.1	50.0	20.5	13.6	20.5	11.4	44	397.7
		40.5	56.8	59.5	37.8	43.2	43.2	27.0	24.3	40.5	48.6	29.7	10.8	37.8	13.5	37	513.5
	先生	28.3	43.4	41.5	39.6	28.3	32.1	26.4	22.6	34.0	52.8	17.0	11.3	22.6	13.2	53	413.2
		33.3	60.0	66.7	36.7	36.7	33.3	43.3	30.0	43.3	43.3	40.0	16.7	43.3	10.0	30	536.7
中学3年生女の子	父親	28.1	71.9	40.6	43.8	34.4	31.3	40.6	37.5	40.6	46.9	15.6	15.6	40.6	12.5	32	500.0
		35.3	64.7	64.7	58.8	52.9	32.4	61.8	52.9	50.0	61.8	35.3	32.4	52.9	17.6	34	673.5
	母親	32.4	67.6	43.2	48.6	37.8	32.4	48.6	40.5	40.5	54.1	18.9	18.9	43.2	16.2	37	543.2
		31.0	65.5	65.5	55.2	51.7	31.0	55.2	51.7	55.2	58.6	34.5	31.0	51.7	13.8	29	651.7
	先生	19.4	61.3	45.2	45.2	35.5	35.5	48.4	41.9	41.9	45.2	12.9	19.4	38.7	12.9	31	503.2
		42.9	68.6	57.1	57.1	48.6	28.6	51.4	45.7	48.6	62.9	37.1	28.6	51.4	14.3	35	642.9

第8章 学校5日制について

本章では学校5日制導入後の子どもの生活の変化をとらえるとともに、土曜日に学校が休みになることについてどのように考えているのかについてみていく。

1. 学校5日制導入後の生活の変化

95年度から第2、4土曜日は学校が休みになる学校5日制が導入されているが、子どもの生活にどのような変化をもたらしているのだろうか。

本調査では、子どもにどのような時間が増えたと思うかを聞いた。子どもの生活時間のうちの8側面を示し、それぞれについて「そう思う（増えたと思う）」「そう思わない（増えたとは思わない）」のどちらかを選んでもらう方法をとった。具体的には、[趣味や遊びの時間][家族と過ごす時間][勉強する時間や塾に行く時間][おけいごとに行く時間][寝る時間][クラブ活動や部活動の時間][ボランティアや地域活動をする時間][何もしないでいる時間]といった8側面における時間の増加である。導入以前の調査があるわけではないので、実際の時間の変化や意識の変化を示すものではない。あくまでも本調査の結果は学校5日制導入後の生活を子どもがどのように感じているのかを意味するものであることに注意されたい（第8-1表）。

第8-1表 学校5日制実施後の生活の変化〈そう思うの比率〉

	が 趣 味 や 遊 び の 時 間	が 家 族 と 過 ご す 時 間	く 勉 強 時 間 や 塾 に 行 く 時 間	く お け い ご と に 行 く 時 間	寝 る 時 間 が ふ え た	動 の 時 間 が ふ え た	ク ラ ブ 活 動 や 部 活 動 の 時 間 が ふ え た	ボ ラ ン テ ィ ア を す る 時 間 が ふ え た	何 も し な い で い る 時 間 が ふ え た	計	回 答 累 計
小学生計	87.4	75.1	14.5	9.2	59.0	13.3	8.1	55.9	422	322.5	
男子	86.9	72.3	14.1	11.2	57.3	17.0	7.8	51.9	206	318.4	
女子	88.0	77.8	14.8	7.4	60.6	9.7	8.3	59.7	216	326.4	
中学2年生計	75.4	58.5	17.9	5.8	70.0	49.3	10.1	48.8	207	335.7	
男子	77.1	58.7	21.1	4.6	70.6	45.0	11.0	49.5	109	337.6	
女子	73.5	58.2	14.3	7.1	69.4	54.1	9.2	48.0	98	333.7	
中学3年生計	76.8	57.6	25.2	3.3	72.2	23.8	11.3	60.9	151	331.1	
男子	74.7	59.0	22.9	3.6	69.9	28.9	10.8	57.8	83	327.7	
女子	79.4	55.9	27.9	2.9	75.0	17.6	11.8	64.7	68	335.3	

(1) 小学生の場合

小学生では、ほとんどの子どもが「趣味や遊びの時間」が「増えたと思う」と回答しており、87.4%と9割弱を占めている。また、「家族と過ごす時間」も75.1%と4人に3人の割合でみられ多い。その他、「睡眠時間」(59.0%)や「何もしていないでいる時間」(55.9%)も半数以上みられる。それらに対し、「勉強する時間や塾に行く時間」(14.5%)や「クラブ活動や部活動の時間」(13.3%)、「おけいごとに行く時間」(9.2%)、「ボランティアをする時間」(8.1%)といった時間を「増えたと思う」と回答した子どもは1割前後にとどまっている。

したがって、小学生ではゆとりの時間が増えたと考えている子どもが多数となっており、勉強や塾、習い事、クラブ活動や部活動、ボランティア活動などの時間が増えたとは考えていない。

ところで、このような回答にはどのような類型がみられるのだろうか。第8-2表は小学生について、学校5日制実施後の生活の変化の各選択肢を選んだ子ども毎に他の選択肢を選んだ比率を示したものであり、総計と比べて10ポイント以上、上回るものは網かけで、10ポイント以上、下回るものは下破線で表示した。

第8-2表 小学生における学校5日制実施後の生活の変化〈そう思うの比率〉
(学校5日制実施後の生活の変化〈そう思うの比率〉別)

	が趣味や遊びの時間がふえた	が家族と過ごす時間がふえた	く勉強時間や塾に行く時間がふえた	くおけいごとに行く時間がふえた	寝る時間がふえた	動の時間がふえた	クラブ活動や部活動の時間がふえた	ボランティアをする時間がふえた	時間がないでいる	何もしていないでいる	計	回答累計
小学生計	87.4	75.1	14.5	9.2	59.0	13.3	8.1	55.9	422	322.5		
趣味や遊びの時間がふえた	<u>100.0</u>	78.6	12.7	7.9	61.5	12.7	8.9	57.5	369	339.8		
家族と過ごす時間がふえた	91.5	<u>100.0</u>	15.8	8.8	59.6	13.9	8.5	57.4	317	355.5		
勉強時間や塾に行く時間がふえた	77.0	82.0	<u>100.0</u>	<u>21.3</u>	59.0	18.0	14.8	54.1	61	426.2		
おけいごとに行く時間がふえた	<u>74.4</u>	71.8	<u>33.3</u>	<u>100.0</u>	53.8	<u>28.2</u>	<u>20.5</u>	56.4	39	438.5		
寝る時間がふえた	91.2	75.9	14.5	8.4	<u>100.0</u>	14.5	9.2	61.0	249	374.7		
クラブ活動や部活動の時間がふえた	83.9	78.6	19.6	<u>19.6</u>	64.3	<u>100.0</u>	16.1	48.2	56	430.4		
ボランティアをする時間がふえた	97.1	79.4	<u>26.5</u>	<u>23.5</u>	67.6	<u>26.5</u>	<u>100.0</u>	<u>38.2</u>	34	458.8		
何もしていないでいる時間がふえた	89.8	77.1	14.0	9.3	64.4	11.4	5.5	<u>100.0</u>	236	371.6		

※網かけ下実線は小学生計との差が10ポイント以上多いこと、下破線は10ポイント以上少ないことを示す

同表をみると、「趣味や遊び」の時間が「増えた」と回答した子どもでは「勉強時間や塾」や「おけいごと」の時間が「増えた」と回答する子どもは少なく、「家族と過ごす時間」「睡眠時間」「何もしていないでいる時間」が多くなっている。他方、「勉強時間や塾」が「増えた」、「おけいごと」が「増え

た」と回答している子どもは、「クラブ活動に行く時間」も増えたと回答している。このような回答のパターンをみると、時間的ゆとりができたと回答しているグループと、少数ではあるが勉強や塾、おけいごと、クラブ活動などが「増えた」と回答しているグループがあることがわかる。なお、「ボランティアをする時間」が増えたと回答した子どもはこの2つのグループのどちらにも属しているようだ。

なお、このような類型は中学生ではみられない。

(2) 中学生の場合

次に、中学生についてみてみよう（前掲第8-1表）。

中学生でも「趣味や遊びの時間」（中学2年生75.4%、中学3年生76.8%）や「睡眠時間」（中学2年生70.0%、中学3年生72.2%）は多くの子どもが「増えたと思う」と回答しており、それぞれ7割台を占める。また、「家族と過ごす時間」（中学2年生58.5%、中学3年生57.6%）や「何もしないでいる時間」（中学2年生48.8%、中学3年生60.9%）も多数みられる。

このように、「趣味や遊び」「睡眠時間」「家族と過ごす時間」「何もしないでいる時間」はいずれの学年でも多数となっており、とくに「趣味や遊び」は4人のうち3人が「増えた」と回答している。ただし、小学生と比較すると「趣味や遊び」や「家族と過ごす時間」の比率は少なく、逆に「睡眠時間」の比率が多くなっている。

また、中学2年生では、「クラブ活動や部活動の時間」が49.3%となっている。中学3年生になると受験に備えて、部活動を引退する子どもが多くなるため「クラブ活動や部活動の時間」は23.8%へと減少し、変わって「勉強時間や塾に行く時間」が25.2%となり、中学2年生（17.9%）と比べるとやや多くなる。これらに対し、「ボランティアや地域活動をする時間」は1割、「おけいごとに行く時間」は数パーセントと少ない。

このように、中学生でもゆとりの時間が「増えた」と考えている子どもは多数を占めているが、小学生よりは少なく、また「クラブ活動や部活動の時間」や「勉強する時間や塾に行く時間」が多くなっており、小学生の回答と一部異なっている。

学校5日制が導入される以前の議論には、塾の長時間化やクラブ活動の過熱化が懸念された。この調査結果をみると塾については増大しているとは断言できない。しかし、「クラブ活動や部活動の時間が増えた」について中学2年生の回答をみると49.3%を占めており、2人に1人が部活動の時間が「増えた」と回答しており、クラブ活動に学校休業日の土曜日が組み込まれてきていることがわかる。

2. 土曜日が休みになることについて

では、親や子どもたちは学校の土曜日休みがどうなることを望んでいるのだろうか。

(1) 子どもの希望

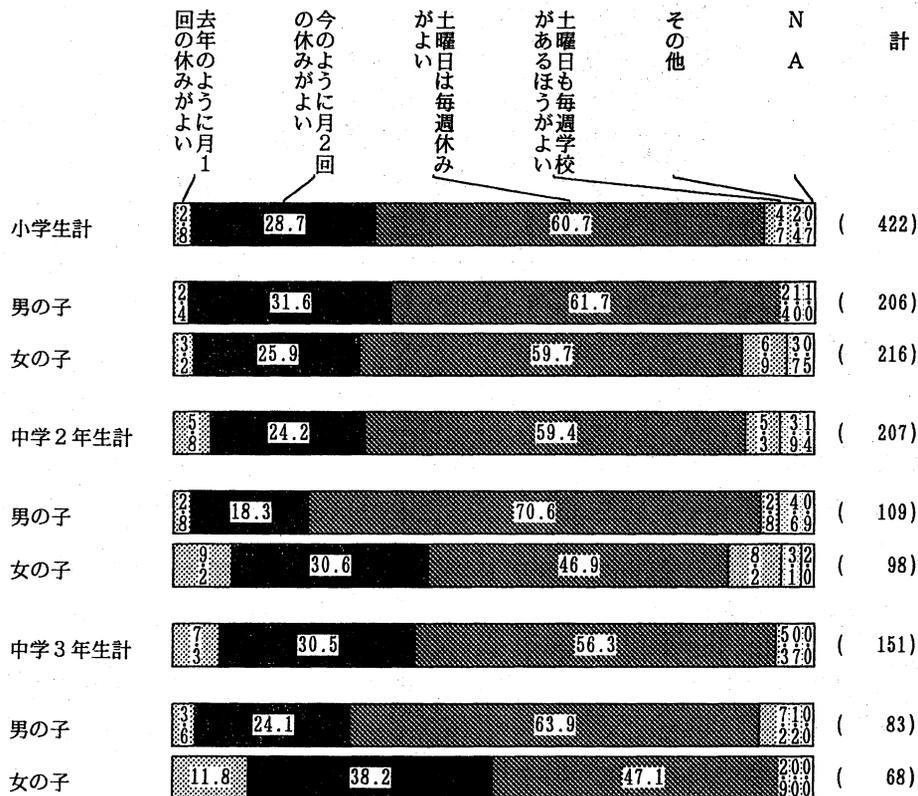
まず、第8-1図より子どもの希望をみてみよう。

小学生では、「土曜日は毎週休みがよい」〈完全普及派〉が60.7%ともっとも多く、「今のように月2回の休みがよい」〈現状維持派〉は28.7%である。それらに対し、「去年までのように月1回の休みがよい」〈縮小維持派〉(2.8%)と「土曜日も毎週、学校があるほうがよい」〈撤廃派〉(4.7%)は少数である。中学生でもこの傾向はほぼ類似している。

このように子どもの回答では、過半数は学校5日制の完全普及を希望している。後述するが、両親の回答では〈完全普及派〉(母親2割強、父親3割台)は子どもよりも少なくなっており、学校5日制の完全普及には子どもの方が積極的であるといえよう。

子どもの回答を性別にみると、中学生で違いがみられる。〈完全普及派〉は男の子に多く、中学2年生では70.6%、中学3年生では63.9%となり、いずれも女の子の比率を順に24ポイント、17ポイント上回っている。女の子では〈現状維持派〉が、中学2年生では30.6%、中学3年生では38.2%あり、〈縮小維持派〉も1割前後みられ、これらと〈完全普及派〉は拮抗している。

第8-1図 土曜日が休みになることについて (子どもの回答)



第8-3表より、学校5日制実施後の生活の変化の有無別に子どもの回答をみると、「勉強や塾」と「おけいごと」、及び「クラブ活動、部活動」の時間が「増えた」と回答した子どもの場合は、「土曜日毎週学校がある方がよい」と1割前後が回答している。この比率はその他では数パーセントであるのと比べると、若干多めである。うち、「勉強や塾」と「おけいごと」が「増えた」と回答した子どもの場合は、逆に「土曜日は毎週休みがよい」といった回答は5割強とやや少なめである。

このことから、土曜日に学校が休みとなったことで勉強や塾、おけいごとなどが忙しくなったと回答した子どもの中には、土曜日は学校が休みでない方がよいと考えている子どもが一部いることがうかがえる。

第8-3表 土曜日が休みになることについて（子どもの回答）
（学校5日制実施後の生活の変化〈そう思うの比率〉別）

	回 去 の 休 み が よ い 月 1	の 今 の 休 み が よ い 月 2 回	が よ い 土 曜 日 は 毎 週 休 み	が 土 曜 日 も 毎 週 学 校 が よ い	そ の 他	N A	計
子ども計	4.5	28.1	59.3	5.0	2.4	0.8	784
趣味や遊びの時間がふえた	3.1	29.0	62.0	3.3	2.5	0.2	645
家族と過ごす時間がふえた	4.5	31.1	57.0	4.4	2.7	0.4	528
勉強時間や塾に行く時間がふえた	2.9	28.7	54.4	11.8	2.2	...	136
おけいごとに行く時間がふえた	5.4	30.4	50.0	8.9	5.4	...	56
寝る時間がふえた	4.4	27.1	61.4	5.0	2.2	...	505
クラブ活動や部活動の時間がふえた	4.1	21.1	63.9	7.7	2.6	0.5	194
ボランティアをする時間がふえた	...	33.3	58.3	4.2	4.2	...	72
何もしていない時間がふえた	4.7	24.9	61.9	5.8	2.6	0.2	430

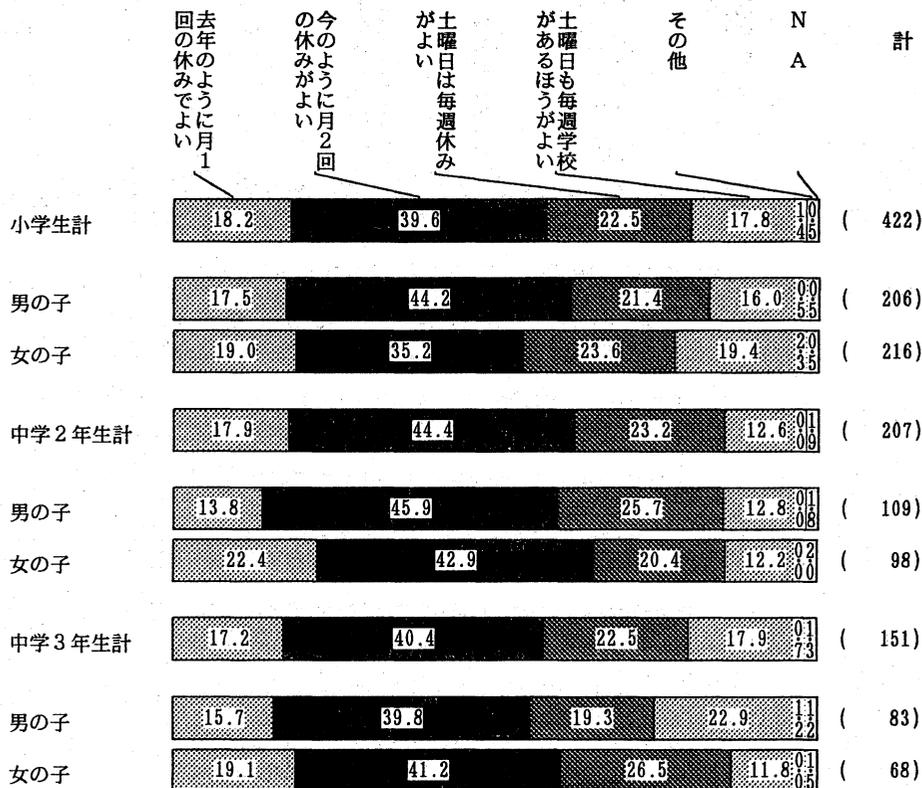
(2) 両親の希望

次に、親の希望を父親、母親に分けてきいた結果についてみていこう。

まず、小学生の母親の回答を第8-2図よりみると、〈現状維持派〉が39.6%と最も多くなっているが4割にとどまっている。その他、〈完全普及派〉が22.5%、〈縮小維持派〉が18.2%、〈撤廃派〉が17.8%を占め、それぞれ2割前後で並んでいる。このような回答は中学生の母親でも同様である。

このように母親の回答はわかれているが、〈完全普及派〉が過半数を占める子どもの回答とは対照的に、〈完全普及派〉は少数であることが特徴で、〈縮小維持派〉及び〈撤廃派〉もかなりの比率を占めている。

第8-2図 土曜日が休みになることについて（母親の考え方）



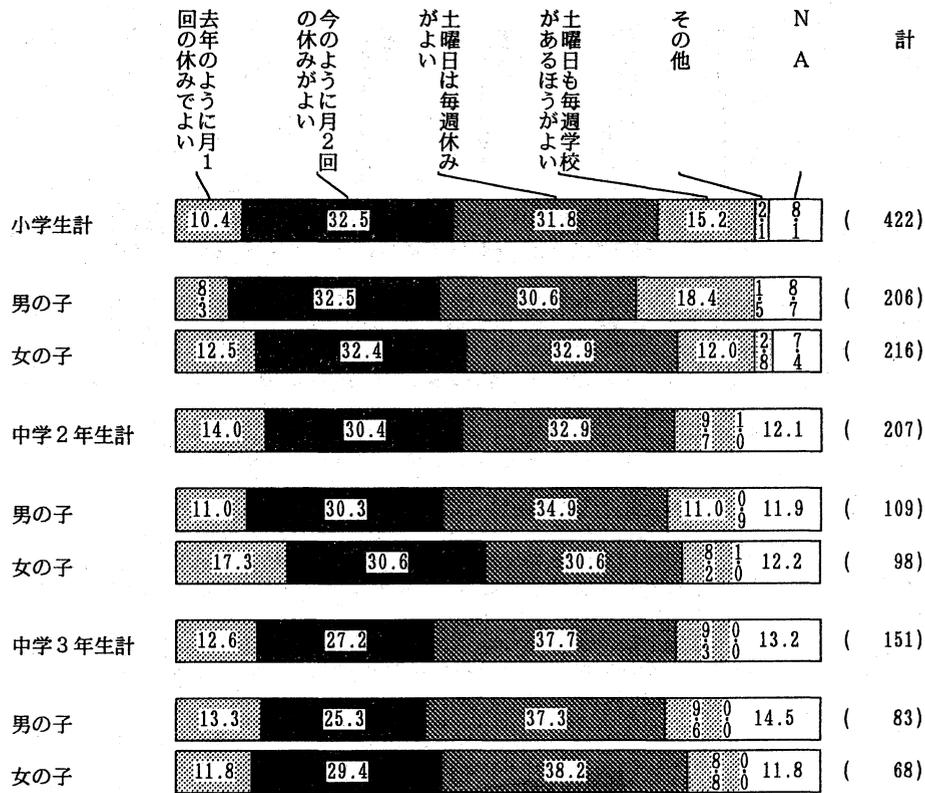
次に、父親の回答を第8-3図よりみてみよう。本調査では、調査票の記入は原則として子どもの母親にお願いしているため、父親の意見を母親が記入した家庭が大半であると推測される。父親の希望の回答にNAが1割前後を占めているのはこのような調査方法が反映していると考えられる。

小学生の父親の回答をみると、〈現状維持派〉(32.5%)と〈完全普及派〉(31.8%)がそれぞれ3割を占めて両者がほぼ並び、〈縮小維持派〉は10.4%、〈撤廃派〉は15.2%である。中学生の父親でもこのような傾向はほぼ類似している。

母親と父親の回答を比較すると、母親は〈縮小維持派〉と〈現状維持派〉が父親よりも多く、父親では〈完全普及派〉が多くなっている。ただし、〈完全普及派〉は母親よりも父親に多くみられるとはいえ、子どもでは6~7割が「土曜日は(学校が)毎週休みがよい」と回答しているのと比べると、多いとはいえない。

ここで、くもん子ども研究所が1993年5月に実施した『学校5日制』の調査結果をみると、“施行前は、学校5日制についてどのようにお考えでしたか”といった設問に対し「賛成だった」と回答したのは、母親では44.6%、父親では52.3%であり、父親の方がやや学校5日制には積極的であったが、両者の差はあまり大きいものではなく、本調査とは概ねの傾向は一致している(図表省略)。

第8-3図 土曜日が休みになることについて（父親の考え方）



ところで、母親の希望は母親が就労しているかどうかで違っているのだろうか。第8-4表よりみると、フルタイムで働いている母親と専業主婦の母親とを比較しても大きな意見の違いはみられず、回答はほぼ一致していることがわかる。

第8-4表 土曜日が休みになることについて〈お母さんの考え方〉
(母親の就労状況別、母親の第2と第4土曜の休みの有無別)

	去年の休みのように月1回	今の休みのように月2回	土曜日は毎週休みがよい	土曜日もあるほうがよい	その他	N/A	計
母親計	17.9	41.2	22.6	16.5	0.9	1.0	784
就労状況別							
正規従業員である	19.5	40.1	27.2	11.1	0.9	1.2	334
パート就労をしている	18.3	39.6	15.4	25.0	0.8	0.8	240
専業主婦である	15.1	40.4	27.4	15.8	1.4	...	146
就労している母親計	19.1	40.9	27.4	10.5	0.9	1.2	325
休みである	16.9	39.7	33.1	9.1	...	1.2	242
休みではない	26.6	44.3	11.4	13.9	3.8	...	79

では次に、両親の週休形態別に学校5日制への希望をみてみよう。本調査では第2と第4土曜日の休みの状態をきいているので、ここでは親の休みの有無別に回答の違いをみていこう。

父親について第8-5表よりみると、第2と第4が休みの場合（「基本的には休みである」と「休みではあるが、休日出勤がある」）は〈完全普及派〉が38.1%、休みでない場合（「必ずしも休みではない」と「休みではない」）は21.7%で、前者の方が多くなっている。このような傾向は母親にもみられる（前掲、第8-4表）。

このように、父親や就労している母親が第2と第4の土曜日に仕事があるかないかによって、学校5日制に対する親の希望はやや異なっており、親が第2と第4土曜日に仕事を休めない場合は完全5日制導入により消極的である。

ところで、両親の回答と子どもの回答は一致しているのだろうか。第8-6表よりみると、親が「土曜日は毎週休みがよい」と回答している場合は67%の子どもが「毎週休みがよい」と回答しており、親子の希望は共通している。しかし、それ以外には明らかな共通性はみられないので、親子の回答は多少の一致がみられる程度であるといえよう。

第8-5表 土曜日が休みになることについて
〈お父さんの考え方〉（第2と第4土曜日の休みの有無別）

	回去年の休みのように月1	今の休みのように月2回	がよい土曜日は毎週休み	があるほう土曜日も毎週学校	その他	N A	計
父親計	12.0	32.4	33.7	12.6	1.6	7.8	707
休みである	11.1	31.5	38.1	11.7	1.3	6.2	530
休みではない	15.9	37.6	21.7	16.6	1.9	6.4	157

第8-6表 土曜日が休みになることについて・子どもの回答
（父親・母親の考え方別）

	子どもの回答							
	回去年の休みのように月1	今の休みのように月2回	がよい土曜日は毎週休み	があるほう土曜日も毎週学校	その他	N A	計	
子ども計	4.5	28.1	59.3	5.0	2.4	0.8	784	
父親の回答別	去年のように月1回の休みがよい	2.2	38.0	46.7	6.5	5.4	1.1	92
	今年のように月2回の休みがよい	3.7	32.1	60.9	1.6	1.6	...	243
	土曜日は毎週休みがよい	5.8	19.2	66.5	5.4	1.9	1.2	260
	土曜日も毎週学校があるほうがよい	3.0	31.3	55.6	8.1	1.0	1.0	99
母親の回答別	去年のように月1回の休みがよい	3.6	32.1	55.7	4.3	3.6	0.7	140
	今年のように月2回の休みがよい	4.6	30.0	59.4	4.0	1.9	...	323
	土曜日は毎週休みがよい	4.5	19.8	67.2	4.5	2.8	1.1	177
	土曜日も毎週学校があるほうがよい	4.7	31.0	51.2	9.3	1.6	2.3	129

補論 P T A活動について

補論ではP T A活動について、①P T A役員の経験の有無、②P T A行事への参加程度、③P T A活動の現状評価、④P T A活動の必要性の有無とその理由、⑤P T A活動や運営で重要なことについて順を追ってみたい。

1. P T A役員の経験の有無

まず、子どもの学校にP T Aがあるかどうか押さえておこう。

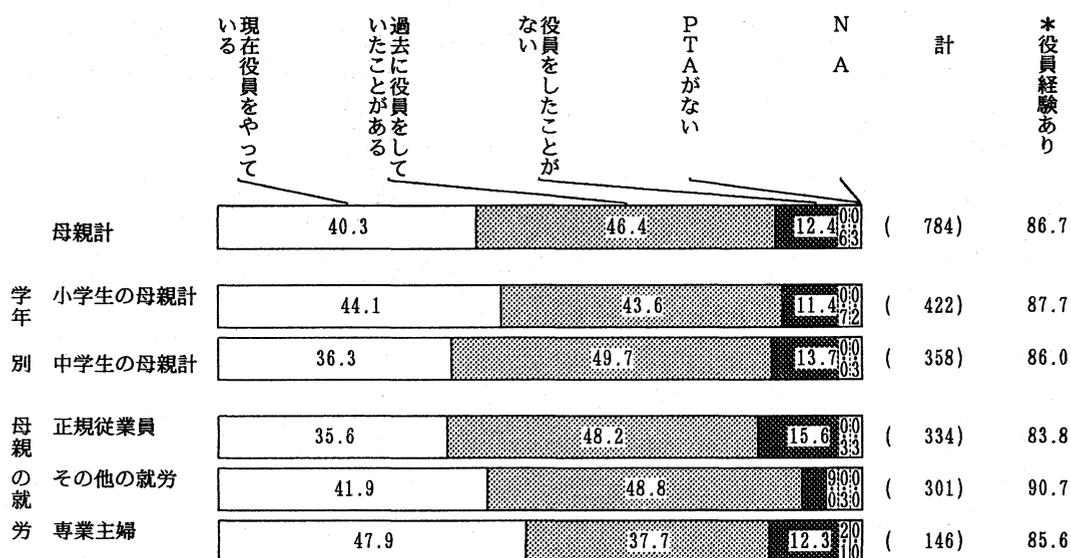
母親の回答をみると、「P T Aがない」は0.6%とわずかであり、ほとんどの子どもの学校ではP T A活動が行われている（図A）。

同図より、P T A役員（学級の役員を含む）の経験の有無をみていこう。なお、本調査では“あなた（回答者）あるいは配偶者”の役員経験をきいている。

役員経験者の比率をみると86.7%で、ほとんどの家庭ではP T A役員を経験していることになり、「役員をしたことがない」家庭は12.4%である。〈役員経験あり〉の中身をみると、「現在役員をやっている」家庭（40.3%）と「過去に役員をしていたことがある」家庭（46.4%）が半々となっている。

このように、ほとんどの家庭ではP T Aの役員を経験しているので、以下からは「現在役員」の比率に注目してみたいことにする。

図A P T A役員の経験の有無
(母親計、子どもの学年別、母親の就労状況別)



「現在役員」の比率について母親の就労状況別にみると、母親が現在フルタイムで就労している場合は35.6%であるのに対し、パートや内職、家業などで就労している場合は41.9%とやや多くなる。専業主婦ではさらに増加し、47.9%と半数近くを占めている。このように、「現在役員」の比率は、母親が正規従業員の家庭がもっとも少なく、逆に、専業主婦の家庭がもっとも多くなっている。しかし、「役員をしたことがない」の比率はいずれの家庭も1割前後であり、母親が正規従業員の家庭(15.6%)と専業主婦の家庭(12.3%)には大差はない。

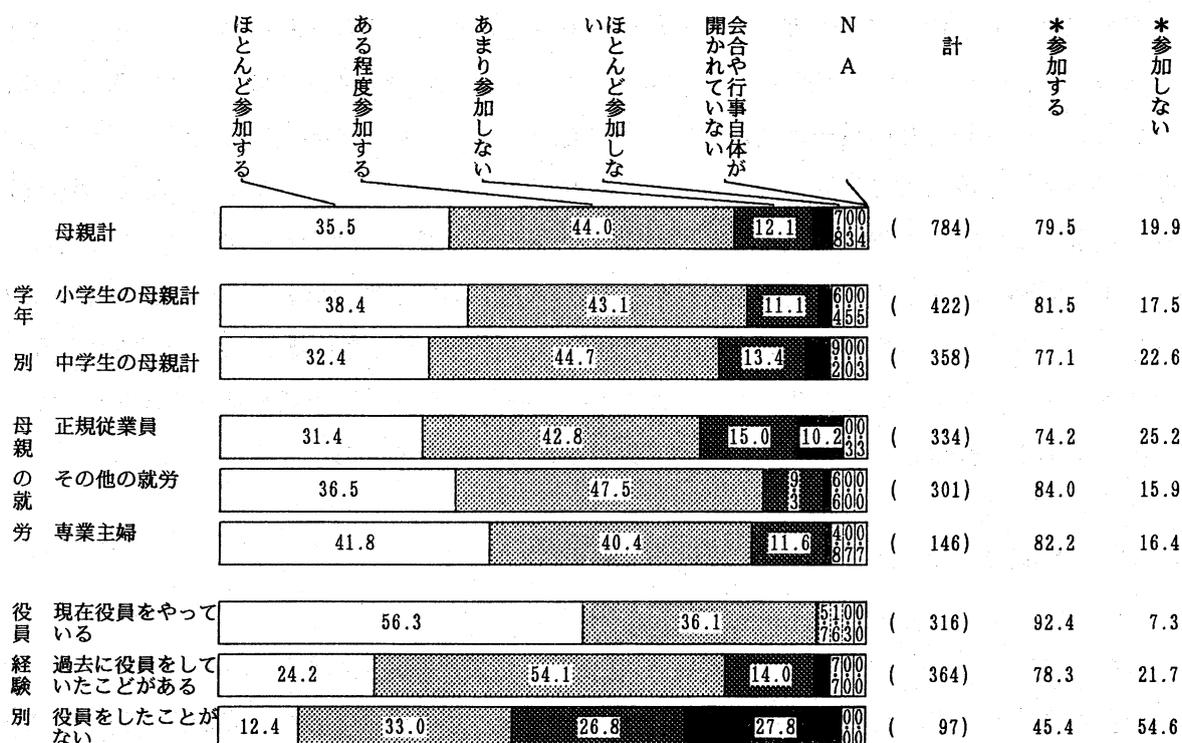
以上でみてきたように、大半の学校でPTAがあり、またほとんどの親はPTAの役員を経験している。ただし、「現在役員である」人の比率をみると専業主婦でやや多くなっている。

2. PTA行事への参加程度

次に、PTA行事への参加程度をみていこう。ここで扱うPTA行事には学校主催の保護者会は含まれていない。

図Bより母親計をみると、「会合や行事自体が開かれていない」は0.3%とごくわずかであり、ほとんどのPTAではなんらかの会合や行事が開かれていることがわかる。

図B PTA行事への参加の有無
(母親計、子どもの学年別、母親の就労状況別、PTA役員の経験別)



その会合や行事への参加程度をみると、「ほとんど参加する」は35.5%を占め、これに「ある程度参加する」の44.0%を加えた〈参加する〉の比率は79.5%で多数となっている。他方、〈参加しない〉も19.9%と一定程度みられ、うち「あまり参加しない」は12.1%、「ほとんど参加しない」は7.8%である。

このように、8割の母親はP T Aの行事に〈参加している〉と回答しているので、以下からは「ほとんど参加する」の比率に注目して属性別にみていくことにする。

母親の就労状況別に「ほとんど参加する」の比率をみると、専業主婦の母親で41.8%と最も多く、パート等のその他の就労が36.5%でそれに続き、正規従業員は31.4%である。

また、P T A役員の経験の有無別にみると、役員経験のある人は参加率も高くなっていることがわかる。「ほとんど参加する」の比率をみると、現在役員の人では56.3%と半数を超えているが、過去に役員の経験がある人では24.2%であり、現在役員の人と比べると32ポイント少ない。もっとも参加率が低いのは役員経験のない人であり、「ほとんど参加する」は12.4%にとどまっている。

このように、8割の親がP T Aの会合や行事に参加しているが、「ほとんど参加する」の比率に着目すると、フルタイムで働いている母親やパート等の就労をしている母親では3割台と低めであり、P T Aの役員を経験していない母親では1割強と低い。

3. P T A活動の現状評価

本調査ではP T A活動の現状を押さえるために8設問を用意し、それぞれについて「そう思う」か「そう思わない」かの二者択一で聞いた。具体的には、[教育方針や学校運営について保護者との話し合いが少ない]や[親と教職員が教育について話し合い、相互理解を深めている]、[いじめ、登校拒否・非行・体罰など協力して解決にあたっている]及び[子どもを預けているので、親は立場が弱く、強く意見が言えない]など学校と保護者との相互の話し合いの機会に関する項目と、[学校行事等への協力・奉仕活動が多すぎる]と[地域を含め、交流の場、生涯学習の場としての役割を果たしている]及び[先生が主導しており、学校の押しつけが多い]などP T Aの活動のあり方に関する項目と、[昼の活動が多く、働いている保護者への配慮がない]といったP T Aの活動時間の設定についてなどの8項目である。表Cは「そう思う」の回答比率を示したものである。

(1) 学校と保護者との相互の話し合いの機会について

まず母親計をみると、[親と教職員が教育について話し合い、相互理解を深めている]は27.3%であり、7割の人は「そう思わない」と回答している。[いじめ、登校拒否・非行・体罰など協力して解決にあたっている]は36.7%であり、「そう思わない」は過半数を占めている。また、[教育方針や学校運営について保護者との話し合いが少ない]は60.1%みられ、半数を超えている。

このように、概ね過半数の人は学校と父母との相互理解や協力体制はできていないと考えている。

なお、[子どもを預けているので、親は立場が弱く、強く意見が言えない]は33.0%みられる。

子どもの学年別にみると、[親と教職員が教育について話し合い、相互理解を深めている]に「そう思う」と回答した母親の比率は、中学生の母親では22.6%で、小学生の母親（31.0%）より8ポイント少なくなっている。

P T A活動への参加の有無別にみると、〈参加〉している人では[親と教職員が教育について話し合い、相互理解を深めている]は29.4%、[いじめ、登校拒否・非行・体罰など協力して解決にあたっている]は40.0%であり、〈不参加〉の人より順に、10ポイント、15ポイントそれぞれ多くなっている。

このように、P T Aの運営になんらかの形で〈参加〉している人は〈参加していない〉人に比べ、教職員と親の教育に対する話し合いや相互理解は深まっており、協力して解決しているとより多く回答している。

表C P T A活動について〈そう思うの比率〉
(母親計、子どもの学年別、母親の就労状況別、P T A行事への参加程度別)

		活学校 動が 多事 すぎ る 奉 仕	押先生 し主 つ導 げが が多 い 学 校 の	教育方 針の 話し 合い が少 ない 保 護 者	への配 慮が ない 保 護 者	働いて いる 保 護 者	親と教 職員 が相 互 理 解 を 深 め て い る	てい じめ な ど 協 力 し て い る	親は立 場が 弱く 意見 が言 えない 強	果たし ている 役割 も	交 流の 場の 役割 も	計	回 答 累 計
母親計		26.1	21.7	60.1	35.1	27.3	36.7	33.0	38.6	784	278.7		
学年別	小学生の母親計	27.3	21.1	57.8	37.4	31.0	38.4	32.5	41.9	422	287.4		
	中学生の母親計	25.1	22.3	63.1	32.4	22.6	34.6	33.5	34.4	358	268.2		
母親の就労	正規従業員	30.5	22.5	60.2	38.3	28.7	36.8	29.0	38.0	334	284.1		
	その他の就労	21.9	18.3	59.5	31.9	24.6	34.9	36.2	38.5	301	265.8		
	専業主婦	25.3	27.4	61.6	34.9	30.1	41.1	36.3	40.4	146	297.3		
参加程度	参加する	25.2	20.7	59.7	31.9	29.4	40.0	33.1	40.6	623	280.6		
	参加しない	30.1	25.0	62.2	48.1	19.9	25.0	33.3	32.1	156	275.6		

(2) P T Aの活動のあり方について

次に、P T A活動のあり方についてみていこう。

[学校行事等への協力・奉仕活動が多すぎる]は26.1%であり、4人に3人はそのようには考えていない。[地域を含め、交流の場、生涯学習の場としての役割を果たしている]は38.6%であり、6割は「そう思わない」と回答している。[先生が主導しており、学校の押しつけが多い]と考えている親は21.7%であり、大半の親はそのようには考えていない。

このように、多数の母親は学校からいろいろな押しつけがあるとは考えていないが、一方で、地域で有用な役割を果たしているとも考えていない状況にある。

P T A行事への参加の有無別にみると、〈参加〉している人には「地域を含め、交流の場、生涯学習の場としての役割を果たしている」は40.6%を占めており、〈不参加〉の人の32.1%を9ポイント上回っている。

また、小学生の母親と中学生の母親とを比べると、「地域を含め、交流の場、生涯学習の場としての役割を果たしている」に「そう思う」と考えている人は、小学生の母親では41.9%あり、中学生の母親よりも8ポイント多い。

(3) P T Aの活動時間の設定について

P T Aの活動時間の設定についてはどうだろうか。

35.1%の母親は「昼の活動が多く、働いている保護者への配慮がない」と回答しているが、残りの7割弱の母親はそのようには考えていない。

これを母親の就労状況別にみると、「配慮がない」の比率はフルタイムで働いている母親も専業主婦の母親もそれぞれ3割台となっており、回答は共通している。

ただし、P T A活動に実際に参加していない人では同比率が48.1%と高くなっており、活動時間への不満が少なくない。

このように多くの人は、P T A活動は負担が多いと考えているわけではないが、同時に、親と教師が協力して学校教育をしていくというP T Aの本来的な活動がなされているとも考えていない。

4. P T A活動の必要性の有無とその理由

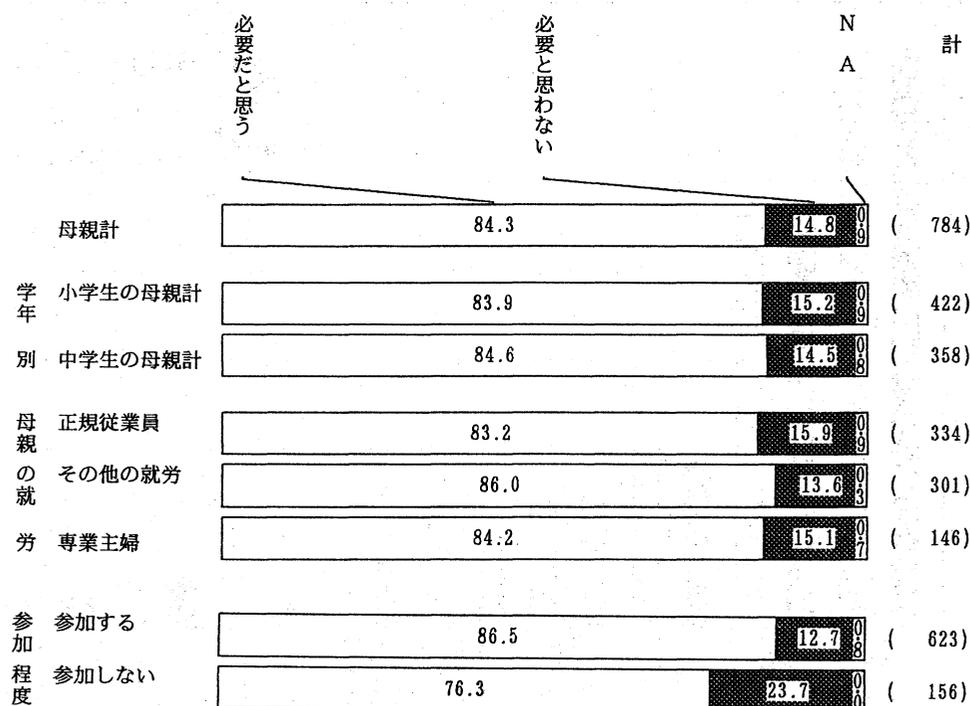
それでは、P T A活動の必要性について母親はどのように考えているのかみていこう。

(1) P T A活動の必要性の有無

まず、P T A活動の必要性の有無を母親にきいたところ、「必要だと思う」は84.3%と大半を占め、「必要とは思わない」は14.8%である(図D)。

属性別にみるとやや違いがみられる。参加の有無別にみると、〈参加しない〉人では「必要とは思わない」が23.7%を占め、相対的に多くなっているが、多数ではない。

図D PTAの必要性について
(母親計、母親の就労状況別、PTA行事への参加程度別)



(2) PTA活動が必要ではない理由

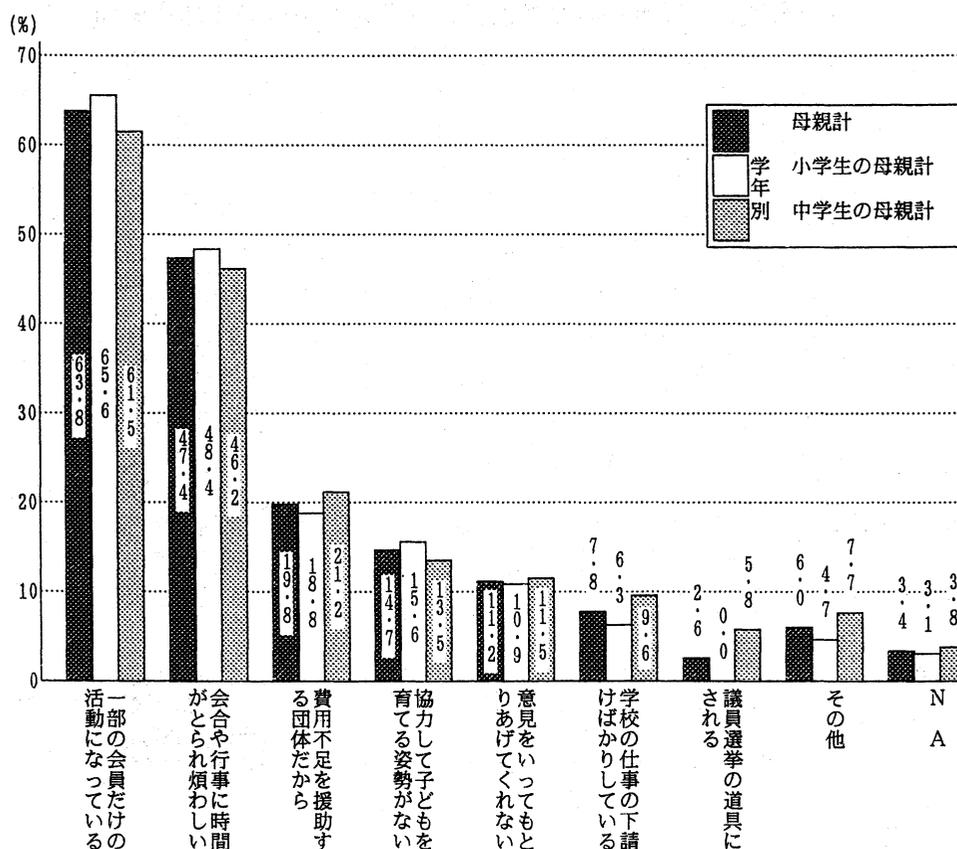
PTA活動を「必要とは思わない」と回答した1割強の母親にその理由を8項目中2つ以内選択できいたところ、図Eに示すような結果を得た。

計をみると、もっとも多いのは「一部の会員だけの活動になっているから」で63.8%を占め、それに「会合や行事に時間がとられて煩わしいから」が47.4%で続いている。このようにPTAは必要でないと考えている人は最大の理由に特定の会員に偏った活動であることをあげている。また、時間的な問題も大きな理由の一つとなっている。

その他の回答をみると、「公費で賄うべき学校費用の不足を援助する団体でしかないから」(19.8%)、「親と協力し合って、子どもを育てていく姿勢が先生にみられないから」(14.7%)、「父母がいくら意見をいっても学校でとりあげてくれないから」(11.2%)がそれぞれ1割台で続き、「学校や先生の仕事の下請けばかりさせられているから」(7.8%)と「議員選挙の道具にされるから」(2.6%)は1割に満たない比率となっている。

このような回答の傾向は小学生と中学生の母親でもほぼ同じである。

図E PTAが不必要と思われる理由（2つ以内選択）（母親計）



5. PTA活動や運営で重要なこと

さて、PTA活動や運営でどのようなことが重要であると考えているのだろうか。本調査では9項目のなかから3つ以内で選択してもらった（表F）。

もっとも多い回答は「形式的な運営を改め、情報も公開して本音で話し合えるようにする」で58.4%を占めており、過半数の母親が本音の話し合いを重要視している。以下、「文化・スポーツ活動などを通じて保護者相互の親睦を深める」が38.9%、「講演会、勉強会などを通じて、保護者が知識や教養を深める」が35.3%、「親の意見をもっと重視した運営にする」が25.6%で続き、保護者相互の親睦を深めたり、保護者の知識や教養を深めたりすることを重要と考えている母親も多い。

そういったことと比べると、「諸行事での奉仕作業などを通じて学校運営に協力する」（20.4%）や「バザーや廃品回収など財政面で学校に協力する」（17.7%）はそれぞれ2割程度と多くはないが、学校に奉仕作業やバザー等で協力することが重要と考えている人も一定程度みられる。また、「学級PTAにかたよりすぎるので、地域や町会にねざした活動を重視する」は15.7%である。

その他、「働いている父母が参加しやすいように、夜の会合を増やす」は17.6%、「一部の教員しか積極的に参加しない現状を改める」が15.7%である。

母親の就労状況別にみても概ね回答の傾向は一致しているが、いくつかの点で異なっている。同表より正規従業員で働いている母親と専業主婦の母親の回答を比較してみよう。

フルタイムで働いている母親では「働いている父母が参加しやすいように、夜の会合を増やす」が22.8%を占め、専業主婦（12.3%）より11ポイント多くなっている。逆に、専業主婦では「諸行事での奉仕作業などを通じて学校運営に協力する」（28.8%）と「文化・スポーツ活動などを通じて保護者相互の親睦を深める」（41.8%）がそれぞれフルタイムの母親の回答比率を順に11ポイント、8ポイント上回っている。

このように、フルタイムで働いている母親ではPTAの会合を夜に増やすことが重要と考えている人が多く、逆に専業主婦の母親では奉仕作業で学校に協力したり、保護者相互の親睦を深めることを重要と考えている人がそれぞれ多くなっている。

子どもの学年別にみると、中学生の母親では、「講演会、勉強会などを通じて、保護者が知識や教養を深める」（39.4%、小学生の母親と7ポイント差、以下同様）と「形式的な運営を改め、情報も公開して本音で話し合えるようにする」（60.3%、4ポイント差）がそれぞれ小学生の母親よりも多くなっている。

なお、小学生の母親では「諸行事での奉仕作業などを通じて学校運営に協力する」と「文化・スポーツ活動などを通じて保護者相互の親睦を深める」がそれぞれ中学生の母親より多くなっている。

表F PTA活動や運営で重要な点（3つ以内選択）
（母親計、子どもの学年別、母親の就労状況別）

	に働いて夜の会合増やす	親の意見をもっと重視した運営	加しない現状改善	一部の教員しか参加した活動を重視	地域や町会にねざ	音で話し合う	情報公開をして本音	校運営に協力する	奉仕作業などで学	で学校に協力する	相互の親睦深める	文化活動で保護者	知識や教養深める	講演会や保護者が	その他	N	計	回答
母親計	17.6	25.6 ④	15.7	15.7	58.4 ①	20.4 ⑤	17.7	38.9 ②	35.3 ③	2.2	2.6	784	247.6					
学年別	小学生の母親計	16.8	25.4 ④	15.6	16.4	56.4 ①	23.2 ⑤	18.2	42.9 ②	32.2 ③	2.4	2.1	422	249.5				
	中学生の母親計	18.4	26.0 ⑤	15.9	15.1	60.3 ①	17.0	16.8	34.1 ③	39.4 ②	2.0	3.1	358	245.0				
母親の就労	正規従業員	22.8 ⑤	24.3 ④	13.8	17.7	56.0 ①	17.7	19.2	33.8 ③	36.8 ②	2.1	2.4	334	244.0				
	その他の就労	14.6	27.6 ④	16.6	15.9	59.8 ①	19.3 ⑤	15.9	43.2 ②	32.2 ③	2.7	3.0	301	247.8				
	専業主婦	12.3 ⑤	24.7 ⑤	18.5	11.0	61.0 ①	28.8 ④	18.5	41.8 ②	39.0 ③	1.4	1.4	146	256.8				

※網かけ下実線は母親計との差が5ポイント以上多いこと、下破線は5ポイント以上少ないことを示す
 ※網かけ下太実線は母親計との差が15ポイント以上多いこと、下太破線は15ポイント以上少ないことを示す
 ※丸数字は比率の順位

資料 1

小学生・中学生の生活に関するアンケート〈子ども用〉

1995.9 連合総研

このアンケートはテストではありませんので、質問をよく読んで、自分の思ったとおりにこたえてください。わからないところがあっても、人に相談しないでください。もし、どうしてもわからないところがあれば、つぎの質問に進んでください。また、あなたのこたえが他の人に知られることは、絶対にありません。少し長いのでたいへんだと思いますが、よろしくおねがいします。

- ・記入は黒または青のボールペン、またはB、HBのエンピツを使ってください。
- ・こたえは回答らん□に番号を書いてください。
- ・「その他(内書)」にあてはまる場合は、()内にその内容を書いてください。
- ・回答らん□の下の数字は、コンピュータ集計用のものですから気にしないでください。

F1 あなたは男の子ですか、女の子ですか。

- 1. 男の子 2. 女の子

OR

1

F2 あなたの学年を教えてください。

- 1. 小学5年生 2. 小学6年生 3. 中学2年生 4. 中学3年生

2

[放課後の過ごし方について]

Q1 あなたは放課後(自由時間)はどのような遊びをしていますか。
主なものを3つ以内でえらんでください。

- 1. サッカー
- 2. バスケットボール
- 3. 野球・ソフトボール
- 4. ドッチボール
- 5. 1～4以外のボール遊び
- 6. スケートボード・ローラースケート
- 7. 自転車にのる
- 8. おにごっこ・かくれんぼ(ドロケ-・ろくむし・Sけんなど)
- 9. おしゃべり・電話
- 10. 本・マンガを読む
- 11. 音楽を聞く
- 12. テレビやビデオをみる
- 13. テレビゲーム(ファミコンなど)をする(ゲームセンター含む)
- 14. トランプなどのゲームをする
- 15. カラオケをする
- 16. 趣味をする(内書)
- 17. その他(内書)

(3-8)

Q2 あなたは放課後（自由時間）は主にどのような場所で遊びますか。3つ以内でえらんでください。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 公園・広場・グラウンド・野球場 | 8. 川・海・森林・田畑 |
| 2. 学校（体育館や校庭を含む） | 9. 駐車場・あき地 |
| 3. 地域の公共施設（公民館や児童館） | 10. 道路 |
| 4. 友達の家・近所の家 | 11. ゲームセンター |
| 5. 自分の家の中 | 12. コンビニエンスストア・だがし屋 |
| 6. 自分の家の庭・家のまわり | 13. カラオケボックス |
| 7. 神社やお寺 | 14. その他（ <small>内</small> ） |

(9-14)

Q3 ふだんの日、あなたは家でつぎのようなことをしていますか。それぞれ「はい」「いいえ」のどちらかを番号で答えてください。

	はい	いいえ
朝、ひとりで起きる	1	2
自分のまわりや部屋のかたづけをする	1	2
テレビの番組は見たいものを選び、だらだらと見ない	1	2
勉強しなさいといわれなくても自分で計画をたて勉強する	1	2

(15-18)

Q4 家の仕事であなたがふだんしているものをつぎのなかからすべてえらんでください。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 自分の部屋のそうじ | 7. ふとんのあげおろし、ベッドをととのえる |
| 2. 洗濯物（ほす、またはたたむ） | 8. 風呂場のそうじ |
| 3. 食事のしたく | 9. 弟や妹のめんどうをみる |
| 4. 食事のあとのかたづけ | 10. その他（ <small>内</small> ） |
| 5. ごみを出す | 11. 何もやらない |
| 6. おつかい | |

(19-38)

[お父さんやお母さんについて]

Q5 あなたは、つぎのようなことをお父さんやお母さんから言われたりすることがありますか。それぞれ「はい」「いいえ」のどちらかを番号でこたえてください。

	はい	いいえ
A. お父さんはいつも「勉強しなさい」と言う	1	2
B. お父さんはいつも「遊んでばかりいて」「テレビばかり見て」としかる	1	2
C. お父さんはいつも宿題などを教えてくれる	1	2
D. お母さんはいつも「勉強しなさい」と言う	1	2
E. お母さんはいつも「遊んでばかりいて」「テレビばかり見て」としかる	1	2
F. お母さんはいつも宿題などを教えてくれる	1	2

(39-44)

Q6 あなたのお父さんとお母さんはあなたの気持ちをよくわかってくれると思いますか。それぞれ「そう思う」「そう思わない」のどちらかを番号で教えてください。

	そう思う	そう思わない
A. お父さんは自分の気持ちをよくわかってくれる	1	2
B. お母さんは自分の気持ちをよくわかってくれる	1	2

(45-46)

【勉強について】

Q7 あなたは学校の勉強がおもしろいですか。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. とてもおもしろい | 4. あまりおもしろくない |
| 2. わりとおもしろい | 5. ぜんぜんおもしろくない |
| 3. どちらでもない | |

47

Q8 あなたにとって学校の勉強のスピードははやいと思いますか

- | | |
|------------|-----------|
| 1. とてもはやい | 4. すこしおそい |
| 2. すこしはやい | 5. とてもおそい |
| 3. どちらでもない | |

48

Q9 (学習塾に通っていたり、あるいは家庭教師についている人に)

あなたが学習塾に通ったり、家庭教師につくようになったのはどうしてですか。あなたの気持ちにいちばん近いものを教えてください。

1. よい中学校や高校に入りたいから
2. 学校の勉強ができるようになりたいから
3. 友達がなっているから
4. お父さんお母さんに行くように言われたから
5. わからない

49

Q10 (学習塾に通っている人に) あなたは塾の勉強がおもしろいですか。

1. とてもおもしろい
2. わりとおもしろい
3. どちらでもない
4. あまりおもしろくない
5. ぜんぜんおもしろくない

50

Q11 あなたはつぎにあげる考え方についてどのように思いますか。それぞれ「そう思う」「そう思わない」のどちらかを番号で答えてください。

	そう思う	そう思わない
A. 小学生のうちには受験勉強などしないほうがよい	1	2
B. 受験勉強はよい学校に行くためだけで、本当の勉強ではない	1	2
C. 受験勉強は人間をきたえるよい機会である	1	2
D. 受験勉強は遊ぶ時間が減るからいやだ	1	2
E. 受験勉強は、学んだことをまとめるよい機会だ	1	2
F. 大学に入れないといいところに就職できない	1	2
G. 実力さえあれば大学に行かなくても大人になって困ることはない	1	2

(51-57)

Q12 あなたはこれからどのような進路を希望していますか

1. 中学を卒業したら働きたい
2. 高校を卒業したら働きたい
3. 短大か専門学校に進みたい
4. 大学に進みたいが、一流大学でなくともかまわない
5. 一流大学に進みたい
6. 海外の大学に留学したい

--

58

Q13 あなたは、将来どのような生き方をしたいと考えていますか。それぞれについて「そう思う」「まあそう思う」「考えたことがない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のどれか1つをえらんで番号で答えてください。

	そう思う	まあそう思う	考えたことがない	あまりそう思わない	そう思わない
A. お金持ちになって豊かな生活をおくりたい	1	2	3	4	5
B. 高い地位につきたい	1	2	3	4	5
C. 社会や人々のために役立つことをしたい	1	2	3	4	5
D. 仕事ひとすじにうちこみたい	1	2	3	4	5
E. 新しいことやむつかしいことにチャレンジしたい	1	2	3	4	5
F. 毎日をのんびりと平和にいきたい	1	2	3	4	5

(59-64)

Q16 あなたは悩みがある時は、だれに相談しますか。つぎのなかから主に相談する人を一人だけ選んでください。

- | | |
|----------|------------|
| 1. お父さん | 5. 学校の先生 |
| 2. お母さん | 6. 塾の先生 |
| 3. きょうだい | 7. その他 () |
| 4. ともだち | |

 82

[先生について]

Q17 あなたのクラスの担任の先生はあなたの気持ちをわかっていると思いますか。

1. わかっていると思う
2. わかっていると思う

 83

Q18 あなたのクラスの担任の先生（中学生は主要5教科の先生）はどれくらい宿題をだしますか。

1. たくさん宿題をだす
2. 少し宿題をだす
3. ほとんど宿題はださない

 84

[土曜日に学校が休みになることについて]

Q19 第2土曜日と第4土曜日に学校が休みになって、あなた自身の生活はどのように変化しましたか。それぞれ「そう思う」「そう思わない」を番号で答えてください。

	そう思う	そう思わない
A. 趣味や遊びの時間がふえた	1	2
B. 家族と過ごす時間がふえた	1	2
C. 勉強する時間や塾に行く時間がふえた	1	2
D. おけいごとに行く時間がふえた	1	2
E. 寝る時間がふえた	1	2
F. クラブ活動や部活動の時間がふえた	1	2
G. ボランティアや地域活動をする時間がふえた	1	2
H. 何もしないでいる時間がふえた	1	2

(85-92)

Q20 あなたは土曜日に学校が休みになることについて、今後どうなってほしいと思いますか。つぎの中から1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 去年までのように月1回の休みがよい | 4. 土曜日も毎週、学校があるほうがよい |
| 2. 今のように月2回の休みがよい | 5. その他 |
| 3. 土曜日は毎週休みがよい | |

 88

ごきょうりよくありがとうございました

資料 2

子どもの生活に関するアンケート〈お子さんのお母さん用〉

1995. 9 連合総研

1. 回答は原則として に番号や数値を記入する形式になっています。
 2. 回答は特にことわりのない限り1つだけを選び の中に該当する番号を記入して下さい。
 3. の下の数字は集計の用のものですから、気にしないで下さい。
 4. この調査票は原則として生活時間調査対象のお子さんのお母さん（独り親家庭の場合はその方）に回答をお願いします。

F 1 （お子さんの）お母さんの就労状況を教えてください。

1. 正規従業員である 4. 家業をしている
 2. パート就労をしている 5. 専業主婦である
 3. 内職をしている

②R
 1

[（お子さんの）お父さんとお母さんの職業について]

F 1で1と回答した場合はF 2～F 8についてお母さんの場合もお答え下さい。

F 2 勤務先企業・事業所の主たる業種

1. 民間・製造業 2. 民間・非製造業 3. 公務・公営 (お子さんの) 2 (お子さんの) 3
 お父さん お母さん

F 3 （前問で1または2と答えた方に）勤務先の企業の規模についてうかがいます。工場や事業所でなく企業全体の従業員数をご回答下さい。

1. 99人以下 5. 3,000人～4,999人
 2. 100人～299人 6. 5,000人～9,999人
 3. 300人～999人 7. 10,000人以上
 4. 1,000人～2,999人

お父さん 4 お母さん 5

F 4 職種・職業（1つだけ選んで下さい）

1. 生産・技能・現業職 (加工、組立、修理、検査、機械運転、工場等の直接・間接部門、建設作業など)
 2. 専門職・技術職 (研究開発、設計、情報処理技術、発電員、教師、保健医療職、保母、預けなど)
 3. 事務職 (一般事務、営業事務、工程管理等現場事務、タイスト・パンチ、コンピューター操作、集金、検針など)
 4. 営業・販売・サービス・保安職(販売職・店員、セールス・サービス等)外勤、理美容師、調理、ホテル、案内人、警備員など
 5. 運輸・通信職 (鉄道・自動車・船舶・航空運転手、車掌、電話交換手、通信士、郵便職など)

お父さん 6 お母さん 7

F 5 労働組合の役員をしていますか。

1. 組合役員（専従）である
 2. 組合役員（非専従）である
 3. 組合役員ではない

お父さん 8 お母さん 9

F6 勤務形態についてうかがいます。

1. 常日勤である
2. 交替制勤務である

お父さん 10 お母さん 11

F7 日曜日は休みですか。

1. 基本的には休みである
2. 休みであるが、休日出勤がある
3. 必ずしも休みではない
4. 休みではない

お父さん 12 お母さん 13

F8 では、第2土曜日と第4土曜日は休みですか。

1. 基本的には休みである
2. 休みであるが、休日出勤がある
3. 必ずしも休みではない
4. 休みではない

お父さん 14 お母さん 15

F9 出張の有無

- A. お父さんは宿泊を伴う出張をすることが月1日以上ありますか
1. ある
 2. ほとんどない

16

- B. (A. で1と回答した人に) 出張先で宿泊する日数は月平均で何日になりますか。

月平均 日 (17-18)

F10 お父さんの(独り親家庭の場合は、あなたの)年齢を教えてください。

歳 (19-20)

F11 最終学歴を教えてください。

1. 中卒
2. 高卒
3. 専門学校卒
4. 高専卒
5. 短大卒
6. 大学卒以上

お父さん 21 お母さん 22

F12 居住地についてお聞きします。AとBのそれぞれについてお答え下さい。

- A. 1. 北海道 3. 関東 5. 北陸 7. 近畿 9. 四国
2. 東北 4. 信越 6. 東海 8. 中国 10. 九州

(23-24)

- B. 1. 首都圏 3. その他の100万人以上の都市とその周辺
2. 京阪神圏 4. その他の10万人以上の都市
5. その他の市町村

25

F13 あなたの家族のことについて教えてください。

A. 配偶者とは同居していますか

1. はい 2. 単身赴任中 3. 離死別

 26

B. あなた（または夫）の親と同居していますか。

1. はい 2. いいえ

 27

C. お子さんは何人ですか。

 人 28

D. 調査対象のお子さんは何番目のお子さんですか。

 番目 29

F14 調査対象のお子さん専用のテレビがありますか。

1. ある
2. きょうだいで見るためのテレビがある
3. ない

 30

F15 調査対象のお子さん専用の部屋がありますか。

1. ある
2. きょうだいと一緒に部屋がある
3. 特別にはない

 31

F16 （小学生の場合）調査対象のお子さんは放課後、学童保育に通っていますか。

1. 通っている 2. 通っていない

 32

F17 調査対象のお子さんの学校を教えてください。

- 小学生の場合 { 1. 公立小学校
2. 私立小学校
3. 国立小学校
- 中学生の場合 { 4. 公立中学校
5. 中高一貫教育の私立中学校（大学なし）
6. 大学付属の私立中学校
7. 5-6以外の私立中学校
8. 国立の中学校

 33

F18 調査対象のお子さんの学校までの通学時間（片道）はどれくらいですか。

片道 時間 分
(34) (35-36)

[おけいごとや塾、サークル活動について]

Q1 調査対象のお子さんはおけいごとや塾に通ったり、サークル活動などに参加していますか。あてはまるものすべてを教えてください。

- | | |
|---|--------------------|
| 1. ピアノ・エレクトーン等の楽器 | 10. 補習塾 |
| 2. 合唱団などの地域の文化サークル | 11. 進学塾 |
| 3. 習字 | 12. 家庭教師 |
| 4. そろばん | 13. 通信添削 |
| 5. 英会話・英語教室 | 14. その他 () |
| 6. スポーツクラブ
(野球やソフトボール、サッカー、バスケット、スイミング、剣道など) | 15. 通っていない・参加していない |
| 7. 学校の運動部
(授業時間内のクラブ活動は除く) | |
| 8. 学校の文化部
(授業時間内のクラブ活動は除く) | |
| 9. 児童会や生徒会の役員 | |

(37-58)

Q2 前問で回答いただいたおけいごとや塾、サークル活動の1週間の時間割を教えてください。なお、種類の欄には前問で回答された活動の種類をそれぞれ番号で記入してください。なお、記入にあたっては、行き帰りの時間を除いて下さい。

学校が休みの土曜と休みでない土曜の時間割が同じ場合、両方に同じ内容を記入してください。

記入例：月曜の午後4時から午後5時まで習字をならっている場合は、次のように記入してください、

月	3	④ 4時00分 ~ ④ 5時00分
---	---	-------------------

曜	種類	時間帯	RQ
月		④ 時 分 ~ ④ 時 分	1
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	13
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	25
火		④ 時 分 ~ ④ 時 分	37
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	49
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	61
水		④ 時 分 ~ ④ 時 分	73
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	85
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	97
木		④ 時 分 ~ ④ 時 分	109
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	121
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	133

曜日	種類	時間帯	RQ
金		④ 時 分 ~ ④ 時 分	1
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	13
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	25
学で 校ながい 休土 み曜		④ 時 分 ~ ④ 時 分	37
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	49
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	61
学の 校土 が曜 休 み		④ 時 分 ~ ④ 時 分	73
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	85
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	97
日		④ 時 分 ~ ④ 時 分	109
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	121
		④ 時 分 ~ ④ 時 分	133

Q3 (Q1で10~12と回答した人に) お子さんが学習塾に通ったり、家庭教師につくようになったのはどうしてですか。つぎのなかから主なものを1つ選んで下さい。

1. よい中学校や高校に入学させたいから
2. 学校の勉強をできるようにさせたいから
3. 子どもの友達がなっているから
4. 学習塾や家庭教師は考えていなかったが、子どもが「やりたい」と言ったから

⑤R
 1

Q4 よろしければ、調査対象のお子さんの学校での成績について教えて下さい。

1. 上のほう
2. やや上のほう
3. ふつうくらい
4. やや下のほう
5. 下のほう

2

Q5 調査対象のお子さんに今後どのような進路を希望していますか

1. 中学を卒業したら就職させるつもり
2. 高校を卒業したら就職させるつもり
3. 短大か専門学校に進ませるつもり
4. 大学に進ませるつもりだが、一流大学でなくともかまわない
5. 一流大学に進ませたい
6. 海外の大学に留学させるつもり

3

Q6 調査対象のお子さんは中学受験を予定していますか。または、経験しましたか。

1. 中学受験をするつもりである
2. 中学受験はしないつもりである
3. 中学受験を経験した
4. 中学受験は経験していない

4

Q7 学習塾についていろいろなことが言われていますが、あなたはどのようにお考えですか。

	そう 思う	そう思 わない
A よい学校に入るためには、学習塾へ行くことは当然だ	1	2
B 学習塾は受験競争をあおるものだから、ないほうがよい	1	2
C 学習塾へ行くことで、遊ぶ時間がなくなるのはかわいそうだ	1	2

(5-7)

[教育に対する考え方]

Q8 子どもの教育についていろいろなことが言われていますが、あなたはどのようにお考えですか。

	そう 思う	そう思 わない
A 今の教育は、子どもの個性をつぶしている	1	2
B 子どもの評価が、成績の善し悪しばかりでなされている	1	2
C 塾が必要になるのは、学校が授業をしっかりやっていないからだ	1	2
D 今の教育は子どもを管理しすぎている	1	2
E 今の子どもには、自由に遊んだり、好きな本を読んだりする時間が少なすぎる	1	2
F サラリーマン化した無気力な教師が多い	1	2

(8-13)

[受験や学歴社会にたいする考え方]

Q9 あなたは受験や学歴社会についてどのように考えますか。

	そう 思う	そう思 わない
A 小学生のうちには受験勉強などしないほうがよい	1	2
B 受験勉強はよい学校に行くためだけで、本当の勉強ではない	1	2
C 受験勉強は人間をきたえるよい機会である	1	2
D 受験勉強は、学んだことをまとめるよい機会だ	1	2
E 大学に入れないといいところに就職できない	1	2
F 実力さえあれば大学に行かなくても大人になって困ることはない	1	2

(14-19)

[お子さんへの接し方]

Q10 家事や手伝いなどでふだんお子さんにやらせていることがありますか。

つぎのなかからあてはまるものをすべて選んで下さい。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 自分の部屋のそうじ | 7. ふとんのあげおろし、ベッドをととのえる |
| 2. 洗濯物（ほす、またはたたむ） | 8. 風呂場のそうじ |
| 3. 食事のしたく | 9. 弟や妹のめんどうをみる |
| 4. 食事のあとかたづけ | 10. その他 |
| 5. ごみを出す | 11. 何もやらせない |
| 6. おつかい | |

(20-37)

Q11 調査対象のお子さんに対するあなたの態度についてうかがいます。

	そう 思う	そう思 わない
A 自分は、子どもに対してはきびしい	1	2
B 自分は、子どもの気持ちをよくわかっている	1	2
C 自分は、子どもの勉強や成績についてうるさく言う	1	2
D 自分は、子どもにいろいろなことを話す	1	2
E 自分は、子どもに対してやさしくあたたかい親だ	1	2

(38-42)

Q12 あなたはふだん、お子さんにどのように接していますか。あなたの姿勢に近いほうの接し方を1つを選んで下さい。

1. 子どもがよい成績をとるように、親としてもいろいろ手だてをこらしている
2. 子どもの成績について、親として特に手をうつようなことはしていない

43

[学校5日制について]

Q13 ところで、あなたは土曜日が休みになる学校5日制について、今後どうなってほしいと考えていますか。お父さん、お母さん、それぞれの意見をお聞かせください。

1. 去年までのように月1回の休みでよいと思う
2. 今のように月2回の休みがよいと思う
3. 土曜日は毎週休みがよいと思う
4. 土曜日も毎週、学校があるほうがよい
5. その他

お父さん

44

お母さん

45

[テレビの視聴時間]

Q14 あなた自身はふだん、一日に何時間くらいテレビをみていますか。

1. 1時間未満
2. 1時間以上～2時間未満
3. 2時間以上～4時間未満
4. 4時間以上～6時間未満
5. 6時間以上～8時間未満
6. 8時間以上
7. テレビは見ない

46

[PTAについて]

Q15 あなた、あるいは配偶者はPTAの役員（学級の役員を含む）をやっていますか。または、経験がありますか。

1. 現在役員をやっている
2. 過去に役員をしていたことがある
3. 役員をしたことがない
4. PTAがない

	47
--	----

Q16 あなたは、PTAの行事（学校主催の保護者を除く）に参加していますか。

1. ほとんど参加する
2. ある程度参加する
3. あまり参加しない
4. ほとんど参加しない
5. 会合や行事自体が開かれていない

	48
--	----

Q17 あなたはこれからのPTA活動や運営について、どのような点が重要だと思いますか。つぎのなかから3つ以内で選んで下さい。

1. 働いている父母が参加しやすいように、夜の会合を増やす
2. 親の意見をもっと重視した運営にする
3. 一部の教員しか積極的に参加しない現状を改める
4. 学級PTAにかたよりすぎるので、地域や町会にねざした活動を重視する
5. 形式的な運営を改め、情報も公開して本音で話し合えるようにする
6. 諸行事での奉仕作業などを通じて学校運営に協力する
7. バザーや廃品回収など財政面で学校に協力する
8. 文化・スポーツ活動などを通じて保護者相互の親睦を深める
9. 講演会、勉強会などを通じて、保護者が知識や教養を深める
10. その他（内*）

(49-54)

Q18 あなたはPTA活動についてどう感じていますか。それぞれ「そう思う」「そう思わない」のどちらかで答えてください。

	そう思う	そう思わない
A 学校行事などへの協力・奉仕活動が多すぎる	1	2
B 先生が主導しており、学校の押しつけが多い	1	2
C 教育方針や学校運営についての保護者との話し合いが少ない	1	2
D 昼の活動が多く、働いている保護者への配慮がない	1	2
E 親と教職員が教育について話し合い、相互理解を深めている	1	2
F いじめ、登校拒否・非行・体罰など協力して解決にあたっている	1	2
G 子どもを預けているので、親は立場が弱く、強く意見が言えない	1	2
H 地域を含め、交流の場、生涯学習の場としての役割も果たしている	1	2

(55-62)

Q19 あなたはPTAは必要だと思われませんか。

1. 必要だと思う 2. 必要と思わない

 63

Q20 (Q19で2と回答された方に) PTAが不必要と思われる理由についてあなたの気持ちの近いものを2つ以内で選んで下さい。

1. 一部の会員だけの活動になっているから
2. 学校や先生の仕事の下請けばかりさせられているから
3. 父母がいくら意見をいっても学校でとりあげてくれないから
4. 会合や行事に時間がとられて煩わしいから
5. 公費で賄うべき学校費用の不足を援助する団体でしかないから
6. 親と協力し合って、子どもを育てていく姿勢が先生にみられないから
7. 議員選挙の道具にされるから
8. その他 (内書)

(64-65)

最後にこのアンケートを記入した方を教えて下さい。

1. 調査対象のお子さんの母親
2. 調査対象のお子さんの父親
3. その他 (内書)

 66

<自由記入意見欄>

・現在の教育のあり方に関してなにかご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

・今回の生活時間調査とアンケート調査の内容について、分かりにくい点、書きにくい点などありましたら、お教えください。

—ご協力ありがとうございました—

資料 3

1日の生活時間・集計結果（小分類・平均値）

土曜日

件数	着分がえたく・洗面・トイレ等	食身と身じたく・	家で食事・分	家で食事・分	外で食事・分	おやつ・分	フロに入る・分	睡眠・分	分なびりしてないの	病気で休んでいる	自分のこと・身のまわり	家での手伝い・分	おつかいをこむ・移動時	医者・病院・移動時間を含む・分
小学生計	411	20	8	33	43	10	20	549	30	2	7	15	7	5
男の子	205	18	10	29	43	8	19	542	28	2	5	9	7	4
女の子	206	22	7	37	44	11	21	556	33	2	10	21	8	5
中学2年生計	194	21	10	35	35	10	22	532	34	0	8	11	7	3
男の子	101	17	7	33	37	11	20	530	30	0	6	7	6	3
女の子	93	26	13	38	32	8	24	534	40	0	10	16	7	2
中学3年生計	145	20	8	27	42	8	24	527	46	0	10	11	4	1
男の子	79	18	7	27	42	11	21	539	43	0	6	10	5	2
女の子	66	22	9	27	42	4	28	512	50	0	16	11	2	1

分移と動こや・美容院・移動時間を含む・分	話をする・分	電話する・分	本読む・新聞・マンガ	テレビゲーム・分	分テレビ・ビデオ・	セラット・CD・カ	やその他のへ遊び	を勉強し予習・復習	分なびりしてないの	家庭教師・分	習い事の練習・分	学校の用意・分	塾・分
小学生計	2	16	1	45	148	6	43	33	5	0	10	1	10
男の子	3	13	1	41	138	4	39	31	4	0	4	1	9
女の子	2	19	2	49	157	8	47	36	6	0	16	1	10
中学2年生計	2	13	3	41	154	15	21	53	14	0	6	2	22
男の子	3	12	1	43	149	14	17	58	14	0	0	1	26
女の子	1	15	5	39	160	17	26	48	13	0	12	3	19
中学3年生計	6	15	4	47	149	29	26	79	23	0	5	2	36
男の子	8	13	2	39	129	27	26	86	27	0	1	1	33
女の子	4	18	7	57	172	32	26	72	19	0	9	2	39

日曜日

件数	・着がたくし洗面・ 分 えたくし洗面・ 等	食事と身じたく・ 分	家で食事・分	外で食事・分	おやつ・分	フロに入る・分	睡眠・分	分なひりもしないで の	・病気で休んでいる 分	自分の身のまわり の こと・分	家での手伝い・分	おつかい移動時 間を含む・分	医者・病院移動 時間を含む・分
小学生計	411	19	7	38	14	10	22	583	33	1	9	15	7
男の子	205	18	8	37	14	7	19	577	32	0	5	10	6
女の子	206	21	6	39	15	12	25	589	34	1	14	19	8
中学2年生計	194	20	9	39	11	7	26	535	34	0	8	10	2
男の子	101	16	10	33	10	4	22	526	32	0	2	5	2
女の子	93	25	9	45	12	10	30	544	36	0	14	15	3
中学3年生計	145	15	7	35	10	7	25	568	37	0	10	12	5
男の子	79	14	8	34	16	5	20	564	33	0	7	8	6
女の子	66	16	6	36	4	8	31	572	42	0	14	18	4

移動と 時間を含む・ 分	話をする・分	電話する・分	本や新聞・マンガ を読む・分	テレビゲーム・分	分テレビ・ビデオ・ 分	セット・C D・カ カ	やしのめへや遊び の 分	を勉強予習・復習 を含む・分	・ビデオ・CDレ ジオ・分	家庭教師・分	習い事の練習・分	・刺学校の用意時間 分をえるなど	塾・分
小学生計	2	18	1	41	38	7	38	43	8	0	5	9	6
男の子	1	14	1	39	58	4	37	37	8	0	2	7	9
女の子	2	22	1	44	18	10	40	48	7	0	8	11	3
中学2年生計	2	15	2	44	34	15	18	64	16	0	4	7	8
男の子	4	9	0	49	60	18	8	67	11	0	0	5	8
女の子	0	23	4	38	6	13	29	62	22	1	8	9	7
中学3年生計	2	16	2	49	33	18	21	85	26	0	4	6	35
男の子	2	13	1	43	49	14	24	79	28	0	3	5	37
女の子	4	20	3	57	14	22	17	93	24	0	5	8	33

	含む・分 発表会	分動ト 部活は除く・運	分散 歩・犬の散歩・分	ゲーム センターなど・分	カラオケ ボックス	グ 物・シ ョッピン	映画 を見る・分	み 外 での遊 びやし ゆ	野 球 など ・分	子 ども 会・分	分 日 帰 り シ ャ ー	宿 泊 旅 行・分	移 動 登 校・分	食 寝 休 け 給 分
小学生計	5	4	3	3	1	33	5	53	62	6	17	1	0	1
男の子	4	5	2	4	1	27	6	61	106	6	10	0	0	0
女の子	6	3	4	3	1	40	5	46	19	7	24	3	1	2
中学2年生計	3	3	1	7	1	18	4	37	3	1	5	3	4	0
男の子	1	4	1	12	0	10	1	55	5	3	10	6	7	0
女の子	4	1	0	1	1	26	8	18	1	0	0	0	1	0
中学3年生計	2	7	3	1	3	27	7	31	1	0	5	6	6	1
男の子	2	11	4	3	5	25	5	51	2	0	3	0	2	0
女の子	1	2	2	0	0	30	10	8	0	0	7	14	10	2

	をク 活 動 含 む 分	学 校 行 事 分	学 童 保 育 分	移 動 下 校 分	学 校 で 遊 ぶ 分	移 動 家 か ら 出 か	移 動 家 に 帰 る 分	移 動 そ の 他 分	分 こ の 調 査 の 記 入	そ の 他 分	不 明 分
小学生計	6	9	0	0	3	20	19	6	8	27	5
男の子	7	8	0	0	4	23	18	6	6	25	5
女の子	5	10	0	0	2	17	19	5	11	28	5
中学2年生計	168	9	0	2	2	23	20	4	9	10	4
男の子	168	12	0	3	1	19	18	2	10	9	4
女の子	168	6	0	0	2	28	21	6	9	11	3
中学3年生計	16	47	0	2	2	17	14	4	6	22	5
男の子	18	56	0	2	3	17	18	6	5	20	4
女の子	14	35	0	2	0	17	9	1	8	25	6

平日

	件数	着がえ・身じたく・洗面・トイレ等	食事と身じたく	家で食事・分	外で食事・分	おやつ・分	フロに入る・分	睡眠・分	分なびりしていないもの	病気で休んでいる	自分の身のまわり	家での手伝い・分	おつかい・移動時間を含む	医者・病院・移動時間を含む
小学生計	411	20	10	26	1	5	20	515	9	0	2	5	1	1
男子	205	20	10	24	1	5	18	523	9	0	1	3	1	1
女子	206	21	11	27	1	6	21	507	9	0	2	7	2	1
中学2年生計	194	20	12	22	1	4	19	460	11	2	2	2	1	2
男子	101	19	10	22	0	3	15	466	12	0	1	2	1	1
女子	93	21	14	23	1	4	24	453	9	4	3	2	1	3
中学3年生計	145	19	12	25	1	5	25	453	21	0	2	2	1	1
男子	79	17	13	25	0	3	19	464	21	0	0	1	0	1
女子	66	22	12	24	3	6	31	440	21	0	4	3	2	2

	移動や・美容院・時間を含む	話をする・分	電話する・分	本や新聞・マンガを読む・分	テレビゲーム・分	分テレビ・ビデオ・	セゾット・CD・カ	やその他のへ遊び	を勉強し予習復習	ながら勉強しテレビ	家庭教師・分	習い事の練習・分	学校の用事・分	塾・分
小学生計	0	9	0	16	13	75	3	9	48	7	0	5	12	14
男子	1	8	0	16	20	74	2	6	42	7	0	3	12	15
女子	0	11	1	16	5	76	4	12	54	8	0	7	12	14
中学2年生計	0	7	2	13	11	66	7	4	44	15	1	1	10	25
男子	1	6	0	14	18	66	8	5	43	13	1	0	7	27
女子	0	8	3	12	3	65	5	3	45	18	0	3	14	24
中学3年生計	0	6	1	20	11	66	10	8	65	21	1	1	10	42
男子	1	3	0	18	17	72	7	7	66	14	2	1	8	46
女子	0	9	2	23	5	60	13	9	65	29	0	1	13	38

	含む・分 発表会	分動ト 部活は除く・運	分散 歩・木の散歩・	分ゲーム センターなど・分	分カラオケボックス	分買 物・ショッピング	分映画 を見る・分	分み での遊びやしゅ	分野 球など・分	分子ども 会・分	分日 帰りレジャー・	分宿泊 旅行・分	分移動 登校・分	分食 料・休け し・そ うじ給
小学生計	10	3	1	1	0	3	0	19	13	0	0	0	37	399
男の子	8	4	0	1	0	2	0	23	21	0	0	0	29	411
女の子	13	2	2	1	0	3	1	15	4	1	0	0	44	388
中学2年生計	3	3	1	0	0	1	1	6	1	0	0	0	30	431
男の子	1	3	1	0	0	1	3	12	2	0	0	0	28	436
女の子	5	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	32	425
中学3年生計	3	4	1	0	0	3	0	6	0	0	0	0	27	451
男の子	2	6	1	1	0	5	0	10	0	0	0	0	29	454
女の子	3	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	25	448

	分クラブ 活動・練習	分学校 行事・分	分学 童保育・分	分移動 下校・分	分学校 で遊ぶ・分	分移 動・家 から出 か	分移 動・家 に帰る・	分移動 ・その他・分	分この 調査の 記入・	分その他・	分不明・
小学生計	13	10	0	20	19	9	10	1	6	7	3
男の子	10	5	0	21	19	7	9	1	6	7	2
女の子	15	15	0	20	18	10	10	0	7	7	4
中学2年生計	99	17	0	23	7	8	6	1	6	6	2
男の子	98	18	0	21	4	10	7	0	4	3	1
女の子	100	15	0	25	10	6	5	1	8	8	2
中学3年生計	18	6	0	21	8	7	9	1	5	16	5
男の子	19	6	0	20	8	5	9	0	5	11	6
女の子	17	7	0	23	9	8	9	1	5	22	4

子どもの生活時間調査研究報告書

1996年9月30日

初版発行

編集 財団法人 連合総合生活開発研究所

所長 栗林 世

〒102 東京都千代田区飯田橋1-3-2

曙杉館ビル3F

TEL 03 (5210) 0851 (代)

FAX 03 (5210) 0852

制作 株式会社 コンポーズ・ユニ

〒108 東京都港区三田1-10-3

TEL 03 (3456) 1541 (代)

FAX 03 (3798) 3303
